

PGマルチペイメントサービス

プロトコル・タイプ

(マルチ決済 インタフェース仕様)

2021 年 10 月 19 日 1.99 版

- ☑ 本書の著作権は「GMOペイメントゲートウェイ株式会社(以下、弊社という)」に帰属します。
- ☑ 本書のいかなる部分においても、弊社に事前の書面による許可なく、電子的、機械的を含むいかなる手段や形式によってもその複製、改変、頒布、ならびにそれらに類似する行為を禁止します。
- ☑ 本仕様書は加盟店様と弊社との間で締結した機密保持契約において機密情報として規定される情報です。本仕様書の取扱いは機密保持契約の規定に従ってください。
- ☑ 本書の内容は、予告なく随時更新されます。
- ☑ 本書の内容について万全を期しておりますが、万一記載もれ等お気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。

目次

1.	はじめに	28
1.1.	項目の説明	29
1.2.	開発するにあたっての注意事項	36
1.2.1.	取引について	36
1.2.2.	取引状態の遷移について	37
1.2.3.	当サービスのタイムアウトについて	56
2.	コンビニ決済インタフェース仕様	57
2.1.	コンビニ決済依頼する	57
2.1.1.	コンビニ決済の流れ	57
2.1.2.	各インタフェース仕様詳細	58
2.2.	コンビニ決済の支払停止を実行する	62
2.2.1.	コンビニ決済の支払停止の流れ	62
2.2.2.	各インタフェース仕様詳細	63
3.	モバイルSuica決済インタフェース仕様	64
3.1.	モバイルSuica決済依頼する	64
3.1.1.	モバイルSuica決済の流れ	64
3.1.2.	各インタフェース仕様詳細	65
4.	楽天Edy決済インタフェース仕様	68
4.1.	楽天Edy決済依頼する	68
4.1.1.	楽天Edy決済の流れ	68
4.1.2.	各インタフェース仕様詳細	69
5.	Pay-easy決済インタフェース仕様	72
5.1.	Pay-easy決済依頼する	72
5.1.1.	Pay-easy決済の流れ	72
5.1.2.	各インタフェース仕様詳細	73
5.2.	Pay-easy決済の支払停止を実行する	79
5.2.1.	Pay-easy決済の支払停止の流れ	79
5.2.2.	各インタフェース仕様詳細	80
6.	PayPal決済インタフェース仕様	81
7.	iD決済インタフェース仕様	82
7.1.	iD決済依頼する	82
7.1.1.	iD決済の流れ	82
7.1.2.	各インタフェース仕様詳細	83
7.2.	決済の内容をキャンセルする	87
7.2.1.	決済内容をキャンセルする流れ	87
7.2.2.	各インタフェース仕様詳細	88
7.3.	売上の確定を行う	89
7.3.1.	実売上を行う流れ	89
7.3.2.	各インタフェース仕様詳細	90
7.4.	完了した決済に金額の変更を行う	91

7.4.1.	金額変更を行う流れ	91
7.4.2.	各インタフェース仕様詳細	92
8.	WebMoney決済インタフェース仕様	93
8.1.	WebMoney決済を実行する	94
8.1.1.	WebMoney決済の流れ	94
8.1.2.	各インタフェース仕様詳細	96
8.2.	WebMoney決済(クイック決済)を実行する	101
8.2.1.	WebMoney決済(クイック決済)の流れ	101
8.2.2.	各インタフェース仕様詳細	106
8.3.	クイックIDを削除する	112
8.3.1.	クイックID無効化の流れ	112
8.3.2.	各インタフェース仕様詳細	113
8.4.	クイックIDの利用明細画面を表示する	114
8.4.1.	クイックIDの利用明細画面表示の流れ	114
8.4.2.	各インタフェース仕様詳細	115
8.5.	決済の内容を取消する	116
8.5.1.	決済の内容を取消する流れ	116
8.5.2.	各インタフェース仕様詳細	117
9.	auかんたん決済インタフェース仕様	118
9.1.	auかんたん決済を実行する	119
9.1.1.	auかんたん決済の流れ	119
9.1.2.	各インタフェース仕様詳細	121
9.2.	決済の内容をキャンセル・返品する	126
9.2.1.	決済内容をキャンセル・返品する流れ	127
9.2.2.	各インタフェース仕様詳細	128
9.3.	売上の確定を行う	130
9.3.1.	実売上を行う流れ	130
9.3.2.	各インタフェース仕様詳細	131
9.4.	OpenID解除を行う	132
9.4.1.	OpenID解除を行う流れ	132
9.4.2.	各インタフェース仕様詳細	133
10.	auかんたん決済継続課金インタフェース仕様	134
10.1.	auかんたん決済継続課金を実行する	135
10.1.1.	auかんたん決済継続課金の流れ	135
10.1.2.	各インタフェース仕様詳細	137
10.2.	継続課金を解約する	143
10.2.1.	継続課金を解約する流れ	143
10.2.2.	各インタフェース仕様詳細	144
10.3.	課金を売上取消・返品する	145
10.3.1.	課金を売上取消・返品する流れ	145
10.3.2.	各インタフェース仕様詳細	146
10.4.	OpenID解除を行う	148

10.5.	課金結果ファイル送信	149
10.5.1.	ファイル出力対象	149
10.5.2.	課金結果ファイルを送信する流れ	149
10.5.3.	ファイル情報	150
11.	ドコモ払い決済インタフェース仕様	152
11.1.	ドコモ払い決済を実行する	153
11.1.1.	ドコモ払い決済の流れ	153
11.1.2.	各インタフェース仕様詳細	155
11.2.	決済の内容をキャンセル・返品する	160
11.2.1.	決済内容をキャンセル・返品する流れ	161
11.2.2.	各インタフェース仕様詳細	162
11.3.	売上の確定を行う	164
11.3.1.	実売上を行う流れ	164
11.3.2.	各インタフェース仕様詳細	165
11.4.	決済の内容を増額する	166
11.4.1.	決済内容を増額する流れ	166
11.4.2.	各インタフェース仕様詳細	167
12.	ドコモ継続課金サービス決済インタフェース仕様	168
12.1.	ドコモ継続課金サービスを登録する	169
12.1.1.	ドコモ継続課金サービス登録の流れ	169
12.1.2.	各インタフェース仕様詳細	171
12.2.	基本データの金額変更を行う	176
12.2.1.	携帯端末から基本データの金額変更を行う流れ	177
12.2.2.	各インタフェース仕様詳細	179
12.2.3.	加盟店様から基本データの金額変更する	183
12.2.4.	各インタフェース仕様詳細	184
12.3.	継続課金の終了を行う	185
12.3.1.	携帯端末から継続課金の終了を行う流れ	186
12.3.2.	各インタフェース仕様詳細	188
12.3.3.	継続課金を終了する流れ	192
12.3.4.	各インタフェース仕様詳細	193
12.4.	課金データを減額確定する	194
12.4.1.	課金データを減額確定する流れ	194
12.4.2.	各インタフェース仕様詳細	195
12.5.	課金データをキャンセル・返品する	196
12.5.1.	課金データをキャンセル・返品する流れ	196
12.5.2.	各インタフェース仕様詳細	197
12.6.	日次課金ファイル送信	199
12.6.1.	ファイル出力対象	199
12.6.2.	日次課金ファイルを送信する流れ	199
12.6.3.	ファイル情報	200
12.7.	申込状況ファイル送信	202

12.7.1.	ファイル出力対象	202
12.7.2.	申込状況ファイルを送信する流れ	202
12.7.3.	ファイル情報	203
13.	ソフトバンクまとめて支払い（B）決済インタフェース仕様	205
13.1.	ソフトバンクまとめて支払い（B）決済を実行する	205
13.1.1.	ソフトバンクまとめて支払い（B）決済の流れ	205
13.1.2.	各インタフェース仕様詳細	207
13.2.	決済の内容をキャンセルする	212
13.2.1.	決済内容をキャンセルする流れ	213
13.2.2.	各インタフェース仕様詳細	214
13.3.	売上の確定を行う	215
13.3.1.	実売上を行う流れ	215
13.3.2.	各インタフェース仕様詳細	216
14.	じぶん銀行決済インタフェース仕様	217
15.	JCBプリカ決済インタフェース仕様	218
15.1.	JCBプリカ決済を実行する	219
15.1.1.	JCBプリカ決済の流れ	219
15.1.2.	各インタフェース仕様詳細	220
15.2.	決済の内容をキャンセルする	223
15.2.1.	決済内容をキャンセルする流れ	223
15.2.2.	各インタフェース仕様詳細	224
15.3.	カード残高を照会する	225
15.3.1.	カード残高を照会する流れ	225
15.3.2.	各インタフェース仕様詳細	226
16.	NET CASH・nanacoギフト決済インタフェース仕様	228
16.1.	NET CASH・nanacoギフト決済を実行する	229
16.1.1.	NET CASH・nanacoギフト決済の流れ	229
16.1.2.	各インタフェース仕様詳細	231
17.	BitCoin決済インタフェース仕様	236
17.1.	Bitcoin決済を実行する	237
17.1.1.	Bitcoin決済の流れ	237
17.1.2.	各インタフェース仕様詳細	239
18.	楽天ペイインタフェース仕様	245
18.1.	楽天ペイを実行する	245
18.1.1.	楽天ペイの流れ	245
18.1.2.	各インタフェース仕様詳細	248
18.2.	決済の内容をキャンセルする	256
18.2.1.	決済内容をキャンセルする流れ	256
18.2.2.	各インタフェース仕様詳細	257
18.3.	決済の金額を変更する	258
18.3.1.	決済の金額変更を行う流れ	258
18.3.2.	各インタフェース仕様詳細	259

18.4.	売上の確定を行う	261
18.4.1.	実売上を行う流れ	261
18.4.2.	各インタフェース仕様詳細	262
19.	多通貨クレジットカード決済（MCP）インタフェース仕様	263
19.1.	カード番号を入力して決済する	264
19.1.1.	カード番号を入力し、多通貨クレジットカード決済（MCP）する流れ	264
19.1.2.	各インタフェース仕様詳細	266
19.2.	登録したカード情報で決済する	274
19.2.1.	カード番号を選択し、多通貨クレジットカード決済（MCP）をする流れ	274
19.2.2.	各インタフェース仕様詳細	276
19.3.	決済の内容を取り消す	280
19.3.1.	決済内容を取り消す流れ	280
19.3.2.	各インタフェース仕様詳細	281
19.4.	売上の確定を行う	282
19.4.1.	実売上を行う流れ	282
19.4.2.	各インタフェース仕様詳細	283
19.5.	多通貨クレジットカード決済（MCP）に使用したカード番号を登録する	284
19.5.1.	多通貨クレジットカード決済（MCP）に使用したカード番号登録の流れ	284
20.	LINE Pay決済インタフェース仕様	287
21.	ネット銀聯決済インタフェース仕様	288
21.1.	ネット銀聯決済を実行する	288
21.1.1.	ネット銀聯決済の流れ	288
21.1.2.	各インタフェース仕様詳細	290
21.2.	決済の内容をキャンセルする	295
21.2.1.	決済内容をキャンセルする流れ	295
21.2.2.	各インタフェース仕様詳細	297
21.3.	決済の内容を返品する	298
21.3.1.	決済内容を返品する流れ	298
21.3.2.	各インタフェース仕様詳細	300
21.4.	売上の確定を行う	302
21.4.1.	実売上を行う流れ	302
21.4.2.	各インタフェース仕様詳細	304
22.	ソフトバンクまとめて支払い（B）継続課金決済インタフェース仕様	305
22.1.	ソフトバンクまとめて支払い（B）継続課金決済を実行する	305
22.1.1.	ソフトバンクまとめて支払い（B）継続課金決済の流れ	305
22.1.2.	各インタフェース仕様詳細	307
22.2.	課金データを取消する	312
22.2.1.	課金データを取消する流れ	313
22.2.2.	各インタフェース仕様詳細	314
22.3.	継続課金を解約する	315
22.3.1.	継続課金を解約する流れ	315
22.3.2.	各インタフェース仕様詳細	316

22.4.	課金要求結果ファイル、課金確定結果ファイル送信	317
22.4.1.	ファイル出力対象	317
22.4.2.	課金結果ファイルを送信する流れ	318
22.4.3.	ファイル情報	319
23.	リクルートかんたん支払い決済インタフェース仕様	321
23.1.	リクルートかんたん支払い決済を実施する	321
23.1.1.	リクルートかんたん支払い決済の流れ	321
23.1.2.	各インタフェース仕様詳細	323
23.2.	決済の内容をキャンセルする	328
23.2.1.	決済内容をキャンセルする流れ	328
23.2.2.	各インタフェース仕様詳細	329
23.3.	売上の確定を行う	330
23.3.1.	実売上を行う流れ	330
23.3.2.	各インタフェースの仕様詳細	331
23.4.	決済の金額を変更する	332
23.4.1.	決済の金額変更を行う流れ	333
23.4.2.	各インタフェースの仕様詳細	334
23.5.	決済のオーソリ期限延長を行う	336
23.5.1.	オーソリ期限延長を行う流れ	337
23.5.2.	各インタフェースの仕様詳細	338
24.	リクルートかんたん支払い継続課金決済インタフェース仕様	339
24.1.	リクルートかんたん支払い継続課金決済を実行する	339
24.1.1.	リクルートかんたん支払い継続課金決済の流れ	339
24.1.2.	各インタフェース仕様詳細	341
24.2.	課金データを取消する	347
24.2.1.	課金データを取消する流れ	347
24.2.2.	各インタフェース仕様詳細	348
24.3.	継続課金を解約する	349
24.3.1.	継続課金を解約する流れ	350
24.3.2.	各インタフェース仕様詳細	351
24.4.	継続課金の金額を変更する	352
24.4.1.	継続課金の金額変更を行う流れ	352
24.4.2.	各インタフェースの仕様詳細	353
24.5.	課金要求結果ファイル、課金確定結果ファイル送信	354
24.5.1.	ファイル出力対象	354
24.5.2.	課金結果ファイルを送信する流れ	355
24.5.3.	ファイル情報	356
25.	銀行振込(バーチャル口座)インタフェース仕様	358
25.1.	概要	358
25.1.1.	口座契約形態について	358
25.1.2.	取引口座・継続口座について	358
25.1.3.	取引の自動生成について	358

25.2.	取引口座を利用する	359
25.2.1.	取引口座利用の流れ	360
25.2.2.	各インタフェース仕様詳細	361
25.3.	継続口座を利用する	364
25.3.1.	継続口座利用の流れ	365
25.3.2.	各インタフェース仕様詳細	366
25.4.	専有口座情報照会を実行する	369
25.4.1.	専有口座情報照会実行の流れ	369
25.4.2.	各インタフェース仕様詳細	370
26.	Paid決済インタフェース仕様	374
26.1.	取引先を登録する	374
26.1.1.	取引先を登録する流れ	375
26.1.2.	各インタフェース仕様詳細	376
26.2.	取引先のステータスを確認する	378
26.2.1.	取引先ステータス確認を行う流れ	378
26.2.2.	各インタフェース仕様詳細	379
26.3.	Paid決済を実施する	381
26.3.1.	Paid決済の流れ	381
26.3.2.	各インタフェース仕様詳細	383
26.4.	決済の金額を変更する	386
26.4.1.	金額変更を行う流れ	386
26.4.2.	各インタフェース仕様詳細	387
26.5.	決済の内容をキャンセルする	388
26.5.1.	決済内容をキャンセルする流れ	388
26.5.2.	各インタフェース仕様詳細	389
26.6.	売上の確定を行う	390
26.6.1.	実売上を行う流れ	390
26.6.2.	各インタフェース仕様詳細	391
26.7.	決済を返品する	393
26.7.1.	決済を返品する流れ	393
26.7.2.	各インタフェース仕様詳細	394
27.	ドコモ払い随時決済インタフェース仕様	395
27.1.	利用承諾を行う	395
27.1.1.	利用承諾の流れ	396
27.1.2.	各インタフェース仕様詳細	398
27.2.	利用承諾の終了を行う	403
27.2.1.	利用承諾の終了を行う流れ	404
27.2.2.	各インタフェース仕様詳細	405
27.3.	随時決済を実行する	406
27.3.1.	随時決済の流れ	406
27.3.2.	各インタフェース仕様詳細	407
27.4.	決済の内容をキャンセル・返品する	411

27.5.	売上の確定を行う	411
27.6.	決済の内容を増額する	411
28.	auかんたん決済 随時決済インタフェース仕様	412
28.1.	利用承諾を行う	412
28.1.1.	利用承諾の流れ	413
28.1.2.	各インタフェース仕様詳細	415
28.2.	利用承諾の終了を行う	420
28.2.1.	利用承諾の終了を行う流れ	420
28.2.2.	各インタフェース仕様詳細	421
28.3.	随時決済を実行する	422
28.3.1.	随時決済の流れ	422
28.3.2.	各インタフェース仕様詳細	423
28.4.	決済の内容をキャンセル・返品する	426
28.5.	売上の確定を行う	426
28.6.	OpenID解除を行う	426
29.	ソフトバンクまとめて支払い（B）随時決済インタフェース仕様	427
29.1.	利用承諾を行う	427
29.1.1.	利用承諾の流れ	428
29.1.2.	各インタフェース仕様詳細	430
29.2.	利用承諾の終了を行う	435
29.2.1.	利用承諾の終了を行う流れ	435
29.2.2.	各インタフェース仕様詳細	436
29.3.	随時決済を実行する	437
29.3.1.	随時決済の流れ	437
29.3.2.	各インタフェース仕様詳細	438
29.4.	決済の内容をキャンセルする	442
29.5.	売上の確定を行う	442
30.	マルチ決済インタフェース仕様	443
30.1.	決済結果を参照する	443
30.1.1.	取引状態参照の流れ	443
30.1.2.	各インタフェース仕様詳細	444
31.	不正住所検知サービスインタフェース仕様	473
31.1.	同時実行数について	473
31.2.	照会結果について	473
31.3.	照会を実行する	475
31.3.1.	照会実行の流れ	475
31.3.2.	各インタフェース仕様詳細	476
31.4.	単発照会を実行する	480
31.4.1.	単発照会実行の流れ	480
31.4.2.	各インタフェース仕様詳細	481
32.	PAYSLE決済（PAYSLEアプリ方式）インタフェース仕様	483
32.1.	PAYSLE決済依頼をする	483

32.1.1.	PAYSLE決済の流れ	484
32.1.2.	各インタフェース仕様詳細	485
32.2.	PAYSLE決済の支払停止を実行する	490
32.2.1.	PAYSLE決済の支払停止の流れ	490
32.2.2.	各インタフェース仕様詳細	491
33.	PAYSLE決済（事業者アプリ方式）インタフェース仕様	492
33.1.	PAYSLE決済依頼をする	492
33.1.1.	PAYSLE決済の流れ	493
33.1.2.	各インタフェース仕様詳細	494
33.2.	PAYSLE決済の支払停止を実行する	497
33.2.1.	PAYSLE決済の支払停止の流れ	497
33.2.2.	各インタフェース仕様詳細	498
33.3.	PAYSLE決済のバーコードを発行する	499
33.3.1.	PAYSLE決済のバーコード発行の流れ	500
33.3.2.	各インタフェース仕様詳細	501

変更履歴

2008年9月1日 - 1.00版

- ・ 新規作成

2008年10月29日 - 1.01版

- ・ コンビニ決済、Pay-easy決済について、表示項目にショップの名称を入れる説明を追記

2009年5月11日 - 1.02版

- ・ 6.2. 決済結果を受信する の説明文を訂正
- ・ 6.2.2.1. 結果通知プログラム 出力パラメータの説明文を訂正
訂正前 各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。
訂正後 各パラメータ値を"&"で結合した文字列をPOSTで受信します。

2009年6月9日 - 1.03版

- ・ モバイルEdyをMoblie Edy表記に変更
- ・ 取引状態遷移表に期限切れのステータスを追加
 - ・ 支払期限日数の桁数が誤って記述されていた為、桁数を訂正
訂正前：3桁
訂正後：2桁
 - ・ コンビニ決済でのバージョンの桁数が誤って記述されていた為、桁数を訂正
訂正前：30桁
訂正後：3桁
 - ・ コンビニ決済での利用金額、税送料の桁数が誤って記述されていた為、桁数を訂正
訂正前：8桁
訂正後：6桁
 - ・ モバイルSuica決済での利用金額、税送料の桁数が誤って記述されていた為、桁数を訂正
訂正前：8桁
訂正後：5桁
 - ・ モバイルSuica決済での支払期限秒の桁数が誤って記述されていた為、桁数を訂正
訂正前：3桁
訂正後：5桁
 - ・ Moblie Edy決済での利用金額、税送料の桁数が誤って記述されていた為、桁数を訂正
訂正前：8桁
訂正後：5桁
 - ・ Pay-easy決済での利用金額、税送料の桁数が誤って記述されていた為、桁数を訂正
訂正前：8桁
訂正後：6桁
 - ・ 取引状態参照、結果通知受信での利用金額の桁数が誤って記述されていた為、桁数を訂正
訂正前：8桁
訂正後：7桁

- ・ コンビニ決済でセブンイレブン追加に伴う変更
利用金額+税送料にセブンイレブンでの制限を追加
氏名にセブンイレブンでの制限を追加
支払期限日数にセブンイレブンでの制限を追加
受付番号の桁数を32桁に変更
- ・ 結果通知先URLの設定方法を追加
- ・ PAYSUCCESS : 決済完了の通知タイミングを追加

2009年9月1日 - 1.04版

- ・ 取引状態参照の出力パラメータにエラーコード、エラー詳細コードを追加
- ・ 加盟店メールアドレスのパラメータ名が誤っていた為、パラメータ名を訂正
訂正前 : ShopMailAdress
訂正後 : ShopMailAddress
※ 各決済実行 I / F にて、ShopMailAdressとShopMailAddressの両パラメータを受け入れるように改修しましたので、既存加盟店様での改修は必要ありません。
※ 尚、ShopMailAdress、ShopMailAddressの両パラメータが同時に指定された場合は、ShopMailAddressを使用して処理を行います。
- ・ オーダーIDの説明に、メールリンクと他の接続方式を併用する場合の注意点を記載

2009年10月27日 - 1.05版

- ・ 不正住所検知サービスのインタフェース仕様を追加
 - ・ 取引状態参照について、注意点を追記
 - ・ 6.2.1. 結果通知受信の流れについて、注意点を追記
 - ・ 不正住所検知サービスインタフェース仕様について、注意点を追記

2010年2月22日 - 1.06版

- ・ PayPal決済の取引状態遷移を追加
- ・ PayPal決済のインタフェース仕様を追加
- ・ 取引状態参照のインタフェース仕様にPayPal決済を追加
- ・ 結果通知プログラムのインタフェース仕様にPayPal決済を追加

2010年3月31日 - 1.07版

- ・ 不正住所検知サービスの単発照会を追加
- ・ i D ネット決済の取引状態遷移を追加
- ・ i D ネット決済のインタフェース仕様を追加
- ・ 取引状態参照のインタフェース仕様に i D ネット決済を追加
- ・ 結果通知プログラムのインタフェース仕様に i D ネット決済を追加

2010年4月5日 - 1.08版

- ・ 取引状態参照 トランザクションIDを返却する決済種別の誤記載を修正
訂正前 : カード・コンビニ・Pay-easy・PayPal・ i D ネット決済時のみ返却
訂正後 : カード・PayPal・ i D ネット決済時のみ返却

2010年6月16日 - 1.09版

- WebMoney決済の取引状態遷移を追加
- WebMoney決済のインタフェース仕様を追加
- 取引状態参照のインタフェース仕様にWebMoney決済を追加
- 結果通知プログラムのインタフェース仕様にWebMoney決済を追加
- 7.1.2.3. iD決済開始画面の表示 接続先URLを修正
- 7.1.2.3. iD決済開始画面の表示 遷移用ページサンプルに接続先URLを追加

2010年8月2日 - 1.10版

- 6.1.2.4. 決済結果受信 Statusの備考を修正
- 9.2.2.1. 結果通知プログラム パラメータ送信方法の記載を修正

2011年2月1日 - 1.11版

- 1.2.1-1. 入出力項目の定義に通貨コードを追加
- 1.2.1-1. 入出力項目の定義 利用金額に円決済以外の注意点を追加
- 6.1.2.1. 入力パラメータにCurrencyを追加
- 6.1.2.1. 入力パラメータ Amount及びTaxの桁数を修正
- 6.2.2.1. 入力パラメータ Amount及びTaxの桁数を修正
- 9.1.2.1. 出力パラメータにCurrencyを追加
- 9.1.2.1. 出力パラメータ Amount及びTaxの桁数を修正
- 9.2.2.1. 出力パラメータ Amount及びTaxの桁数を修正
- 9.2.2.1. 出力パラメータ Currencyの説明を修正 ("JPN"固定→削除)

2011年9月15日 - 1.12版

- 9.1.2.1. 出力パラメータ JobCdから UNPROCESSED : 未決済 AUTHENTICATED : 未決済(3DS登録済)を削除
- 9.2.2.1. 出力パラメータ JobCdから UNPROCESSED : 未決済 AUTHENTICATED : 未決済(3DS登録済)を削除

2012年3月16日 - 1.13版

- auかんたん決済サービスを追加
- auかんたん決済の取引状態遷移を追加
- 取引状態参照のインタフェース仕様にauかんたん決済を追加
- 結果通知プログラムのインタフェース仕様にauかんたん決済を追加
- 5.1.2.3. 金融機関選択画面の表示 pay-easyにて各金融機関でお支払い可能となるまでの時間について追記。

2012年6月11日 - 1.14版

- 6.1.2.2. 入力パラメータにLocaleを追加

2012年7月25日 - 1.15版

- ドコモケータイ払い決済サービスを追加
- ドコモケータイ払い決済の取引状態遷移を追加
- 取引状態参照のインタフェース仕様にドコモケータイ払い決済を追加
- 結果通知プログラムのインタフェース仕様にドコモケータイ払い決済を追加

2012年9月18日 - 1.16版

- ・ ドコモ継続課金サービスを追加
- ・ ドコモ継続課金サービスの取引状態遷移を追加
- ・ 取引状態参照のインタフェース仕様にドコモ継続課金サービスを追加
- ・ 結果通知プログラムのインタフェース仕様にドコモ継続課金サービスを追加
- ・ 10.1.2.4. 決済結果受信のStatusにAUTHPROCESSを追加

2012年11月20日 - 1.17版

- ・ Mobile Edyから楽天Edyに表記を変更

2012年12月25日 - 1.18版

- ・ ソフトバンクまとめて支払い決済サービスを追加
- ・ ソフトバンクまとめて支払い決済の取引状態遷移を追加
- ・ 取引状態参照のインタフェース仕様にソフトバンクケータイ支払い決済を追加
- ・ 結果通知プログラムのインタフェース仕様にソフトバンクケータイ支払い決済を追加

2013年3月1日 - 1.19版

- ・ じぶん銀行決済サービスを追加
- ・ じぶん銀行決済の取引状態遷移を追加
- ・ 取引状態参照のインタフェース仕様にじぶん銀行決済を追加
- ・ 結果通知プログラムのインタフェース仕様にじぶん銀行決済を追加

2013年5月17日 - 1.20版

- ・ 11.1.2.4. 支払結果受信 - 出力パラメータのパラメータ名「Status」の備考から「AUTHPROCESS: 認証中」を削除
- ・ 14.2.1. 結果通知受信の流れ - 以下文言を追記
※上記以外の電子証明書を使用する場合は、必ずテスト環境で疎通確認してください。
- ・ 14.2.2. 各インタフェース仕様詳細
出力パラメータ「Pay-easy決済、コンビニ決済、楽天Edy決済、モバイルSuica決済、WebMoney決済」の
パラメータ名「Status」の備考に「PAYSUCCESS: 決済完了」を追記

2013年6月1日 - 1.21版

- ・ auかんたん決済継続課金サービスを追加
- ・ auかんたん決済継続課金の取引状態遷移を追加
- ・ 取引状態参照のインタフェース仕様にauかんたん決済継続課金を追加
- ・ 結果通知プログラムのインタフェース仕様にauかんたん決済継続課金を追加

2013年7月21日 - 1.22版

- ・ 結果通知プログラムが対応しているSSL証明書案内が、誤解を招くような内容となっていたために変更

2013年9月17日 - 1.23版

- ・ ソフトバンクケータイ支払いからソフトバンクまとめて支払いに表記変更

2013年12月2日 - 1.24版

- JCBプリカ決済サービスを追加
- JCBプリカ決済の取引状態遷移を追加
- 取引状態参照のインタフェース仕様JCBプリカ決済を追加
- 結果通知プログラムのインタフェース仕様にJCBプリカ決済を追加
- ソフトバンクまとめて支払いからソフトバンクまとめて支払い（B）に表記変更

2014年3月18日 - 1.25版

- 12.7.3. ファイル情報の記載を修正
- 継続課金IDの桁数について修正

2014年4月30日 - 1.26版

- 6.1.2.1. 入力パラメータ jobCdの備考に「AUTH：仮売上」を追記
- 6.2.1. 仮売上取消の流れを追記
- 6.2.2.2. 仮売上取消についての記載を追加
- 6.3. 売上の確定についての記載を追加

2014年8月1日 - 1.27版

- フレッツ決済サービスを追加
- フレッツ決済の取引状態遷移を追加
- 取引状態参照のインタフェース仕様にフレッツ決済を追加
- 結果通知プログラムのインタフェース仕様にフレッツ決済を追加

2014年9月18日 - 1.28版

- NET CASH・nanacoギフト決済サービスを追加
- NET CASH・nanacoギフト決済の取引状態遷移を追加
- 取引状態参照のインタフェース仕様にNET CASH・nanacoギフト決済を追加
- 結果通知プログラムのインタフェース仕様にNET CASH・nanacoギフト決済を追加

2014年10月10日 - 1.29版

- ドコモケータイ払い決済とドコモ継続課金サービス決済の決済実行インタフェースに「利用店舗名」「連絡先電話番号」「メールアドレス」の項目を追加

2014年11月21日 - 1.30版

- 楽天ID決済サービスを追加
- 楽天ID決済の取引状態遷移を追加
- 取引状態参照のインタフェース仕様に楽天ID決済を追加
- 結果通知プログラムのインタフェース仕様に楽天ID決済を追加
- Bitcoin決済に関する記述を追加

2015年3月9日 - 1.31版

- ・ 多通貨クレジットカード決済サービスを追加
- ・ 多通貨クレジットカード決済の取引状態遷移を追加
- ・ 取引状態参照のインタフェース仕様に多通貨クレジットカード決済を追加
- ・ 結果通知プログラムのインタフェース仕様に多通貨クレジットカード決済を追加
- ・ 17.1.2.1. 取引登録 の接続先URLを変更
訂正前 : /payment/EntryTranNetCash.idPass
訂正後 : /payment/EntryTranNetcash.idPass
- ・ 17.1.2.2. 決済実行 の接続先URLを変更
訂正前 : /payment/ExecTranNetCash.idPass
訂正後 : /payment/ExecTranNetcash.idPass
- ・ 10.3.2.1. 課金売上取消・返品 の入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)
CancelAmount、CancelTax の必須項目を ● から ◎ に変更

2015年4月6日 - 1.32版

- ・ 多通貨クレジットカード決済に税送料を追加

2015年5月18日 - 1.33版

- ・ LINE Pay決済サービスを追加
- ・ LINE Pay決済の取引状態遷移を追加
- ・ 取引状態参照のインタフェース仕様にLINE Pay決済を追加
- ・ 結果通知プログラムのインタフェース仕様にLINE Pay決済を追加
- ・ 表1.2.2-14 楽天ID決済の取引状態遷移表 に状態遷移の処理時間を記載

2015年6月1日 - 1.34版

- ・ LINE Pay決済のインタフェース仕様を一部修正

2015年6月1日 - 1.35版

- ・ 11.1.2.2. ドコモケータイ払い決済の「決済実行/入力パラメータ」インタフェース仕様概要を一部修正
- ・ 12.1.2.2. ドコモ継続課金サービス決済の「決済実行/入力パラメータ」インタフェース仕様概要を一部修正

2015年6月30日 - 1.36版

- ・ 2.2. コンビニ決済の支払停止を実行する を追加
- ・ マルチ決済インタフェース仕様 コンビニ決済のStatusの概要に「CANCEL : 支払停止」を追加
- ・ 結果通知プログラムのインタフェース仕様 コンビニ決済のStatusの説明に「CANCEL : 支払停止」を追加

2015年7月30日 - 1.37版

- ・ 多通貨クレジットカード決済の本人認証サービス改善
- ・ 楽天ID文言一部修正

2015年8月10日 - 1.38版

- ・ ネット銀聯決済サービスを追加

2015年8月26日 - 1.39版

- LINE Pay決済の商品名に関する特記事項追記
- 10.5.3. /12.6.3. のショップID・オーダーIDの桁数を正しいものに改修
- NETCASH/nanacoギフト決済における、一回の決済上限金額を4万円から20万円に変更
- 12.6.3. ドコモ日次課金ファイル／データレコード改修

2015年9月17日 - 1.40版

- 楽天ID決済にクーポンに関する記述を追加
- 23.2. 取引状態の変更を受信する（結果通知） 削除
- 9.1.2.4. 決済結果受信 03.Webmoney ⇒ 04.Webmoney 変更
- ソフトバンクまとめて支払い（B）継続課金決済サービスを追加

2015年10月28日 - 1.41版

- 12.6.3. ファイル情報 ファイル名 値及び詳細修正

2015年11月5日 - 1.42版

- 2.1.2.2. コンビニ決済の「決済実行/出力パラメータ」に払込票URLを追加

2015年11月24日 - 1.43版

- 11.1.2.2. ドコモケータイ払い決済と12.1.2.2. ドコモ継続課金サービス決済の決済実行インタフェースに
- 「問い合わせURL」の項目を追加
- 「利用店舗名」「連絡先電話番号」「メールアドレス」の桁数に注記を追記
「利用店舗名」備考欄の説明を修正
修正前：DispShopName～DispMailAddress
修正後：DispShopName～DispShopUrl
- リクルートかんたん支払い決済を追加
- 12.6.3. ドコモ決済番号の桁数を18桁に修正

2015年12月7日 - 1.44版

- 24.3. 売上の確定を行う においてオーソリ有効期限についての説明を修正
- 24.5. 決済のオーソリ期限延長を行う においてオーソリ有効期限についての説明を修正
- 11.2. 決済の内容をキャンセル・返品する 文言改修
- 12.6. 日次課金ファイル送信 ファイル送信時間に関する文言を削除
- 12.7. 申込状況ファイル送信 ファイル送信時間に関する文言を削除
- 10.5.3. ファイル情報、12.6.3ファイル情報、12.7.3ファイル情報においてパラメータ名を追加

2016年1月13日 - 1.45版

- 11.2.2.1. 出力パラメータ Statusの説明を修正
- 19.1.2.2. 楽天ID決済の「決済実行/入力パラメータ」に複数商品に関する記述を追加
- 19.3.2.1. 楽天ID決済の「決済金額変更/入力パラメータ」に複数商品に関する記述を追加
- 1.2.2. リクルートかんたん支払いの状態遷移を修正
- 24.1.2.4. リクルートかんたん支払いの決済結果受信に関する記述を修正
- 24.5. リクルートかんたん支払いのオーソリ期限延長に関する記述を修正

2016年1月27日 - 1.46版

- ・ リクルートかんたん支払い決済において、Amountの桁を8から7に修正
- ・ リクルートかんたん支払い継続課金決済を追加

2016年2月16日 - 1.47版

- ・ 21.1.2.4. LINE Pay決済の決済結果受信の出力パラメータにショップID・オーダーIDを追加
- ・ 21.2.2.1. LINE Pay決済の決済キャンセル・返品 of 出力パラメータにオーダーIDを追加
- ・ 21.3.2.1. LINE Pay決済の実売上の出力パラメータにオーダーIDを追加
- ・ docomo ID を dアカウント に変更

2016年3月1日 - 1.48版

- ・ 「はじめに」に銀行振込(バーチャル口座)の記述を追加
- ・ 「1.1. 項目の説明」に銀行振込(バーチャル口座)の記述を追加
- ・ 「1.2.2. 取引状態の遷移について」に銀行振込(バーチャル口座)の記述を追加
- ・ 「26. 銀行振込(バーチャル口座)インタフェース仕様」を追加
- ・ 「27. マルチ決済インタフェース」に銀行振込(バーチャル口座)の記述を追加
- ・ フレッツ決済サービスについての記述削除

2016年4月19日 - 1.49版

- ・ 5.2. Pay-easy決済の支払停止を実行する を追加
- ・ 取引状態参照のインタフェース仕様Pay-easy決済
- ・ Statusの説明に「CANCEL：支払停止」を追加

2016年6月1日 - 1.50版

- ・ 「2.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ No.5 Convenience の備考を修正
- ・ 「2.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ No.18 RegisterDisp5 の備考を修正
- ・ 「2.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ No.19 RegisterDisp6 の備考を修正
- ・ 「2.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ No.20 RegisterDisp7 の備考を修正
- ・ 「2.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ No.21 RegisterDisp8 の備考を修正
- ・ 「2.1.2.2. 決済実行」出力パラメータ No.2 Convenience の備考を修正

2016年8月22日 - 1.51版

- ・ 「19.1.2.2. 決済実行」の入力パラメータ 17.Token を追加

2016年9月8日 - 1.52版

- ・ 「11.1.2.2.」入力パラメータ DispShopName～DispShopUrlの文字数制限を変更
- ・ 「12.1.2.2.」入力パラメータ DispShopName～DispShopUrlの文字数制限を変更
- ・ 「10.2.」ドコモ都度決済のキャンセル処理について仕様を変更

2016年9月16日 – 1.53版

- 「26.1.2.1. 取引状態参照」銀行振込(バーチャル口座) の出力パラメータに以下を追加
VaTradeCode
VaInquiryNumber
- 「26.1.2.1. 取引状態参照」銀行振込(バーチャル口座) の以下の出力パラメータ名を訂正

訂正前: ExpireDate	⇒ 訂正後: VaExpireDate
訂正前: TradeReason	⇒ 訂正後: VaTradeReason
訂正前: TradeClientName	⇒ 訂正後: VaTradeClientName
訂正前: TradeClientMailaddress	⇒ 訂正後: VaTradeClientMailaddress
訂正前: AccountNumber	⇒ 訂正後: VaAccountNumber
訂正前: BankCode	⇒ 訂正後: VaBankCode
訂正前: BankName	⇒ 訂正後: VaBankName
訂正前: BranchCode	⇒ 訂正後: VaBranchCode
訂正前: BranchName	⇒ 訂正後: VaBranchName
訂正前: AccountType	⇒ 訂正後: VaAccountType
訂正前: ReserveID	⇒ 訂正後: VaReserveID
訂正前: InSettlementDate	⇒ 訂正後: VaInSettlementDate
訂正前: InAmount	⇒ 訂正後: VaInAmount
訂正前: InClientName	⇒ 訂正後: VaInClientName
訂正前: InSummary	⇒ 訂正後: VaInSummary

2016年10月25日 – 1.54版

- 「11.4. 決済の内容を増額する」を追加

2016年11月07日 – 1.55版

- 「2.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ No.14~21、No.23~31 の備考を修正
- 「5.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ No.11~13 の備考を修正
- 「5.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ No.36 PaymentType を追加
- 「5.1.2.2. 決済実行」出力パラメータ No.12 PaymentURL を追加
- 「5.1.2.3. 金融機関選択画面の表示 (PaymentType : E の場合)」を追加
- 「5.1.2.4. 金融機関選択画面の表示 (※廃止予定)」に見出しを修正
- 「26.1.2.1. 取引状態参照」Pay-easy決済に No.17 PayeasyPaymentURL を追加
- 「11.2. 決済の内容をキャンセル・返品する」の説明を変更

2017年1月10日 – 1.56版

- 「5.1.2.2. 決済実行」の入力パラメータ PaymentType の備考を修正
- 口振セレクト決済を追加
- 「17.1.2.2. 決済実行」の入力パラメータ ItemMemo の桁変更

2017年1月23日 – 1.57版

- 「5.1.2.4. 金融機関選択画面の表示 (※廃止予定)」遷移用ページサンプル の吹き出しを修正

2017年2月20日 – 1.58版

- 「口座振替(セレクト)」の記述を削除 (別ドキュメントで提供)

2017年3月21日 - 1.59版

- Paid決済を追加
- 銀行振込(バーチャル口座)のAPI名称の誤記を修正

2017年6月12日 - 1.60版

- 楽天ID決済から楽天ペイに表記を変更

2017年7月18日 - 1.61版

- 10.5.2. 課金結果ファイルを送信する流れ
「※ショップ管理画面のメニュー「継続決済」>「auかんたん継続」>「設定」にて設定します。」に修正
- 12.6.2. 日次課金ファイルを送信する流れ
「※ショップ管理画面のメニュー「継続決済」>「docomo継続課金」>「設定」にて設定します。」に修正
- 12.7.2. 申込状況ファイルを送信する流れ
「※ショップ管理画面のメニュー「継続決済」>「docomo継続課金」>「設定」にて設定します。」に修正
- 8. WebMoney決済インタフェース仕様にクイック決済の記述を追加

2017年8月21日 - 1.62版

- 2.1.2.2. 決済実行のコンビニコード記載変更
- 5.1.2.2. 決済実行の決済タイプ記載変更
- 「表 1.2.2-7 ドコモケータイ払い決済の取引状態遷移表」の操作に随時決済を追加
- 「表 1.2.2-25 ドコモケータイ払い(利用承諾)の取引状態遷移表」を追加
- 「11.1.1. ドコモケータイ払い決済の流れ」に 随時決済の流れ を追加
- 「11.1.2.2. 決済実行」の入力パラメータ 12. RetURL を 条件により必須 に変更
- 「11.1.2.2. 決済実行」の入力パラメータに 18. DocomoAcceptCode を追加
- 「11.1.2.2. 決済実行」の出力パラメータに 随時決済の場合 を追加
- 「11.5. 利用承諾を行う」を追加
- 「11.6. 利用承諾の終了を行う」を追加
- 「27.1.2.1. 取引状態参照」にドコモケータイ払い(利用承諾)を追加

2017年11月13日 - 1.63版

楽天ペイ随時決済対応

- 「1.1. 項目の説明」に サブスクリプションID を追加
- 「表 1.2.2-14 楽天ペイの取引状態遷移表」の操作に申込、随時決済を追加
- 「19.1.1. 楽天ペイの流れ」に 随時決済の流れ を追加
- 「19.1.2.1. 取引登録」入力パラメータ JobCd の備考に「REGISTER：申込」を追加
- 「19.1.2.1. 取引登録」入力パラメータ Amount の備考に追記
- 「19.1.2.1. 取引登録」入力パラメータ Tax の備考に追記
- 「19.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ RetURL を「条件により必須」に変更
- 「19.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ ErrorRcvURL を「条件により必須」に変更
- 「19.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ ItemId を「条件により必須」に変更
- 「19.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ ItemName を「条件により必須」に変更
- 「19.1.2.2. 決済実行」入力パラメータに SubscriptionType を追加
- 「19.1.2.2. 決済実行」入力パラメータに SubscriptionNameを追加
- 「19.1.2.2. 決済実行」入力パラメータに SettlementSubscriptionId を追加

- ・ 「19.1.2.2. 決済実行」出力パラメータに「随時決済の場合」を追加
- ・ 「19.1.2.4. 決済結果受信」出力パラメータに SubscriptionId を追加
- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」楽天ペイのパラメータ Status の備考に追記
- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」楽天ペイのパラメータに SubscriptionId を追加
- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」楽天ペイのパラメータに SettlementSubscriptionId を追加

2018年1月15日 - 1.64版

- ・ 「9.2. 決済の内容をキャンセル・返品する」の「返品の場合、返品手数料が請求されます。」を削除
- ・ 「10.3. 課金を売上取消・返品する」の「返品の場合、返品手数料が請求されます。」を削除

2018年2月13日 - 1.65版

- ・ 「表 1.2.1-1 入出力項目の定義」の氏名・フリガナの項目に追記
- ・ 「20.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ商品名の注釈に追記
- ・ 「23.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ商品名の注釈に追記
- ・ 「24.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ商品名の注釈に追記
- ・ 「5.1.2.2. 決済実行」の返却パラメータ返却パラメータの暗号化決済番号に追記
- ・ 「11.1.2.1. 取引登録」入力パラメータに PaymentType を追加
- ・ 「18.1.2.2. 決済実行」楽天ペイのパラメータ SubscriptionName の備考に追記
- ・ 「18.1.2.4. 決済結果受信」楽天ペイのパラメータ SubscriptionIdの備考に追記

2018年3月12日 - 1.66版

- ・ 「18.1.2.2. 決済実行」楽天ペイのパラメータItemSubIdの桁数を修正
- ・ 「表1.2.2-2 PayPal取引状態遷移表」に 決済失敗後、paypal側で審査後のステータス変更 を追加
- ・ ドコモケータイ払いからドコモ払いに表記を変更
- ・ 「はじめに」にドコモ払い随時決済、auかんたん決済 随時決済、ソフトバンクまとめて支払(B)随時決済の記述を追加
- ・ 「1.1. 項目の説明」に ドコモ承諾番号、au承諾番号、SB承諾番号 を追加
- ・ 「9.1.2.4. 決済結果受信」出力パラメータ支払方法 の備考に「06 : au WALLET クレジットカード」を追加
- ・ 「11.1.1. ドコモ払い決済の流れ」から随時決済に関する記載を削除
- ・ 「11.1.2.1. 取引登録」からPaymentTypeを削除
- ・ 「11.1.2.2. 決済実行」から随時決済に関する記載を削除
- ・ 「11.5. 利用承諾を行う」を削除
- ・ 「11.6. 利用承諾の終了を行う」を削除
- ・ 「1.2.2-4 auかんたん決済の取引状態遷移表」の操作に随時決済を追加
- ・ 「1.2.2-10 ソフトバンクまとめて支払い（B）決済の取引状態遷移表」の操作に随時決済を追加
- ・ 「1.2.2-26 auかんたん決済(利用承諾)の取引状態遷移表」を追加
- ・ 「1.2.2-27 ソフトバンクまとめて支払い（B）(利用承諾)の取引状態遷移表」を追加
- ・ 「13.3. 売上の確定を行う」に減額での実売上について追記
- ・ 「13.3.2.1. 実売上」入力パラメータ Amount の説明に減額での実売上について追記
- ・ 「27. ドコモ払い随時決済インタフェース仕様」を追加
- ・ 「28. auかんたん決済 随時決済インタフェース仕様」を追加
- ・ 「29. ソフトバンクまとめて支払い（B） 随時決済インタフェース仕様」を追加
- ・ 「30.1.1. 取引状態参照の流れ」の図の項番を変更
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」入力パラメータ 決済方法 の備考に 31 : ドコモ払い(利用承諾)、32 : auかんたん(利用承

諾)、33: ソフトバンクまとめて支払い (B) (利用承諾)を追加

- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」ドコモ払いに DocomoAcceptCode を追加
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」auかんたん決済に AuAcceptCode を追加
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」ソフトバンクまとめて支払い (B) 決済 に SbAcceptCode を追加
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」に auかんたん決済(利用承諾) を追加
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」に ソフトバンクまとめて支払い (B) 決済(利用承諾) を追加

2018年4月16日 - 1.67版

- ・ 「1.1. 項目の説明」の継続口座ID(銀行振込(バーチャル口座))に設定可能文字を追記
- ・ 「20.2. 決済の内容をキャンセル・返品する」にキャンセル・返品可能期間を追加

Paid決済 項目「注文内容」追加対応

- ・ 「26.3.2.2. 決済実行」の入力パラメータに Contents を追加
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」Paid決済に PaidContents を追加
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」Paid決済 PaidCode の桁数を修正

2018年5月14日 - 1.68版

- ・ 「1.1. 項目の説明」4.利用金額 のコンビニ決済でセブンイレブンを指定した場合の下限金額についての表記を変更
- ・ 「2.1.2.1. 取引登録」の入力パラメータAmountのセブンイレブンを指定した場合の下限金額についての表記を変更
- ・ 「表 1.2.2-26 auかんたん決済(利用承諾)の取引状態遷移」決済が発生する旨の内容を削除
- ・ 「28.1. 利用承諾を行う」決済が発生する旨の内容を削除
- ・ 「28.1.2.1. 取引登録」入力パラメータからJobCd、Amount、Taxを削除
- ・ 「28.1.2.4. 決済結果受信」出力パラメータからPayInfoNoを削除、PayMethodの備考から03:WebMoneyを削除
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」の auかんたん決済(利用承諾)からAmount、Tax、AuPayInfoNoを削除
- ・ 「9.1.2.4. 決済結果受信」出力パラメータ支払方法 の備考から「06: au WALLET クレジットカード」を削除

2018年6月18日 - 1.69版

- ・ 「10.1.2.2. 決済実行」の入力パラメータAccountTimingの必須項目を 条件により必須 に修正
- ・ 「12.3.4.1. 継続課金終了(加盟店様)」の出力パラメータStatusの説明を修正
- ・ 多通貨決済クレジットカード決済「19.5.1.2. 決済後カード登録」を追加
- ・ 多通貨決済クレジットカード決済「19.2.2.2. 決済実行」のパラメータにSiteIDを追加
- ・ 多通貨決済クレジットカード決済「19.2.2.2. 決済実行」のパラメータにMemberIDを追加
- ・ 多通貨決済クレジットカード決済「19.2.2.2. 決済実行」のパラメータにSeqModeを追加
- ・ 多通貨決済クレジットカード決済「19.2.2.2. 決済実行」のパラメータにCardSeqを追加
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」多通貨クレジットカード決済のパラメータにSiteIDを追加
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」多通貨クレジットカード決済のパラメータにMemberIDを追加
- ・ 「表 1.2.2-28 PAYSLE決済 (PAYSLEアプリ方式) の取引状態遷移表」を追加
- ・ 「表 1.2.2-29 PAYSLE決済 (事業者アプリ方式) の取引状態遷移表」を追加
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」入力パラメータ 決済方法 の備考に 35: PAYSLEを追記
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」出力パラメータに PAYSLE決済 (PAYSLEアプリ方式) を追加
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」出力パラメータに PAYSLE決済 (事業者アプリ方式) を追加
- ・ 「32. PAYSLE決済 (PAYSLEアプリ方式) インタフェース仕様」を追加
- ・ 「33. PAYSLE決済 (事業者アプリ方式) インタフェース仕様」を追加

2018年7月17日 - 1.70版

- ・ 「33.3. PAYSLE決済のバーコードを発行する」
- ・ 支払い期限切れについて追記、支払い済みバーコードを取得することができる期間について追記

2018年8月13日 - 1.71版

- ・ 「9.1.2.2. 決済実行」の入力パラメータPaymentTermSecの説明を修正
- ・ 「33. PAYSLE決済（事業者アプリ方式）インタフェース仕様」バーコードデータの表示条件を追記

2018年9月10日 - 1.72版

- ・ 「33. PAYSLE決済（事業者アプリ方式）インタフェース仕様」バーコードデータ表示のレギュレーションについて追記
- ・ 「18.1.2.4. 決済結果受信」のNo.3のパラメーター誤りを修正
- ・ 「19. 多通貨クレジットカード決済」におけるカード番号の取扱い制限について追記
- ・ 「1.1. 項目の説明」に 52. 商品名(楽天ペイ) を追加

2018年11月12日 - 1.73版

- ・ じぶん銀行決済の提供が終了したため文言削除
- ・ 「表 1.2.2-8 ドコモ継続課金サービスの取引状態遷移表(基本データ)」オーソリ処理の操作前の状態を修正

2018年12月10日 - 1.74版

- ・ 「11.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ DispMailAddressの備考を修正
- ・ 「12.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ DispMailAddressの備考を修正
- ・ 「27.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ DispMailAddressの備考を修正
- ・ 「27.3.2.2. 決済実行」入力パラメータ DispMailAddressの備考を修正

2019年2月12日 - 1.75版

- ・ 「12.2.4.1. 基本データ金額変更（加盟店様）」接続先URLの不要なスペースを削除
- ・ 「12.3.4.1. 継続課金終了（加盟店様）」接続先URLの不要なスペースを削除
- ・ 「12.4.2.1. 課金データ減額確定」接続先URLの不要なスペースを削除
- ・ 「表 1.2.2-16 LINE Pay決済の取引状態遷移表」 「期限切れ」を追加

2019年3月18日 - 1.76版

- ・ 「11.3. 売上の確定を行う」 実売上に関する説明を追記
- ・ 「15.1.2.2. 売上の確定を行う」 No.12 CarryInfoのスペルミスを修正
- ・ 「25.2.2.2. 決済実行」 入力パラメータNo.10,11、出力パラメータ No.8に記載の「取引」表記を「振込」に変更
- ・ 「25.2.2.2. 決済実行」 入力パラメータ No.13 TradeClientMailaddressの備考を修正
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」
 - ・ PayPal決済 StatusとJobCdに「AUTH：仮売上」「SALES：実売上」「AUTH_CANCEL：仮売上取消」を追加
 - ・ auかんたん決済 Statusの備考「SALES：売上確定」を「SALES：実売上」に修正
 - ・ ドコモ払い決済 Statusの備考「SALES：売上確定」を「SALES：実売上」に修正
 - ・ ソフトバンクまとめて支払い（B）決済 Statusの備考「SALES：売上確定」を「SALES：実売上」に修正
 - ・ リクルートかんたん支払い決済 Statusの備考「SALES」のスペルミスを修正
 - ・ 銀行振込(バーチャル口座) No.11 PayTypeの備考を「23：銀行振込(バーチャル口座)」に修正
 - ・ 銀行振込(バーチャル口座) No.12～15の意味を修正
 - ・ 銀行振込(バーチャル口座) No.27の意味・備考を「摘要」に修正

2019年4月15日 - 1.77版

- ・ 「インターフェース」「インタフェース」等を全て「インターフェース」に統一
- ・ 「ソフトバンクまとめて支払い(B)」「ソフトバンクまとめて支払い(B)」等を全て「ソフトバンクまとめて支払い (B)」

に統一

- ・ 「13.1.2.3. 支払手続き開始IFの呼び出し」「13.1.2.3. 支払手続き開始IFの呼び出し」「22.1.2.3. 支払手続き開始IFの呼び出し」
- ・ 「インターフェース」「インタフェース」等を全て「インターフェース」に統一

2019年8月19日 - 1.78版

- ・ 「多通貨クレジットカード決済」「多通貨決済」から「多通貨クレジットカード決済 (MCP)」、「多通貨クレジットカード」から「多通貨クレジットカード (MCP)」に表記を変更

2019年10月15日 - 1.79版

- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」の出力パラメータ カード決済 承認番号の備考欄に説明を追記

2019年11月18日 - 1.80版

- ・ 「13.2. 決済の内容をキャンセルする」 売上が確定済みの場合のキャンセル可能期間を修正
- ・ 「20.1.2.2. 決済実行」 入力パラメータMidの概要を修正
- ・ 「20.1.2.2. 決済実行」 入力パラメータDeliveryPlacePhoneとPackageNameを削除

2019年12月9日 - 1.81版

- ・ 「26.1. 取引先を登録する」 利用規約のご案内先URLを修正
- ・ 「12.4. 課金データを減額確定する」 減額確定に失敗した場合の説明を追記

2020年1月20日 - 1.82版

- ・ 「11.1.2.3. 支払手続き開始IFの呼び出し」 処理概要、インターフェース概要を修正
- ・ 「12.1.2.3. 継続課金支払開始IFの呼び出し」 処理概要、インターフェース概要を修正
- ・ 「12.2.2.2. 基本データ変更開始IFの呼び出し」 処理概要、インターフェース概要を修正
- ・ 「12.3.2.2. 継続課金終了開始IFの呼び出し」 処理概要、インターフェース概要を修正
- ・ 「27.1.2.3. 支払手続き開始IFの呼び出し」 処理概要、インターフェース概要を修正

2020年3月17日 - 1.83版

- ・ 「22.2. 課金データを取消する」 売上が確定済みの場合のキャンセル可能期間を修正

2020年4月14日 - 1.84版

- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」の出力パラメータ 銀行振込(バーチャル口座) 処理区分の項目を削除

2020年5月19日 - 1.85版

- ・ 「12.6.3. ファイル情報」のデータレコードのNo.11をドコモ課金番号に修正

2020年6月16日 - 1.86版

- ・ au WALLET クレジットカードからau PAY カードに表記を変更

2020年8月18日 - 1.87版

- ・ 「26.1.2.1. 取引先登録」の入力パラメータ「支払方法」に「3: コンビニ払い」を追加
- ・ 「26.2.2.2. 取引先利用可能額確認」のAPIを追加

2020年9月15日 - 1.88版

- ・ 「20.1.2.2. 決済実行」の入力パラメータに returnUrl を追加

- ・ 「26.6.2.1. 実売上」の入力パラメータに FixedAtを追加

2020年10月20日 – 1.89版

- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」の出力パラメータ カード決済 商品コードの項目を追加
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」の出力パラメータ iDネット決済 サイトIDの項目を追加
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」の出力パラメータ Pay-easy決済 サイトIDの項目を追加
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」の出力パラメータ コンビニ決済 サイトID,入金確定日の項目を追加
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」の出力パラメータ 楽天Edy決済 サイトIDの項目を追加
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」の出力パラメータ モバイルSuica決済 処理日時の項目を追加
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」の出力パラメータ LINE Pay決済 サイトID,会員IDの項目を追加
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」の出力パラメータ 銀行振込(バーチャル口座) 振込要求金額,振込依頼人コードの項目を追加

2020年11月17日 – 1.90版

- ・ 「19.1.2.1.取引登録」のAmount,Taxの備考に補足を追記

2020年12月15日 – 1.91版

- ・ 「22.1.2.4. 決済結果受信」の出力パラメータ StartChargeMonthの項目を削除

2021年2月16日 – 1.92版

- ・ 「10.2.2.1. 継続課金解約」の出力パラメータ Statusの説明を修正
- ・ 「18.3.2.1. 決済金額変更」入力パラメータ Taxの必須項目を修正
- ・ 「18.4.2.1. 実売上」の出力パラメータ ErrCode、ErrInfoの項目を追加
- ・ 「21.3.2.1. 決済返品」の入力パラメータ CancelAmountとCancelTaxの桁を修正
- ・ 「21.3.2.1. 決済返品」の出力パラメータ Amount・Tax・CancelAmount・CancelTaxの桁を修正
- ・ 「21.4.2.1. 実売上」の入力パラメータ AmountとTaxの桁を修正
- ・ 「21.4.2.1. 実売上」の出力パラメータ AmountとTaxの桁を修正
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」WebMoney決済の出力パラメータ Statusの備考を修正
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」JCBプリカ決済の出力パラメータ Statusの備考を修正
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」多通貨クレジットカード決済(MCP)の出力パラメータ Statusの備考を修正
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」ドコモ払い決済の出力パラメータ Statusの備考を修正
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」ドコモ継続課金決済の出力パラメータ Statusの備考を修正
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」auかんたん決済の出力パラメータ Statusの備考を修正
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」auかんたん決済継続課金の出力パラメータ Statusの備考を修正
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」NET CASH・nanacoギフト決済の出力パラメータ Statusの備考を修正
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」ネット銀聯決済の出力パラメータ Statusの備考を修正

2021年3月16日 – 1.93版

- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」ソフトバンクまとめて支払い(B)決済の出力パラメータ Statusの備考を修正
- ・ ドキュメント統合のためPayPal決済の記載を削除

2021年4月20日 – 1.94版

- ・ 「9.1.2.4. 決済結果受信」出力パラメータ PayMethodの備考に「05 : au PAY 残高」「06 : au PAY カード」を追加
- ・ 「10.1.2.4. 決済結果受信」出力パラメータ AuPayMethodの備考に「06 : au PAY カード」を追加

- ・ ドキュメント統合のためLINE Pay決済の記載を削除

2021年6月15日 - 1.95版

- ・ 「9.1.2.4. 決済結果受信」出力パラメータ PayMethodの備考を修正

2021年7月20日 - 1.96版

- ・ 「33.1.2.2.決済実行」「33.3.2.1.バーコード発行」入力パラメータ DeviceNameの備考を修正

2021年8月17日 - 1.97版

- ・ 多通貨クレジットカード決済（MCP）CheckStringの備考を修正

2021年9月22日 - 1.98版

- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」入力パラメータ PayTypeの備考を修正
- ・ 「30.1.2.1. 取引状態参照」Pay-easy決済、コンビニ決済の出力パラメータ Statusの備考を修正

2021年10月19日 - 1.99版

- ・ 「5.1.2.2.決済実行」出力パラメータ PaymentURLの備考を追記
- ・ 「19.1.2.4. 決済結果受信」出力パラメータ CheckStringの備考を修正

1. はじめに

本書は、お客様が当サービスのコンビニ、楽天Edy、モバイルSuica、Pay-easy、iDネット、WebMoney、auかんたん決済、ドコモ払い決済、ソフトバンクまとめて支払い（B）決済、JCBプリカ決済、NETCASH・nanacoギフト決済、BitCoin決済、楽天ペイ、多通貨クレジットカード決済（MCP）、ネット銀聯決済、ソフトバンクまとめて支払い（B）継続課金決済、リクルートかんたん支払い決済、リクルートかんたん支払い継続課金決済、銀行振込(バーチャル口座)、Paid決済、ドコモ払い随時決済、auかんたん決済随時決済、ソフトバンクまとめて支払い（B）随時決済の開発を行う際に、円滑に進められるようにすることを目的にしています。カード決済につきましては、別紙「プロトコルタイプ(カード決済インタフェース仕様)」を参照ください。

本書では、以下のような表記を使用します。

『』：処理状態または処理区分

【】：インタフェース名

1.1. 項目の説明

ここでは、本書で使用している項目を説明します。

以下に、各インタフェースの入出力で使用している項目を説明します。

表 1.1-1 入出力項目の定義

No	項目	説明
1	ショップID	弊社が発行する加盟店様を識別するIDです。
2	ショップパスワード	弊社が発行する加盟店様を識別するIDに対するパスワードです。
3	オーダーID	<p>加盟店様が取引を識別するために使用して頂くIDです。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字と”-“(ハイフン)」です。</p> <p>メールリンク決済では、弊社側で「ML-ORDER」で開始するオーダーIDを自動生成します。メールリンクと他の接続方式を併用される場合、「ML-ORDER」で開始されるオーダーIDはご利用にならないようお願いします。</p>
4	利用金額	<p>税送料を含まない金額です。</p> <p>決済を行う金額を1円以上で設定します。尚、0円やマイナス金額を設定した場合はエラーとなります。</p> <p>円以外の通貨での決済の場合、0.01以上の金額で設定します。0や通貨ごとの設定上限金額を設定した場合はエラーとなります。</p> <p>※通貨ごとの設定上限金額の詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。</p> <p>また、決済手段により決済可能な金額に上限があります。決済手段による上限金額の詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。</p> <p>※コンビニ決済でセブンイレブンを指定した場合、下限金額は契約により異なります。</p> <p>「ショップ管理画面 > ショップ管理 > ショップ情報 > 決済別契約情報 > コンビニ」をご確認ください。</p> <p>※楽天ペイを指定した場合は、利用金額+税送料が100円以上である必要があります。</p>
5	税送料	<p>送料等の実際の商品金額とは異なる金額です。</p> <p>税送料を設定した場合には、決済金額が利用金額と税送料を合わせたものとなります。</p>
6	通貨コード	<p>決済で利用する通貨を3桁のコードで指定します。</p> <p>設定可能な文字は「半角英字」です。存在しない通貨コードを指定した場合、エラーとなります。</p> <p>※利用可能な通貨コードについては、別紙「制限事項一覧」を参照ください。</p>
7	取引ID	当サービスにて発行する取引を識別するためのユニークなIDです。
8	取引パスワード	当サービスにて発行する取引を識別するIDに対するパスワードです。

9	加盟店自由項目1～3	<p>加盟店様で自由に設定できる項目となります。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。</p>
10	加盟店自由項目返却フラグ	<p>設定された自由項目の値を決済完了時に返却するかを指定するフラグです。</p> <p>0：返却しない(デフォルト) 1：返却する</p>
11	決済日付	当サービスの決済を行った日時です。
12	現状態	取引の現在状態です。
13	バージョン	パラメータのバージョンを指定します。
14	支払先コンビニコード	支払先のコンビニ会社コードです。各コンビニ会社のコードにつきましては、別紙「仕向先会社コード一覧」を参照ください。
15	氏名	<p>お客様名です。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。</p> <p>※コンビニ決済の場合は制御一覧ではなく、各コンビニの仕様に基づきます。 ※コンビニ決済でセブンイレブンを指定した場合は、半角記号は使用できません。</p>
16	フリガナ	<p>お客様のフリガナです。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。</p> <p>※コンビニ決済の場合は「制限事項一覧」ではなく各コンビニの仕様に基づきます。</p>
17	電話番号	<p>お客様の電話番号です。</p> <p>設定可能な文字は「半角数字と”-“(ハイフン)」です。</p>
18	支払期限日数	<p>支払期限日数を指定します。支払期限日時の算出に使います。</p> <p>※コンビニ決済でセブンイレブンを指定した場合は、指定可能な支払期限日数の下限が1となります。</p>
19	結果通知先メールアドレス	お客様に送信する結果通知先メールアドレスです。
20	加盟店メールアドレス	お客様への結果通知メールの送信時、加盟店様側にBCC 転送する際の送信先メールアドレスです。
21	予約番号	<p>Loppi・Famiバウチャー受領書に表示される予約番号です。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ')」です。</p>

22	会員番号	<p>Loppi・Famiパウチャー受領書に表示される会員番号です。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ')」です。</p>
23	レジ・ATM表示欄1~8	<p>レジ・ATMに表示される内容です。</p> <p>設定可能な文字は「全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。</p>
24	レシート・利用明細表示欄1~10	<p>レシート・利用明細に表示される内容です。</p> <p>設定可能な文字は「全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。</p>
25	お問い合わせ先	<p>Loppi・Famiパウチャー受領書に表示される内容です。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。</p>
26	お問い合わせ先受付時間	<p>Loppi・Famiパウチャー受領書に表示される内容です。</p> <p>設定可能な文字は「半角数字と”-“(ハイフン)および”:(コロン)」です。</p> <p>また、設定は「09:00-18:00」といった「2桁:2桁-2桁:2桁」書式で設定する必要があります。</p>
27	お問い合わせ先電話番号	<p>Loppi・Famiパウチャー受領書に表示される内容です。</p> <p>設定可能な文字は「半角数字と”-“(ハイフン)」です。</p>
28	Suica注文番号	当サービスがSuica決済ごとに発行する注文番号です。
29	商品・サービス名	<p>Suica、iDネット、WebMoneyで決済を行うときの商品・サービス名を指定します。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」です。</p> <p>※WebMoney決済の場合、半角記号は使用できません。</p> <p>全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。</p>
30	メールアドレス	お客様がSuica、楽天Edyに登録したメールアドレスです。
31	決済開始メール付加情報	<p>Suica、楽天Edyで決済を行うときのメール付加情報です。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。</p>

32	決済完了メール付加情報	Suica,楽天Edyで決済を行うときのメール付加情報です。 設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。
33	決済完了画面付加情報	Suicaで決済を行うときの画面に表示する付加情報です。 設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。
34	決済内容確認画面付加情報	Suicaで決済を行うときの画面に表示する付加情報です。 設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。
35	支払期限日時	支払期限の日時です。
36	支払期限秒	支払期限秒を指定します。支払期限日時の算出に使います。
37	決済方法	行った決済方法です。
38	受信結果	結果通知を行ったときの受信結果です。
39	収納機関番号	Pay-easy収納機関番号です。
40	お客様番号	Pay-easyお客様番号です。
41	MD5ハッシュ	入力内容のOrderID～TranDate+ショップパスワードのハッシュ値にした内容です。
42	確認番号	コンビニで決済を行ったときの確認番号です。
43	受付番号	支払先が返却した受付番号です。
44	Edy注文番号	当サービスが楽天Edy決済ごとに発行する注文番号です。
45	受付日時	各決済手段で後続の決済センターが受け付けた日時です。
46	入金確定日時	各決済手段で入金の確定した日時です。
47	処理日時	当サービスを行ったときの処理日時です。
48	エラーコード	実行時にエラーが発生した場合、エラーコードを出力します。複数のエラーがある場合、" "で接続された文字列になります。
49	エラー詳細コード	実行時にエラーが発生した場合、エラー詳細を出力します。複数のエラーがある場合、" "で接続された文字列になります。
50	照会ID	照会を識別する為のIDです。 照会データの登録時に当サービスで発行します。 加盟店様は照会結果の取得時に、照会IDを指定してください。
51	レコード区分	ヘッダ、データ、フッタレコードを識別する為の区分です。
52	商品名 (楽天ペイ)	楽天ペイで利用される商品名です。 文字バイトチェックにはUTF-8を使用しているため、全角文字は3byteで換算されます。(UTF-8はバイト数チェックにのみ利用されます)

53	商品ID (楽天ペイ)	楽天ペイの商品IDです。 設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(-、_)」です。
54	サブ商品ID (楽天ペイ)	楽天ペイのサブ商品IDです。 設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(-、_)」です。 加盟店様独自のポイントシステムがある加盟店様の場合必須です。 [趣旨] 1つの加盟店様側ユーザIDに対して、決済することができる楽天会員IDは1つのみです。(逆は可) [目的] 1) 楽天スーパーポイント規約にて禁止されている「ポイントの合算」に該当する恐れがあるため。(楽天スーパーポイント利用規約 第4 条2 項) 2) 複数の楽天会員ID を使用した不正利用被害の抑止のため [実装方法] ユーザに対してユニークな文字列 (MD5で暗号化したユーザIDのハッシュ値等) を設定します。これを楽天側で初回決済時の楽天会員IDと紐付けることにより、1つの加盟店様側ユーザIDに対して複数の楽天会員IDでの決済をできなくしております。
55	クーポン金額 (楽天ペイ)	楽天ペイでお客様が決済の際に使用されたクーポンの金額です。 クーポン金額はマイナスで表示されます。
56	複数商品 (楽天ペイ)	楽天ペイでお客様が決済の際に複数商品を指定する場合、設定します。 XMLフォーマットをUTF-8でBASE64エンコーディングした値を設定してください。 下記の文字はご利用いただけません。 & > < (半角スペース)
57	商品名 (LINE Pay決済)	ドキュメント統合しましたので、今後は「LINE Pay決済」をご参照ください。
58	払込票URL	コンビニ決済のセブンイレブン決済の際に発行される払込票のURLです。

59	商品名 (リクルートかんたん支払い)	<p>リクルートかんたん支払いで利用される商品名です。</p> <p>文字バイトチェックはUTF-8を使用しているため、全角文字は3byteで換算されます。</p> <p>JISX0208定義文字とし、JIS非漢字+JIS第一水準+JIS第二水準をご利用いただけます。また下記の文字はご利用いただけません。</p> <p>禁則文字一覧</p> <p>文字 説明</p> <p>— ダッシュ</p> <p>\ バックスラッシュ</p> <p>～ 波ダッシュ</p> <p>. パラレル</p> <p>— 二分ダッシュ</p> <p>¢ セント</p> <p>£ ポンド</p> <p>¬ 否定算術記号</p>
60	利用金額(振込依頼金額) (銀行振込(バーチャル口座))	<p>決済実行時にお客様に振込みを依頼する税送料を含まない金額です。</p> <p>※指定した振込依頼金額（利用金額、税送料）と異なる金額が入金される可能性があります。</p>
61	税送料(振込依頼金額) (銀行振込(バーチャル口座))	<p>決済実行時にお客様に振込みを依頼する税送料です。</p> <p>※指定した振込依頼金額（利用金額、税送料）と異なる金額が入金される可能性があります。</p>
62	取引有効日数 (銀行振込(バーチャル口座))	<p>決済実行日から振込みが可能な日数です。</p> <p>決済実行から指定した日数（+取引猶予期間）が経過すると該当取引は有効期限切れとなります。</p>
63	取引有効期限 (銀行振込(バーチャル口座))	<p>決済実行時に返却される取引有効日数から算出した取引の有効期限日付です。</p> <p>(yyyyMMdd形式)</p> <p>お客様には、本項目の日付までに振込みするよう案内してください。</p>
64	取引事由 (銀行振込(バーチャル口座))	<p>お客様に案内する取引の内容です。</p> <p>本項目は、振込依頼メールの「利用内容」欄に記載されます。</p> <p>全角+半角文字が使用可能です。</p>
65	振込依頼者氏名 (銀行振込(バーチャル口座))	<p>振込みを依頼するお客様の氏名です。</p> <p>本項目は、振込依頼メールの「お客様氏名」として使用されます。</p> <p>全角+半角文字が使用可能です。</p>
66	振込依頼者メールアドレス (銀行振込(バーチャル口座))	<p>振込みを依頼するお客様のメールアドレスです。</p> <p>本項目を指定することにより、決済実行時に振込依頼メールが送信されます。</p>
67	銀行コード (銀行振込(バーチャル口座))	<p>バーチャル口座の銀行コードです。</p>

68	銀行名 (銀行振込(バーチャル口座))	バーチャル口座の銀行名です。
69	支店コード (銀行振込(バーチャル口座))	バーチャル口座の支店コードです。
70	支店名 (銀行振込(バーチャル口座))	バーチャル口座の支店名です。
71	預金種別 (銀行振込(バーチャル口座))	バーチャル口座の預金種別です。 以下のコードで預金種別を示します。 1：普通預金、2：当座預金
72	口座番号 (銀行振込(バーチャル口座))	バーチャル口座の口座番号です。
73	振込コード (銀行振込(バーチャル口座))	決済実行時に返却される振込みを識別するための7桁の数字です。 取引と入金を紐付けするために使用します。 振込みをする際に「振り込み依頼人」に本項目値＋氏名を入力するよう案内してください。 ※振込依頼メールを送信した場合は、メール本文に本項目が記載されます。
74	継続口座ID (銀行振込(バーチャル口座))	継続口座に割り当てるIDです。 設定可能な文字は「半角英数字と」 - “(ハイフン)”です。
75	Paid取引先ID	Paidにおいて加盟店様の取引先を識別する一意なIDです。 ※英数半角と「-」「.」「_」が入力可。
76	Paid番号	Paidに登録した取引先企業に対して割り振られる番号です。
77	Paid伝票番号	Paid決済時に当サービスで発行する伝票番号です。
78	WebMoenyクイックID	WebMoney決済時にWebMoneyプリペイド番号を登録するIDです。
79	サブスクリプションID (楽天ペイ)	楽天ペイにおいて随時決済を行う際に指定するIDです。 随時決済の最終利用日から2年経過すると無効になります。 また、楽天ペイ利用履歴からお客様が利用するカードを変更した場合、楽天ペイ上で最終利用日が更新されます。
80	ドコモ承諾番号	利用承諾時に払い出されたドコモ承諾番号です。 随時決済をする際に必要です。
81	au承諾番号	利用承諾時に払い出されたau承諾番号です。 随時決済をする際に必要です。
82	SB承諾番号	利用承諾時に払い出されたSB承諾番号です。 随時決済をする際に必要です。

1.2. 開発するにあたっての注意事項

ここでは、プロトコル・タイプで開発するにあたっての注意事項を説明します。

1.2.1. 取引について

以下に、取引内容についての注意事項を説明します。

取引の削除

当サービスは、一度取引を行うと結果にエラーがあった場合でも取引の削除はできませんのでご注意ください。

オーソリを失敗した場合でもオーダーIDの再利用はできませんので、オーダーIDに注文書番号等の変更ができない番号は使用しないでください。使用する必要がある場合は、注文番号＋連番のような発番ルールを推奨します。

1.2.2. 取引状態の遷移について

以下に、各取引状態の遷移を説明します。

表 1.2.2-1 取引状態遷移表

操作(状態変化)	操作結果	コンビニ 決済	モバイル Suica決済	楽天Edy 決済	Pay-easy 決済	WebMoney 決済	NET CASH・ nanacoギフト 決済
取引登録	—	未決済	未決済	未決済	未決済	未決済	未決済
決済要求	成功	要求成功	要求成功	要求成功	要求成功	要求成功	要求成功
	失敗	未決済	未決済	未決済	未決済	未決済	未決済
入金通知	—	決済完了	決済完了	決済完了	決済完了	決済完了	決済完了
メール不達通知	—	—	—	決済失敗	—	—	—
未入金で 支払期限切れ	—	期限切れ	期限切れ	期限切れ	期限切れ	期限切れ	期限切れ

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-2 PayPal取引状態遷移表

ドキュメント統合しましたので、今後は「PayPal決済」をご参照ください。

表 1.2.2-3 IDネット決済の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済要求	成功	未決済	要求成功
	失敗	未決済	未決済
携帯電話での認証およびオーソリ処理	成功	要求成功	AUTHPROCESS
	成功	AUTHPROCESS	仮売上／即時売上
	失敗	要求成功／AUTHPROCESS	決済失敗
実売上	成功	仮売上	実売上
	失敗	仮売上	仮売上
金額変更	成功	仮売上	仮売上
	失敗	仮売上	仮売上
キャンセル	成功	仮売上／	キャンセル
		実売上／	
		即時売上	
	失敗	仮売上／	仮売上／
		実売上／	実売上／
		即時売上	即時売上
操作が未完了で支払期限切れ	—	要求成功	期限切れ

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-4 auかんたん決済の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済実行	成功	未決済	要求成功
	失敗		未決済
決済開始手続きIFの呼び出し	成功	要求成功	認証中
	失敗		要求成功
OpenID連携処理 (auと弊社間による処理)	成功	認証中	認証中
	失敗		決済失敗
お客様がauにて認証、 支払操作完了後の決済処理	成功	認証中	仮売上／即時売上
	失敗		決済失敗
キャンセル	成功	仮売上／実売上／即時売上	キャンセル
	失敗	仮売上／実売上／即時売上	仮売上／実売上／即時売上
返品	成功	実売上／即時売上	返品
	失敗	実売上／即時売上	実売上／即時売上
決済実行 (随時決済)	成功	未決済	仮売上／即時売上
	失敗		未決済

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-5 auかんたん決済継続課金の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済要求	成功	未決済	要求成功
	失敗	未決済	未決済
au ID 認証処理	成功	要求成功	認証中
	失敗	要求成功	決済失敗
au決済認可処理	成功	認証中	決済認可完了
	失敗	認証中	認証中
継続課金登録処理	成功	決済認可完了	継続課金登録
	失敗	決済認可完了	決済認可完了
継続課金解約処理	成功	継続課金登録	継続課金解約
	失敗	継続課金登録	継続課金登録
継続課金確認	失敗	継続課金登録	決済失敗
操作が未完了で支払期限切れ	—	要求成功	要求成功

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-6 auかんたん決済継続課金の課金状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
継続課金登録	成功	—	課金確認待ち
	失敗	—	—
	残余エラー	—	残余
	エラー	—	処理取消エラー
継続課金確認	成功	課金確認待ち 課金確認エラー 残余	売上確定
	失敗	課金確認待ち 課金確認エラー 残余	課金失敗
	エラー	課金確認待ち 課金確認エラー 残余	確認エラー
課金売上取消・返金	成功	売上確定	売上取消 返金
	失敗	売上確定	売上確定

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-7 ドコモ払い決済の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済実行	成功	未決済	要求成功
	失敗		未決済
決済開始手続きIFの呼び出し	成功	要求成功	認証処理中
	失敗		決済失敗
dアカウント 注文情報連携処理 (ドコモと弊社間による処理)	成功	認証処理中	認証処理中
	失敗		決済失敗
dアカウント 認証処理 (ドコモと弊社間による処理)	成功	認証処理中	認証処理中
	失敗		決済失敗
お客様がドコモにて認証、 支払操作完了後の決済処理	成功	認証処理中	仮売上／即時売上
	キャンセル ／失敗		決済失敗
実売上	成功	仮売上	実売上
	失敗		仮売上
キャンセル	成功	仮売上／実売上／即時売上	キャンセル
	失敗		仮売上／実売上／即時売上
増額	成功	実売上／即時売上	実売上／即時売上
	失敗		実売上／即時売上
操作が未完了で支払期限切れ	—	認証処理中	期限切れ
決済実行 (随時決済)	成功	未決済	仮売上／即時売上
	失敗		未決済

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-8 ドコモ継続課金サービスの取引状態遷移表(基本データ)

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済要求	成功	未決済	要求成功
	失敗	未決済	未決済
dアカウント 認証処理	成功	要求成功	認証中
	失敗	要求成功	決済失敗
オーソリ処理	成功	認証中	契約中
	失敗	認証中	決済失敗
減額確定	成功	課金待ち	課金済
	失敗	課金待ち	無効
キャンセル	成功	課金待ち／課金済み	キャンセル
	失敗	課金待ち／課金済み	課金待ち／課金済み
金額変更	成功	契約中	契約中
	失敗	契約中	契約中
終了	成功	契約中	終了
	失敗	契約中	契約中

表 1.2.2-9 ドコモ継続課金サービスの取引状態遷移表(課金データ)

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
減額確定	成功	課金待ち	課金済
	失敗	課金待ち	無効
キャンセル・返品	成功	課金待ち／課金済み	キャンセル
	失敗	課金待ち／課金済み	課金待ち／課金済み

表 1.2.2-10 ソフトバンクまとめて支払い（B）決済の取引状態遷移表

操作（状態変化）	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済実行	成功	未決済	要求成功
	失敗		未決済
決済開始手続きIFの呼び出し	成功	要求成功	認証中
	失敗		要求成功
お客様がソフトバンクにて認証、 支払操作完了後の決済処理	成功	認証中	仮売上／即時売上
	失敗		決済失敗
実売上	成功	仮売上	実売上
	失敗		仮売上
キャンセル	成功	仮売上／実売上／即時売上	キャンセル
	失敗		仮売上／実売上／即時売上
決済実行（随時決済）	成功	未決済	仮売上／即時売上
	失敗		未決済

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-11 じぶん銀行決済の取引状態遷移表

じぶん銀行決済は提供終了しました。

表 1.2.2-12 JCBプリカ決済の取引状態遷移表

操作（状態変化）	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済要求	成功	未決済	支払完了
	失敗	未決済	未決済
取消要求	成功	支払完了	キャンセル
	失敗	支払完了	支払い完了

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する状態、結果、若しくは操作がないことを表しています。

詳細は弊社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

表 1.2.2-13 Bitcoin決済の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済要求	成功	未決済	未決済
	失敗	未決済	未決済
決済実行	成功	未決済	支払完了
	失敗	未決済	未決済

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する状態、結果、若しくは操作がないことを表しています。

詳細は弊社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

表 1.2.2-14 楽天ペイの取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済実行	成功	未決済	要求成功
	失敗		未決済
決済開始手続きIFの呼び出し	成功	要求成功	決済開始
	失敗		要求成功
お客様が楽天ペイにて認証、 支払操作完了後の決済処理	成功	決済開始	仮売上／即時売上
	失敗		決済失敗
お客様が楽天ペイにて認証、 申込後の決済処理	成功	決済開始	申込完了
	失敗		決済失敗
実売上	成功	仮売上	実売上受付け(※1)
	失敗		仮売上
キャンセル	成功	仮売上／実売上	キャンセル受付け(※1)
	失敗		仮売上／実売上
金額変更	成功	仮売上／実売上	金額変更受付け(※1)
	失敗		仮売上／実売上
操作が未完了で支払期限切れ	—	要求成功	期限切れ
決済実行 (随時決済)	成功	未決済	仮売上受付け／即時売上受付け (※1)
	失敗		未決済
当サービスによる楽天ペイとの同期処理 (※2)	成功	実売上受付け	実売上
	失敗		仮売上
当サービスによる楽天ペイとの同期処理 (※2)	成功	キャンセル受付け	キャンセル
	失敗		仮売上／実売上 (キャンセル実施前の状態)
当サービスによる楽天ペイとの同期処理 (※2)	成功	金額変更受付け	仮売上
	失敗		仮売上／実売上 (金額変更実施前の状態)
当サービスによる楽天ペイとの同期処理 (※2)	成功	仮売上受付け	仮売上
	失敗		決済失敗
当サービスによる楽天ペイとの同期処理 (※2)	成功	即時売上受付け	即時売上
	失敗		決済失敗

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

※1 処理受付後に当サービスが楽天ペイとの同期処理を行います。

※2 楽天ペイ側での処理が非同期のため状態遷移には 5分～60分ほどかかります。

お客様検証環境においては、同タイミングで状態遷移が行われます。

表 1.2.2-15 多通貨クレジットカード決済（MCP）の取引状態遷移表

操作（状態変化）	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済要求	成功	未決済	本人認証実行済
	失敗	未決済	未決済
決済開始	成功	本人認証実行済	決済開始
	失敗	本人認証実行済	本人認証実行済
3DS認証処理	成功	決済開始	仮売上／即時売上要求中
	失敗	決済開始	決済失敗
実売上	成功	仮売上	実売上要求中(※1)
	失敗	仮売上	仮売上
キャンセル	成功	仮売上	取消
		実売上	返品要求中(※1)
		即時売上	
	失敗	仮売上／実売上／即時売上	仮売上／実売上／即時売上

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

※1 処理受付後に当サービスが入金返金情報を取得し、それぞれ「実売上」「キャンセル」「仮売上」に取引状態が遷移します。失敗した取引は、操作前の状態へ遷移します。

表 1.2.2-16 LINE Pay決済の取引状態遷移表

ドキュメント統合しましたので、今後は「LINE Pay決済」をご参照ください。

表 1.2.2-17 ネット銀聯決済の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済要求	成功	未決済	要求成功
	失敗	未決済	決済失敗
決済開始	成功	要求成功	決済開始
	失敗	要求成功	決済失敗
ネット銀聯での認証、 支払操作完了後の決済処理	成功	決済開始	仮売上／即時売上
	失敗	決済開始	決済失敗
実売上	成功	仮売上	実売上要求→実売上(※2)
	失敗	仮売上	実売上要求→仮売上(※2)
キャンセル	成功	仮売上／実売上／即時売上	キャンセル要求→ キャンセル(※2)
	失敗	仮売上／実売上／即時売上	キャンセル要求→ 仮売上／実売上／即時売上 (※2)
返品	成功	実売上／即時売上	返品要求→返品 (※1)(※2)
	失敗	実売上／即時売上	返品要求→実売上／即時売上 (※2)

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

※1 全額返品の場合は返品へと遷移します。一部返品の場合、操作前の状態から遷移はしません。

※2 処理受付後に「要求」に取引状態が遷移し、処理完了時に「実売上」「キャンセル」「仮売上」に取引状態が遷移します。失敗した取引は、操作前の状態へ遷移します。

表 1.2.2-18 ソフトバンクまとめて支払い（B）継続課金決済の取引状態遷移表

操作（状態変化）	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済要求	成功	未決済	要求成功
	失敗		未決済
決済開始	成功	要求成功	認証処理中
	失敗		決済失敗
ソフトバンクにて認証、 支払操作完了後の決済処理	成功	認証処理中	継続課金登録
	失敗		継続課金登録失敗
	キャンセル		認証処理キャンセル
継続課金解約処理	成功	継続課金登録	継続課金解約
	失敗		継続課金登録
操作が未完了で支払期限切れ	—	要求成功	期限切れ

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-19 ソフトバンクまとめて支払い（B）継続課金決済の課金データ状態遷移表

操作（状態変化）	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
課金要求	成功	—	課金要求
	失敗	—	課金要求失敗
課金確定	成功	課金要求	課金済み
	失敗	課金要求	課金失敗
課金データ取消	成功	課金要求	課金要求取消
		課金済み	課金取消
	失敗	課金要求	課金要求
		課金済み	課金済み

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-20 リクルートかんたん支払い決済の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済要求	成功	未決済	要求成功
	失敗	未決済	未決済
決済開始	成功	要求成功	認証処理中
	失敗		決済失敗
リクルートかんたん支払いにて認証、 支払操作完了後の決済処理 (仮売上)	成功	認証処理中	仮売上
	失敗		決済失敗
リクルートかんたん支払いにて認証、 支払操作完了後の決済処理 (即時売上)	成功	認証処理中	即時売上
	失敗		決済失敗
実売上	成功	仮売上	実売上
	失敗		仮売上
キャンセル	成功	仮売上	キャンセル
		実売上／即時売上	返品
	失敗	仮売上	仮売上
		実売上／即時売上	実売上／即時売上
自動キャンセル(※1)	成功	仮売上	自動キャンセル
	失敗		仮売上
金額変更	成功	仮売上／実売上／即時売上	仮売上／実売上／即時売上
	失敗	仮売上／実売上／即時売上	仮売上／実売上／即時売上
オーソリ期限延長	成功	仮売上	仮売上
	失敗		仮売上

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

※1 仮売上の取引においてオーソリの有効期限が切れた場合、リクルートかんたん支払いにより自動でキャンセルが行われます。

表 1.2.2-21 リクルートかんたん支払い継続課金決済の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済要求	成功	未決済	要求成功
	失敗		未決済
決済開始	成功	要求成功	認証処理中
	失敗		要求成功
リクルートかんたん支払いにて認証、 支払操作完了後の決済処理	成功	認証処理中	継続課金登録
	失敗		継続課金登録失敗
金額変更	成功	継続課金登録	継続課金登録
	失敗		
継続課金解約	成功	継続課金登録	継続課金解約
	失敗		継続課金登録
操作が未完了で支払期限切れ	—	要求成功	期限切れ

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-22 リクルートかんたん支払い継続課金決済の課金データ状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
課金要求	成功	—	課金要求
	失敗	—	課金要求失敗
課金確定	成功	課金要求	課金済み
	失敗		課金失敗
課金データ取消	成功	課金要求	課金要求取消
		課金済み	課金取消
	失敗	課金要求	課金要求
		課金済み	課金済み

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-23 銀行振込(バーチャル口座)の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済実行	成功	未決済	取引中
	失敗	未決済	未決済
お客様からの入金	—	取引中	入金済み
取引有効期限を超過しても お客様からの入金なし	—	取引中	有効期限切れ

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-24 Paid決済の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済実行	成功	未決済	要求成功(※1)
	失敗	未決済	未決済
実売上	成功	仮売上	実売上
	失敗	仮売上	仮売上
キャンセル	成功	仮売上	キャンセル
	失敗	仮売上	仮売上
金額変更	成功	仮売上	仮売上
	失敗	仮売上	仮売上
返品	成功	実売上	返品
	失敗	実売上	実売上

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

※1 処理受付後に当サービスからPaidに注文登録を行います。

成功した場合は「仮売上」、失敗した場合は「決済失敗」へ遷移します。

表 1.2.2-25 ドコモ払い(利用承諾)の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済実行	成功	未決済	要求成功
	失敗		未決済
決済開始手続きIFの呼び出し	成功	要求成功	認証中
	失敗		決済失敗
dアカウント注文情報連携処理 (ドコモと弊社間による処理)	成功	認証中	認証中
	失敗		決済失敗
dアカウント 認証処理 (ドコモと弊社間による処理)	成功	認証中	認証中
	失敗		決済失敗
お客様がドコモにて認証、 支払操作完了後の決済処理	成功	認証中	利用承諾
	キャンセル ／失敗		決済失敗
利用承諾終了	成功	利用承諾	利用承諾終了
	失敗		利用承諾
ドコモによる利用承諾終了	—	利用承諾	利用承諾終了
操作が未完了で支払期限切れ	—	要求成功／認証中	期限切れ

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-26 auかんたん決済(利用承諾)の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済実行	成功	未決済	要求成功
	失敗		未決済
決済開始手続きIFの呼び出し	成功	要求成功	認証中
	失敗		要求成功
OpenID連携処理 (auと弊社間による処理)	成功	認証中	認証中
	失敗		決済失敗
お客様がauにて認証、 支払操作完了後の決済処理	成功	認証中	利用承諾
	失敗		決済失敗
利用承諾終了	成功	利用承諾	利用承諾終了
	失敗		利用承諾

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-27 ソフトバンクまとめて支払い（B）（利用承諾）の取引状態遷移表

操作（状態変化）	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済実行	成功	未決済	要求成功
	失敗		未決済
決済開始	成功	要求成功	認証中
	失敗		要求成功
お客様がソフトバンクにて認証、 支払操作完了後の決済処理	成功	認証中	利用承諾
	キャンセル ／失敗		決済失敗
利用承諾終了	成功	利用承諾	利用承諾終了
	失敗		利用承諾

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-28 PAYSLE決済（PAYSLEアプリ方式）の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作 結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済実行	成功	未決済	要求成功(※1)
	失敗		未決済
当サービスによるPAYSLEとの 同期処理(※2)	成功	要求成功	支払待ち
	失敗		決済失敗
支払停止	成功	支払待ち	支払停止受付(※1)
	失敗		支払待ち
当サービスによるPAYSLEとの 同期処理(※2)	成功	支払停止受付	支払停止
	失敗		支払待ち (支払停止実施前の状態)
PAYSLEによる支払通知(※3)	—	支払待ち 支払停止受付 決済完了(収納結果：支払い) 支払待ち(収納結果：支払取消)	決済完了(収納結果：支払い)
PAYSLEによる支払取消通知(※4)	—	決済完了(収納結果：支払い) 支払待ち(収納結果：支払取消)	支払待ち(収納結果：支払取消)
PAYSLEによる支払確定通知(※5)	—	支払待ち 支払待ち(収納結果：支払取消) 決済完了(収納結果：支払い)	決済完了(収納結果：支払確定)

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

※1 処理受付後に当サービスがPAYSLEとの同期処理を行います。

※2 PAYSLE側での処理が非同期のため状態遷移には 30分～60分ほどかかります。

※3 支払通知はお客様がコンビニで支払手続きを行った後、1分～6分ほどで通知されます。

※4 支払取消通知はお客様がコンビニで支払手続きをキャンセルした後、2,3営業日後に通知されます。

※5 支払確定通知はお客様がコンビニでお支払い後、5営業日以降に通知されます。

・補足事項

支払通知は下記の順序で配信されることがあります。

支払通知 > 支払確定通知 (通常の場合)

支払通知 > 支払取消通知 > 支払通知 > 支払確定通知

支払通知 > 支払通知 > 支払取消通知 > 支払確定通知

支払通知 > 支払取消通知

支払通知 > 支払通知 > 支払取消通知 > 支払取消通知

表 1.2.2-29 PAYSLE決済（事業者アプリ方式）の取引状態遷移表

操作（状態変化）	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済実行	成功	未決済	要求成功
	失敗		未決済
支払停止	成功	要求成功	支払停止
	失敗		要求成功
PAYSLEによる支払通知(※1)	—	要求成功 決済完了(収納結果：支払い) 要求成功(収納結果：支払取消)	決済完了(収納結果：支払い)
PAYSLEによる支払取消通知(※2)	—	決済完了(収納結果：支払い) 要求成功(収納結果：支払取消)	要求成功 (収納結果：支払取消)
PAYSLEによる支払確定通知(※3)	—	要求成功 要求成功(収納結果：支払取消) 決済完了(収納結果：支払い)	決済完了 (収納結果：支払確定)

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

※1 支払通知はお客様がコンビニで支払手続きを行った後、1分～6分ほどで通知されます。

※2 支払取消通知はお客様がコンビニで支払手続きをキャンセルした後、2,3営業日後に通知されます。

※3 支払確定通知はお客様がコンビニでお支払い後、5営業日以降に通知されます。

・補足事項

支払通知は下記の順序で配信されることがあります。

支払通知 > 支払確定通知（通常の場合）

支払通知 > 支払取消通知 > 支払通知 > 支払確定通知

支払通知 > 支払通知 > 支払取消通知 > 支払確定通知

支払通知 > 支払取消通知

支払通知 > 支払通知 > 支払取消通知 > 支払取消通知

1.2.3. 当サービスのタイムアウトについて

当サービスが、外部システムとの通信を行う際に使用するタイムアウトについて説明します。

後続の決済センターと接続する場合

【決済実行】の各処理時に後続の決済センターと通信を行っています。処理の遅延を考慮して、当サービスでは90秒でタイムアウトが発生します。加盟店様では、90秒+ α の値を当サービスとのタイムアウト値として設定してください。余裕をみて**120秒程度でタイムアウト値を設定**してください。

2. コンビニ決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

2.1. コンビニ決済依頼する

購入時にお客様がコンビニ決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

2.1.1. コンビニ決済の流れ

以下に、コンビニ決済の流れを説明します。

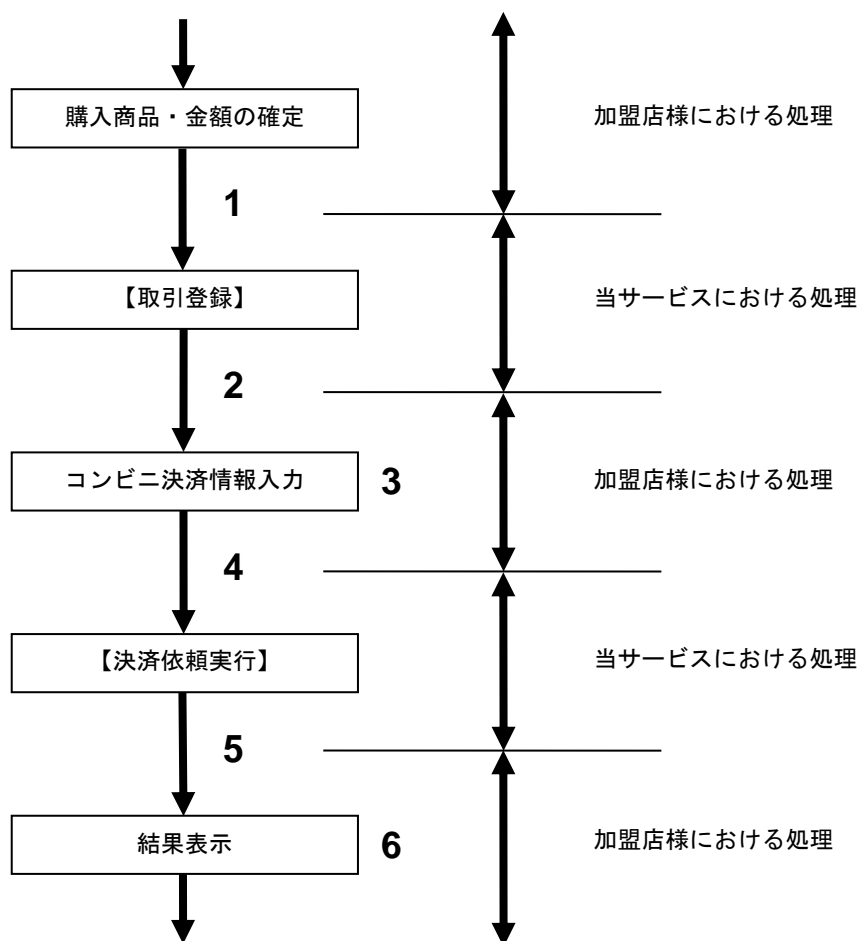


図 2.1.1-1 コンビニ決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、お客様にコンビニ決済に必要な情報を入力して頂く画面を表示します。
4. 加盟店様は、入力されたコンビニ決済情報をもって当サービスの**【決済依頼実行】**を呼び出します。
5. 当サービスは、コンビニ決済情報を使用して後続の決済センターとの通信を行い決済を実施し結果を返します。
6. 加盟店様は、決済の結果をお客様に表示します。

2.1.2. 各インタフェース仕様詳細

2.1.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranCvs.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	Amount	◎	NUMBER	6	利用金額	セブンイレブンの場合 下限金額(利用金額+税送料)は契約により異なります。 「ショップ管理画面 > ショップ管理 > ショップ情報 > 決済別契約情報 > コンビニ」をご確認ください。
6	Tax		NUMBER	6	税送料	

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】
※1: 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)
ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

2.1.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranCvs.idPass

インタフェース概要

お客様が入力した情報で後続の決済センターと通信を行い決済を実施し、結果を返します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
3	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
5	Convenience	◎	CHAR	5	支払先コンビニコード	決済依頼するコンビニの会社コードを設定します。
6	CustomerName	◎	CHAR	40	氏名	お客様の氏名 セブンイレブンを指定した場合は、半角記号は使用できません。
7	CustomerKana	◎	CHAR	40	フリガナ	お客様のフリガナ
8	TelNo	◎	CHAR	13	電話番号	お客様の電話番号
9	PaymentTermDay		CHAR	2	支払期限日数	省略時は、ショップ情報に設定された支払期限日数で処理されます。 ※セブンイレブンを指定した場合は、指定可能な支払期限日数の下限が1となります。
10	MailAddress		CHAR	256	結果通知先メールアドレス	お客様の結果通知先メールアドレスを設定してください。
11	ShopMailAddress		CHAR	256	加盟店メールアドレス	お客様へ「コンビニ決済依頼完了のお知らせ」メールを送信する際に、同時に加盟店様にも送信する場合のメールアドレスを設定してください。 (BCCで設定されます。) 省略時は、ショップ情報に設定されたメールアドレスで処理されます。
12	ReserveNo		CHAR	20	予約番号	Loppi・Famiポートを使用した際にバウチャー受領書に表示されます。
13	MemberNo		CHAR	20	会員番号	Loppi・Famiポートを使用した際にバウチャー受領書に表示されます。
14	RegisterDisp1		CHAR	32	POSレジ表示欄1	ショップ名称を設定してください。 (例) ○△ギフトショップ
15	RegisterDisp2		CHAR	32	POSレジ表示欄2	POSレジに表示されます。
16	RegisterDisp3		CHAR	32	POSレジ表示欄3	POSレジに表示されます。
17	RegisterDisp4		CHAR	32	POSレジ表示欄4	POSレジに表示されます。
18	RegisterDisp5		CHAR	32	POSレジ表示欄5	POSレジに表示されます。
19	RegisterDisp6		CHAR	32	POSレジ表示欄6	POSレジに表示されます。
20	RegisterDisp7		CHAR	32	POSレジ表示欄7	POSレジに表示されます。
21	RegisterDisp8		CHAR	32	POSレジ表示欄8	POSレジに表示されます。

22	ReceiptsDisp1		CHAR	60	レシート表示欄1	レシートに表示されます。 例) ご利用ありがとうございました。
23	ReceiptsDisp2		CHAR	60	レシート表示欄2	レシートに表示されます。
24	ReceiptsDisp3		CHAR	60	レシート表示欄3	レシートに表示されます。
25	ReceiptsDisp4		CHAR	60	レシート表示欄4	レシートに表示されます。
26	ReceiptsDisp5		CHAR	60	レシート表示欄5	レシートに表示されます。
27	ReceiptsDisp6		CHAR	60	レシート表示欄6	レシートに表示されます。
28	ReceiptsDisp7		CHAR	60	レシート表示欄7	レシートに表示されます。
29	ReceiptsDisp8		CHAR	60	レシート表示欄8	レシートに表示されます。
30	ReceiptsDisp9		CHAR	60	レシート表示欄9	レシートに表示されます。
31	ReceiptsDisp10		CHAR	60	レシート表示欄10	レシートに表示されます。
32	ReceiptsDisp11	◎	CHAR	42	お問い合わせ先	Loppi・Famiポートを使用した際にバウチャー受領書に表示されます。
33	ReceiptsDisp12	◎	CHAR	12	お問い合わせ先電話番号	Loppi・Famiポートを使用した際にバウチャー受領書に表示されます。
34	ReceiptsDisp13	◎	CHAR	11	お問い合わせ先受付時間	Loppi・Famiポートを使用した際にバウチャー受領書に表示されます。 例) 09:00-18:00
35	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
36	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
37	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
38	ClientFieldFlag		CHAR	1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定します。 0: 返却しない(デフォルト) 1: 返却する

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Convenience	-	CHAR	5	支払先コンビニコード	【決済実行】呼び出し時に指定した値、または弊社側で変換された値を返却します。
3	ConfNo	-	CHAR	20	確認番号	お客様が支払い時に使用する番号を返却します。
4	ReceiptNo	-	CHAR	32	受付番号	お客様が支払い時に使用する番号を返却します。
5	PaymentTerm		CHAR	14	支払期限日時	お客様の払込期限を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
6	TranDate	-	CHAR	14	決済日付	決済依頼を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
7	ReceiptUrl	-	CHAR	256	払込票URL	セブンイレブンの場合のみ返却されます。
8	CheckString	-	CHAR	32	MD5ハッシュ	OrderID～TranDate+ショップパスワードのハッシュ値(※1)を返却します。
9	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	【決済実行】時に加盟店自由項目返却フラグが返却する場合のみ返却します。
10	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
11	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
12	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)
13	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：出力内容のOrderID～TranDateとショップパスワードをベースにしたハッシュ値

※2：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

2.2. コンビニ決済の支払停止を実行する

コンビニ決済では、決済実行した取引の支払停止が可能です。

支払停止が可能なコンビニ、期間については、別紙「制限事項一覧」を参照ください。

2.2.1. コンビニ決済の支払停止の流れ

以下に、コンビニ決済の支払停止の流れを説明します。

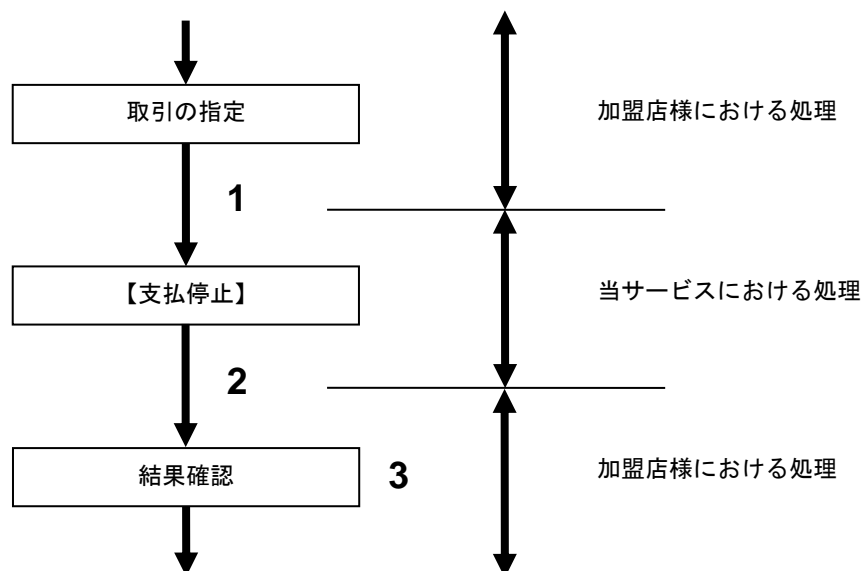


図 2.2.1-1 コンビニ決済の支払停止の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、取引を指定し当サービスの**【支払停止】**を呼び出します。
2. 当サービスは、後続の決済センターとの通信を行い取消処理を実施し結果を返します。
3. 加盟店様は、取消結果を確認します。

2.2.2. 各インタフェース仕様詳細

2.2.2.1. 支払停止

接続先URL

/payment/CvsCancel.idPass

インタフェース概要

コンビニ決済センターとの通信を行い取引の支払停止処理を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	入力パラメータの値を返却します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ CANCEL
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

3. モバイルSuica決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

3.1. モバイルSuica決済依頼する

購入時にお客様がモバイルSuica決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

3.1.1. モバイルSuica決済の流れ

以下に、モバイルSuica決済の流れを説明します。

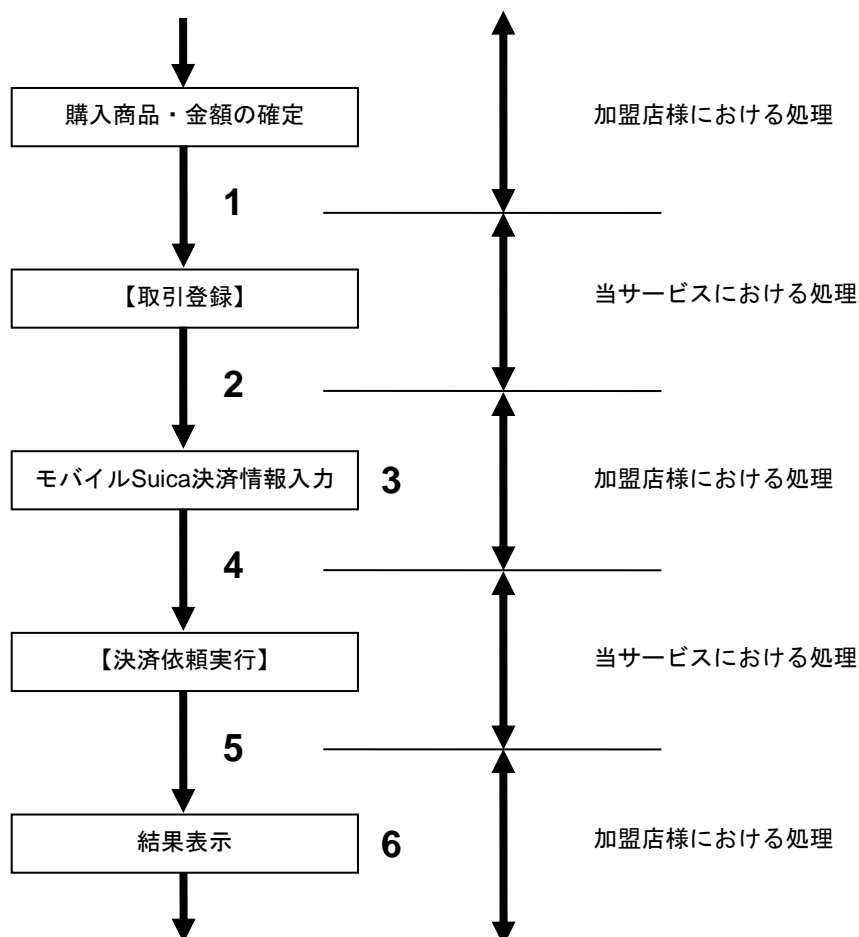


図 3.1.1-1 モバイルSuica決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、お客様にモバイルSuica決済に必要な情報を入力する画面を表示します。
4. 加盟店様は、入力されたモバイルSuica決済情報をもって当サービスの**【決済依頼実行】**を呼び出します。
5. 当サービスは、モバイルSuica決済情報を使用してJR東日本との通信を行い決済を実施し結果を返します。
6. 加盟店様は、決済の結果をお客様に表示します。

3.1.2. 各インタフェース仕様詳細

3.1.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranSuica.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	Amount	◎	NUMBER	5	利用金額	
6	Tax		NUMBER	5	税送料	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)
 ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

3.1.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranSuica.idPass

インタフェース概要

お客様が入力した情報でＪＲ東日本(Suicaセンター)と通信を行い決済を実施し、結果を返します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
3	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
5	ItemName	◎	CHAR	40	商品・サービス名	モバイルSuicaアプリに表示されます。
6	MailAddress	◎	CHAR	256	メールアドレス	お客様の携帯メールアドレスを設定します。
7	ShopMailAddress		CHAR	256	加盟店メールアドレス	お客様へ結果通知メールを送信する際に同時に加盟店様にも送信する場合のメールアドレスを設定してください。 (BCCで設定されます。) 省略時は、ショップ情報に設定されたメールアドレスで処理されます。
8	SuicaAddInfo1		CHAR	256	決済開始メール付加情報	お客様へ決済依頼メールに付加する文章を指定します。
9	SuicaAddInfo2		CHAR	256	決済完了メール付加情報	お客様へ決済完了メールに付加する文章を指定します。
10	SuicaAddInfo3		CHAR	256	決済内容確認画面付加情報	お客様へ決済内容確認画面に付加する文章を指定します。
11	SuicaAddInfo4		CHAR	256	決済完了画面付加情報	お客様へ決済完了画面に付加する文章を指定します。
12	PaymentTermDay		NUMBER	2	支払期限日数	省略時は、ショップ情報に設定された支払期限日数で処理されます。
13	PaymentTermSec		NUMBER	5	支払期限秒	最大86,400秒(1日) 省略時は、ショップ情報に設定された支払期限秒で処理されます。 また、支払日数を0と設定した場合は、300秒以上を設定する必要があります。 (モバイルSuicaの仕様)
14	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
15	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
16	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
17	ClientFieldFlag		CHAR	1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定します。 0: 返却しない(デフォルト) 1: 返却する

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	SuicaOrderNo	-	CHAR	40	Suica注文番号	オーダーID + "-" + 連番の値を返却します。 お客様の携帯に表示されます。
3	ReceiptNo		CHAR	9	受付番号	Suica受付番号を返却します。 現状、使用する機会はありません。
4	PaymentTerm		CHAR	14	支払期限日時	お客様の払込期限を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	TranDate	-	CHAR	14	決済日付	決済依頼を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
6	CheckString	-	CHAR	32	MD5ハッシュ	OrderID～TranDate+ショップパスワードのハッシュ値(※1) を返却します。
7	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	【決済実行】時に加盟店自由項目返却フラグが返却する場合のみ返却
8	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
9	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
10	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)
11	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：出力内容のOrderID～TranDateとショップパスワードをベースにしたハッシュ値

※2：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

4. 楽天Edy決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

4.1. 楽天Edy決済依頼する

購入時にお客様が楽天Edy決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

4.1.1. 楽天Edy決済の流れ

以下に、楽天Edy決済の流れを説明します。

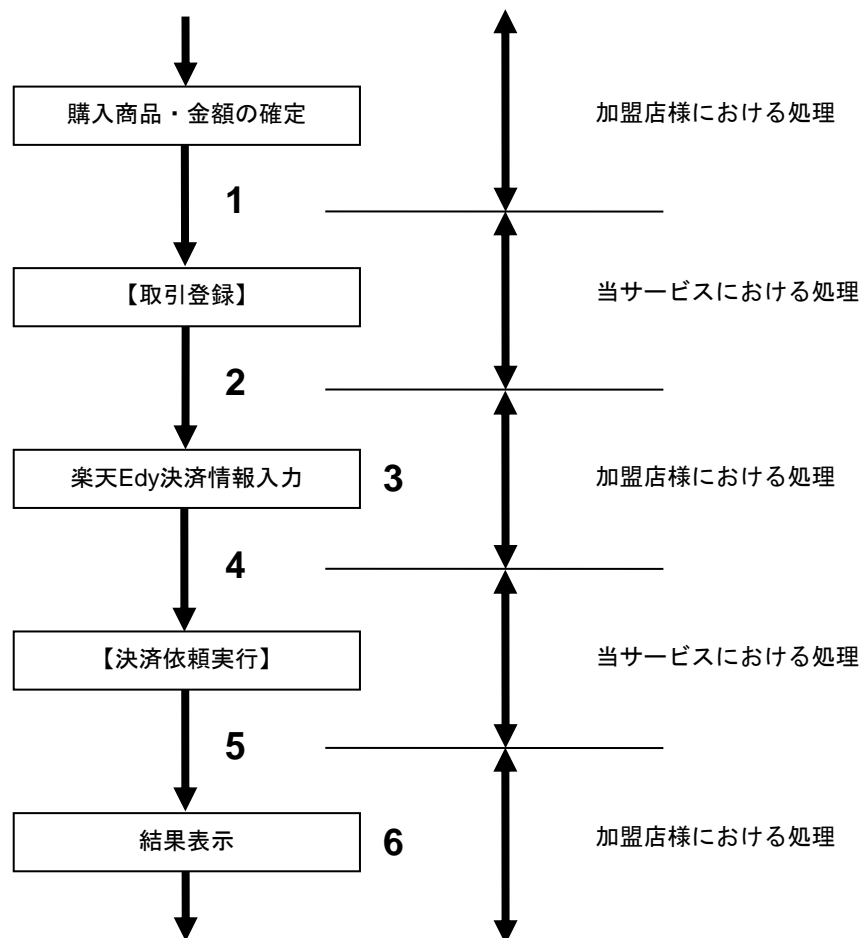


図 4.1.1-1 楽天Edy決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、お客様に楽天Edy決済に必要な情報を入力する画面を表示します。
4. 加盟店様は、入力された楽天Edy決済情報をもって当サービスの**【決済依頼実行】**を呼び出します。
5. 当サービスは、楽天Edy決済情報を使用して楽天Edyとの通信を行い決済を実施し結果を返します。
6. 加盟店様は、決済の結果をお客様に表示します。

4.1.2. 各インタフェース仕様詳細

4.1.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranEdy.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	Amount	◎	NUMBER	5	利用金額	
6	Tax		NUMBER	5	税送料	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

4.1.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranEdy.idPass

インタフェース概要

お客様が入力した情報で楽天Edyセンターと通信を行い決済を実施し、結果を返します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
3	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
5	MailAddress	◎	CHAR	256	メールアドレス	お客様の携帯メールアドレスを設定します。
6	ShopMailAddress		CHAR	256	加盟店メールアドレス	お客様へ結果通知メールを送信する際に同時に加盟店様にも送信する場合のメールアドレスを設定してください。 (BCCで設定されます。) 省略時は、ショップ情報に設定されたメールアドレスで処理されます。
7	EdyAddInfo1		CHAR	180	決済開始メール付加情報	お客様へ決済依頼メールに付加する文章を指定します。
8	EdyAddInfo2		CHAR	320	決済完了メール付加情報	お客様へ決済完了メールに付加する文章を指定します。
9	PaymentTermDay		NUMBER	2	支払期限日数	省略時は、ショップ情報に設定された支払期限日数で処理されます。
10	PaymentTermSec		NUMBER	5	支払期限秒	最大86,400秒(1日) 省略時は、ショップ情報に設定された支払期限秒で処理されます。
11	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
12	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
13	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
14	ClientFieldFlag		CHAR	1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定します。 0：返却しない(デフォルト) 1：返却する

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	ReceiptNo	-	CHAR	16	受付番号	Edy受付番号を返却します。 現状、使用する機会はありません。
3	EdyOrderNo	-	CHAR	40	Edy注文番号	オーダーID + "-" + 連番の値を返却します。 お客様の携帯に表示されます。
4	PaymentTerm	-	CHAR	14	支払期限日時	お客様の払込期限を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	TranDate	-	CHAR	14	決済日付	決済依頼を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
6	CheckString	-	CHAR	32	MD5ハッシュ	OrderID～TranDate+ショップパスワードのハッシュ値(※1)を返却します。
7	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	【決済実行】時に加盟店自由項目返却フラグが返却する場合のみ返却します。
8	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
9	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
10	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)
11	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：出力内容のOrderID～TranDateとショップパスワードをベースにしたハッシュ値

※2：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

5. Pay-easy決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

5.1. Pay-easy決済依頼する

購入時にお客様がPay-easy決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

5.1.1. Pay-easy決済の流れ

以下に、Pay-easy決済の流れを説明します。

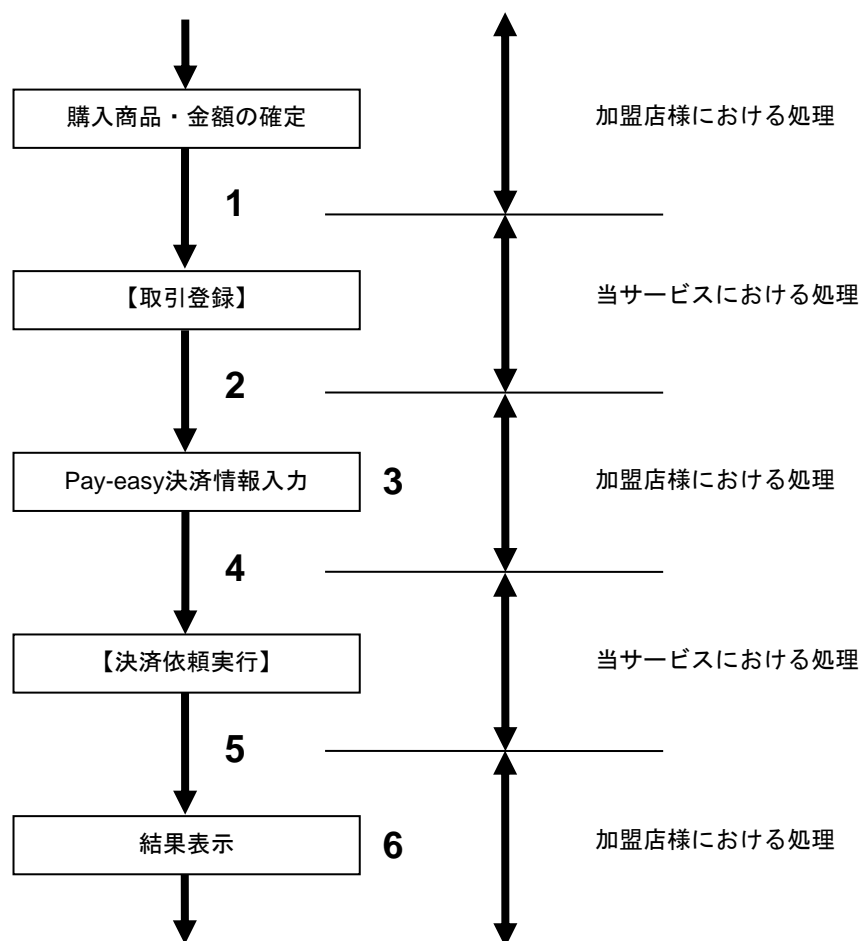


図 5.1.1-1 Pay-easy決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、お客様にPay-easy決済に必要な情報を入力する画面を表示します。
4. 加盟店様は、入力されたPay-easy決済情報をもって当サービスの**【決済依頼実行】**を呼び出します。
5. 当サービスは、Pay-easy決済情報を使用してPay-easy会社との通信を行い決済を実施し結果を返します。
6. 加盟店様は、決済の結果をお客様に表示します。

(ネットバンキングへ遷移する場合) 金融機関選択画面への遷移用ページを表示します。

5.1.2. 各インタフェース仕様詳細

5.1.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranPayEasy.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	Amount	◎	NUMBER	6	利用金額	
6	Tax		NUMBER	6	税送料	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

5.1.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranPayEasy.idPass

インタフェース概要

お客様が入力した情報で後続の決済センターと通信を行い決済を実施し、結果を返します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
3	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
5	CustomerName	◎	CHAR	40	氏名	お客様の氏名
6	CustomerKana	◎	CHAR	40	フリガナ	お客様のフリガナ
7	TelNo	◎	CHAR	13	電話番号	お客様の電話番号
8	PaymentTermDay		NUMBER	2	支払期限日数	省略時は、ショップ情報に設定された支払期限日数で処理されます。
9	MailAddress		CHAR	256	結果通知先メールアドレス	お客様の結果通知先メールアドレスを設定してください。
10	ShopMailAddress		CHAR	256	加盟店メールアドレス	お客様へ結果通知メールを送信する際に同時に加盟店様にも送信する場合のメールアドレスを設定してください。 (BCCで設定されます。) 省略時は、ショップ情報に設定されたメールアドレスで処理されます。
11	RegisterDisp1		CHAR	32	ATM表示欄1	ショップ名称を設定してください。 (例) ○△ギフトショップ (※1)
12	RegisterDisp2		CHAR	32	ATM表示欄2	ATMに表示される。(※1)
13	RegisterDisp3		CHAR	32	ATM表示欄3	ATMに表示される。(※1)
14	RegisterDisp4		CHAR	32	ATM表示欄4	
15	RegisterDisp5		CHAR	32	ATM表示欄5	
16	RegisterDisp6		CHAR	32	ATM表示欄6	
17	RegisterDisp7		CHAR	32	ATM表示欄7	
18	RegisterDisp8		CHAR	32	ATM表示欄8	
19	ReceiptsDisp1		CHAR	60	利用明細表示欄1	
20	ReceiptsDisp2		CHAR	60	利用明細表示欄2	
21	ReceiptsDisp3		CHAR	60	利用明細表示欄3	
22	ReceiptsDisp4		CHAR	60	利用明細表示欄4	
23	ReceiptsDisp5		CHAR	60	利用明細表示欄5	
24	ReceiptsDisp6		CHAR	60	利用明細表示欄6	
25	ReceiptsDisp7		CHAR	60	利用明細表示欄7	
26	ReceiptsDisp8		CHAR	60	利用明細表示欄8	
27	ReceiptsDisp9		CHAR	60	利用明細表示欄9	
28	ReceiptsDisp10		CHAR	60	利用明細表示欄10	

29	ReceiptsDisp11	◎	CHAR	42	お問い合わせ先	
30	ReceiptsDisp12	◎	CHAR	12	お問い合わせ先電話番号	
31	ReceiptsDisp13	◎	CHAR	11	お問い合わせ先受付時間	例) 09:00-18:00
32	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
33	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
34	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
35	ClientFieldFlag		CHAR	1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定します。 0: 返却しない(デフォルト) 1: 返却する
36	PaymentType		CHAR	1	決済タイプ	決済タイプを設定します。 設定する値については、別紙「仕向先会社コード一覧」を参照ください。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

※1: 決済タイプを指定した場合は利用されません。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	CustID	-	CHAR	11	お客様番号	お客様が支払時に使用する番号を返却します。
3	BkCode	-	CHAR	5	収納機関番号	お客様が支払時に使用する番号を返却します。
4	ConfNo	-	CHAR	20	確認番号	お客様が支払時に使用する番号を返却します。
5	EncryptReceiptNo	-	CHAR	128	暗号化決済番号	金融機関選択画面を呼び出す際に使用する番号を返却します。(※1)
6	PaymentTerm		CHAR	14	支払期限日時	お客様の払込期限を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
7	TranDate	-	CHAR	14	決済日付	決済依頼を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
8	CheckString	-	CHAR	32	MD5ハッシュ	OrderID～TranDate+ショップパスワードのハッシュ値(※2)を返却します。
9	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	【決済実行】時に加盟店自由項目返却フラグが返却する場合のみ返却します。
10	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
11	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
12	PaymentURL	-	CHAR	256	金融機関選択画面URL	金融機関選択画面に遷移するURLを返却します。 決済タイプを指定した場合に返却されます。 検証環境では固定の金融機関画面URLを返却しますが、本番環境では取引ごとに異なる支払い用のURLを返却します。 <サンプル> https://www5.econ.ne.jp/pay/p_paymain.aspx?odrno=xxxxxxxxxxxxxx
13	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※3)
14	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※3)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：決済タイプを指定した場合は返却されません。

※2：出力内容のOrderID～TranDateとショップパスワードをベースにしたハッシュ値

※3：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

5.1.2.3. 金融機関選択画面の表示（PaymentType : E の場合）

処理概要（決済実行時のPaymentTypeにE を指定した場合）

Pay-easy決済において、お客様をそのままネットバンキングへ誘導する場合は、金融機関選択画面へと遷移させる必要があります。

金融機関選択画面はあらかじめ用意されていますので、決済実行の出力パラメータである金融機関選択画面URLへ遷移するためのページを表示してください。

尚、決済実行後、各金融機関で支払い可能となるまで20秒程度お時間がかかります。

※Pay-easy決済が集中した場合、各金融機関で支払い可能となるまで最大2時間程度お時間がかかる場合があります。

後続の金融機関の処理による影響です。

ATM支払い、及び、金融機関選択画面からネットバンキングへ遷移して支払う場合が対象です。

金融機関のネットバンキングに直接ログインし、決済情報を入力して支払う場合は問題ありません。

金融機関選択画面への遷移ページパラメータ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	PaymentURL	◎	CHAR	256	金融機関選択画面URL	決済実行にて返却された文字列を指定します。 (文字列中に記号を含む)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

遷移用ページサンプル

```
<html>
<head>
  <meta http-equiv="refresh" content="0;URL={ PaymentURL }">
</head>
<body>
  遷移しない場合は下記のURLをクリックしてください。
  <br>
  <a href="{ PaymentURL }">{ PaymentURL }</a>
</body>
</html>
```

5.1.2.4. 金融機関選択画面の表示（※廃止予定）

処理概要（決済実行時にPaymentTypeを指定しない場合）

Pay-easy決済において、お客様をそのままネットバンキングへ誘導する場合は、金融機関選択画面へと遷移させる必要があります。

金融機関選択画面はあらかじめ用意されていますので、決済実行の出力パラメータである暗号化決済番号をパラメータとして、弊社指定URLへ遷移するためのページを表示してください。

尚、決済実行後、各金融機関で支払い可能となるまで20秒程度お時間がかかります。

金融機関選択画面への遷移ページパラメータ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	EncryptReceiptNo	◎	CHAR	128	暗号化決済番号	決済実行にて返却された文字列を指定します。 (文字列中に記号を含む)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

遷移用ページサンプル

```
<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="SelectPageCall" action="https://link.kessai.info/JLP/JLPbnk" method="POST">
    <noscript>
      <br>
      <br>
      <center>
        <h2>
          金融機関選択画面に遷移します。<br>
          ボタンをクリックしてください。
        </h2>
        <input type="submit" value="OK">
      </center>
    </noscript>
    <input type="hidden" name="code" value="{ EncryptReceiptNo }">
    <input type="hidden" name="rkbn" value="1">
  </form>
  <script >
    <!--
      function OnLoadEvent() {
        document.SelectPageCall.submit();
      }
    </script>
  </body>
</html>
```

- ・ 本番用（PC）
- ・ 本番用（モバイル）

が存在します。

ショップ管理画面（ショップ管理 > API情報 > Pay-easy ネットバンキング用金融機関選択画面）参照して、適切なURLを設定してください。

5.2. Pay-easy決済の支払停止を実行する

Pay-easy決済では、決済実行した取引の支払停止が可能です。

支払停止が可能な期間については、別紙「制限事項一覧」を参照ください。

5.2.1. Pay-easy決済の支払停止の流れ

以下に、Pay-easy決済の支払停止の流れを説明します。

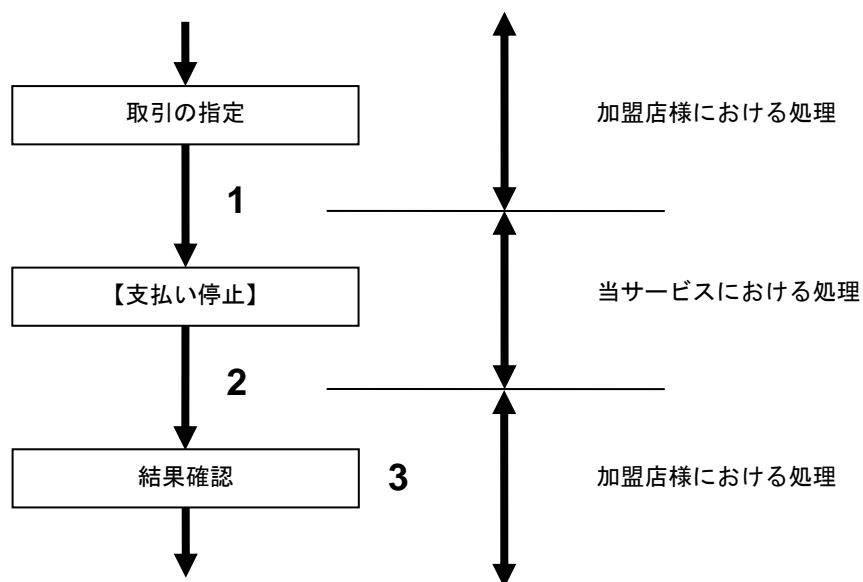


図 5.2.1-1 Pay-easy決済の支払停止の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、取引を指定し当サービスの**【支払い停止】**を呼び出します。
2. 当サービスは、後続の決済センターとの通信を行い取消処理を実施し結果を返します。
3. 加盟店様は、取消結果を確認します。

5.2.2. 各インタフェース仕様詳細

5.2.2.1. 支払停止

接続先URL

/payment/PayEasyCancel.idPass

インタフェース概要

決済センターとの通信を行い取引の支払停止処理を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	入力パラメータの値を返却します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ CANCEL
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

6. PayPal決済インタフェース仕様

ドキュメント統合しましたので、今後は「PayPal決済」をご参照ください。

7. iD決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

7.1. iD決済依頼する

購入時にお客様がiD決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

7.1.1. iD決済の流れ

以下に、iD決済の流れを説明します。

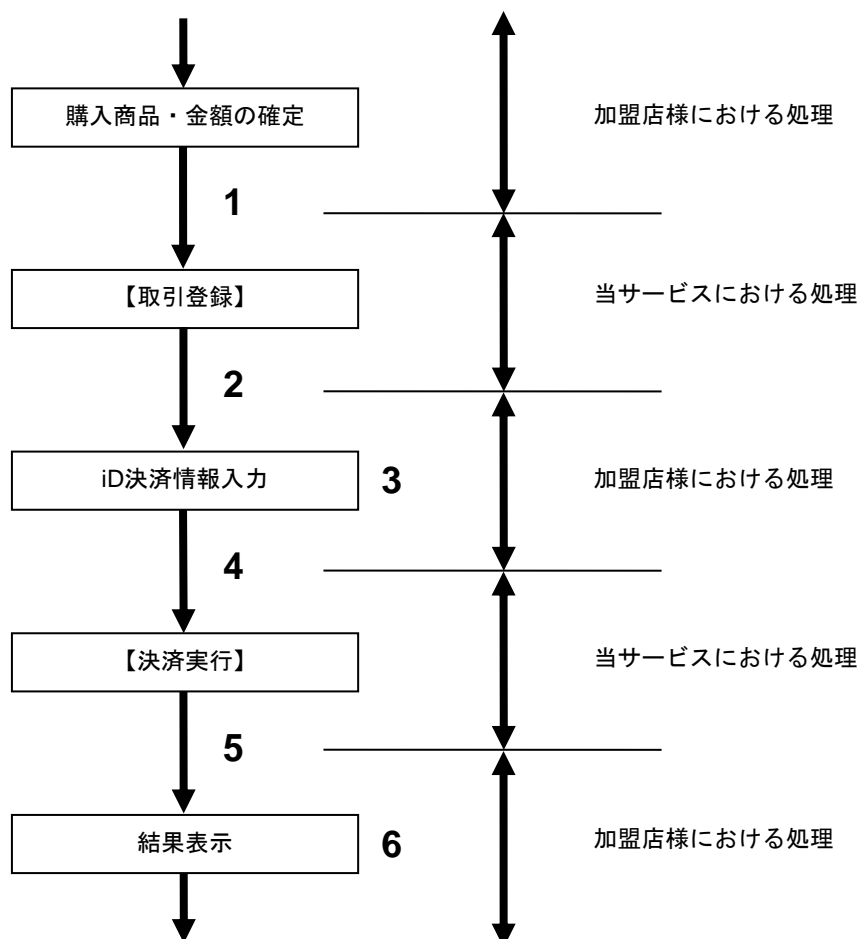


図 7.1.1-1 iD決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、お客様にiD決済に必要な情報を入力する画面を表示します。
4. 加盟店様は、入力されたiD決済情報をもって当サービスの**【決済実行】**を呼び出します。
5. 当サービスは、iD決済情報を使用してお客様に決済開始メールを送信します。
(お客様は決済開始メールよりiDアプリを起動し、決済処理を行います)
6. 加盟店様は、決済実行の結果をお客様に表示します。
(iDアプリへ遷移する場合) iD決済開始画面ページを表示します。

7.1.2. 各インタフェース仕様詳細

7.1.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranNetid.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	JobCd	◎	CHAR	-	処理区分	以下のいずれかを設定します。 CAPTURE：即時売上 AUTH：仮売上
6	Amount	◎	NUMBER	7	利用金額	
7	Tax		NUMBER	7	税送料	
8	RetURL		CHAR	256	戻り先URL	iD決済完了後の携帯画面の戻し先URLです。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)
ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

7.1.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranNetid.idPass

インタフェース概要

お客様が入力した情報を登録し決済開始メールを送信し、結果を返します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	CustomerName	◎	CHAR	40	氏名	お客様の氏名 決済開始メールに表示されます。
8	PaymentTermDay		NUMBER	2	支払期限日数	省略時は、ショップ情報に設定された支払期限日数で処理されます。
9	MailAddress		CHAR	256	メールアドレス	決済開始メール送付先のお客様の携帯メールアドレスを設定します。
10	ShopMailAddress		CHAR	256	加盟店メールアドレス	お客様へ決済開始メールを送信する際に加盟店様にも送信する場合のメールアドレスを設定してください。 (BCCで設定されます。) 省略時は、ショップ情報に設定されたメールアドレスで処理されます。
11	ItemName	◎	CHAR	40	商品・サービス名	決済開始メールに表示されます。
12	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
13	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
14	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
15	ClientFieldFlag		CHAR	1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定します。 0: 返却しない(デフォルト) 1: 返却する

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	PaymentTerm		CHAR	14	支払期限日時	お客様の払込期限を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	TranDate	-	CHAR	14	決済日付	決済依頼を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
4	CheckString	-	CHAR	32	MD5ハッシュ	OrderID～TranDate+ショップパスワード のハッシュ値(※1) を返却します。
5	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	【決済実行】時に加盟店自由項目返却フ ラグが返却する場合のみ返却
6	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
7	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
8	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※2)
9	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※2)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：出力内容のOrderID～TranDateとショップパスワードをベースにしたハッシュ値

※2：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

7.1.2.3. iD決済開始画面の表示

処理概要

iD決済において、お客様をそのままiDアプリへ誘導する場合は、iD決済開始画面へと遷移させる必要があります。

iD決済開始画面はあらかじめ用意されていますので、決済実行の出力パラメータである取引IDをパラメータとして、接続先URLへ遷移するためのページを表示してください。

接続先URL

/payment/NetidStart.idPass

iD決済開始画面への遷移ページパラメータ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

遷移用ページサンプル

```

<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="SelectPageCall" action="https://p01.mul-pay.jp/payment/NetidStart.idPass" method="POST">
  <noscript>
    <br>
    <br>
    <center>
      <h2>
        iD決済開始画面に遷移します。<br>
        ボタンをクリックしてください。
      </h2>
      <input type="submit" value="OK">
    </center>
  </noscript>
  <input type="hidden" name="AccessID" value="{ AccessID }">
</form>
<script >
<!--
  function OnLoadEvent() {
    document.SelectPageCall.submit();
  }
  //-->
</script>
</body>
</html>

```

- ・ 本番用
https://p01.mul-pay.jp/payment/NetidStart.idPass
- ・ テスト環境用
https://pt01.mul-pay.jp/payment/NetidStart.idPass

7.2. 決済の内容をキャンセルする

決済が完了した取引の取引ID・取引パスワードを指定すると、以前実施した決済内容をキャンセルすること(以下、決済キャンセル)が可能です。

※最終状態になった時点から、180日以上経過してからキャンセルを行った場合はエラーとなります。

7.2.1. 決済内容をキャンセルする流れ

以下に、決済の内容をキャンセルする流れを説明します。

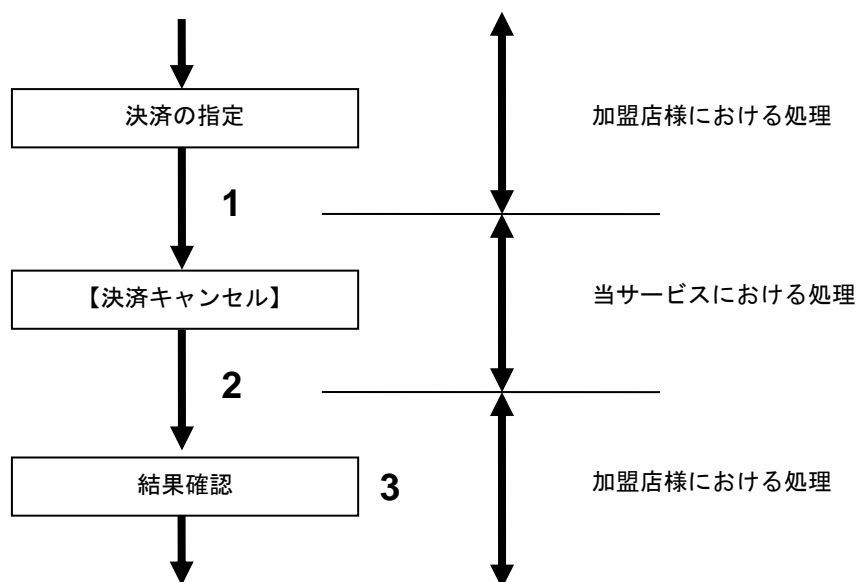


図 7.2.1-1 決済キャンセルの流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、変更する取引の取引IDと取引パスワードを指定し、当サービスの**【決済キャンセル】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引に対してキャンセル処理を実行します。
3. 加盟店様は、決済キャンセルの結果を確認します。

7.2.2. 各インタフェース仕様詳細

7.2.2.1. 決済キャンセル

接続先URL

/payment/CancelTranNetid.idPass

インタフェース概要

決済が完了した取引に対して決済内容のキャンセルを行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	Amount	◎	NUMBER	7	利用金額	最終状態の利用金額を設定します。
8	Tax		NUMBER	7	税送料	最終状態の税送料を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Forward	-	CHAR	7	仕向先コード	キャンセル対象の取引の仕向先カード会社コードを返却します。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

7.3. 売上の確定を行う

仮売上の決済の取引ID・取引パスワードを指定すると、売上の確定処理(以下、実売上)が可能です。

- 仮売上実施後、90日以上経過してから実売上を行った場合はエラーとなります。
※決済日数の起算日は仮売上が成功した日付です。

7.3.1. 実売上を行う流れ

以下に、実売上を行う流れを説明します。

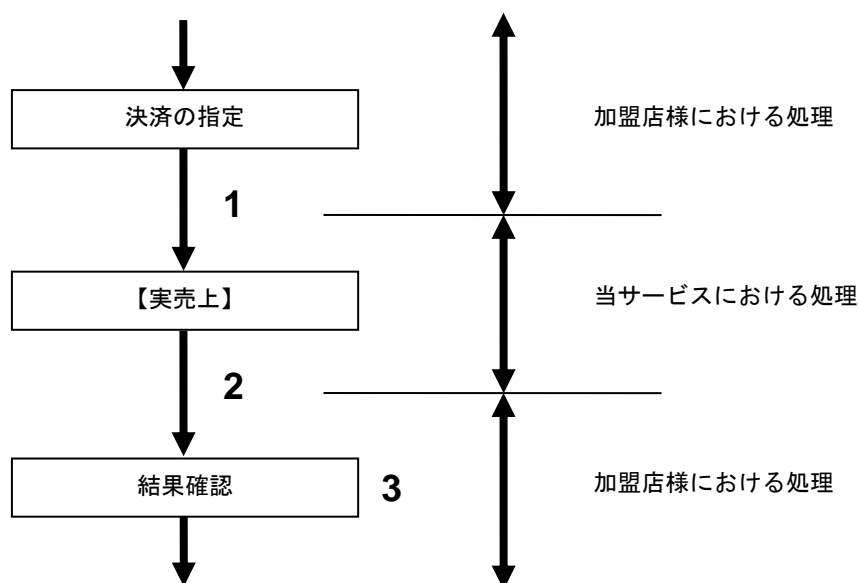


図 7.3.1-1 実売上の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、実売上する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの**【実売上】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の売上を確定します。
3. 加盟店様は、実売上の結果を確認します。

7.3.2. 各インタフェース仕様詳細

7.3.2.1. 実売上

接続先URL

/payment/SalesTranNetid.idPass

インタフェース概要

仮売上の決済に対して実売上を行います。尚、実行時に仮売上時との金額チェックを行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	Amount	◎	NUMBER	7	利用金額	最終状態の利用金額を設定します。
8	Tax		NUMBER	7	税送料	最終状態の税送料を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Forward	-	CHAR	7	仕向先コード	実売上対象の取引の仕向先カード会社コードを返却します。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

7.4. 完了した決済に金額の変更を行う

仮売上状態の取引の取引ID・取引パスワードを指定すると、以前実施した決済内容の金額を変更すること(以下、金額変更)が可能です。

- ・ 仮売上実施後、90日以上経過してから金額の変更を行った場合はエラーとなります。
- ・ 新しく指定する金額は、仮売上時の金額以下のみ受け付け可能です。(増額はできません)
- ・ 金額の変更は、仮売上状態でのみ実行可能です。即時売上や実売上状態の取引の金額変更はできません。

7.4.1. 金額変更を行う流れ

以下に、金額変更を行う流れを説明します。

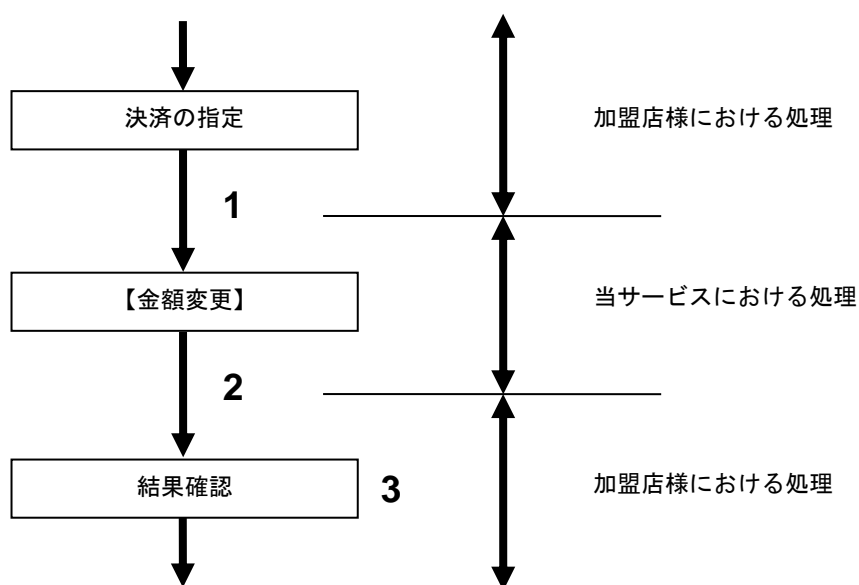


図 7.4.1-1 金額変更の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、金額変更する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの【金額変更】を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の金額を変更します。
3. 加盟店様は、金額変更の結果を確認します。

金額の変更で指定可能な金額、税送料について

- ・ 変更後の金額は、最初の仮売上を行った際に確保した金額内でのみ指定可能です。

(例) ○ 仮売上時：3,000円 ⇒ 金額変更(1)：2,200円 ⇒ 金額変更(2)：2,700円

× 仮売上時：1,800円 ⇒ 金額変更：2,100円

- ・ 「金額」と「税送料」は合計した額(値)でチェックされます。

(例) ○ 仮売上時：金額=2,500円／税送料=400円 ⇒ 金額変更：金額=2,000円／税送料=600円

× 仮売上時：金額=1,000円／税送料=300円 ⇒ 金額変更：金額=1,000円／税送料=500円

7.4.2. 各インタフェース仕様詳細

7.4.2.1. 金額変更

接続先URL

/payment/ChangeTranNetid.idPass

インタフェース概要

仮売上取引に対して金額の変更を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	Amount	◎	NUMBER	7	利用金額	変更後の利用金額を設定します。
8	Tax		NUMBER	7	税送料	変更後の税送料を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Forward	-	CHAR	7	仕向先コード	金額変更対象の取引の仕向先カード会社コードを返却します。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

8. WebMoney決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。

各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

WebMoney決済では、以下の2つの決済方法を提供しています。

※1つのショップIDでは、2つの決済方法の併用はできません。契約時にいずれかの決済方法を選択してください。

・都度決済

取引ごとに、WebMoney決済画面に遷移してプリペイド番号を入力する方式です。

必ずWebMoney決済画面への画面遷移が必要となります。

・クイック決済

クイックIDにプリペイド番号を登録することにより、WebMoney決済画面に遷移せずに決済する方式です。

初回の取引時に、クイックIDを指定してWebMoney決済画面に遷移すると、WebMoney決済画面で入力されたプリペイド番号がクイックIDに登録されます。

次回以降の取引では、クイックIDを指定することにより登録されたプリペイド番号から決済金額が差し引かれ、WebMoney決済画面に遷移せずに決済完了します。

※クイック決済では以下の場合のみWebMoney決済画面への遷移が必要となります。

- ・指定されたクイックIDにプリペイド番号が登録されていない場合（初回登録）
- ・クイックIDに登録されたプリペイド番号の残高が決済金額に満たない場合（残高不足）

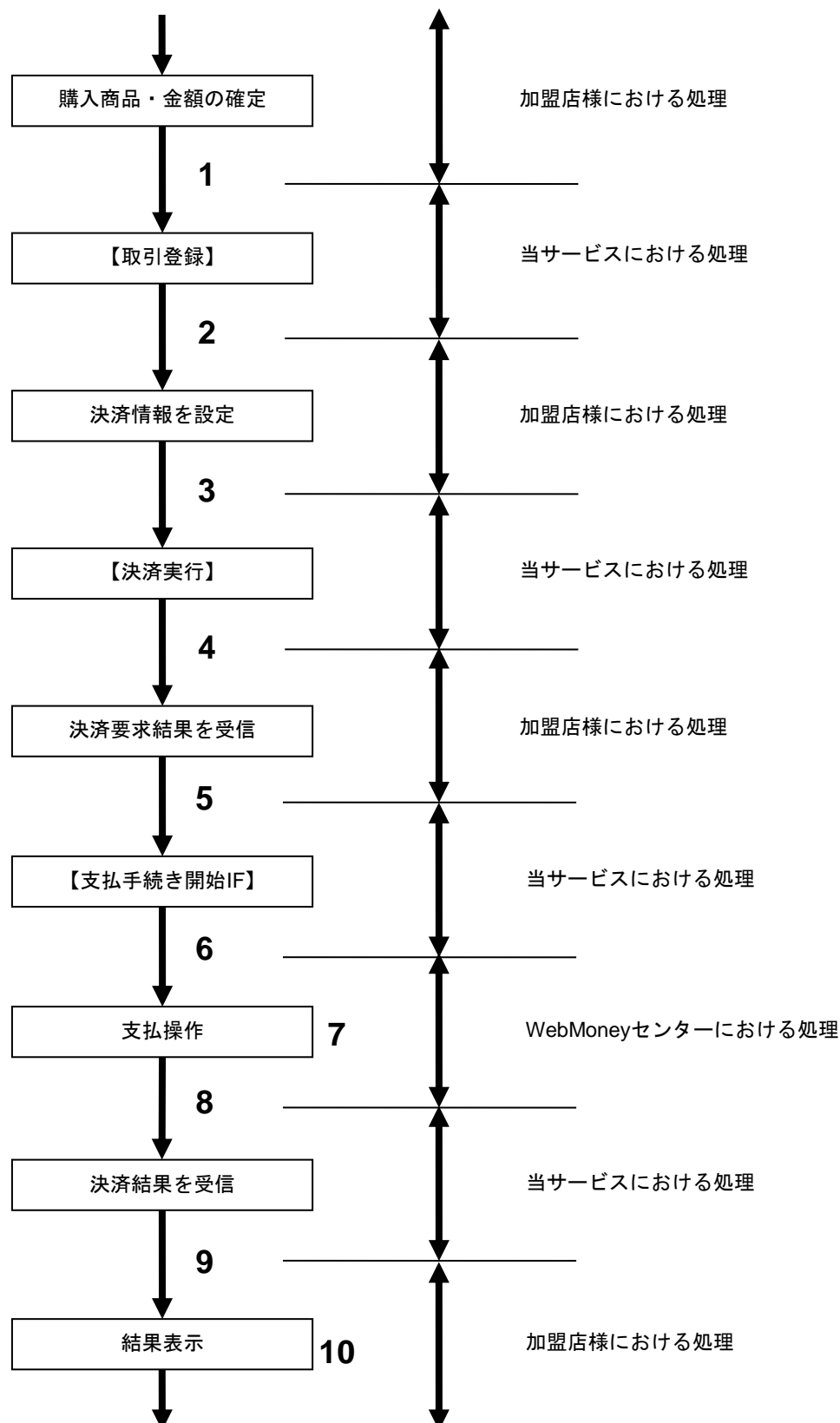
8.1. WebMoney決済を実行する

購入時にお客様がWebMoney決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

決済ごとにWebMoney決済画面に遷移してプリペイド番号を入力します。

8.1.1. WebMoney決済の流れ

以下に、WebMoney決済の流れを説明します。



流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 当サービスは、WebMoney センターとの通信を行い決済要求結果を返します。
5. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
※当サービスから送信される決済開始メールによる誘導も可能です。
6. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様を WebMoney センターの決済画面に誘導します。
7. お客様は、WebMoney の決済画面にて支払操作を行います。
8. WebMoney センターは、決済結果を当サービスに送信します。
9. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果を返します。
10. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

8.1.2. 各インタフェース仕様詳細

8.1.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranWebmoney.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	Amount	◎	NUMBER	6	利用金額	
6	Tax		NUMBER	6	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が決済金額となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	入力パラメータの値を返却します。
2	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
5	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)
 ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

8.1.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranWebmoney.idPass

インタフェース概要

WebMoneyセンターと通信を行い決済要求結果を返します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	ItemName	◎	CHAR	40	商品・サービス名	WebMoneyの決済画面に表示する商品名を設定します。
8	CustomerName	◎	CHAR	40	氏名	お客様の氏名を設定します。 決済開始メールに表示されます。
9	MailAddress		CHAR	256	メールアドレス	決済開始メール送付先のお客様のメールアドレスを設定します。
10	ShopMailAddress		CHAR	256	加盟店メールアドレス	お客様へ決済開始メールを送信する際に加盟店様にも送信する場合のメールアドレスを設定してください。 (BCCで設定されます。) 省略時は、ショップ情報に設定されたメールアドレスで処理されます。
11	PaymentTermDay		NUMBER	2	支払期限日数	省略時は、ショップ情報に設定された支払期限日数で処理されます。
12	RedirectURL		CHAR	256	リダイレクトURL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信URLを指定します。 WebMoney上でお客様が支払操作を完了した場合や、キャンセルした場合に指定されたURLに結果を送信します。 結果はリダイレクト経由で送信します。
13	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
14	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
15	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
16	ClientFieldFlag		CHAR	1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定します。 0：返却しない(デフォルト) 1：返却する

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。]

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	PaymentTerm		CHAR	14	支払期限日時	お客様の払込期限を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
4	CheckString	-	CHAR	32	MD5ハッシュ	OrderID～TranDate+ショップパスワードのハッシュ値(※1)を返却します。
5	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	【決済実行】時に加盟店自由項目返却フラグが返却する場合のみ返却します。
6	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
7	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
8	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)
9	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：出力内容のOrderID～TranDateとショップパスワードをベースにしたハッシュ値

※2：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

8.1.2.3. 支払手続き開始IFの呼び出し

処理概要

WebMoney決済において、お客様をWebMoneyの決済画面へと遷移させる必要があります。

当サービスから送信される決済開始メールを利用する場合は、加盟店様で下記内容を実装する必要はございません。

加盟店様のサイトから画面遷移させる場合は、お客様を当サービスの支払手続き開始IFに誘導してください。

当サービスは、お客様をWebMoneyの決済画面に誘導します。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

接続先URL

/payment/WebmoneyStart.idPass

インタフェース概要

お客様をWebMoneyの決済画面に誘導します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページサンプル

```

<html>
  <head>
    <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
  </head>
  <body OnLoad='OnLoadEvent();'>
    <form name="WebmoneyStartCall" action="https://p01.mul-pay.jp/payment/WebmoneyStart.idPass" method="POST">
      <noscript>
        <br>
        <br>
        <center>
          <h2>
            WebMoneyの決済画面へ遷移します。
          </h2>
          <input type="submit" value="続行">
        </center>
      </noscript>
      <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
    </form>
    <script>
      <!--
      function OnLoadEvent() {
        document.WebmoneyStartCall.submit();
      }
      //-->
    </script>
  </body>
</html>

```

- ・ 本番用
https://p01.mul-pay.jp/payment/WebmoneyStart.idPass
- ・ テスト環境用
https://pt01.mul-pay.jp/payment/WebmoneyStart.idPass

8.1.2.4. 決済結果受信

処理概要

WebMoneyセンターから、当サービスに支払操作結果が通知されます。

支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と支払操作をキャンセルした場合に通知されます。

※ブラウザを×ボタンで閉じた場合は、通知されません。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクトURLに決済結果を通知します。

※リダイレクトURLが指定されていない場合は、当サービスの購入完了画面またはキャンセル画面を表示します。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータをPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	該当取引のショップIDを返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
3	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 PAYSUCCESS：決済完了 PAYFAIL：決済失敗 REQSUCCESS：要求成功
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	ManagementNo	-	CHAR	16	管理番号	購入に使用されたWebMoneyの管理番号
6	SettleCode	-	CHAR	25	決済コード	WebMoneyセンターが返却した決済コード
7	PayCancel	-	CHAR	1	キャンセル区分	以下のいずれかを返却します。 1：支払操作がキャンセルされた場合 0：その他
8	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
9	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

8.2. WebMoney決済(クイック決済)を実行する

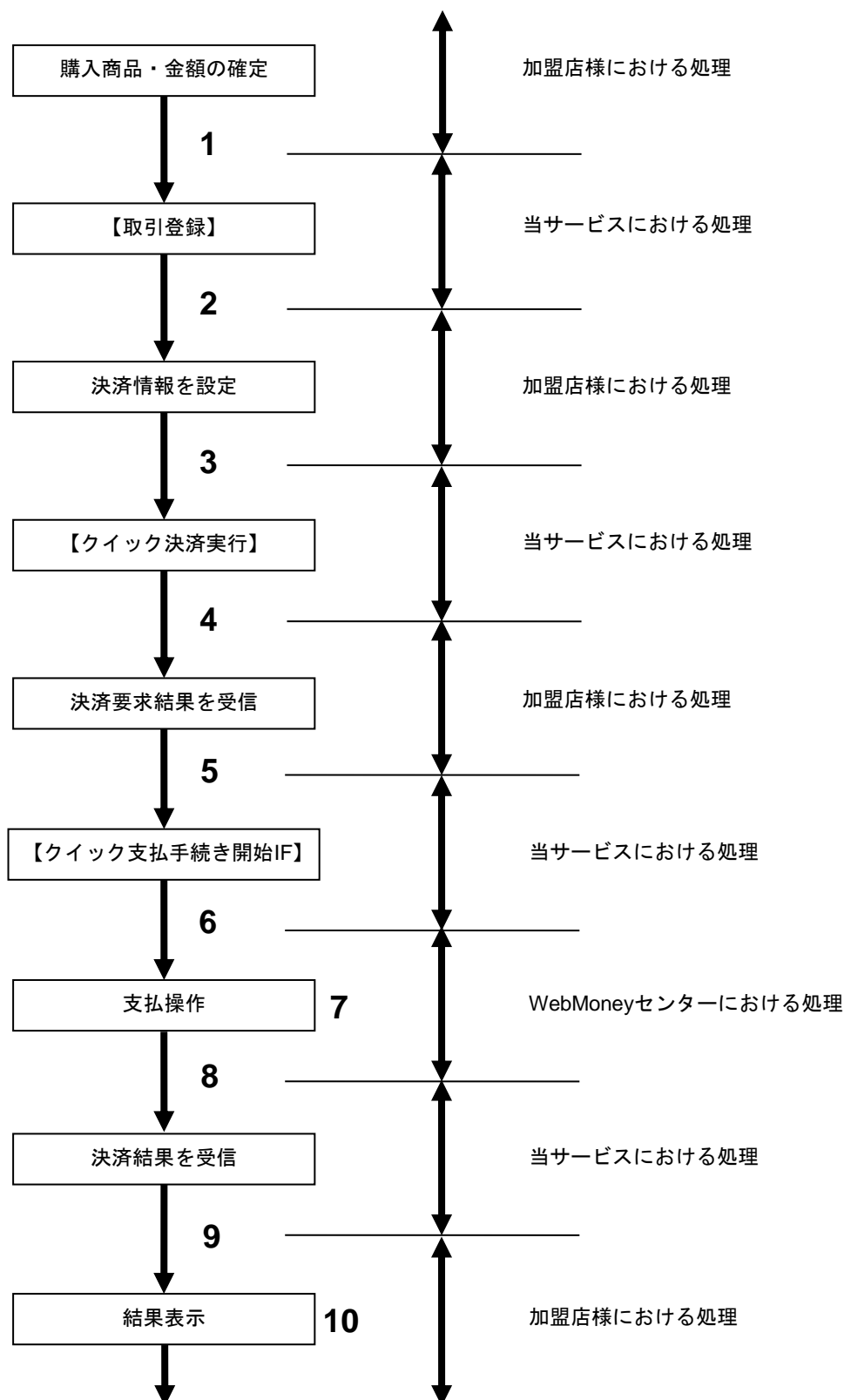
購入時にお客様がWebMoney決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

初回の決済時にクイックIDを指定すると、次回以降はWebMoney決済画面への遷移なしに決済完了します。

8.2.1. WebMoney決済(クイック決済)の流れ

以下に、WebMoney決済(クイック決済)の流れを説明します。

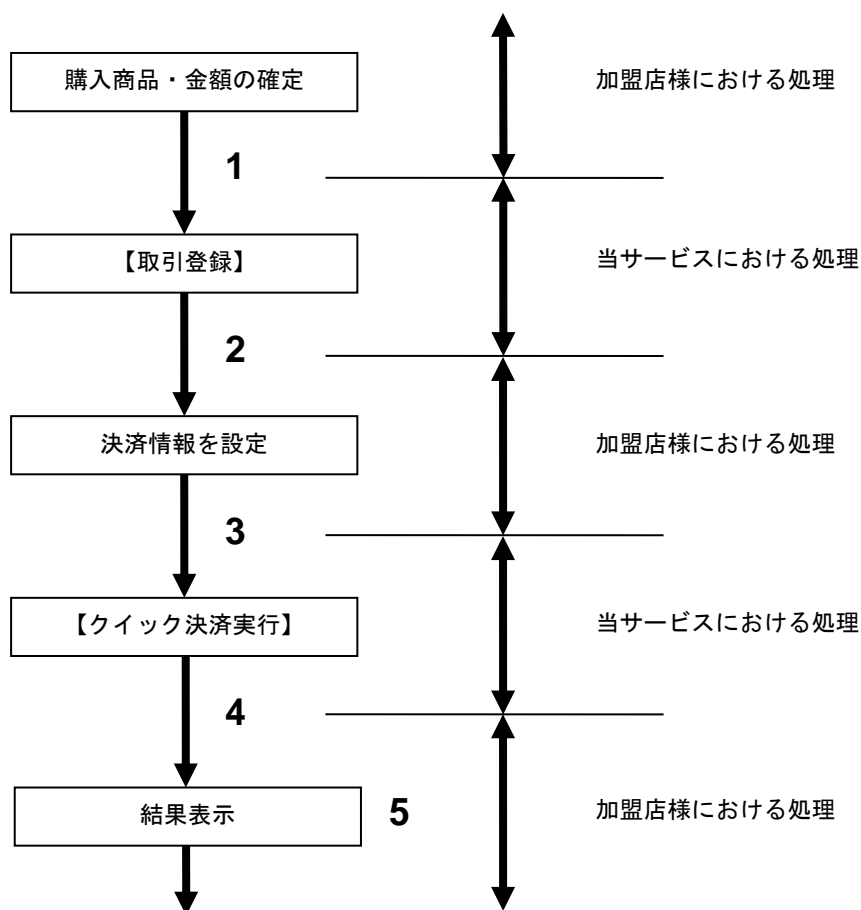
クイックID未登録(初回購入時)の場合



流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、決済情報と新規のクイック ID を設定し当サービスの【クイック決済実行】を呼び出します。
4. 当サービスは、WebMoney センターとの通信を行います。
5. 加盟店様は、お客様を当サービスの【クイック支払手続き開始 IF】に誘導します。
6. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様を WebMoney センターの決済画面に誘導します。
7. お客様は、WebMoney の決済画面にてプリペイド番号を入力し支払操作を行います。
8. WebMoney センターはクイック ID にプリペイド番号を登録し、決済結果を当サービスに送信します。
9. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果を返します。
10. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

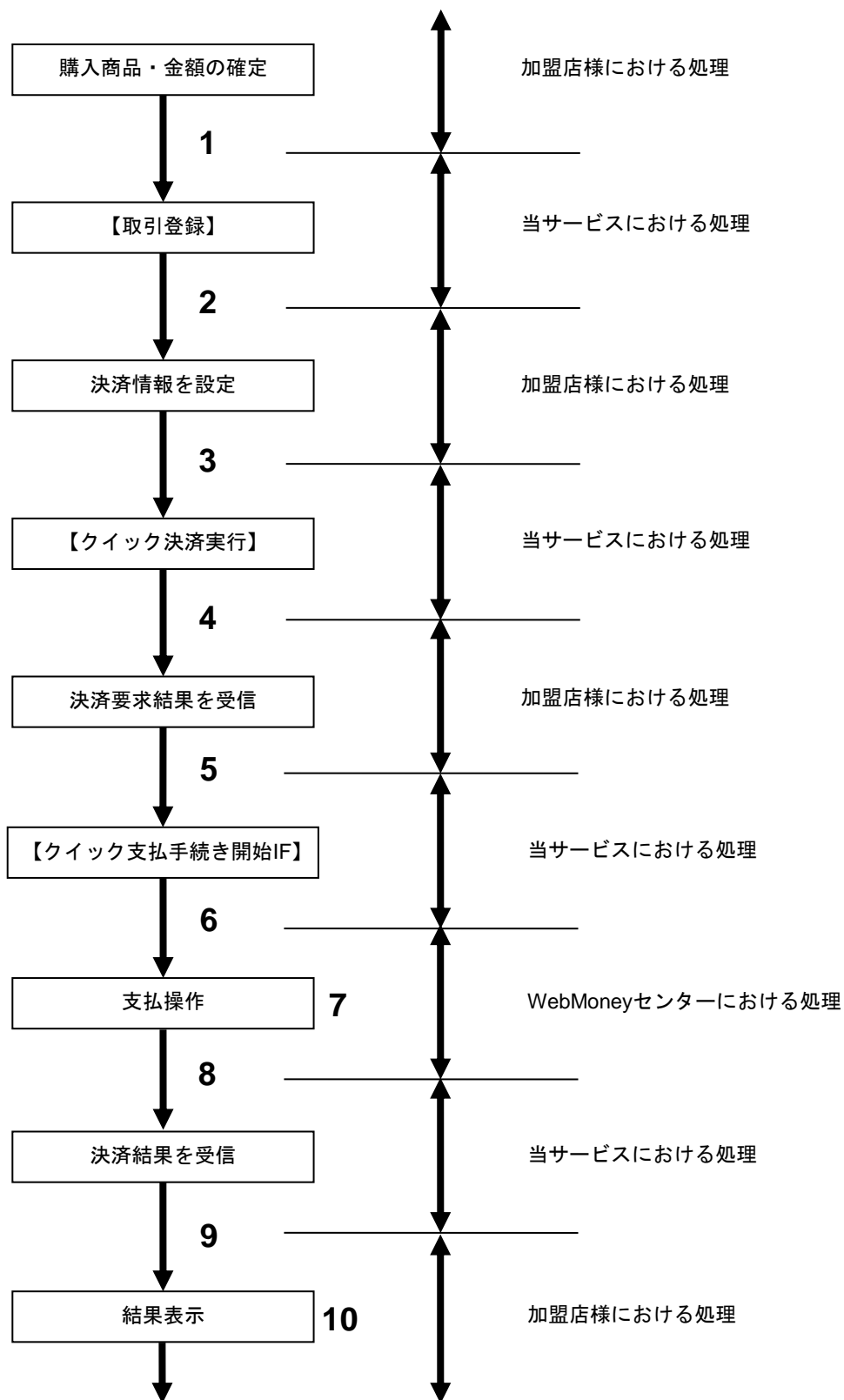
クイックID登録済みの場合



流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、決済情報と**既存のクイックID**を設定し当サービスの**【クイック決済実行】**を呼び出します。
4. 当サービスはWebMoneyセンターとの通信を行い、クイックIDに登録されたプリペイド番号で決済を実行し、決済結果を返します。
5. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

クイックID登録済みで残高不足の場合



流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、決済情報と既存のクイック ID を設定し当サービスの【クイック決済実行】を呼び出します。
4. 当サービスは、WebMoney センターとの通信を行います。
5. 加盟店様は、お客様を当サービスの【クイック支払手続き開始 IF】に誘導します。
6. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様を WebMoney センターの決済画面に誘導します。
7. お客様は、WebMoney 決済画面にてプリペイド番号を入力して支払操作を行います。
8. WebMoney センターは、クイック ID にプリペイド番号を登録し、決済結果を当サービスに送信します。
9. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果を返します。
10. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

8.2.2. 各インタフェース仕様詳細

8.2.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranWebmoney.idPass

インタフェース概要

WebMoney決済(都度決済)の取引登録と同一です。

詳細については、WebMoney決済(都度決済)の取引登録の項をご確認ください。

8.2.2.2. クイック決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranWebmoneyQuick.idPass

インタフェース概要

WebMoneyセンターと通信を行い決済要求結果を返します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	QuickID	◎	CHAR	32	クイックID	プリペイド番号を登録するクイックIDを指定します。 加盟店様側にて購入者ごとに重複しないIDを指定してください。既存のIDを指定した場合は、既存のIDに登録されたプリペイド番号から決済されます。
8	ItemName	◎	CHAR	40	商品・サービス名	WebMoneyの決済画面に表示する商品名を設定します。
9	PaymentTermDay		NUMBER	2	支払期限日数	省略時は、ショップ情報に設定された支払期限日数で処理されます。
10	RedirectURL	◎	CHAR	256	リダイレクトURL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信URLを指定します。 クイックIDの初回登録や残高不足の場合はWebMoney決済画面への遷移が生じます。 WebMoney決済画面上でお客様が支払操作を完了した時や、キャンセルした時に、本項目で指定されたURLに結果を送信します。 結果はリダイレクト経由で送信します。
11	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
12	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
13	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
14	ClientFieldFlag		CHAR	1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定します。 0: 返却しない(デフォルト) 1: 返却する

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】
 ※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

補足事項)

・「QuickID」について

QuickIDは購入者を一意に識別するIDです。

初回購入時に、加盟店様にて購入者ごとにユニークなIDを割り当て、QuickIDパラメータに指定してください。
新規のQuickIDが指定した場合、支払手続き開始IFへリダイレクトを行い、購入者をWebMoney決済画面に誘導してください。

リダイレクト先の支払手続き開始IFから遷移したWebMoney決済画面で購入者がプリペイド番号を入力すると、プリペイド番号から決済金額が差し引かれ、プリペイド番号がQuickIDに登録されます。

次回以降の購入時に、購入者に割り当てたQuickIDを指定して決済実行すると、QuickIDに登録されたプリペイド番号から決済金額が差し引かれ決済完了します。(WebMoney決済画面への誘導は不要です)

※登録されているプリペイド番号の残高が決済金額に満たない場合は、初回購入時と同様に支払手続き開始IFへリダイレクトを行ってください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	【クイック決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	OrderID		CHAR	27	オーダーID	
3	QuickID	-	CHAR	32	クイックID	
4	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 UNPROCESS : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 PAYSUCCESS : 決済成功
5	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。(yyyyMMddHHmmss書式)
6	PayCancel		CHAR	1	キャンセル区分	"0"固定です。
7	ManagementNo	-	CHAR	16	管理番号	決済完了した場合、支払手続きで使用されたWebMoneyの管理番号を返却します。
8	SettleCode	-	CHAR	25	決済コード	決済完了した場合、WebMoneyセンターが返した決済コードを返却します。
9	CampaignUrl	-	CHAR	256	抽選結果表示URL	決済完了しWebMoneyの決済キャンペーンで当選した場合、当選確認用URLを返却します。 (返却値はURLエンコード値) ※当選しなかった場合は、本項目は空です。
10	CheckString	-	CHAR	32	MD5ハッシュ	ShopID～CampaignUrl+ショップパスワードのハッシュ値(※1)を返却します。
11	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	【クイック決済実行】時に加盟店自由項目返却フラグが返却する場合のみ返却します。
12	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
13	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
14	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)
15	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	
16	NextStep	-	CHAR	8	次処理種別	正常に決済要求が処理された場合は、次処理の種別を返却します。 FINISH : 決済完了 CHARGE : 支払手続き
17	PaymentTerm		CHAR	14	支払期限日時	支払手続きが必要な場合、お客様の支払手続き期限を返却します。 (yyyyMMddHHmmss書式)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 出力内容のOrderID～TranDateとショップパスワードをベースにしたハッシュ値

※2 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

補足事項)

- ・「NextStep」について

NextStepは次にすべき処理を示します。

“FINISH”が返却された場合 :

指定されたQuickIDに登録されたプリペイド番号から決済金額が差し引かれ決済が完了しています。

購入者に決済手続きの完了を案内してください。

また、WebMoneyの決済キャンペーンの抽選に当選した場合、当選内容確認画面のURL(抽選結果表示URL)が返却されますので、購入者に当該URLを通知してください。

“CHARGE”が返却された場合 :

指定されたQuickIDに登録されたプリペイド番号が存在しないか、登録されたプリペイド番号の残高が決済金額に満たない状態です。

クイック支払手続き開始IFのURLに購入者を誘導してください。

8.2.2.3. 支払手続き開始IFの呼び出し

処理概要

クイック決済において、クイックIDの新規登録時、もしくは既存のクイックIDが残高不足の場合は、お客様をWebMoneyの決済画面へと遷移させる必要があります。

加盟店様のサイトから画面遷移させるために、お客様を当サービスの支払手続き開始IFに誘導してください。

当サービスは、お客様をWebMoneyの決済画面に誘導します。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

接続先URL

/payment/WebmoneyQuickStart.idPass

インタフェース概要

お客様をWebMoneyの決済画面に誘導します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページサンプル

```
<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="WebmoneyStartCall" method="POST"
    action="https://p01.mul-pay.jp/payment/WebmoneyQuickStart.idPass">
  <noscript>
    <h2>WebMoneyの決済画面へ遷移します。</h2>
    <input type="submit" value="続行">
  </noscript>
    <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
  </form>
<script >
<!--
  function OnLoadEvent() {
    document.WebmoneyStartCall.su
  }
  //-->
</script>
</body>
</html>
```

- ・ 本番用
https://p01.mul-pay.jp/payment/WebmoneyQuickStart.idPass
- ・ テスト環境用
https://pt01.mul-pay.jp/payment/WebmoneyQuickStart.idPass

8.2.2.4. 決済結果受信

処理概要

WebMoneyセンターから、当サービスに支払操作結果が通知されます。

支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と支払操作をキャンセルした場合に通知されます。

※ブラウザを×ボタンで閉じた場合は、通知されません。

当サービスは、【クイック決済実行】時に指定されたりダイレクトURLに決済結果を通知します。

※リダイレクトURLが指定されていない場合は、当サービスの購入完了画面又はキャンセル画面を表示します。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータをPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	【クイック決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	OrderID		CHAR	27	オーダーID	
3	QuickID	-	CHAR	32	クイックID	
4	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 PAYSUCCESS：決済完了 PAYFAIL：決済失敗
5	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。(yyyyMMddHHmmss書式)
6	PayCancel		CHAR	1	キャンセル区分	以下のいずれかを返却します。 1：支払操作がキャンセルされた場合 0：その他
7	ManagementNo	-	CHAR	16	管理番号	決済完了した場合、支払手続きで使用されたWebMoneyの管理番号を返却します。
8	SettleCode	-	CHAR	25	決済コード	決済完了した場合、WebMoneyセンターが返した決済コードを返却します。
9	CampaignUrl	-	CHAR	256	抽選結果表示URL	決済完了しWebMoneyの決済キャンペーンで当選した場合、当選確認用URLを返却します。 (返却値はURLエンコード値) ※当選しなかった場合は、本項目は空です。
10	CheckString	-	CHAR	32	MD5ハッシュ	ShopID～CampaignUrl+ショップパスワードのハッシュ値(※1)を返却します。
11	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	【クイック決済実行】時に加盟店自由項目返却フラグが返却する場合のみ返却します。
12	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
13	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
14	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)
15	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	
16	NextStep	-	CHAR	8	次処理種別	“FINISH”固定
17	PaymentTerm		CHAR	14	支払期限日時	空文字固定

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

8.3. クイックIDを削除する

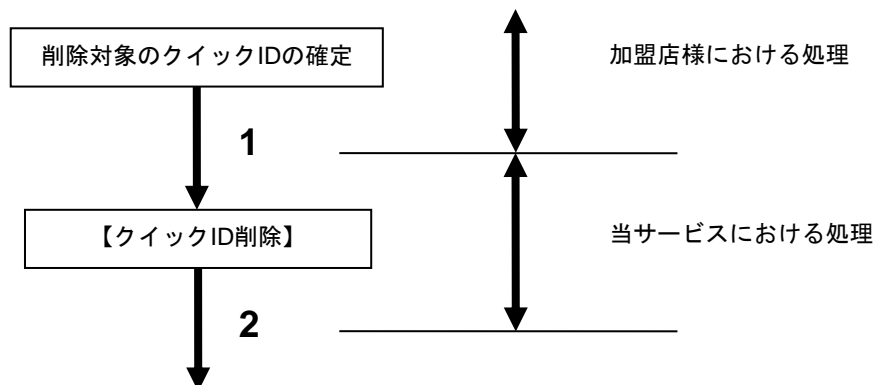
クイック決済を使用するとクイックIDにプリペイド番号が登録されます。

クイックIDを使用しなくなった場合は、無効化することによりクイックIDを使用不可にできます。

※無効化したクイックIDは再度使用することはできません。

8.3.1. クイックID無効化の流れ

以下に、クイックID削除の流れを説明します。



流れの説明

1. 加盟店様は、無効化対象のクイック ID を確定し**【クイック ID 削除】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定されたクイック ID の削除要求を WebMoney センターに送信し、処理結果を加盟店様に返却します。

8.3.2. 各インタフェース仕様詳細

8.3.2.1. クイックID削除

接続先URL

/payment/DeleteWebmoneyQuickId.idPass

インタフェース概要

指定されたクイックIDを無効化します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	QuickID	◎	CHAR	32	クイックID	削除するクイックIDを指定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	QuickID	-	CHAR	32	クイックID	入力パラメータの値を返却します。
2	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
3	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

8.4. クイックIDの利用明細画面を表示する

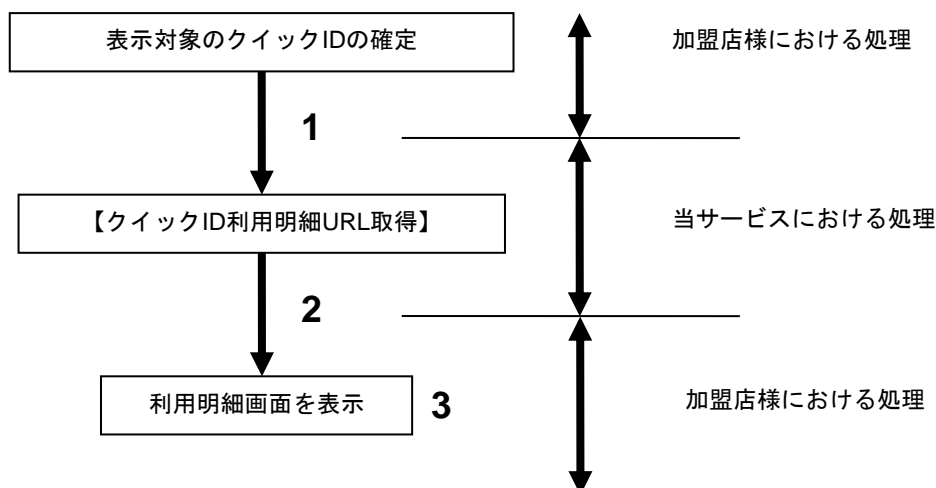
クイックIDの利用明細画面を表示することが可能です。

本操作にて、利用明細画面のURLを取得し購入者を利用明細画面に誘導します。

- ・ 本操作にて払い出される利用明細画面のURLは払い出しから24時間有効です。
- ・ クイックIDを削除した場合は、利用明細画面の表示はできません。

8.4.1. クイックIDの利用明細画面表示の流れ

以下に、クイックIDの利用明細画面表示の流れを説明します。



流れの説明

1. 加盟店様は、表示対象のクイック ID を確定し【クイック ID 利用明細 URL 取得】を呼び出します。
2. 当サービスは、指定されたクイック ID の利用明細画面の URL を加盟店様に返却します。
3. 加盟店様は、利用明細画面の URL に購入者を誘導します。

8.4.2. 各インタフェース仕様詳細

8.4.2.1. クイックID利用明細URL取得

接続先URL

/payment/HistoryWebmoneyQuickId.idPass

インタフェース概要

指定されたクイックIDの利用明細画面のURLを取得します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	QuickID	◎	CHAR	32	クイックID	表示対象のクイックIDを指定します。
5	ReturnUrl	◎	CHAR	256	戻り先URL	利用明細画面の「戻る」ボタンの遷移先のURLを設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	QuickID	-	CHAR	32	クイックID	入力パラメータの値を返却します。
2	HistoryUrl	-	CHAR	256	利用明細画面URL	利用明細画面のURLを返却します。
3	ExpireDate	-	CHAR	14	有効期限	利用明細画面URLの有効期限を返却します。 (yyyyMMddhhmmss形式)
4	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
5	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)
ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

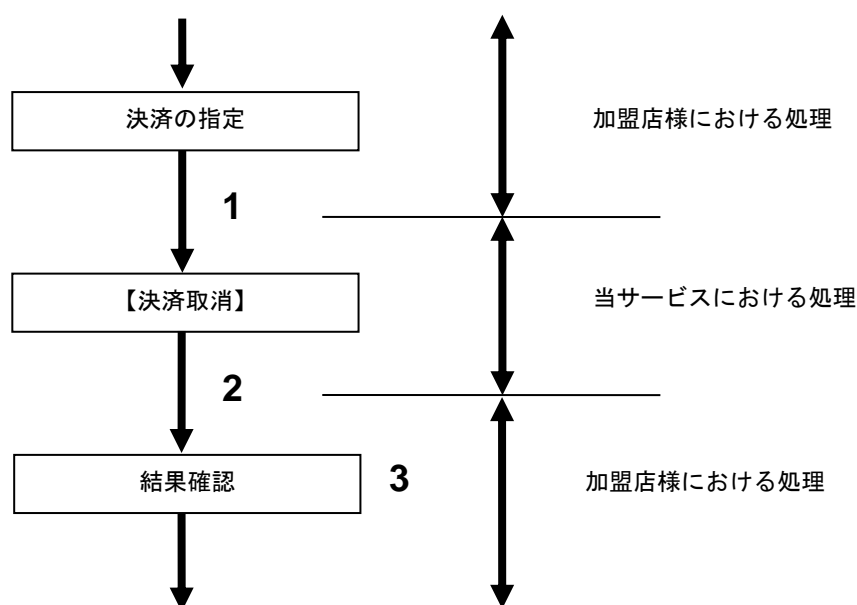
8.5. 決済の内容を取消する

決済が完了した取引の取引ID・取引パスワードを指定すると、以前実施した決済内容を取り消すことが可能です。

- ・ 加盟店様の契約コードによっては、返品できません。(返品可否については事前にお問い合わせください)
- ・ 取消を行うと、決済金額を購入者様のWebMoneyにポイントとして返還します。
- ・ 取消は決済金額の全額が対象となります。(一部返品には対応していません)
- ・ 取消が可能な期間は、決済実行日より180日間以内です。

8.5.1. 決済の内容を取消する流れ

以下に、決済の内容を取消する流れを説明します。



流れの説明

1. 加盟店様は、取消対象の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの**【決済取消】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の取消を行い処理結果を返します。
3. 加盟店様は、決済取消の結果を確認します。

8.5.2. 各インタフェース仕様詳細

8.5.2.1. 決済取消

接続先URL

/payment/RefundWebmoney.idPass

インタフェース概要

決済が完了した取引に対して、決済内容の取消を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	入力パラメータの値を返却します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	処理成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ RETURN 処理失敗時は処理前のステータスが返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)
 ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

9. auかんたん決済インターフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインターフェース詳細について説明します。各インターフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

9.1. auかんたん決済を実行する

購入時にお客様がauかんたん決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

9.1.1. auかんたん決済の流れ

以下に、auかんたん決済の流れを説明します。

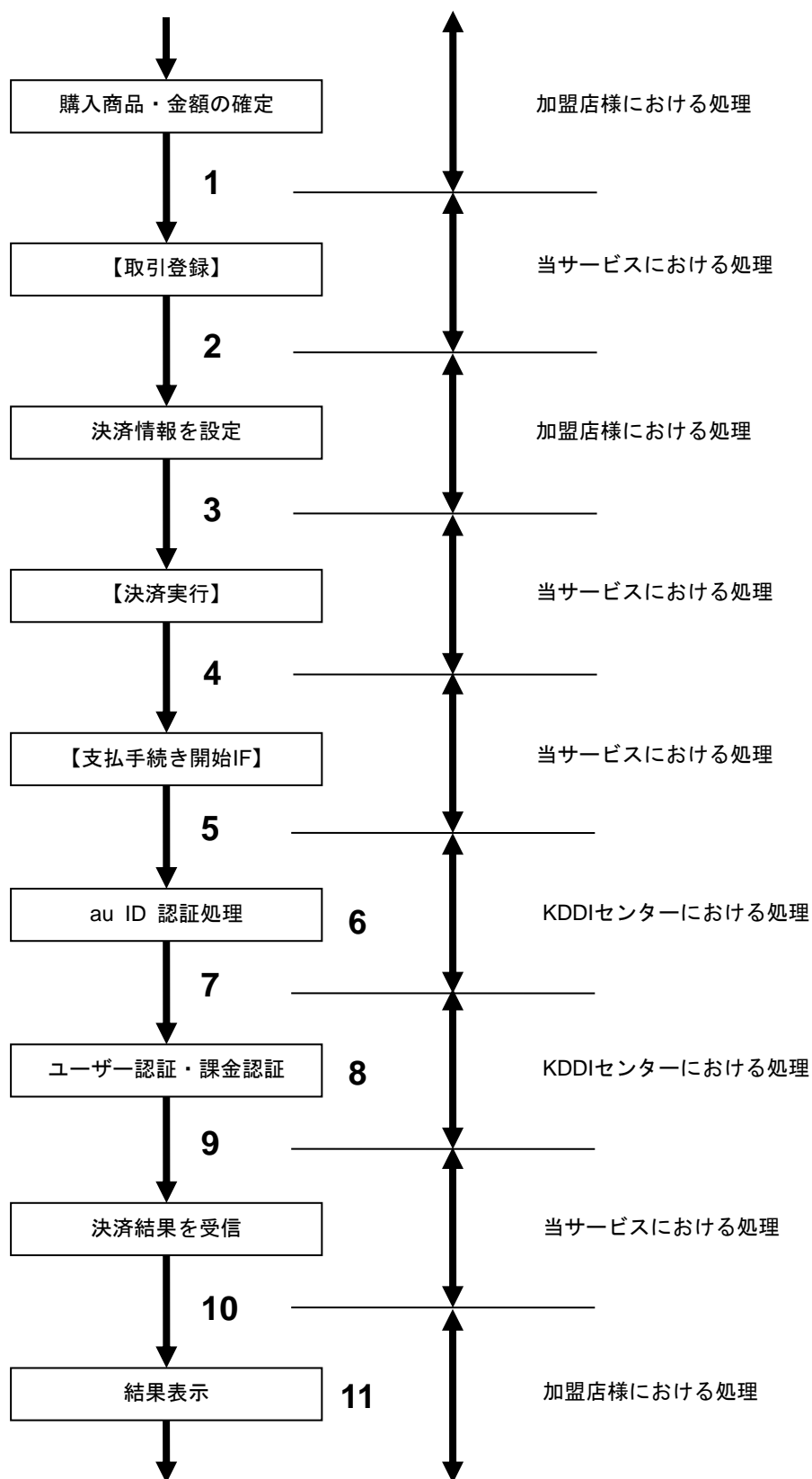


図 9.1.1-1 auかんたん決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様を KDDI センターの au ID 認証画面に誘導します。
6. お客様は、KDDI センターの au ID 認証画面にて ID の連携を行います。
7. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様を KDDI センターの決済画面に誘導します。
8. お客様は、au かんたん決済の決済画面にて支払操作を行います。
9. KDDI センターは、決済結果を当サービスに送信します。
10. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果を返します。
11. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

9.1.2. 各インタフェース仕様詳細

9.1.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranAu.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	JobCd	◎	CHAR	-	処理区分	AUTH：仮売上 CAPTURE：即時売上
6	Amount	◎	NUMBER	7	利用金額	
7	Tax		NUMBER	7	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額＋税送料が決済金額となります。 利用金額＋税送料で1円以上9,999,999円以下である必要があります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)
ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

9.1.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranAu.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンを返却します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	SiteID	●	CHAR	13	サイトID	弊社が発行する値を設定します。 会員ID指定時は必須です。
8	SitePass	●	CHAR	10	サイトパスワード	弊社が発行する値を設定します。 会員ID指定時は必須です。
9	MemberID	●	CHAR	60	会員ID	決済する対象の会員IDを設定します。
10	MemberName		CHAR	255	会員名	登録する名前を設定します。
11	CreateMember	●	CHAR	1	会員作成フラグ	会員が存在しない場合の動作を指定します。 0: 登録しない。 会員が存在しない場合、エラーを返す 1: 登録する。 会員が存在しない場合、新規登録する 会員ID指定時は必須です。
12	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
13	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
14	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
15	Commodity	◎	CHAR	48	摘要	お客様が購入する商品の情報を設定します。 KDDIセンターでの決済時に表示されます。 設定可能な文字は「全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。
16	RetURL	◎	CHAR	256	決済結果戻しURL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信URLを設定します。 KDDIセンター上でお客様が認証、支払操作をキャンセルした場合や、当サービスにて決済処理を実行した場合に指定されたURLに結果をリダイレクト経由で送信されます。

17	PaymentTermSec		NUMBER	5	支払開始期限秒	<p>お客様が【決済実行】から【支払手続き開始IF】を呼び出すまでの期限です。</p> <p>最大86,400秒（1日）</p> <p>呼び出しパラメータが空の場合、120秒で処理されます。</p>
18	ServiceName	◎	CHAR	48	表示サービス名	<p>加盟店様のサービス名称です。</p> <p>お客様の購入履歴などに表示されます。</p> <p>設定可能な文字は「全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。</p>
19	ServiceTel	◎	CHAR	15	表示電話番号	<p>加盟店様の電話番号です。</p> <p>お客様の購入履歴などに表示されます。</p> <p>設定可能な文字は「半角数字と” - “（ハイフン）」です。</p>

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	アクセスID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Token	-	CHAR	256	トークン	アクセスIDのハッシュ値を返却します。
3	StartURL	-	CHAR	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始IFのURLを返却します。
4	StartLimitDate	-	CHAR	14	支払開始期限日時	支払手続き開始IFの呼び出し期限を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

9.1.2.3. 支払手続き開始IFの呼び出し

処理概要

auかんたん決済において、お客様をKDDIセンターのau ID認証画面へと遷移させる必要があります。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

接続先URL

/payment/AuStart.idPass

インタフェース概要

お客様をau ID認証画面に誘導します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
2	Token	◎	CHAR	256	トークン	【決済実行】で発行された値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページサンプル

```
<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="AuStartCall" action="{AuStartURL}" method="POST">
    <noscript>
      <br>
      <br>
      <center>
        <h2>
          auの決済画面へ遷移します。
        </h2>
        <input type="submit" value="続行">
      </center>
    </noscript>
    <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
    <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
  </form>
  <script >
    <!--
      function OnLoadEvent() {
        document.AuStartCall.submit();
      }
    //-->
  </script>
</body>
</html>
```

9.1.2.4. 決済結果受信

処理概要

KDDIセンターから、当サービスに認証・支払操作結果が通知されます。

認証・支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と認証・支払操作をキャンセルした場合に通知されます。

※ブラウザを×ボタンで閉じた場合は、通知されません。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクトURLに決済結果を通知します。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータをPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	該当取引のショップIDを返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
3	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 AUTHPROCESS：認証中 AUTH：仮売上 CAPTURE：即時売上 PAYFAIL：決済失敗 ※お客様がauかんたん決済の画面で支払方法にWebMoneyを選択し決済が成功した場合、現状態は即時売上になります。
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	PayInfoNo	-	CHAR	16	決済情報番号	オーソリ処理が正常終了した時に振り出される番号です。 お客様がau ID画面で確認できます。
6	PayMethod	-	CHAR	2	支払方法	支払方法です。 01：合算 02：クレジットカード 03：WebMoney 05：au PAY 残高（※） 06：au PAY カード（※） お客様がau ID画面で確認できます。 ※05、06はau随時契約がある場合のみ返却され、契約が無い場合は01が返却されます。
7	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列（※1）
8	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列（※1）

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。（必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります）

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

9.2. 決済の内容をキャンセル・返品する

決済が完了した取引の取引ID・取引パスワードを指定すると、以前実施した決済内容をキャンセル・返品することが可能です。

- ・ 精算後（売上確定した翌月以降）のキャンセルは、返品となります。
- ・ Webmoneyのキャンセル・返品はできません。

キャンセル可能期間は以下の通りです。

- ・ 仮売上のキャンセル：仮売上後90日以内
- ・ 実売上のキャンセル：実売上処理した月内

返品可能期間は以下の通りです。

- ・ 売上確定月の翌月から翌々月末日まで

9.2.1. 決済内容をキャンセル・返品する流れ

以下に、決済の内容をキャンセル・返品する流れを説明します。

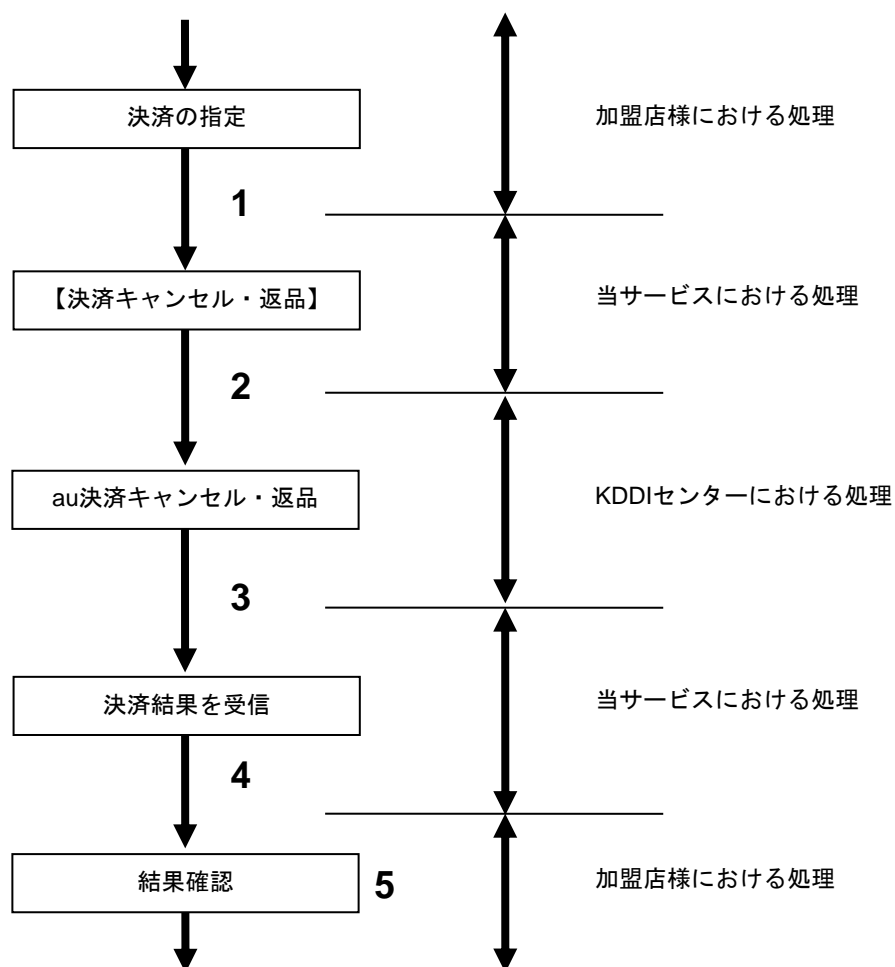


図 9.2.1-1 決済キャンセル・返品の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、キャンセル・返品する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの **【決済キャンセル・返品】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引のキャンセル・返品リクエストを KDDI センターに送信します。
3. KDDI センターは、キャンセル・返品結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、キャンセル・返品結果を返します。
5. 加盟店様は、決済キャンセル・返品の結果を確認します。

9.2.2. 各インタフェース仕様詳細

9.2.2.1. 決済キャンセル・返品

接続先URL

/payment/AuCancelReturn.idPass

インタフェース概要

決済が完了した取引に対して決済内容のキャンセル・返品を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	CancelAmount	◎	Number	7	キャンセル金額	
8	CancelTax		Number	7	キャンセル税送料	キャンセル金額+キャンセル税送料を キャンセル金額とします。(1円以上) キャンセル金額はオーソリ時の金額を 指定してください。 ※0 円の場合はエラーとする。 ※精算後(売上確定した翌月以降)のキ ャンセルのみ一部返品可能です。 例) 請求525円より全額キャンセル→ キャンセル金額: 525 請求525円より210円分キャンセル→キ ャンセル金額: 210

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	キャンセル・返品成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ CANCEL : キャンセル ・ RETURN : 返品 キャンセル・返品失敗時はキャンセル・返品処理前のステータスが返却されます。
3	Amount	-	Number	7	利用金額	利用金額からキャンセル金額を減算した結果を返却します。 例) 利用金額5000円よりキャンセル金額3000円 => 利用金額2000円
4	Tax	-	Number	7	税送料	税送料からキャンセル税送料を減算した結果を返却します。 例) 税送料250円よりキャンセル税送料150円 => 税送料100円
5	CancelAmount	-	Number	7	キャンセル金額	キャンセル金額を返却します。
6	CancelTax	-	Number	7	キャンセル税送料	キャンセル税送料を返却します。
7	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
8	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

9.3. 売上の確定を行う

仮売上の決済の取引ID・取引パスワードを指定すると、売上の確定処理(以下、実売上)が可能です。

- ・ 実売上可能期間は、仮売上後90日以内です。
- ・ オーソリした金額以内で、金額を指定した実売上が可能です。
- ・ 実売上は、1 オーダーIDにつき 1 度のみ実行可能です。減額して実売上を行った場合、残分を再度実売上することはできません。
- ・ 合算決済の場合のみ一部売上確定可能です。

9.3.1. 実売上を行う流れ

以下に、実売上を行う流れを説明します。

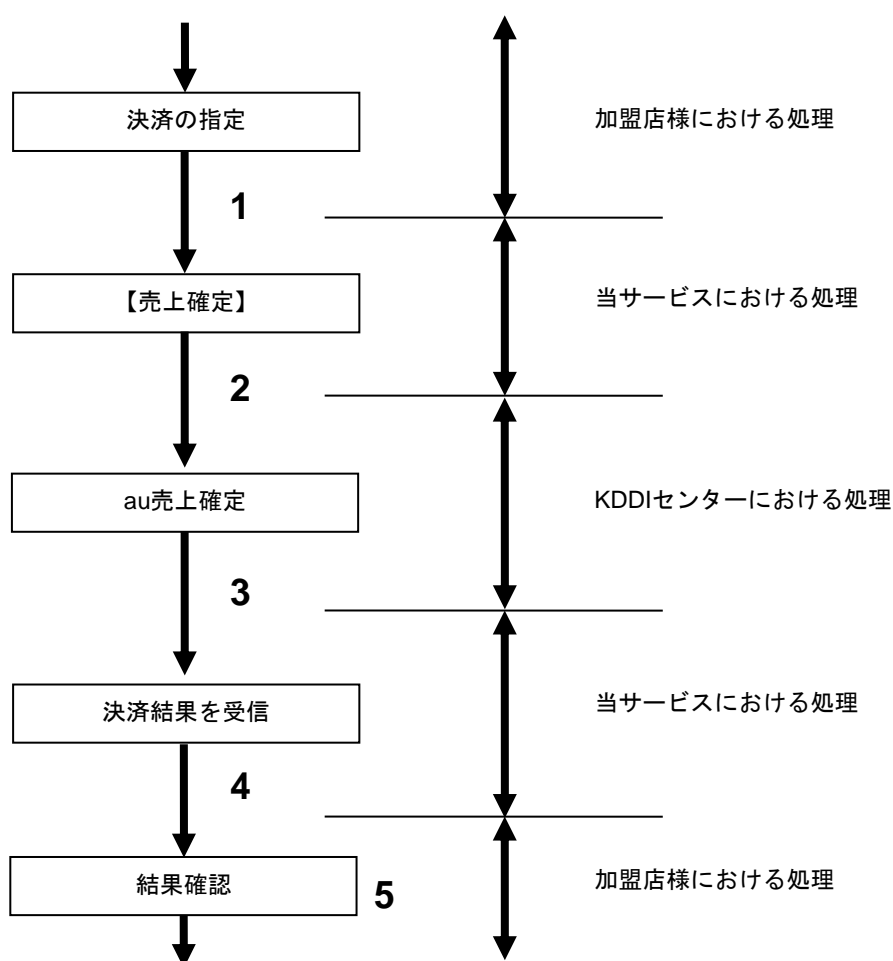


図 9.3.1-1 実売上の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、実売上する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの【売上確定】を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の売上確定リクエストを KDDI センターに送信します。
3. KDDI センターは、売上確定結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、売上確定結果を返します。
5. 加盟店様は、売上確定結果をお客様に表示します。

9.3.2. 各インタフェース仕様詳細

9.3.2.1. 実売上

接続先URL

/payment/AuSales.idPass

インタフェース概要

仮売上の決済に対して実売上を行います。尚、実行時に仮売上時との金額チェックを行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	Version		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	Amount	◎	NUMBER	7	利用金額	
8	Tax		NUMBER	7	税送料	利用金額＋税送料が売上金額となります (1円以上) ※0円の場合はエラーとします。 ※オーソリ時より大きい金額の場合はエラーとします。 ※オーソリ時と異なる金額の場合は、指定された金額で売上を確定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	売上確定成功時は以下のステータスが返却されます。 ・SALES：実売上 売上確定失敗時は売上確定処理前のステータスが返却されます。
3	Amount	-	Number	7	利用金額	売上確定した利用金額を返却します。
4	Tax	-	Number	7	税送料	売上確定した税送料を返却します。
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

9.4. OpenID 解除を行う

サイトID、会員IDを指定すると、該当会員のOpenID解除を行います。お客様のサービス停止や新しいOpenIDの取得が必要になった場合に、OpenID解除を行ってください。

9.4.1. OpenID 解除を行う流れ

以下に、OpenID解除を行う流れを説明します。

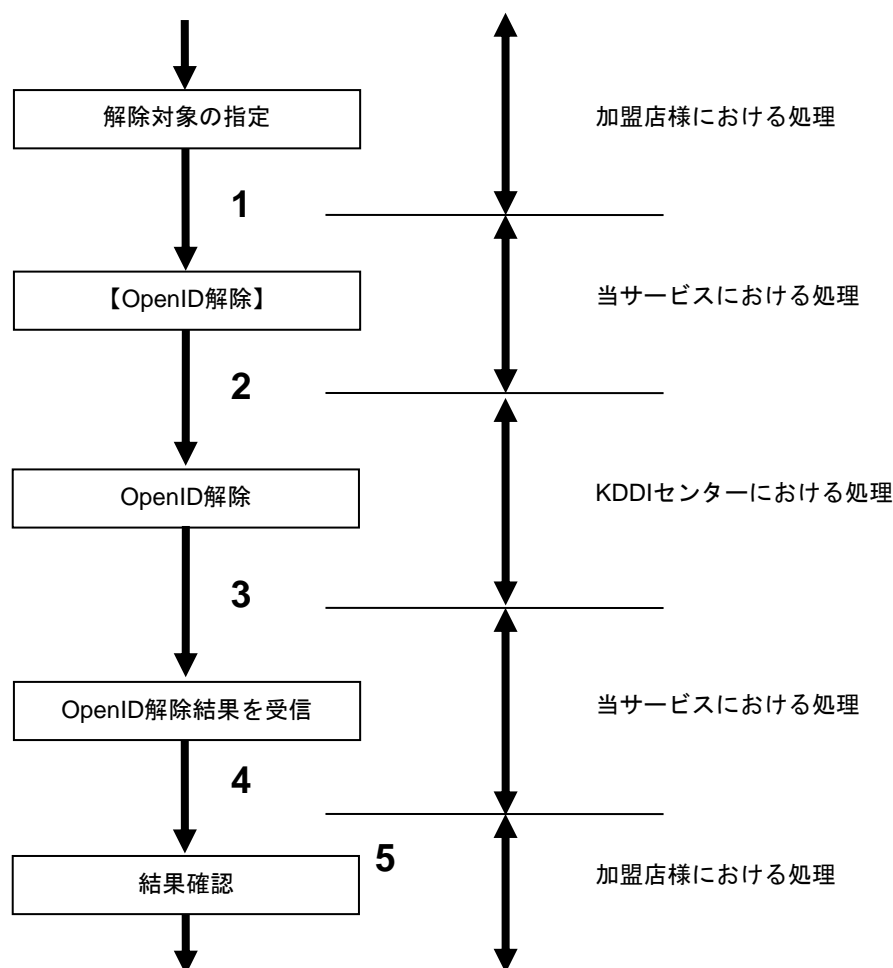


図 9.4.1-1 OpenID解除の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、OpenID を解除するサイト ID とサイトパスワードと会員 ID を指定し、当サービスの **【OpenID 解除】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された会員の OpenID 解除リクエストを KDDI センターに送信します。
3. KDDI センターは、OpenID 解除結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、OpenID 解除結果を返します。
5. 加盟店様は、OpenID 解除結果を確認します

9.4.2. 各インタフェース仕様詳細

9.4.2.1. OpenID 解除インタフェース仕様詳細

接続先URL

/payment/DeleteAuOpenID.idPass

インタフェース概要

OpenID解除を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	SiteID	◎	CHAR	13	サイトID	弊社が発行する値を設定します。
2	SitePass	◎	CHAR	10	サイトパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	MemberID	◎	CHAR	60	会員ID	OpenIDを解除する会員IDを指定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	SiteID	-	CHAR	13	サイトID	OpenID解除が正常終了の場合は指定されたSiteIDが返却されます。
2	MemberID	-	CHAR	60	会員ID	OpenID解除が正常終了の場合は指定されたMemberIDが返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

10. auかんたん決済継続課金インタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

10.1. auかんたん決済継続課金を実行する

購入時にお客様がauかんたん決済継続課金に必要な情報を入力してから決済依頼します。

10.1.1. auかんたん決済継続課金の流れ

以下に、auかんたん決済継続課金の流れを説明します。

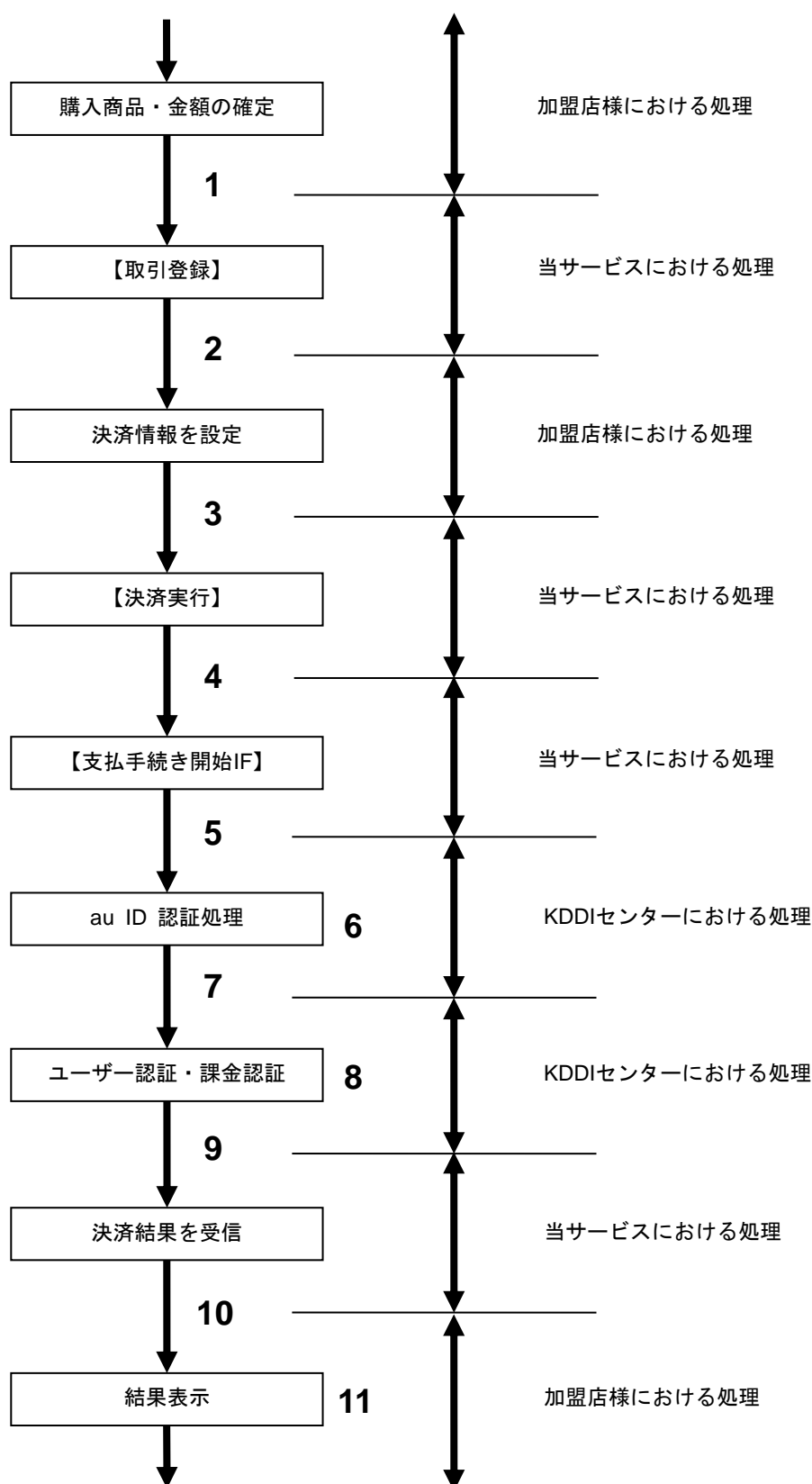


図 10.1.1-1 auかんたん決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様を KDDI センターの au ID 認証画面に誘導します。
6. お客様は、KDDI センターの au ID 認証画面にて ID の連携を行います。
7. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様を KDDI センターの決済画面に誘導します。
8. お客様は、au かんたん決済の決済画面にて支払操作を行います。
9. KDDI センターは、決済結果を当サービスに送信します。
10. 当サービスは、リダイレクト経由で、決済結果を返します。
11. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

10.1.2. 各インタフェース仕様詳細

10.1.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranAuContinuance.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	Amount	◎	NUMBER	7	課金利用金額	2回目以降の課金利用金額
6	Tax		NUMBER	7	課金税送料	2回目以降の課金税送料 課金税送料を指定した場合は、課金利用金額＋課金税送料が決済金額となります。 課金利用金額＋課金税送料で 1 円以上 9,999,999 円以下である必要があります。
7	FirstAmount	◎	NUMBER	7	初回課金利用金額	初回の課金利用金額
8	FirstTax		NUMBER	7	初回課金税送料	初回の課金税送料 初回課金税送料を指定した場合は、初回課金利用金額＋初回課金税送料が決済金額となります。 初回課金利用金額＋初回課金税送料で 1 円以上 9,999,999 円以下である必要があります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

10.1.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranAuContinuance.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンを返却します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	SiteID	●	CHAR	13	サイトID	弊社が発行する値を設定します。 会員ID指定時は必須です。
8	SitePass	●	CHAR	10	サイトパスワード	弊社が発行する値を設定します。 会員ID指定時は必須です。
9	MemberID	●	CHAR	60	会員ID	決済する対象の会員IDを設定します。
10	MemberName		CHAR	255	会員名	登録する名前を設定します。
11	CreateMember	●	CHAR	1	会員作成フラグ	会員が存在しない場合の動作を指定します。 0: 登録しない。 会員が存在しない場合、エラーを返す 1: 登録する。 会員が存在しない場合、新規登録する 会員ID指定時は必須です。
12	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
13	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
14	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
15	Commodity	◎	CHAR	48	摘要	エンドユーザが継続課金を認識できる説明、および課金のタイミングを明記します。 ※内容が不適切な場合はauかんたん決済サービスが利用停止されることもあります。 記入例 毎月1日課金 毎月月末課金 利用開始されて日付にて毎月課金 ※設定可能な文字は「全角文字」です。 全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。
16	AccountTimingKbn	◎	CHAR	2	課金タイミング区分	“01”: 課金タイミングで指定 “02”: 月末
17	AccountTiming	●	CHAR	2	課金タイミング	1~28で設定。(29,30,31は指定不可)

18	FirstAccountDate	◎	CHAR	8	初回課金日	当日から6ヶ月先までの間の日を yyyyMMddフォーマットで指定。 最大値（6ヶ月先）の例 6/17→12/17、8/31→2/28(29)
19	RetURL	◎	CHAR	256	決済結果戻しURL	加盟店様が当サービスからの決済結果 を受信する為の結果受信URLを設定し ます。 KDDIセンター上でお客様が認証、支払操 作をキャンセルした場合や、当サービス にて決済処理を実行した場合に指定され たURLに結果をリダイレクト経由で送信 されます。
20	PaymentTermSec		NUMBER	5	支払開始期限秒	お客様が【決済実行】から【支払手続き 開始IF】を呼び出すまでの期限です。 最大86,400秒（1日） 呼び出しパラメータが空の場合、120秒 で処理されます。
21	ServiceName	◎	CHAR	48	表示サービス名	加盟店様のサービス名称です。 お客様の購入履歴などに表示されます。 設定可能な文字は「全角文字」です。全 角文字についての詳細は、別紙「制限事 項一覧」を参照ください。
22	ServiceTel	◎	CHAR	15	表示電話番号	加盟店様の電話番号です。 お客様の購入履歴などに表示されます。 設定可能な文字は「半角数字と” - “(ハ イフン)」です。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	アクセスID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を 返却します。
2	Token	-	CHAR	256	トークン	アクセスIDのハッシュ値を返却します。
3	StartURL	-	CHAR	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始IFのURLを返却します。
4	StartLimitDate	-	CHAR	14	支払開始期限日時	支払手続き開始IFの呼び出し期限を返却 します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)
ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

10.1.2.3. 支払手続き開始IFの呼び出し

処理概要

auかんたん決済において、お客様をKDDIセンターのau ID認証画面へと遷移させる必要があります。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

接続先URL

/payment/AuContinuanceStart.idPass

インタフェース概要

お客様をau ID認証画面に誘導します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
2	Token	◎	CHAR	256	トークン	【決済実行】で発行された値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページサンプル

```
<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="AuStartCall" action="{AuStartURL}" method="POST">
    <noscript>
      <br>
      <br>
      <center>
        <h2>
          auかんたん決済画面へ遷移します。
        </h2>
        <input type="submit" value="続行">
      </center>
    </noscript>
    <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
    <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
  </form>
  <script >
    <!--
      function OnLoadEvent() {
        document.AuStartCall.submit();
      }
    </script>
  </body>
</html>
```

10.1.2.4. 決済結果受信

処理概要

KDDIセンターから、当サービスに認証・支払操作結果が通知されます。

認証・支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と認証・支払操作をキャンセルした場合に通知されます。

※ブラウザを×ボタンで閉じた場合は、通知されません。

※当サービスが処理中に、お客様の端末がタイムアウトした場合や、同じリクエストを当サービスに対して複数回行った場合は通知されません。（加盟店様のページを参照するようにメッセージを表示します）

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクトURLに決済結果を通知します。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータをPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	該当取引のショップIDを返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
3	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 REGISTER：継続課金登録 PAYFAIL：決済失敗
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	AuContinuAccountID	-	CHAR	11	継続課金ID	継続課金登録処理が正常終了した時に振り出される番号です。 お客様がau ID画面で確認できます。
6	AuPayMethod	-	CHAR	2	支払方法	支払方法です。 01：合算 02：クレジットカード 06：au PAY カード お客様がau ID画面で確認できます。
7	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
8	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

10.2. 継続課金を解約する

課金登録が完了した取引の取引ID・取引パスワードを指定すると、以前登録した継続課金を解約することが可能です。

課金登録の解約とすでに課金されている各月の課金は連動しません。

- ・ 課金解約は登録後いつでも実行可能です。
- ・ 課金解約を実行すると、当該月またはその翌月から課金されなくなります。
- ・ 課金解約を実行しても、すでに発生した課金は売上取消・返金されません。

10.2.1. 継続課金を解約する流れ

以下に、継続課金を解約する流れを説明します。

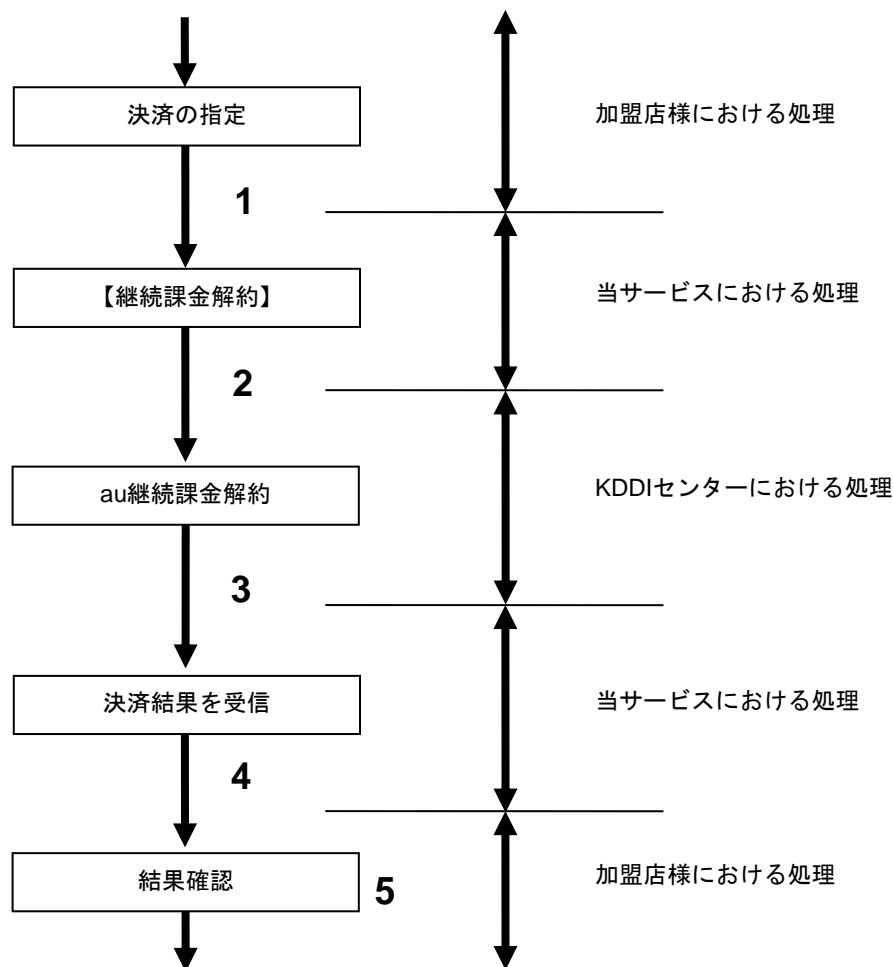


図 10.2.1-1 継続課金解約の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、解約する取引の取引IDと取引パスワードを指定し、当サービスの【継続課金解約】を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された課金登録（取引）の解約リクエストをKDDIセンターに送信します。
3. KDDIセンターは、継続課金解約結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、継続課金解約結果を返します。
5. 加盟店様は、継続課金解約の結果を確認します。

10.2.2. 各インタフェース仕様詳細

10.2.2.1. 継続課金解約

接続先URL

/payment/AuContinuanceCancel.idPass

インタフェース概要

継続課金登録した取引に対して解約を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	解約成功時は以下のステータスが返却されます。 ・CANCEL：継続課金解約
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

10.3. 課金を売上取消・返品する

課金日が到来し課金された課金に対して、売上取消または返金が可能です。取引の取引ID・取引パスワードおよび課金月を指定すると、指定された課金月の課金内容を売上取消・返品することが可能です。

- ・ 売上取消可能期間は課金月の月内です。
- ・ 返金可能期間は課金月の翌月から翌々月末日までです。
- ・ 返品の場合、キャンセル金額を設定可能です。
- ・ 初回課金、次回以降課金の区別はありません。
- ・ 売上取消・返金は1回のみ実施可能です。

10.3.1. 課金を売上取消・返品する流れ

以下、課金を売上取消・返品する流れを説明します。

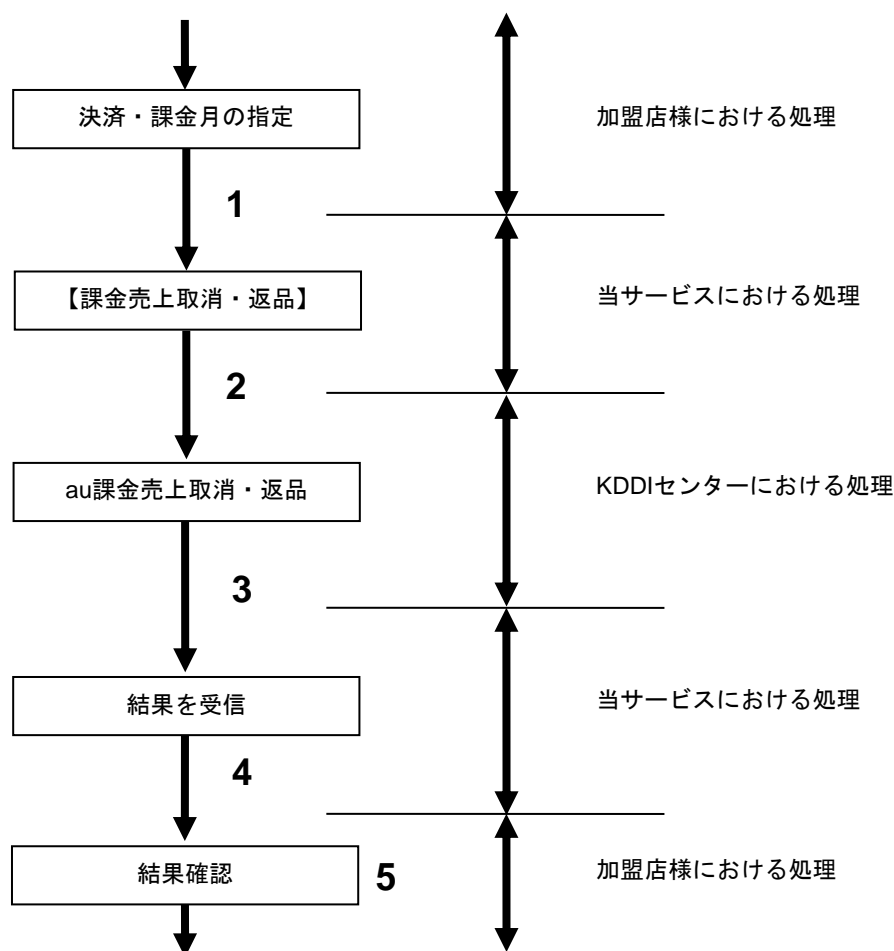


図 10.3.1-1 課金売上取消・返品の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、取引の取引 ID と取引パスワードおよび課金月を指定し、当サービスの **【課金売上取消・返品】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された課金の売上取消・返品リクエストを KDDI センターに送信します。
3. KDDI センターは、課金の売上取消・返品結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、課金の売上取消・返品結果を返します。
5. 加盟店様は、課金売上取消・返品の結果を確認します。

10.3.2. 各インタフェース仕様詳細

10.3.2.1. 課金売上取消・返品

接続先URL

/payment/AuContinuanceChargeCancel.idPass

インタフェース概要

課金日が到来し課金された課金に対して売上取消・返品を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	CancelAmount	◎	Number	7	キャンセル金額	0円以上、課金利用金額以内で指定します。 キャンセル金額+キャンセル税送料で1円以上で設定する必要があります。 売上取消の場合は課金利用金額全額を指定します。 ※返金のみ金額指定可能です。
8	CancelTax	◎	Number	7	キャンセル税送料	0円以上、課金税送料以内で指定します。 キャンセル金額+キャンセル税送料で1円以上で設定する必要があります。 売上取消の場合は課金利用金額全額を指定します。 ※返金のみ金額指定可能です。 例) 請求525円より全額キャンセル→ キャンセル金額: 525 請求525円より210円分キャンセル→ キャンセル金額: 210
9	ContinuanceMonth	◎	CHAR	6	課金月	売上取消・返金する課金月を設定します。 yyyyMM フォーマット

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	ContinuanceMonth	-	CHAR	6	課金月	売上取消・返品処理を行った課金月を返却します。(yyyyMMフォーマット)
3	Status	-	CHAR	-	ステータス	売上取消・返品成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ CANCEL : 売上取消 ・ RETURN : 返品 売上取消・返品失敗時は売上取消・返品処理前のステータスが返却されます。
4	Amount	-	Number	7	利用金額	利用金額からキャンセル金額を減算した結果を返却します。 例) 利用金額5000円よりキャンセル金額3000円 => 利用金額2000円
5	Tax	-	Number	7	税送料	税送料からキャンセル税送料を減算した結果を返却します。 例) 税送料250円よりキャンセル税送料150円 => 税送料100円
6	CancelAmount	-	Number	7	キャンセル金額	キャンセル金額を返却します。
7	CancelTax	-	Number	7	キャンセル税送料	キャンセル税送料を返却します。
8	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
9	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

10.4. OpenID 解除を行う

サイトID、会員IDを指定して該当会員のOpenID解除が可能です。お客様のサービス停止や新しいOpenIDの取得が必要になった場合に、OpenID解除を使用してください。

※OpenID連携を解除の前に、必ず継続課金解約を実施してください。

※OpenID連携を解除すると自動的にKDDIセンターにて継続課金が解約され、以後エンドユーザへ課金されなくなります。

OpenID解除の詳細については「9.4. OpenID解除を行う」を参照ください。

10.5. 課金結果ファイル送信

課金日当日（登録日が初回課金日の時はその翌日）にKDDIセンターで処理された課金結果を、日次でショップID単位に作成します。

ファイル送信は12:00までを目処に開始します。

加盟店様側からの正常応答が確認できなかった場合でも再送はありません。

管理画面にて再取得可能です。

10.5.1. ファイル出力対象

課金結果ファイルに出力される課金情報は以下の条件です。

- ・ 課金結果が成功または失敗の課金データ
- ・ 前日に課金登録を行い、初回課金日が前日の課金データ
- ・ 当日が課金日の課金データ

10.5.2. 課金結果ファイルを送信する流れ

以下に、課金結果ファイルを送信する流れを説明します。

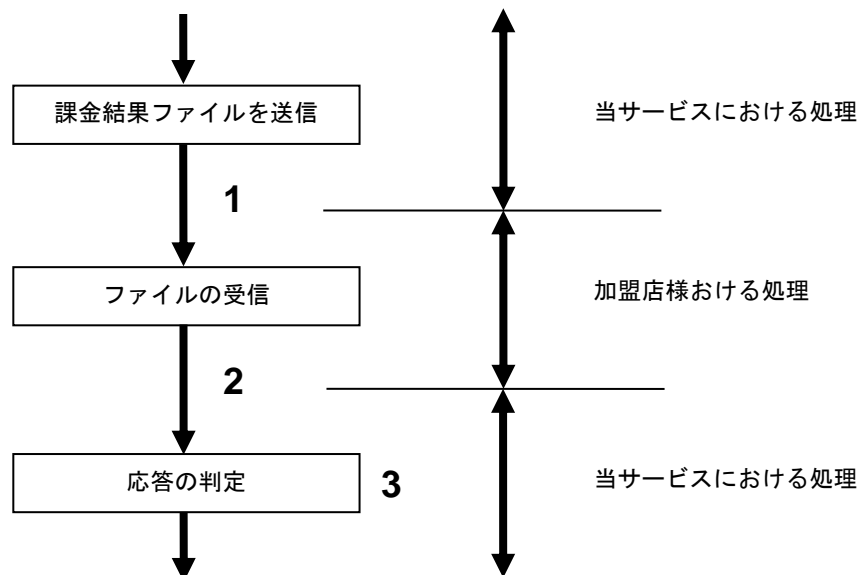


図 10.5.2-1 課金結果ファイルを送信する流れ

流れの説明

1. 当サービスは、課金結果ファイルを加盟店様が指定された URL に送信します。※
2. 加盟店様は、ファイルを受信後に正常または異常の応答をします。
3. 当サービスは、応答を判定し正常に送信されたを記録します。

※ショップ管理画面のメニュー「継続決済」>「auかんたん継続」>「設定」にて設定します。

ご注意点

結果通知プログラムにおいて、決済結果をhttps通信にて受け取る場合は、第三者が発行したSSLサーバ証明書が必要になります。尚、弊社で動作保証をしている電子証明書は下記になります。

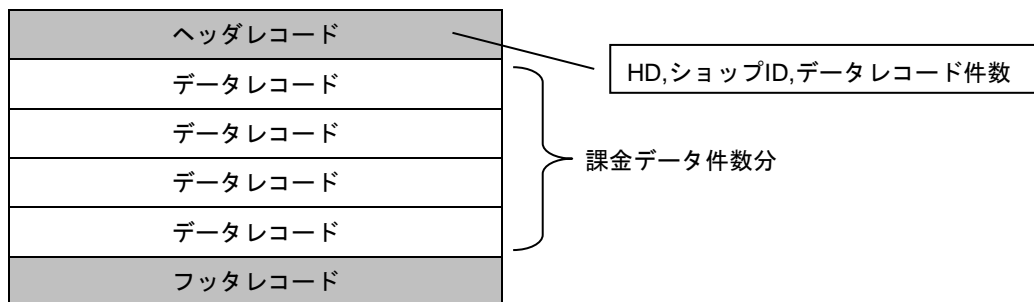
- ・ ベリサイン
- ・ GlobalSign
- ・ 日本ジオトラスト

※上記以外の電子証明書を使用する場合は、必ずテスト環境で疎通確認してください。

10.5.3. ファイル情報

課金結果ファイルは、ヘッダ、データ（課金データ件数分）、フッタの3種類のレコード構成となります。

図 10.5.3-1 申込状況ファイルを送信する流れ



出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

下記パラメータ名でファイルを送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ContinuanceResultFile	◎	File	-	ファイル	課金結果ファイルを返却します。 (※)

※ファイルの文字コードはUTF-8となります。

■ファイル情報

No	項目	値	詳細
1	ファイル名	AU_C_ショップID_yyyymmdd.csv	AU_C_tshop99_20120901.csv
2	区切り文字	半角コンマ	
3	改行コード	CRLF	
4	ソート順	オーダID, 課金月の昇順	
5	囲み文字	ダブルクォート	

■ヘッダレコード

No	項目	必須	型	桁	詳細
1	レコード区分	◎	CHAR	2	“HD”固定となります。
2	ショップID	◎	CHAR	13	ショップIDを設定します。
3	データレコード件数	◎	NUMBER	8	データレコードの件数を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 空白：省略可能】

※CHAR型の桁数は設定可能な最大バイト数を表記しています。

■データレコード

No	項目	必須	型	桁	詳細
1	ショップID	◎	CHAR	13	
2	オーダID	◎	CHAR	27	
3	課金確認日	◎	CHAR	8	課金確認日をyyyyMMdd形式で返却します。
4	課金日	◎	CHAR	8	課金日をyyyyMMdd形式で返却します。
5	取引状態	◎	CHAR	15	取引状態を返却します。 【SALES：課金済み】 【CHARGE_FAILED：課金失敗】 その他
6	利用金額	◎	CHAR	7	
7	税送料	◎	CHAR	7	
8	au継続課金ID	◎	CHAR	11	
9	au決済情報番号		CHAR	16	
10	取引IsD	◎	CHAR	32	
11	au加盟店管理番号	◎	CHAR	32	
12	エラーコード		CHAR	3	
13	エラー詳細コード		CHAR	9	
14	処理日時	◎	CHAR	14	処理日時をyyyyMMddHHmmss

【必須項目の記号 ◎：必須 空白：省略可能】

※CHAR型の桁数は設定可能な最大バイト数を表記しています。

■フッタレコード

No	項目	必須	型	桁	詳細
1	レコード区分	◎	CHAR	2	“FT”固定となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 空白：省略可能】

※CHAR型の桁数は設定可能な最大バイト数を表記しています。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

パラメータ名を使用せずに0もしくは1の値を返却します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	RecvRes	◎	CHAR	1	受信結果	以下のいずれか 0：受信OK 1：受信失敗

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

11. ドコモ払い決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

11.1. ドコモ払い決済を実行する

購入時にお客様がドコモ払い決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

11.1.1. ドコモ払い決済の流れ

以下に、ドコモ払い決済の流れを説明します。

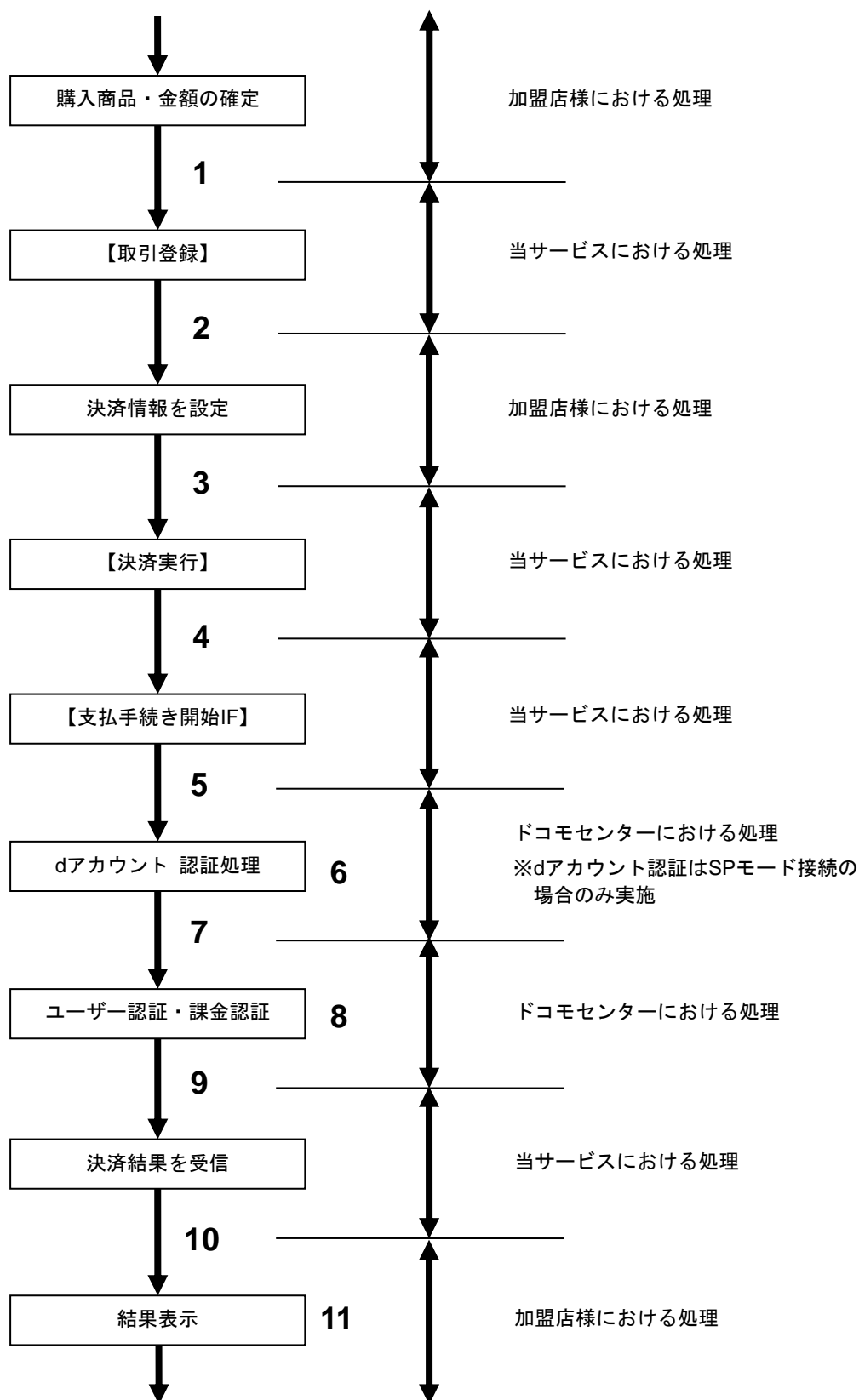


図 11.1.1-1 ドコモ払い決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をドコモセンターの d アカウント認証画面に誘導します。

※d アカウント認証は SP モード接続の場合のみ実施

6. お客様は、ドコモセンターの d アカウント認証画面にて ID の連携を行います。
7. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をドコモセンターの決済画面に誘導します。
8. お客様は、ドコモ払い決済の決済画面にて支払操作を行います。
9. ドコモセンターは、決済結果を当サービスに送信します。
10. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果を返します。

※ドコモセンター障害などにより、リダイレクト経由の処理結果と結果通知に相違が発生する場合がございます。その場合、結果通知を正としてください。

11. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

11.1.2. 各インタフェース仕様詳細

11.1.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranDocomo.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	JobCd	◎	CHAR	—	処理区分	AUTH：仮売上 CAPTURE：即時売上
6	Amount	◎	NUMBER	6	利用金額	
7	Tax		NUMBER	6	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額＋税送料が決済金額となります。 ドコモ料金合算払いの上限：10,000円 ※お客様のご利用状況によって30,000円となります。 ドコモ口座払いの上限：500,000円

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)
ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

11.1.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranDocomo.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンを返却します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
8	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
9	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
10	DocomoDisp1		CHAR	40	ドコモ表示項目1	spモードの場合のみ、以下のドコモ払い画面に表示されます。 ・ 決済内容確認画面 ・ 利用明細 商品の詳細説明や、お客様へのメッセージなどにご使用ください。
11	DocomoDisp2		CHAR	40	ドコモ表示項目2	改行が必要な場合は表示項目1、表示項目2に分けて設定してください。 設定可能な文字は、別紙「制限事項一覧」で禁止している文字に加え["][.]['] [¥] [/]以外です。
12	RetURL	●	CHAR	256	決済結果戻しURL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信URLを設定します。 ドコモセンター上でお客様が認証、支払操作をキャンセルした場合や、当サービスにて決済処理を実行した場合に指定されたURL に結果をリダイレクト経由で送信されます。
13	PaymentTermSec		NUMBER	5	支払開始期限秒	お客様が【決済実行】から【支払手続き開始IF】を呼び出すまでの期限です。 最大86,400秒（1日） 呼び出しパラメータが空の場合、120秒で処理されます。
14	DispShopName		CHAR	32	利用店舗名(※1)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として使用する店舗名です。 DispShopName～DispShopUrlのいずれも指定しない場合は、登録されているショップ名を使用します。 設定可能な文字は、別紙「制限事項一覧」で禁止している文字に加え["][.]['] [¥] [/]以外です。

15	DispPhoneNumber		CHAR	13 (※2)	連絡先電話番号(※1)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として表示する電話番号です。 設定可能な文字は半角数字と半角ハイフンのみです。
16	DispMailAddress		CHAR	96 (※2)	メールアドレス(※1)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として表示するメールアドレスです。 設定可能な文字は半角英数字、[@](半角アットマーク)、[.](半角ピリオド)、[-](半角ハイフン)、[_](半角アンダースコア)のみです。
17	DispShopUrl		CHAR	96 (※2)	問い合わせURL(※1)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として表示するURLです。 設定可能な文字は半角英数と["']["¥]以外の半角記号です。 尚、"/"(半角スラッシュ)は4バイトとしてカウントされます。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

※1：docomoと直接契約している加盟店様は、DispPhoneShopName～DispShopUrlの指定は不要です。

※2：DispPhoneNumber～DispShopUrlの設定値の合計バイト数を96バイト以内にしてください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	アクセスID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Token	-	CHAR	256	トークン	アクセスIDのハッシュ値を返却します。
3	StartURL	-	CHAR	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始IFのURLを返却します。
4	StartLimitDate	-	CHAR	14	支払開始期限日時	支払手続き開始IFの呼び出し期限を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

11.1.2.3. 支払手続き開始IFの呼び出し

処理概要

お客様をドコモセンターへ誘導します。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

接続先URL

/payment/DocomoStart.idPass

インタフェース概要

お客様をドコモセンターへ誘導します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
2	Token	◎	CHAR	256	トークン	【決済実行】で発行された値を設定します。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

リダイレクトページサンプル

```

<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="DocomoStartCall" action="{DocomoStartURL}" method="POST">
    <noscript>
      <br>
      <br>
      <center>
        <h2>
          ドコモ払いの決済画面へ遷移します。
        </h2>
        <input type="submit" value="続行">
      </center>
    </noscript>
    <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
    <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
  </form>
  <script>
  <!--
    function OnLoadEvent() {
      document.DocomoStartCall.submit();
    }
  //-->
  </script>
</body>
</html>

```

11.1.2.4. 決済結果受信

処理概要

ドコモセンターから、当サービスに認証・支払操作結果が通知されます。

認証・支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と認証・支払操作をキャンセルした場合に通知されます。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクトURLに決済結果を通知します。

この決済結果は、ドコモセンターの決済完了画面からブラウザ経由で連携されるため、ユーザの操作方法によっては支払操作が完了したにもかかわらず、加盟店様に通知されないことがあります。その際はショップ管理画面または結果通知にて確認ください。また、同様の理由でこの決済結果が複数回加盟店様に通知されることがあります。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータをPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	該当取引のショップIDを返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
3	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 AUTHPROCESS：認証中 AUTH：仮売上 CAPTURE：即時売上 PAYFAIL：決済失敗
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	DocomoSettlementCode	-	CHAR	12	ドコモ決済番号	オーソリ処理が正常終了した時にドコモから振り出される番号です。 お客様がMy docomo画面で確認できます。
6	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
7	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

11.2. 決済の内容をキャンセル・返品する

決済が完了した取引の取引ID・取引パスワードを指定すると、以前実施した決済内容をキャンセル・返品することが可能です。

- ・ ドコモセンターは24:00までに正常に受け付けた取引を当日分として処理します。
- ・ 仮売上上の3秒後からキャンセル・返品が可能となります。
- ・ 即時売上、実売上上の1分後からキャンセル・返品が可能となります。
- ・ すでに利用者に対しドコモから代金請求済みの場合、返品扱い(マイナス請求)となります。
- ・ キャンセル・返品可能期間は取引が発生した翌々月末20:00までです。
- ・ 取引の現状態が即時売上、実売上の場合、一部返品が可能です
- ・ 取引の現状態が即時売上、実売上の場合、売上金額が0円になるまで一部返品が可能です。
(一部返品後、再度一部返品可能となるのは1分後です。)

11.2.1. 決済内容をキャンセル・返品する流れ

以下に、決済の内容をキャンセル・返品する流れを説明します。

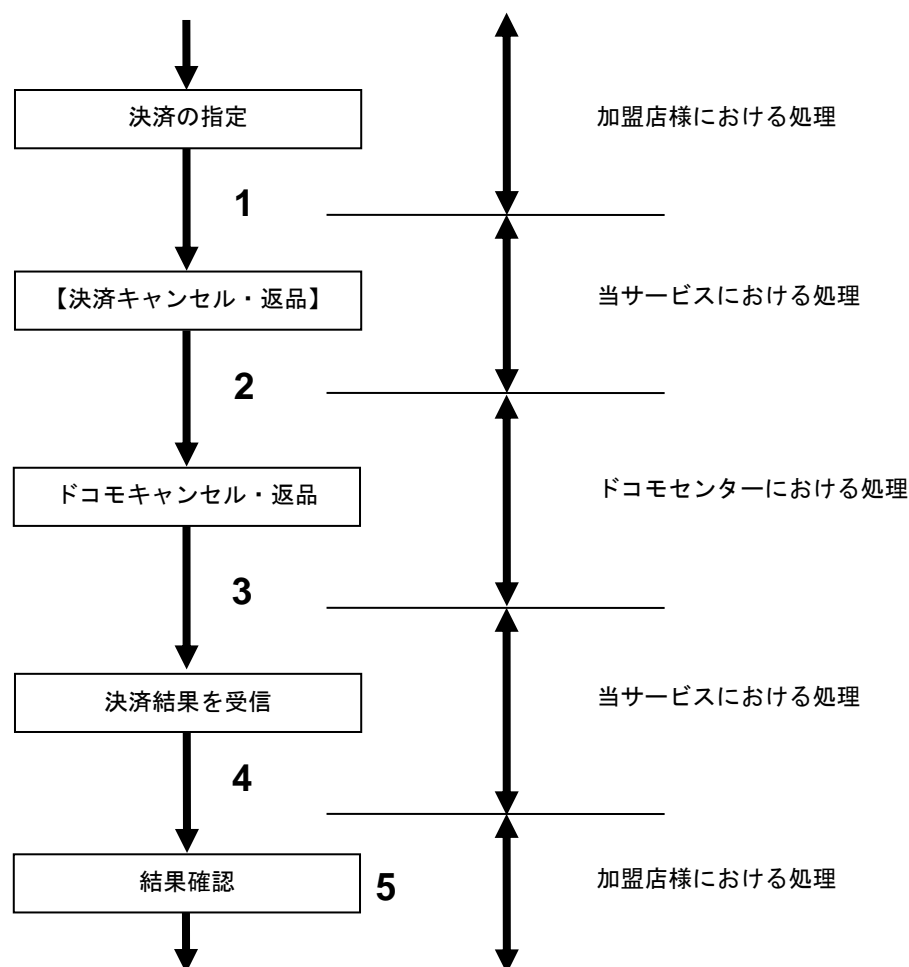


図 11.2.1-1 決済キャンセル・返品の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、キャンセル・返品する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの **【決済キャンセル・返品】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引のキャンセル・返品リクエストをドコモセンターに送信します。
3. ドコモセンターは、キャンセル・返品結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、キャンセル・返品結果を返します。
5. 加盟店様は、決済キャンセル・返品の結果を確認します。

11.2.2. 各インタフェース仕様詳細

11.2.2.1. 決済キャンセル・返品

接続先URL

/payment/DocomoCancelReturn.idPass

インタフェース概要

決済が完了した取引に対して決済内容のキャンセル・返品を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	CancelAmount	◎	Number	6	キャンセル金額	キャンセル金額＋キャンセル税送料を キャンセル金額とします。(1円以上)
8	CancelTax		Number	6	キャンセル税送料	キャンセル金額＋キャンセル税送料を キャンセル金額とします。(1円以上) 例) 請求525円より全額キャンセル→ キャンセル金額: 525 請求525円より210円分キャンセル→キ ャンセル金額: 210

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	キャンセル・返品成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ CANCEL : キャンセル
3	Amount	-	Number	6	利用金額	利用金額からキャンセル金額を減算した結果を返却します。 例) 利用金額500円よりキャンセル金額300円 => 利用金額200円
4	Tax	-	Number	6	税送料	税送料からキャンセル税送料を減算した結果を返却します。 例) 税送料250円よりキャンセル税送料150円 => 税送料100円
5	CancelAmount	-	Number	6	キャンセル金額	キャンセル金額を返却します。
6	CancelTax	-	Number	6	キャンセル税送料	キャンセル税送料を返却します。
7	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
8	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

11.3. 売上の確定を行う

仮売上の決済の取引ID・取引パスワードを指定すると、売上の確定処理(以下、実売上)が可能です。

- ・ 実売上可能期間は、取引登録した翌々月末20時までです。
- ・ 実売上可能期間を過ぎた取引は期限切れとなります。
- ・ オーソリ時の金額を減額して実売上が可能です。
- ・ 実売上は、1 オーダーIDにつき1度のみ実行可能です。減額して実売上を行った場合、残分を再度実売上することはできません。
- ・ 随時決済を行ったあとすぐに実売上を行う場合、3秒の待ち時間を入れてください。

11.3.1. 実売上を行う流れ

以下に、実売上を行う流れを説明します。

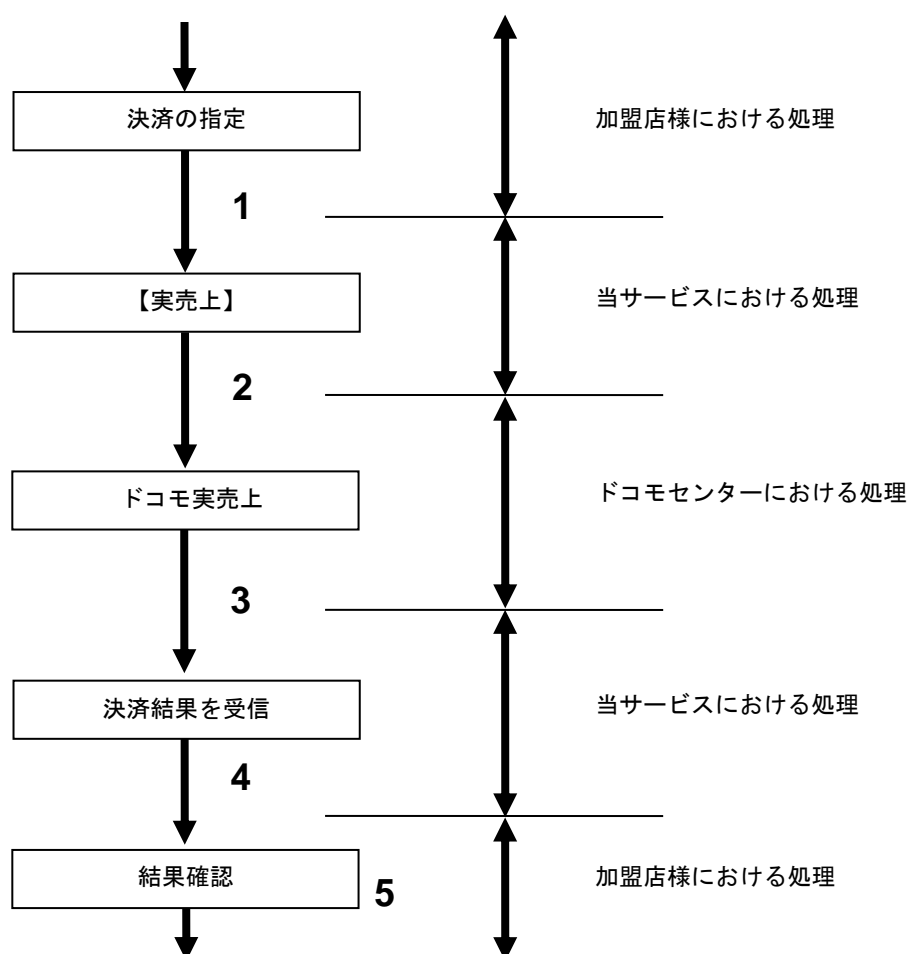


図 11.3.1-1 実売上の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、実売上する取引の取引IDと取引パスワードを指定し、当サービスの**【実売上】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の実売上リクエストをドコモセンターに送信します。
3. ドコモセンターは、実売上結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、実売上結果を返します。
5. 加盟店様は、実売上結果をお客様に表示します。

11.3.2. 各インタフェース仕様詳細

11.3.2.1. 実売上

接続先URL

/payment/DocomoSales.idPass

インタフェース概要

仮売上の決済に対して実売上を行います。尚、実行時に仮売上時との金額チェックを行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	Version		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	Amount	◎	NUMBER	6	利用金額	利用金額+税送料が売上金額となります (1円以上) ※合計が0円の場合はエラーとします。 ※オーソリ時より大きい金額の場合はエラーとします。
8	Tax		NUMBER	6	税送料	※オーソリ時と異なる金額の場合は、指定された金額で売上を確定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	実売上成功時は以下のステータスが返却されます。 ・SALES：実売上 実売上失敗時は実売上処理前のステータスが返却されます。
3	Amount	-	Number	6	利用金額	実売上した利用金額を返却します。
4	Tax	-	Number	6	税送料	実売上した税送料を返却します。
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

11.4. 決済の内容を増額する

決済が完了した取引の取引ID・取引パスワードを指定すると、以前実施した決済内容の増額が可能です。

- ・ ドコモセンターは24:00までに正常に受け付けた取引を当日分として処理します。
- ・ 即時売上、実売上の1分後から増額が可能となります。
- ・ 増額可能期間は取引が発生した翌々月末20:00までです。
- ・ 初回決済金額を超える増額はエラーとなります

11.4.1. 決済内容を増額する流れ

以下に、決済の内容を増額する流れを説明します。

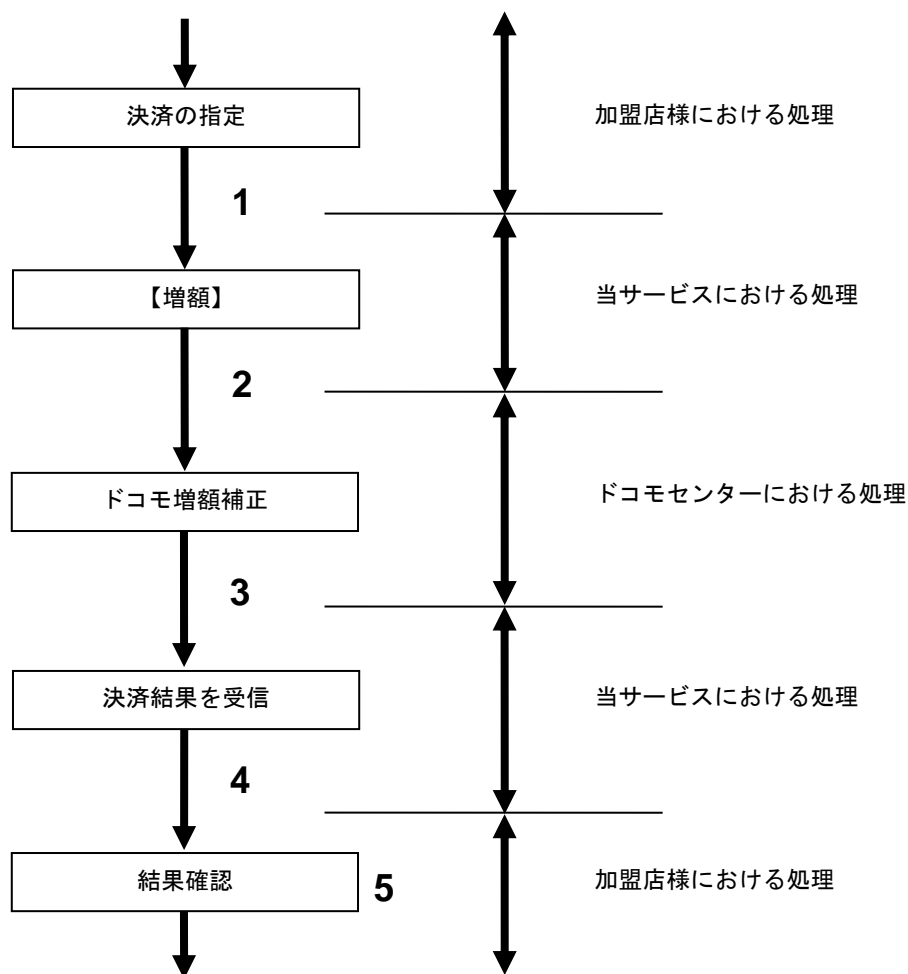


図 11.4.1-1 増額の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、増額する取引の取引IDと取引パスワードを指定し、当サービスの**【増額】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の増額補正リクエストをドコモセンターに送信します。
3. ドコモセンターは、増額結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、増額結果を返します。
5. 加盟店様は、決済増額の結果を確認します。

11.4.2. 各インタフェース仕様詳細

11.4.2.1. 増額

接続先URL

/payment/DocomoIncrease.idPass

インタフェース概要

決済が完了した取引に対して決済内容の増額を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	IncreaseAmount	◎	Number	6	増加金額	増加金額+増加税送料を増加金額とします。(1円以上)
8	IncreaseTax		Number	6	増加税送料	増加金額+増加税送料を増加金額とします。(1円以上)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	増額成功時は以下のステータスが返却されます。 ・SALES：実売上
3	Amount	-	Number	6	利用金額	利用金額から増加金額を加算した結果を返却します。
4	Tax	-	Number	6	税送料	税送料から増加税送料を加算した結果を返却します。
5	IncreaseAmount	-	Number	6	増加金額	増加金額を返却します。
6	IncreaseTax	-	Number	6	増加税送料	増加税送料を返却します。
7	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
8	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

12. ドコモ継続課金サービス決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

12.1. ドコモ継続課金サービスを登録する

購入時にお客様がドコモ継続課金サービス決済に必要な情報を入力してから登録依頼します。

12.1.1. ドコモ継続課金サービス登録の流れ

以下に、ドコモ継続課金サービス登録の流れを説明します。

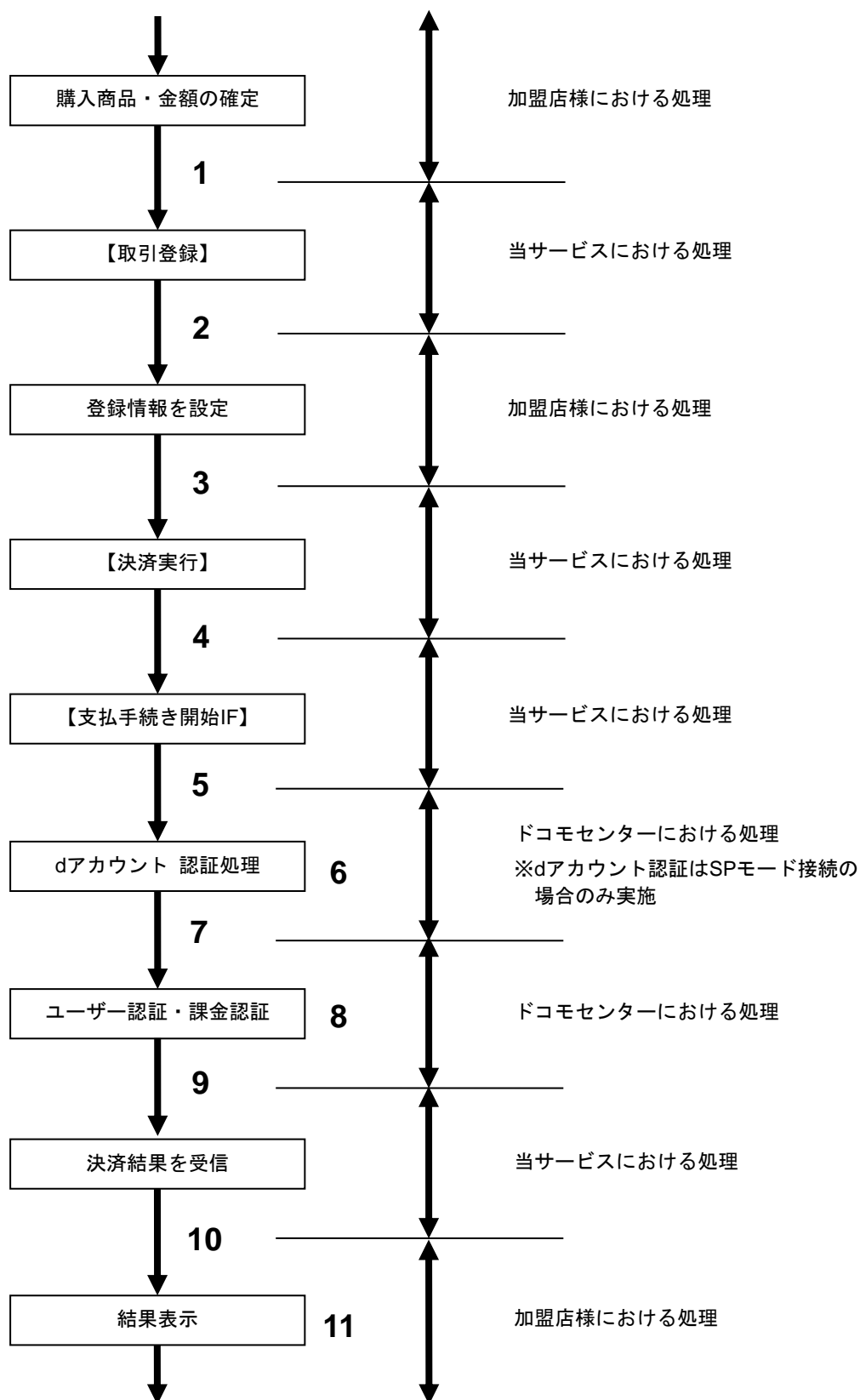


図 12.1.1-1 ドコモ継続課金サービス登録の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、申込情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をドコモセンターの d アカウント認証画面に誘導します。
※d アカウント認証は SP モード接続の場合のみ実施
6. お客様は、ドコモセンターの d アカウント認証画面にて ID の連携を行います。
7. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をドコモセンターの決済画面に誘導します。
8. お客様は、ドコモ継続課金登録の登録画面にて支払操作を行います。
9. ドコモセンターは、決済結果を当サービスに送信します。
10. 当サービスは、リダイレクト経由で登録結果を返します。
※ドコモセンター障害などにより、リダイレクト経由の処理結果と結果通知に相違が発生する場合がございます。その場合、結果通知を正としてください。
11. 加盟店様は、登録結果をお客様に表示します。

12.1.2. 各インタフェース仕様詳細

12.1.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranDocomoContinuance.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	Amount	◎	NUMBER	6	利用金額	
6	Tax		NUMBER	6	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が決済金額となります。 利用金額+税送料で 1 円以上ショップ上限金額以下である必要があります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)
ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

12.1.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranDocomoContinuance.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンを返却します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
8	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
9	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
10	DocomoDisp1		CHAR	40	ドコモ表示項目1	spモードの場合のみ、以下のドコモ払い画面に表示されます。 ・ 決済内容確認画面 ・ 利用明細
11	DocomoDisp2		CHAR	40	ドコモ表示項目2	商品の詳細説明や、お客様へのメッセージなどにご使用ください。 改行が必要な場合は表示項目1、表示項目2に分けて設定してください。 設定可能な文字は、別紙「制限事項一覧」で禁止している文字に加え[""]['']["¥"][/]以外です。
12	RetURL	◎	CHAR	256	決済結果戻しURL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信URLを設定します。 ドコモセンター上でお客様が認証、支払操作をキャンセルした場合や、当サービスにて決済処理を実行した場合に指定されたURL に結果をリダイレクト経由で送信されます。
13	PaymentTermSec		NUMBER	5	支払開始期限秒	お客様が【決済実行】から【支払手続き開始IF】を呼び出すまでの期限です。 最大86,400秒（1日） 呼び出しパラメータが空の場合、120秒で処理されます。
14	FirstMonthFreeFlag	◎	CHAR	1	初月無料区分	初月の課金を無料にするか指定します。 0：初月無料にしない 1：初月無料にする
15	ConfirmBaseDate	◎	CHAR	2	確定基準日	月々の継続課金を確定する日を指定します。 有効な日付は10,15,20,25,31です。 尚、31の場合は毎月月末に継続課金データを確定します。

16	DispShopName		CHAR	32	利用店舗名(※1)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として使用する店舗名です。 DispShopName～DispShopUrlのいずれも指定しない場合は、登録されているショップ名を使用します。 設定可能な文字は、別紙「制限事項一覧」で禁止している文字に加え[""]['']["¥"][/]以外です。
17	DispPhoneNumber		CHAR	13 (※2)	連絡先電話番号(※1)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として表示する電話番号です。 設定可能な文字は半角数字と半角ハイフンのみです。
18	DispMailAddress		CHAR	96 (※2)	メールアドレス(※1)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として表示するメールアドレスです。設定可能な文字は半角英数字、[@](半角アットマーク)、[.](半角ピリオド)、[-](半角ハイフン)、[_](半角アンダースコア)のみです。
19	DispShopUrl		CHAR	96 (※2)	問い合わせURL(※1)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として表示するURLです。 設定可能な文字は半角英数と[""]['']["¥"]以外の半角記号です。 尚、"/"(半角スラッシュ)は4バイトとしてカウントされます。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

※1：docomoと直接契約している加盟店様は、DispPhoneShopName～DispShopUrlの指定は不要です。

※2：DispPhoneNumber～DispShopUrlの設定値の合計バイト数を96バイト以内にしてください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	アクセスID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Token	-	CHAR	256	トークン	アクセスIDのハッシュ値を返却します。
3	StartURL	-	CHAR	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始IFのURLを返却します。
4	StartLimitDate	-	CHAR	14	支払開始期限日時	支払手続き開始IFの呼び出し期限を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

12.1.2.3. 継続課金支払開始IFの呼び出し

処理概要

お客様をドコモセンターへ誘導します。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

接続先URL

/payment/DocomoContinuanceStart.idPass

インタフェース概要

お客様をドコモセンターへ誘導します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
2	Token	◎	CHAR	256	トークン	【決済実行】で発行された値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページサンプル

```

<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="DocomoStartCall" action="{DocomoContinuanceStartURL}" method="POST">
    <noscript>
      <br>
      <br>
      <center>
        <h2>
          ドコモ継続課金サービスの支払画面へ遷移します。
        </h2>
        <input type="submit" value="続行">
      </center>
    </noscript>
    <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
    <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
  </form>
  <script>
    <!--
      function OnLoadEvent() {
        document.DocomoStartCall.submit();
      }
    <!-->
  </script>
</body>
</html>

```

12.1.2.4. 支払結果受信

処理概要

ドコモセンターから、当サービスに認証・支払操作結果が通知されます。

認証・支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と認証・支払操作をキャンセルした場合に通知されます。

処理後に指定されたリダイレクトURLに決済結果を通知します。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータをPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	該当取引のショップIDを返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
3	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 REGISTER：登録済 PAYFAIL：決済失敗
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	DocomoSettlementCode	-	CHAR	12	ドコモ決済番号	オーソリ処理が正常終了した時にドコモから振り出される番号です。 お客様がMy docomo画面で確認できます。
6	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
7	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

12.2. 基本データの金額変更を行う

取引ID・取引パスワードを指定すると、対象の基本データの金額変更が可能です。

変更した基本データ金額は翌月の課金データから適用されます。

- 金額変更実施方法は以下の2通りあります。
 1. 利用者の携帯端末から実施
 2. 加盟店様がインタフェースから実施
- 携帯端末からの変更の場合、増額・減額変更可能です。
- 加盟店様からの変更の場合、減額変更のみ可能です。
- 申込み、変更手続きから30分間は金額変更を受け付けできません。
- 月初の00:00～12:00までは携帯端末からの金額変更を受け付けていません。
- 月末20:00～翌12:00までは加盟店様からの金額変更を受け付けていません。

12.2.1. 携帯端末から基本データの金額変更を行う流れ

以下に、携帯端末から基本データの金額変更を行う流れを説明します。

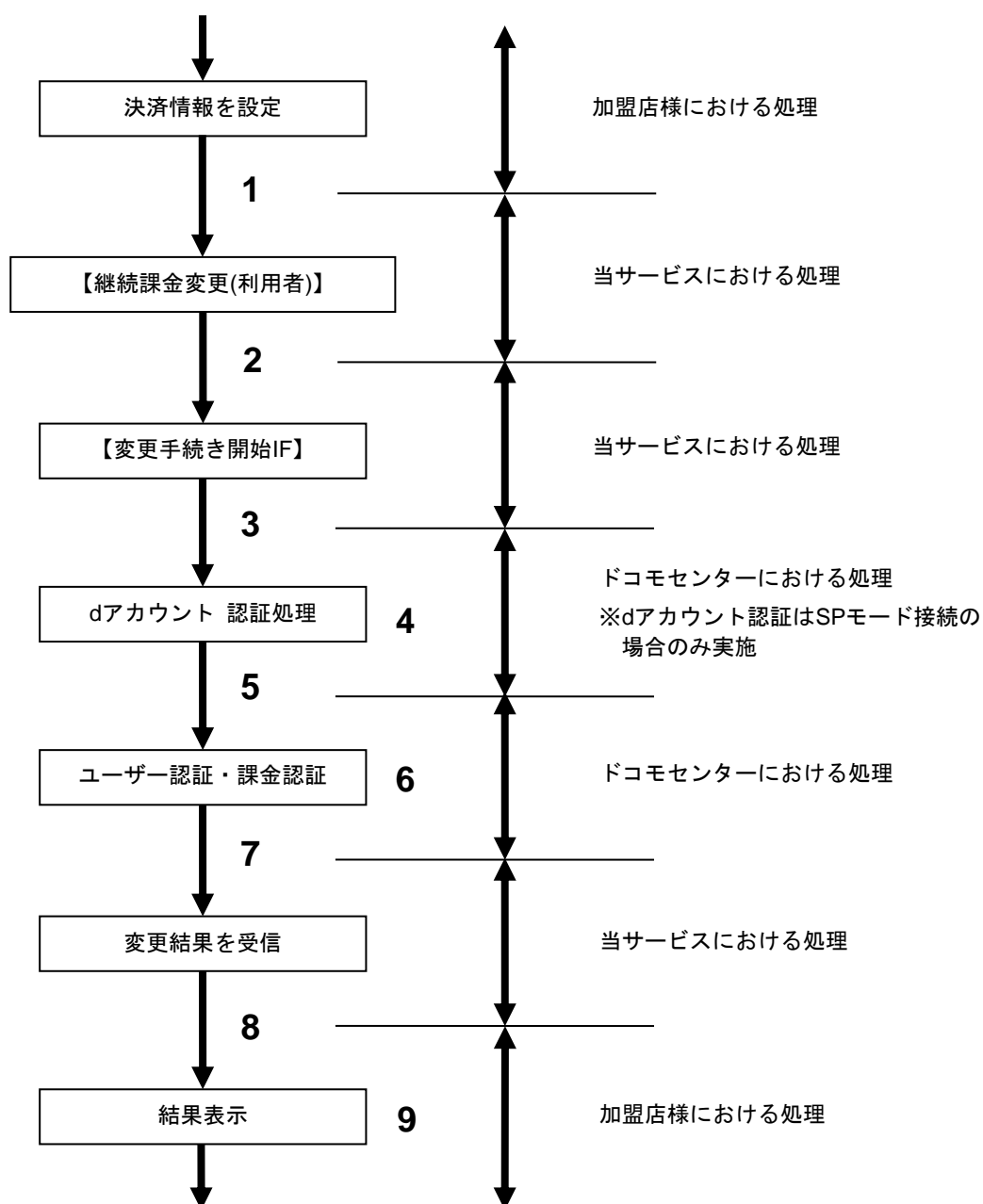


図 12.2.1-1 携帯端末から基本データ変更の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【**継続課金変更(利用者)**】を呼び出します。
2. 加盟店様は、お客様を当サービスの【**変更手続き開始 IF**】に誘導します。
3. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をドコモセンターの d アカウント認証画面に誘導します。
※d アカウント認証は SP モード接続の場合のみ実施
4. お客様は、ドコモセンターの d アカウント認証画面にて ID の連携を行います。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をドコモセンターの変更画面に誘導します。
6. お客様は、ドコモ継続課金決済の変更画面にて変更操作を行います。
7. ドコモセンターは、変更結果を当サービスに送信します。
8. 当サービスは、リダイレクト経由で変更結果を返します。
※ドコモセンター障害などにより、リダイレクト経由の変更結果と結果通知に相違が発生する場合がございます。その場合、結果通知を正としてください。
9. 加盟店様は、変更結果をお客様に表示します。

12.2.2. 各インタフェース仕様詳細

12.2.2.1. 金額変更(利用者)

接続先URL

/payment/DocomoContinuanceUserChange.idPass

インタフェース概要

携帯端末から金額変更を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	Amount	◎	NUMBER	6	利用金額	
8	Tax		NUMBER	6	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が決済金額となります。 利用金額+税送料で1円以上ショップ上限金額以下である必要があります。
9	DocomoDisp1		CHAR	40	ドコモ表示項目1	spモードの場合のみ、以下のドコモ払い画面に表示されます。 ・ 決済内容確認画面 ・ 利用明細 商品の詳細説明や、お客様へのメッセージなどにご使用ください。 改行が必要な場合は表示項目1、表示項目2に分けて設定してください。 設定可能な文字は、別紙「制限事項一覧」で禁止している文字に加え["][.][']["¥"][/]以外です。
10	DocomoDisp2		CHAR	40	ドコモ表示項目2	
11	RetURL	◎	CHAR	256	決済結果戻しURL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信URLを設定します。 ドコモセンター上でお客様が認証、支払操作をキャンセルした場合や、当サービスにて決済処理を実行した場合に指定されたURLに結果をリダイレクト経由で送信されます。
12	PaymentTermSec		NUMBER	5	支払開始期限秒	お客様が【決済実行】から【支払手続き開始IF】を呼び出すまでの期限です。 最大86,400秒（1日） 呼び出しパラメータが空の場合、120秒で処理されます。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	アクセスID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Token	-	CHAR	256	トークン	アクセスIDのハッシュ値を返却します。
3	StartURL	-	CHAR	256	変更手続き開始 IF の URL	変更手続き開始IFのURLを返却します。
4	StartLimitDate	-	CHAR	14	支払開始期限日時	支払手続き開始IFの呼び出し期限を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

12.2.2.2. 基本データ変更開始IFの呼び出し

処理概要

お客様をドコモセンターへ誘導します。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

接続先URL

/payment/DocomoContinuanceUserChangeStart.idPass

インタフェース概要

お客様をドコモセンターへ誘導します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
2	Token	◎	CHAR	256	トークン	【決済実行】で発行された値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページサンプル

```

<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="DocomoStartCall" action="{DocomoContinuanceUserChangeStartURL}" method="POST">
  <noscript>
    <br>
    <br>
    <center>
      <h2>
        ドコモ継続課金の変更画面へ遷移します。
      </h2>
      <input type="submit" value="続行">
    </center>
  </noscript>
  <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
  <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
</form>
<script>
<!--
  function OnLoadEvent() {
    document.DocomoStartCall.submit();
  }
  //-->
</script>
</body>
</html>

```

12.2.2.3. 変更結果受信

処理概要

ドコモセンターから、当サービスに認証・変更操作結果が通知されます。

認証・変更操作結果は、お客様が変更操作を完了した場合と認証・操作をキャンセルした場合に通知されます。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクトURLに決済結果を通知します。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータをPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	該当取引のショップIDを返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
3	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 REGISTER：登録済
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	DocomoSettlementCode	-	CHAR	12	ドコモ決済番号	オーソリ処理が正常終了した時にドコモから振り出される番号です。 お客様がMy docomo画面で確認できます。
6	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
7	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

12.2.3. 加盟店様から基本データの金額変更する

以下に、基本データの金額変更する流れを説明します。

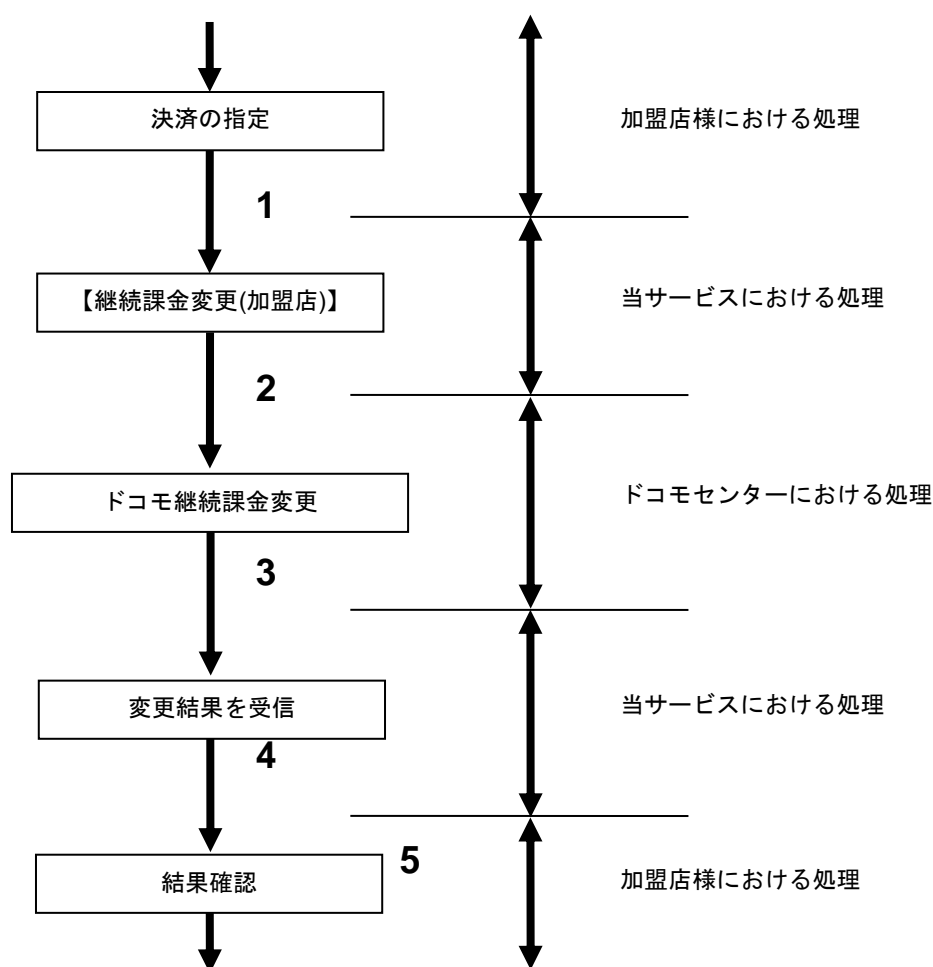


図 12.2.3-1 加盟店様からの基本データ金額変更の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、金額変更する継続課金の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの**【継続課金金額変更(加盟店)】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された継続課金の金額変更リクエストをドコモセンターに送信します。
3. ドコモセンターは、基本データ金額変更結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは基本データ金額変更結果を返します。
5. 加盟店様は、基本データ金額変更の結果を確認します。

12.2.4. 各インタフェース仕様詳細

12.2.4.1. 基本データ金額変更(加盟店様)

接続先URL

/payment/DocomoContinuanceShopChange.idPass

インタフェース概要

加盟店様が基本データの金額変更を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	Amount	◎	Number	6	利用金額	利用金額+税送料が変更金額となります。 (1円以上)
8	Tax		Number	6	税送料	

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	金額変更成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ RUN-CHANGE : 変更中
3	Amount	-	Number	6	利用金額	利用金額を返却します。
4	Tax	-	Number	6	税送料	税送料を返却します。
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)となります。
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)となります。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

12.3. 継続課金の終了を行う

取引ID・取引パスワード指定すると、対象の継続課金の終了が可能です。

継続課金の終了を行うと、その月の月末で継続課金は終了されます。

- ・ 継続課金の終了は、以下のいずれかで行うことができます。
 1. 利用者の携帯端末から実施
 2. 加盟店様がインタフェースから実施
- ・ 終了月の課金データが処理中の場合、終了月無料を選択することはできません。
インタフェースパラメータエラーとなります。
- ・ 申込み、金額変更手続きから30分間は継続課金の終了を受け付けできません。
- ・ 月初の00:00～12:00までは携帯端末からの継続課金の終了を受け付けていません。
- ・ 月末20:00～翌12:00までは加盟店様からの継続課金の終了を受け付けていません。
- ・ 加盟店様による継続課金の終了は、問題が発生した場合の対応などのみに行い、通常は携帯端末からの継続課金の終了を行ってください。

12.3.1. 携帯端末から継続課金の終了を行う流れ

継続課金の終了を行う流れを説明します。

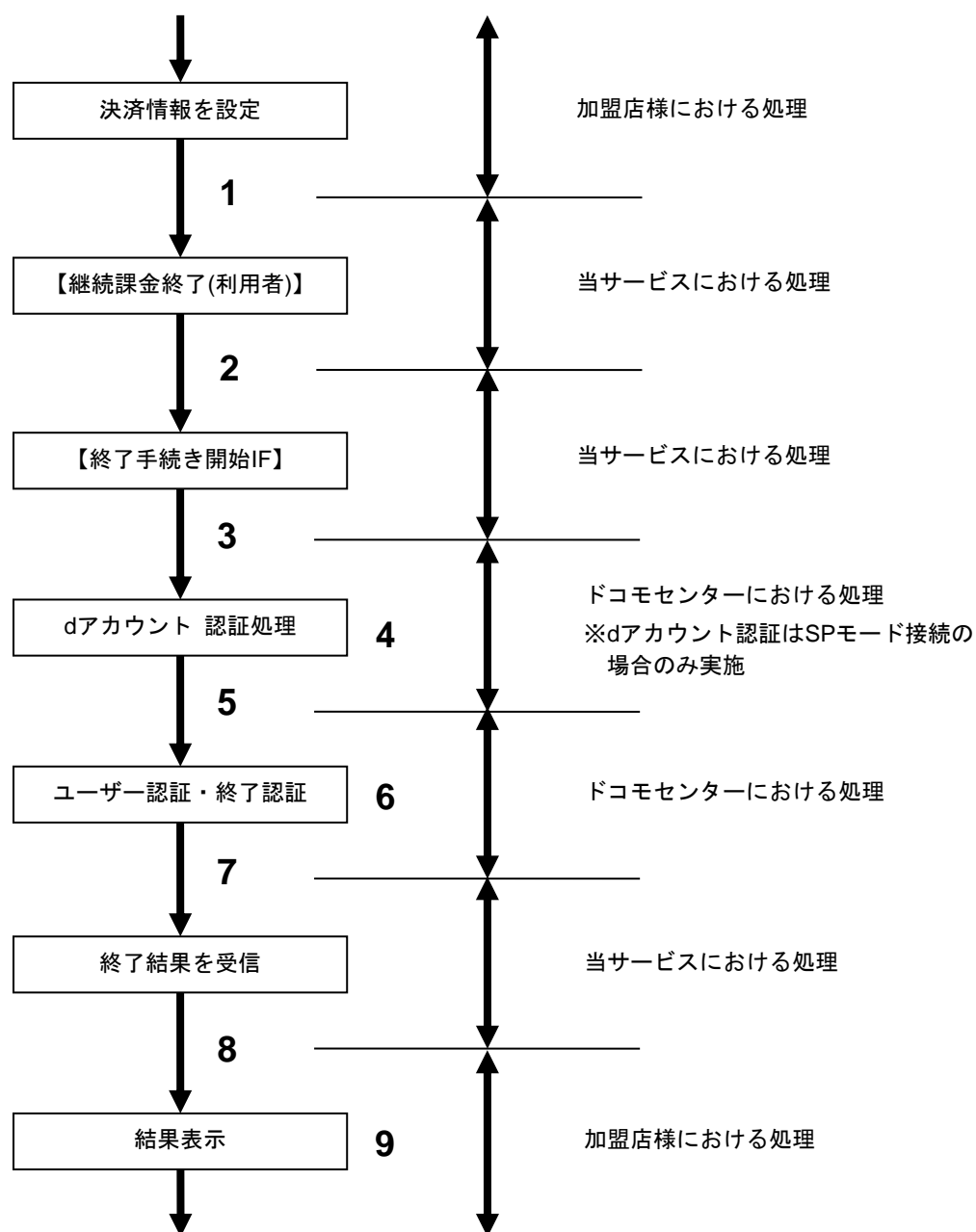


図 12.3.1-1 携帯端末から継続課金終了の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【**継続課金終了(利用者)**】を呼び出します。
2. 加盟店様は、お客様を当サービスの【**継続課金終了手続き開始 IF**】に誘導します。
3. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をドコモセンターの d アカウント認証画面に誘導します。
※d アカウント認証は SP モード接続の場合のみ実施
4. お客様は、ドコモセンターの d アカウント認証画面にて ID の連携を行います。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をドコモセンターの決済画面に誘導します。
6. お客様は、ドコモ継続課金終了の終了画面にて終了操作を行います。
7. ドコモセンターは、終了結果を当サービスに送信します。
8. 当サービスは、リダイレクト経由で終了結果を返します。
※ドコモセンター障害などにより、リダイレクト経由の終了結果と結果通知に相違が発生する場合がございます。その場合、結果通知を正としてください。
9. 加盟店様は、終了結果をお客様に表示します。

12.3.2. 各インタフェース仕様詳細

12.3.2.1. 継続課金終了(利用者)

接続先URL

/payment/DocomoContinuanceUserEnd.idPass

インタフェース概要

携帯端末から終了を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	Amount	◎	NUMBER	6	利用金額	現在の利用金額を指定します。
8	Tax		NUMBER	6	税送料	現在の税送料を指定します。
9	DocomoDisp1		CHAR	40	ドコモ表示項目1	spモードの場合のみ、以下のドコモ払い画面に表示されます。 ・ 決済内容確認画面 ・ 利用明細
10	DocomoDisp2		CHAR	40	ドコモ表示項目2	商品の詳細説明や、お客様へのメッセージなどにご使用ください。 改行が必要な場合は表示項目1、表示項目2に分けて設定してください。 設定可能な文字は、別紙「制限事項一覧」で禁止している文字に加え["][.][']][¥][/]以外です。
11	RetURL	◎	CHAR	256	決済結果戻しURL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信URLを設定します。 ドコモセンター上でお客様が認証、支払操作をキャンセルした場合や、当サービスにて決済処理を実行した場合に指定されたURL に結果をリダイレクト経由で送信されます。
12	PaymentTermSec		NUMBER	5	支払開始期限秒	お客様が【決済実行】から【支払手続き開始IF】を呼び出すまでの期限です。 最大86,400秒（1日） 呼び出しパラメータが空の場合、120秒で処理されます。
13	LastMonthFreeFlag	◎	CHAR	1	終了月無料区分	終了月の課金を無料にするか指定します。 0：終了月無料にしない 1：終了月無料にする

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	アクセスID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Token	-	CHAR	256	トークン	アクセスIDのハッシュ値を返却します。
3	StartURL	-	CHAR	256	終了手続き開始 IF の URL	終了手続き開始IFのURLを返却します。
4	StartLimitDate	-	CHAR	14	支払開始期限日時	支払手続き開始IFの呼び出し期限を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

12.3.2.2. 継続課金終了開始IFの呼び出し

処理概要

お客様をドコモセンターへ誘導します。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

接続先URL

/payment/DocomoContinuanceUserEndStart.idPass

インタフェース概要

お客様をドコモセンターへ誘導します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
2	Token	◎	CHAR	256	トークン	【決済実行】で発行された値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページサンプル

```

<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="DocomoStartCall" action="{DocomoContinuanceUserEndStartURL}" method="POST">
    <noscript>
      <br>
      <br>
      <center>
        <h2>
          ドコモ継続課金の終了画面へ遷移します。
        </h2>
        <input type="submit" value="続行">
      </center>
    </noscript>
    <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
    <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
  </form>
  <script>
    <!--
      function OnLoadEvent() {
        document.DocomoStartCall.submit();
      }
    //-->
  </script>
</body>
</html>

```

12.3.2.3. 終了結果受信

処理概要

ドコモセンターから、当サービスに認証・終了操作結果が通知されます。

認証・終了操作結果は、お客様が終了操作を完了した場合と認証・終了操作をキャンセルした場合に通知されます。

当サービスは、【終了実行】時に指定されたリダイレクトURLに決済結果を通知します。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータをPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	該当取引のショップIDを返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
3	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 END: 終了
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	DocomoSettlementCode	-	CHAR	12	ドコモ決済番号	オーソリ処理が正常終了した時にドコモから振り出される番号です。 お客様がMy docomo画面で確認できます。
6	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
7	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

12.3.3. 継続課金を終了する流れ

以下に、継続課金を終了する流れを説明します。

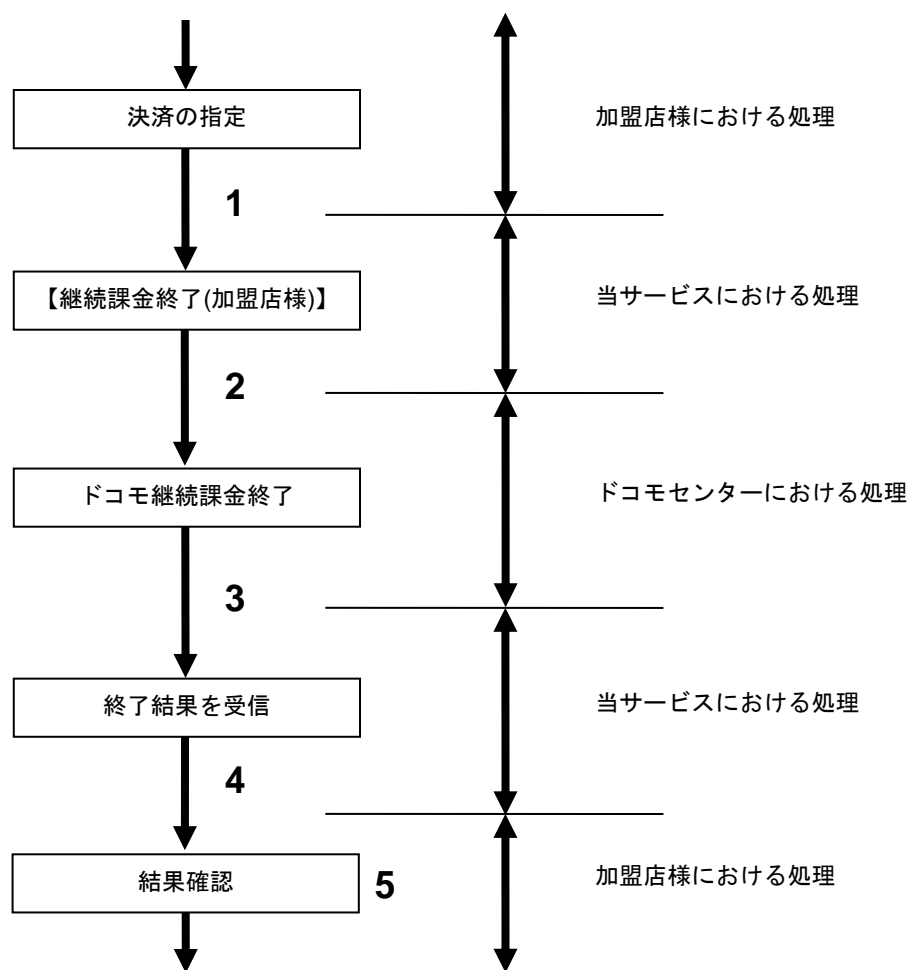


図 12.3.3-1 継続課金終了の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、終了する継続課金の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの **【継続課金終了(加盟店様)】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された継続課金の終了リクエストをドコモセンターに送信します。
3. ドコモセンターは、継続課金終了結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、継続課金終了結果を返します。
5. 加盟店様は、継続課金終了の結果を確認します。

12.3.4. 各インタフェース仕様詳細

12.3.4.1. 継続課金終了(加盟店様)

接続先URL

/payment/DocomoContinuanceShopEnd.idPass

インタフェース概要

継続課金の終了を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	Amount	◎	Number	6	利用金額	現在の利用金額を指定します。
8	Tax		Number	6	税送料	現在の税送料を指定します。
9	LastMonthFreeFlag	◎	CHAR	1	終了月無料区分	終了月の課金を無料にするか指定します。 0: 終了月無料にしない 1: 終了月無料にする

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	継続課金終了(加盟店様)要求成功時は以下のステータスが返却されます。 ・RUN-END: 終了中
3	Amount	-	Number	6	利用金額	利用金額を返却します。
4	Tax	-	Number	6	税送料	税送料を返却します。
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

12.4. 課金データを減額確定する

取引ID・取引パスワード指定すると、当月未確定分の課金データを減額確定することが可能です。

- ・ 当月未確定の課金データを確定できます。
- ・ ドコモセンターは20:00までに正常に受け付けた取引を当日分として処理します。
- ・ すでに確定済みのデータを再度確定することはできません。
- ・ 減額確定のみ可能です。
- ・ 確定結果は日次課金ファイルにて通知します。
- ・ 減額確定に失敗した場合、当月は課金されません。

12.4.1. 課金データを減額確定する流れ

以下に、課金データの内容を減額確定する流れを説明します。

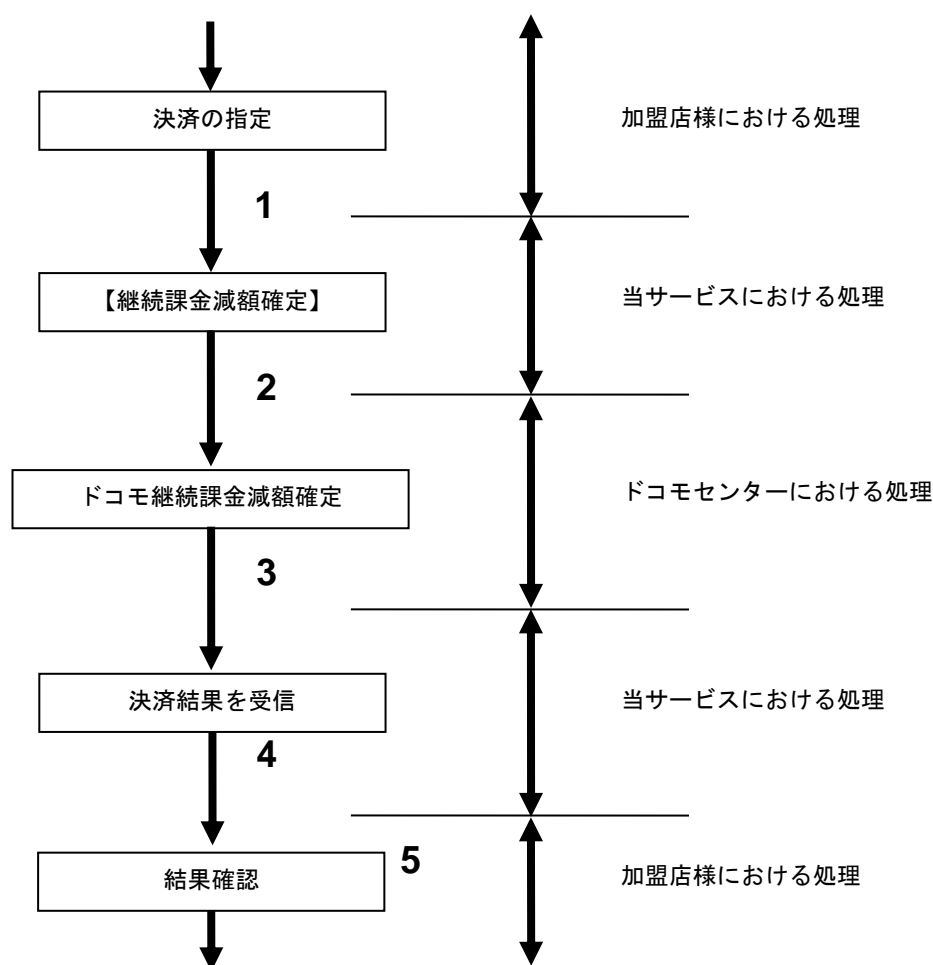


図 12.4.1-1 課金データ減額確定の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、減額確定する継続課金の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの **【継続課金減額確定】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された継続課金の減額確定リクエストをドコモセンターに送信します。
3. ドコモセンターは、課金データ減額確定結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、課金データ減額確定結果を返します。
5. 加盟店様は、継続課金減額確定の結果を確認します。

12.4.2. 各インタフェース仕様詳細

12.4.2.1. 課金データ減額確定

接続先URL

/payment/DocomoContinuanceSales.idPass

インタフェース概要

課金データの減額確定を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	Amount	◎	Number	6	利用金額	利用金額＋税送料が減額確定金額となります (1円以上)
8	Tax		Number	6	税送料	※確定前金額より大きい金額の場合はエラーとします。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	減額確定成功時は以下のステータスが返却されます。 ・RUN：実行中
3	Amount	-	Number	6	利用金額	利用金額を返却します。
4	Tax	-	Number	6	税送料	税送料を返却します。
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

12.5. 課金データをキャンセル・返品する

取引ID・取引パスワード・年月を指定すると、指定した課金データをキャンセル・返品することが可能です。

- ・ ドコモセンターは20:00までに正常に受け付けた取引を当日分として処理します。
- ・ 処理中の課金データのキャンセル・返品は不可です。
- ・ キャンセル・返品の取消はできません。
- ・ すでに利用者に対しドコモから代金請求済みの場合、返品扱い(マイナス請求)となります。
- ・ キャンセル・返品可能期間は取引が発生した翌々月末20:00までです。
- ・ 未確定データは全額キャンセルのみ可能です。

12.5.1. 課金データをキャンセル・返品する流れ

以下に、課金データをキャンセル・返品する流れを説明します。

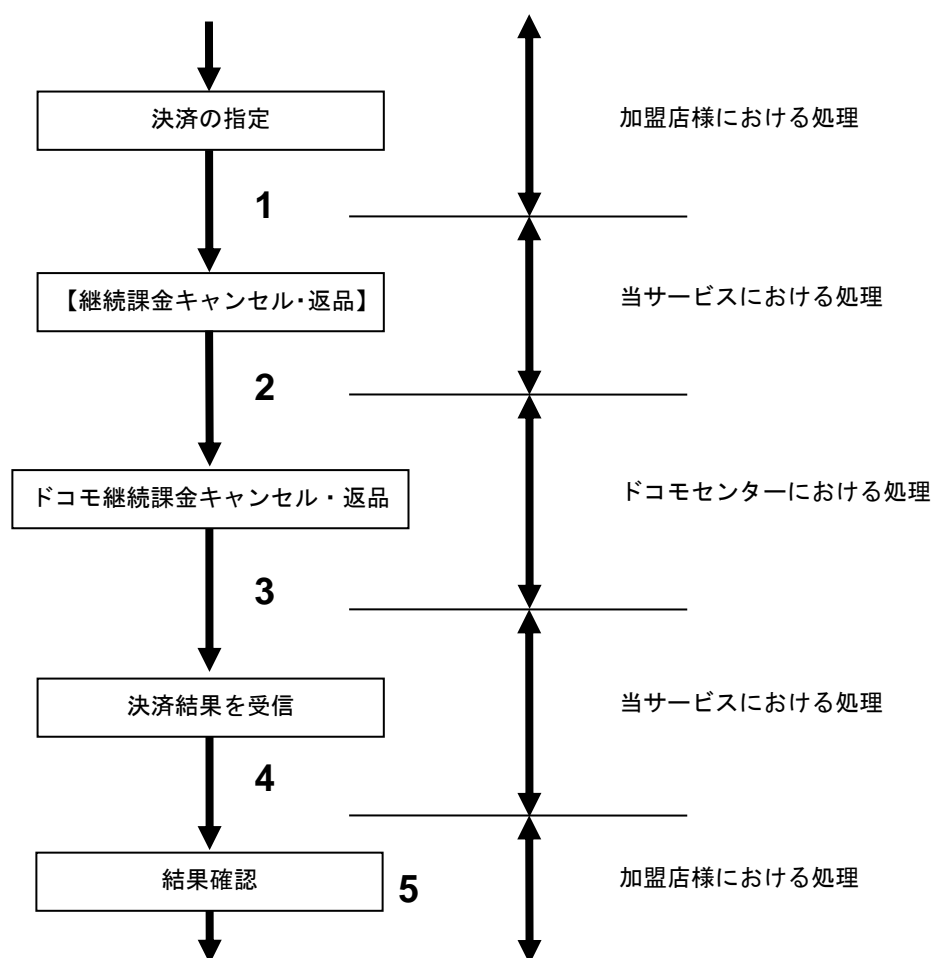


図 12.5.1-1 課金データキャンセル・返品の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、キャンセル・返品する継続課金の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの **【継続課金キャンセル・返品】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された継続課金のキャンセル・返品リクエストをドコモセンターに送信します。
3. ドコモセンターは、継続課金キャンセル・返品結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、継続課金キャンセル・返品結果を返します。
5. 加盟店様は、継続課金キャンセル・返品の結果を確認します。

12.5.2. 各インタフェース仕様詳細

12.5.2.1. 課金データキャンセル・返品

接続先URL

/payment/DocomoContinuanceCancelReturn.idPass

インタフェース概要

課金データのキャンセル・返品を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	CancelAmount	◎	Number	6	キャンセル金額	キャンセル金額+キャンセル税送料を キャンセル金額とします。(1円以上)
8	CancelTax		Number	6	キャンセル税送料	例) 請求525円より全額キャンセル→ キャンセル金額: 525 請求525円より210円分キャンセル→ キャンセル金額: 210
9	ContinuanceMonth	◎	CHAR	6	継続課金年月	キャンセル・返品する継続課金の年月を yyyyMM形式で指定してください。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	キャンセル・返品成功時は以下のステータスが返却されます。 ・RUN：処理中 キャンセル・返品はキャンセル・返品要求の翌営業日に確定されます。
3	Amount	-	Number	6	利用金額	利用金額からキャンセル金額を減算した結果を返却します。 例) 利用金額500円よりキャンセル金額300円 => 利用金額200円
4	Tax	-	Number	6	税送料	税送料からキャンセル税送料を減算した結果を返却します。 例) 税送料250円よりキャンセル税送料150円 => 税送料100円
5	CancelAmount	-	Number	6	キャンセル金額	キャンセル金額を返却します。
6	CancelTax	-	Number	6	キャンセル税送料	キャンセル税送料を返却します。
7	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
8	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

12.6. 日次課金ファイル送信

データがある場合のみ、ファイル作成前日にドコモセンターで処理された課金データの処理結果を日次でショップID単位に作成します。

また、加盟店様側からの正常応答が確認できなかった場合は60分ごとに5回ほど再送します。

12.6.1. ファイル出力対象

日次課金ファイルに出力される決済情報は以下の条件です。

- ・ ファイル作成前日にドコモセンターで確定、変更、取消された課金データ

12.6.2. 日次課金ファイルを送信する流れ

以下に、日次課金ファイルを送信する流れを説明します。

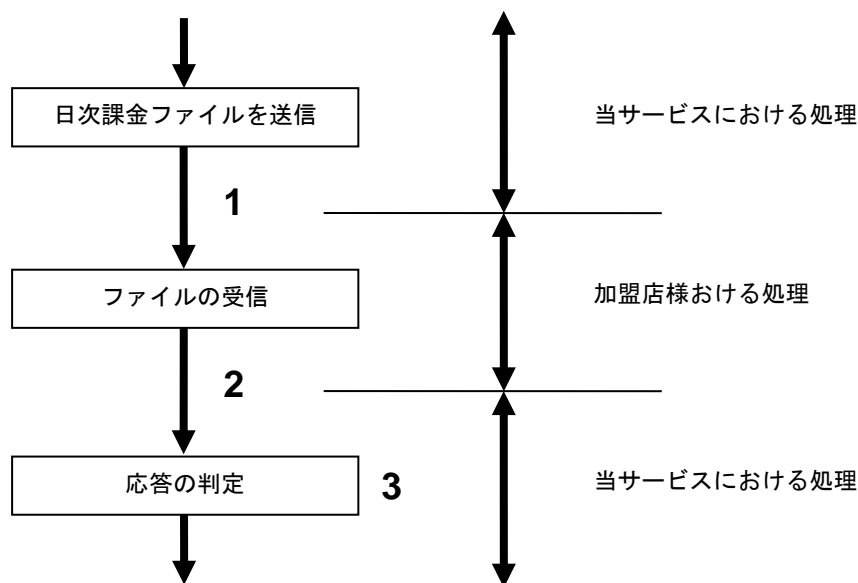


図 12.6.2-1 日次課金ファイルを送信する流れ

流れの説明

1. 当サービスは、日次課金ファイルを加盟店様が指定された URL に送信します。※
2. 加盟店様は、ファイルを受信後に正常または異常の応答をします。
3. 当サービスは、応答を判定し正常に送信されたのか再送するかを判定します。

※ショップ管理画面のメニュー「継続決済」>「docomo継続課金」>「設定」にて設定します。

ご注意点

結果通知プログラムにおいて、決済結果をhttps通信にて受け取る場合は、第三者が発行したSSLサーバ証明書が必要になります。尚、弊社で動作保証をしている電子証明書は下記になります。

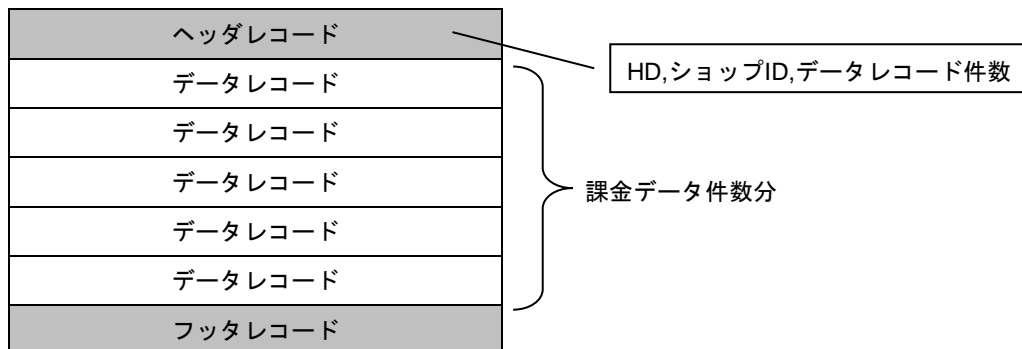
- ・ ペリサイン
- ・ GlobalSign
- ・ 日本ジオトラスト

※上記以外の電子証明書を使用する場合は、必ずテスト環境で疎通確認してください。

12.6.3. ファイル情報

日次課金ファイルは、ヘッダ、データ（課金データ件数分）、フッタの3種類のレコード構成となります。

図 12.6.3-1 申込状況ファイルを送信する流れ



出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

下記パラメータ名でファイルを送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	fileContents	◎	File	-	ファイル	日次課金ファイルを返却します。 (※)

※ファイルの文字コードはUTF-8となります。

■ファイル情報

No	項目	値	詳細
1	ファイル名	ファイルタイプ+"_"+ショップID+"_"+処理日(yyyymmdd)+ランダム数字※+"".csv	C_tshop99__201509161487619826588063419.csv ※ランダム数字 : 0~9223372036854775807の範囲
2	区切り文字	半角コンマ	
3	改行コード	CRLF	
4	ソート順	オーダID,課金月の昇順	
5	囲み文字	ダブルクォート	

■ヘッダレコード

No	項目	必須	型	桁	詳細
1	レコード区分	◎	CHAR	2	“HD”固定となります。
2	ショップID	◎	CHAR	13	ショップIDを設定します。
3	データレコード件数	◎	NUMBER	8	データレコードの件数を設定します。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 空白 : 省略可能】

※CHAR型の桁数は設定可能な最大バイト数を表記しています。

■データレコード

No	項目	必須	型	桁	詳細
1	ショップID	◎	CHAR	13	
2	オーダーID	◎	CHAR	27	
3	課金月	◎	CHAR	6	課金月をyyyyMM形式で返却します。
4	取引状態	◎	CHAR	15	取引状態を返却します。 【SALES：課金済み】 【CANCEL：キャンセル・返品】 【INVALID：無効】
5	利用金額	◎	CHAR	8	
6	税送料	◎	CHAR	7	
7	キャンセル金額		CHAR	8	
8	キャンセル税送料		CHAR	7	
9	取引ID	◎	CHAR	32	
10	取引パスワード	◎	CHAR	32	
11	ドコモ課金番号	◎	CHAR	18	
12	ドコモ加盟店注文番号	◎	CHAR	20	
13	処理期限	◎	CHAR	14	処理期限をyyyyMMddHHmmss形式で返却します。
14	エラーコード		CHAR	3	
15	エラー詳細コード		CHAR	9	
16	処理日時	◎	CHAR	14	処理日時をyyyyMMddHHmmss

【必須項目の記号 ◎：必須 空白：省略可能】

※CHAR型の桁数は設定可能な最大バイト数を表記しています。

■フッタレコード

No	項目	必須	型	桁	詳細
1	レコード区分	◎	CHAR	2	“FT”固定となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 空白：省略可能】

※CHAR型の桁数は設定可能な最大バイト数を表記しています。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

パラメータ名を使用せずに0もしくは1の値を返却します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	RecvRes	◎	CHAR	1	受信結果	以下のいずれか 0：受信OK 1：受信失敗

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

12.7. 申込状況ファイル送信

当月有効な継続課金申込みデータを日次でショップID単位に作成します。また、加盟店様側からの正常応答が確認できなかった場合は60分ごとに5回ほど再送します。

12.7.1. ファイル出力対象

申込状況ファイルに出力される決済情報は以下の条件です。

- ・ 契約中の申込みデータ
- ・ 当月末で解約となる申込みデータ

12.7.2. 申込状況ファイルを送信する流れ

以下に、申込状況ファイルを送信する流れを説明します。

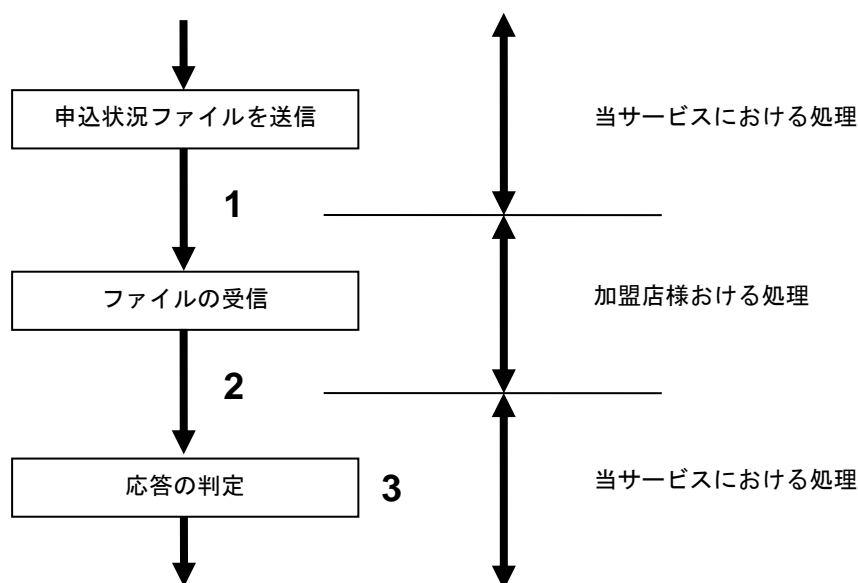


図 12.7.2-1 申込状況ファイルを送信する流れ

流れの説明

1. 当サービスは、申込状況ファイルを加盟店様が指定された URL に送信します。※
2. 加盟店様は、ファイルを受信後に正常または異常の応答をします。
3. 当サービスは、応答を判定し正常に送信されたのか再送するかを判定します。

※ショップ管理画面のメニュー「継続決済」>「docomo継続課金」>「設定」にて設定します。

ご注意点

結果通知プログラムにおいて、決済結果をhttps通信にて受け取る場合は、第三者が発行したSSLサーバ証明書が必要になります。尚、弊社で動作保証をしている電子証明書は下記になります。

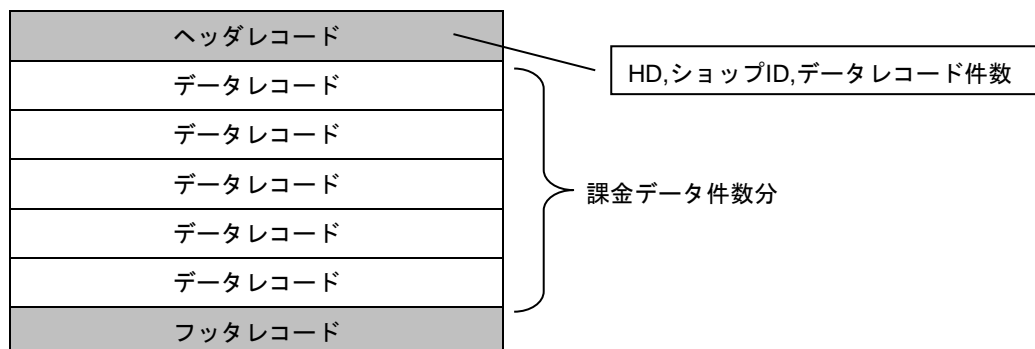
- ・ ペリサイン
- ・ GlobalSign
- ・ 日本ジオトラスト

※上記以外の電子証明書を使用する場合は、必ずテスト環境で疎通確認してください。

12.7.3. ファイル情報

申込状況ファイルは、ヘッダ、データ（課金データ件数分）、フッタの3種類のレコード構成となります。

図 12.7.3-1 申込状況ファイルの構成イメージ



出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

下記パラメータ名でファイルを送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	fileContents	◎	File	-	ファイル	申込状況ファイルを返却します。 (※)

※ファイルの文字コードはUTF-8となります。

■ファイル情報

No	情報	値	サンプル
1	ファイル名	R_ショップID_当日日付.csv	R_tshop99_20120901.csv
2	区切り文字	半角コンマ	
3	改行コード	CRLF	
4	ソート順	オーダID, 課金月の昇順	
5	囲み文字	ダブルクォート	

■ヘッダレコード

No	項目	必須	型	桁	詳細
1	レコード区分	◎	CHAR	2	“HD”固定となります。
2	ショップID	◎	CHAR	13	ショップIDを設定します。
3	データレコード件数	◎	NUMBER	8	データレコードの件数を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 空白：省略可能】

※CHAR型の桁数は設定可能な最大バイト数を表記しています。

■データレコード

No	項目	必須	型	桁	詳細
1	ショップID	◎	CHAR	13	
2	オーダーID	◎	CHAR	27	
3	取引状態	◎	CHAR	15	取引状態を返却します。 【REGISTER：契約中】 【RUN-CHANGE：変更処理中】 【RUN-END：契約終了処理中】 【END：契約終了】
4	利用金額	◎	CHAR	8	
5	税送料	◎	CHAR	7	
6	変更利用金額		CHAR	8	
7	変更税送料		CHAR	7	
8	ドコモ表示項目1		CHAR	40	
9	ドコモ表示項目2		CHAR	40	
10	ドコモ決済番号	◎	CHAR	18	
11	加盟店自由項目1		CHAR	100	
12	加盟店自由項目2		CHAR	100	
13	加盟店自由項目3		CHAR	100	
14	取引ID	◎	CHAR	32	
15	取引パスワード	◎	CHAR	32	
16	ドコモ加盟店注文番号	◎	CHAR	20	
17	ドコモ端末区分	◎	CHAR	2	お客様の端末区分を返却します。 【SP：SPモード】 【I：iモード】 【PC：パソコン】
18	Wi-fiテザリング接続	◎	CHAR	1	お客様のWi-fiテザリング接続状況を返却します。 【0：Wi-fiテザリング接続なし】 【1：Wi-fiテザリング接続有】
19	確定基準日	◎	CHAR	2	
20	初月無料フラグ	◎	CHAR	1	初月無料フラグを返却します。 【0：初月有料】 【1：初月無料】
21	終了月無料フラグ		CHAR	1	終了月無料フラグを返却します。 【0：終了月有料】 【1：終了月無料】
22	継続課金終了日		CHAR	14	継続課金終了日をyyyyMMddHHmmss形式で返却します。
23	エラーコード		CHAR	3	
24	エラー詳細コード		CHAR	9	
25	処理日時	◎	CHAR	14	処理日時をyyyyMMddHHmmss形式で返却します。

■フッタレコード

No	項目	必須	型	桁	詳細
1	レコード区分	◎	CHAR	2	“FT”固定となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 空白：省略可能】

※CHAR型の桁数は設定可能な最大バイト数を表記しています。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

パラメータ名を使用せずに0もしくは1の値を返却します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	RecvRes	◎	CHAR	1	受信結果	以下のいずれか 0：受信OK 1：受信失敗

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

13. ソフトバンクまとめて支払い（B）決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

13.1. ソフトバンクまとめて支払い（B）決済を実行する

購入時にお客様がソフトバンクまとめて支払い（B）決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

13.1.1. ソフトバンクまとめて支払い（B）決済の流れ

以下に、ソフトバンクまとめて支払い（B）決済の流れを説明します。

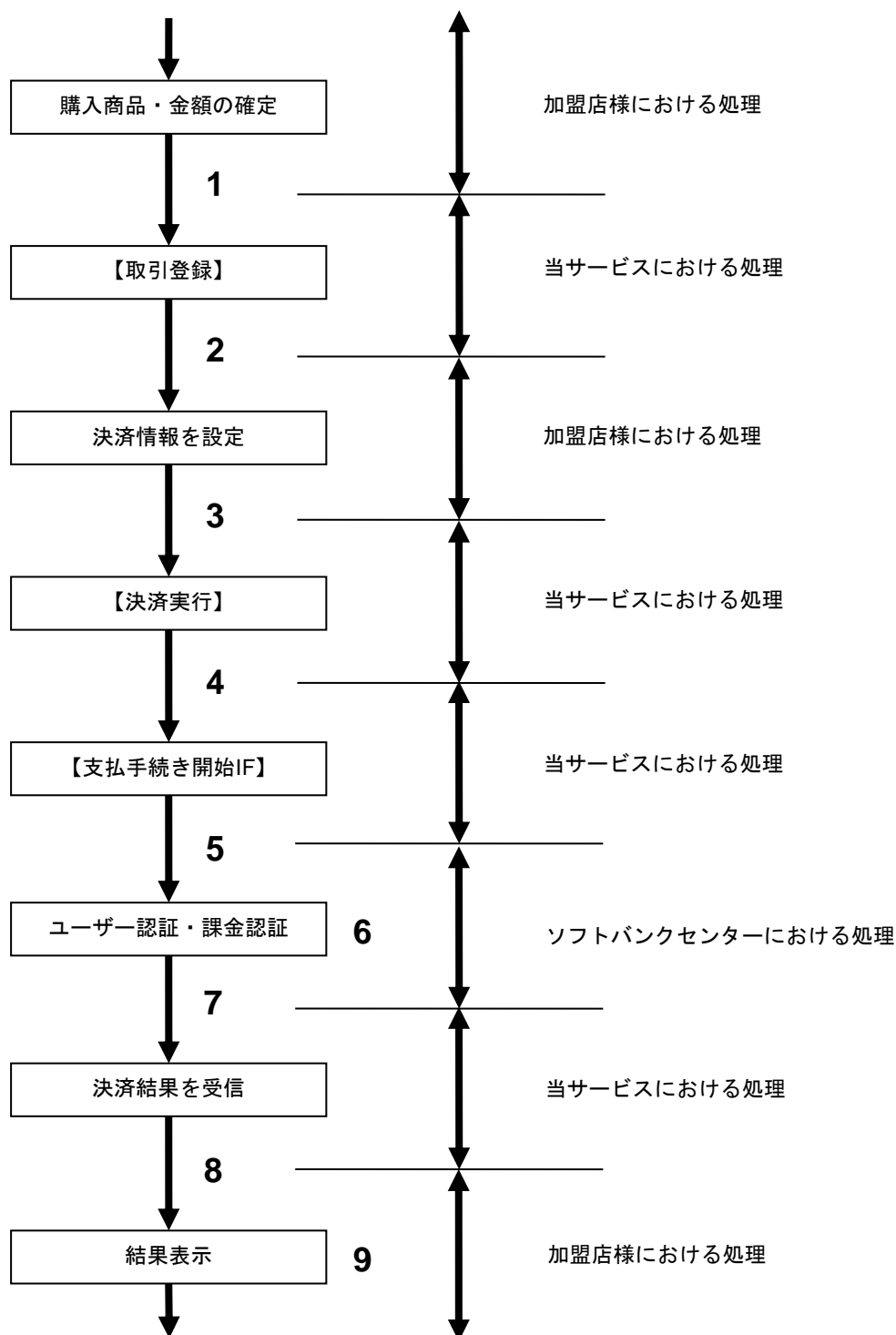


図 13.1.1-1 ソフトバンクまとめて支払い（B）決済の流れ
流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をソフトバンクセンターの決済画面に誘導します。
6. お客様は、ソフトバンクまとめて支払い（B）決済の決済画面にて支払操作を行います。
7. ソフトバンクセンターは、決済結果を当サービスに送信します。
8. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果を返します。
9. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

13.1.2. 各インタフェース仕様詳細

13.1.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranSb.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	JobCd	◎	CHAR	-	処理区分	AUTH：仮売上 CAPTURE：即時売上
6	Amount	◎	NUMBER	6	利用金額	
7	Tax		NUMBER	5	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額＋税送料が決済金額となります。 利用金額＋税送料で1円以上100,000円以下である必要があります。 ソフトバンクまとめて支払い（B）の利用限度額初期設定は3,000円です。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

13.1.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranSb.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンを返却します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
8	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
9	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
10	RetURL	◎	CHAR	256	決済結果戻しURL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信URLを設定します。 ソフトバンクセンター上でお客様が決済手続きを正常に完了された場合に、指定されたURLに結果をリダイレクト経由で送信されます。
11	PaymentTermSec		NUMBER	5	支払開始期限秒	お客様が【決済実行】から【支払手続き開始IF】を呼び出すまでの期限です。 最大86,400秒（1日） 呼び出しパラメータが空の場合、120秒で処理されます。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	アクセスID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Token	-	CHAR	256	トークン	アクセスIDのハッシュ値を返却します。
3	StartURL	-	CHAR	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始IFのURLを返却します。
4	StartLimitDate	-	CHAR	14	支払開始期限日時	支払手続き開始IFの呼び出し期限を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

13.1.2.3. 支払手続き開始IFの呼び出し

処理概要

お客様をソフトバンクセンターへ誘導します。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

接続先URL

/payment/SbStart.idPass

インタフェース概要

お客様をソフトバンクセンターへ誘導します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
2	Token	◎	CHAR	256	トークン	【決済実行】で発行された値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページサンプル

```

<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="SbStartCall" action="{SbStartURL}" method="POST">
    <noscript>
      <br>
      <br>
      <center>
        <h2>
          ソフトバンクまとめて支払い（B）の決済画面へ遷移します。
        </h2>
        <input type="submit" value="続行">
      </center>
    </noscript>
    <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
    <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
  </form>
  <script>
    <!--
      function OnLoadEvent() {
        document.SbStartCall.submit();
      }
    //-->
  </script>
</body>
</html>

```

13.1.2.4. 決済結果受信

処理概要

ソフトバンクセンターから、当サービスに認証・支払操作結果が通知されます。

認証・支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と認証・支払操作をキャンセルした場合に通知されます。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクトURLに決済結果を通知します。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータをPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	該当取引のショップIDを返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
3	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 AUTH：仮売上 CAPTURE：即時売上 PAYFAIL：決済失敗
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	SbTrackingId	-	CHAR	14	ソフトバンク 処理トラッキングID	オーソリ処理が正常終了した時にソフトバンクから振り出される番号です。 お客様が利用履歴画面で確認できます。
6	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
7	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

13.2. 決済の内容をキャンセルする

決済が完了した取引の取引ID・取引パスワードを指定すると、以前実施した決済内容をキャンセルすることが可能です。
すでに利用者に対しソフトバンクから代金請求済みの場合、返品扱い(マイナス請求)となります。

キャンセル可能期間は以下のとおりです。

- ・ 売上が未確定の場合は、取引登録後60日間です。
- ・ 売上が確定済みの場合は、確定日を含めて180日間です。

※キャンセル期限を超過した場合はエラーコード” SB1000002” が返却されます。

キャンセルは、1オーダーIDにつき1度のみ実行可能です。

13.2.1. 決済内容をキャンセルする流れ

以下に、決済の内容をキャンセルする流れを説明します。

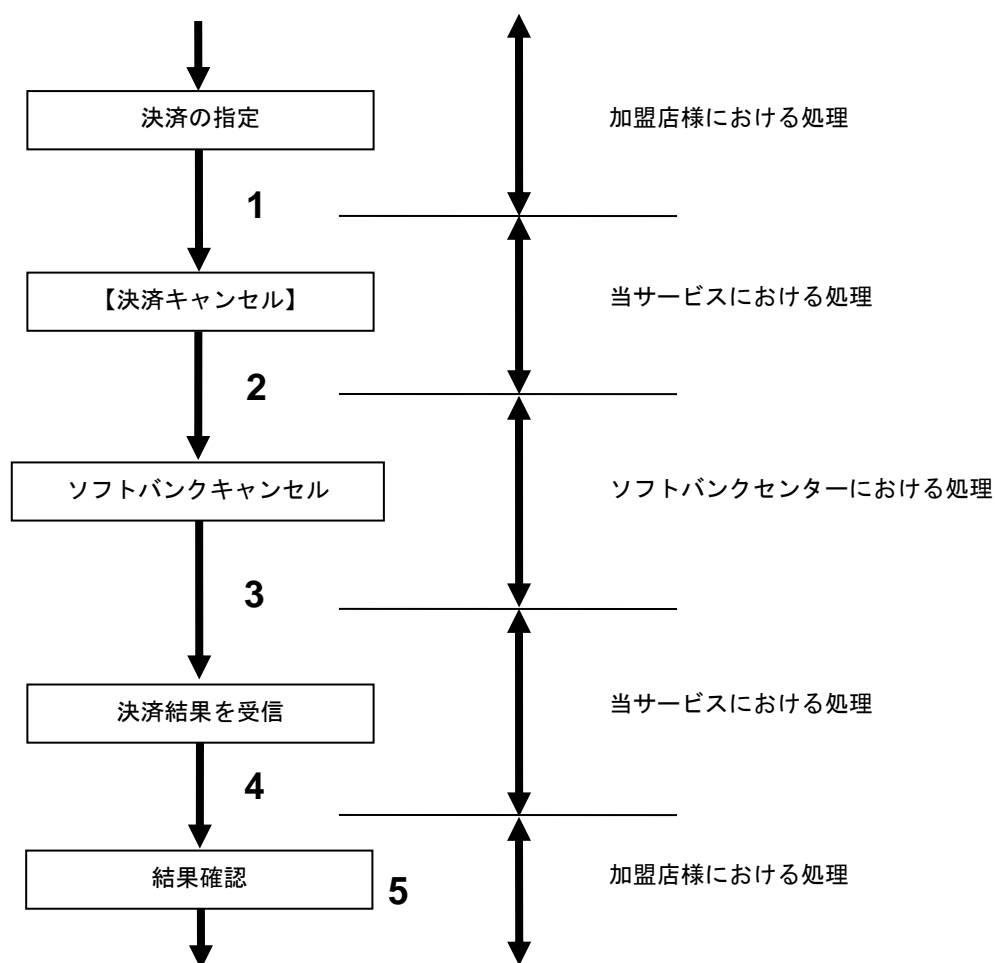


図 13.2.1-1 決済キャンセルの流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、キャンセルする取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの**【決済キャンセル】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引のキャンセルリクエストをソフトバンクセンターに送信します。
3. ソフトバンクセンターは、キャンセル結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、キャンセル結果を返します。
5. 加盟店様は、決済キャンセルの結果を確認します。

13.2.2. 各インタフェース仕様詳細

13.2.2.1. 決済キャンセル

接続先URL

/payment/SbCancel.idPass

インタフェース概要

決済が完了した取引に対して決済内容のキャンセルを行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	CancelAmount	◎	Number	6	キャンセル金額	
8	CancelTax		Number	5	キャンセル税送料	キャンセル金額はオーソリ時の金額を指定してください。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	キャンセル成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ CANCEL：キャンセル キャンセル失敗時はキャンセル処理前のステータスが返却されます。
3	CancelAmount	-	Number	6	キャンセル金額	キャンセル金額を返却します。
4	CancelTax	-	Number	5	キャンセル税送料	キャンセル税送料を返却します。
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

13.3. 売上の確定を行う

仮売上の決済の取引ID・取引パスワードを指定すると、売上の確定処理(以下、実売上)が可能です。

- ・ 実売上可能期間は、申込後60日間までです。
- ・ 実売上は、1オーダーIDにつき1度のみ実行可能です。
- ・ オーソリ時の金額を減額して実売上が可能です。減額して実売上を行った場合、残分を再度実売上する事はできません。

13.3.1. 実売上を行う流れ

以下に、実売上を行う流れを説明します。

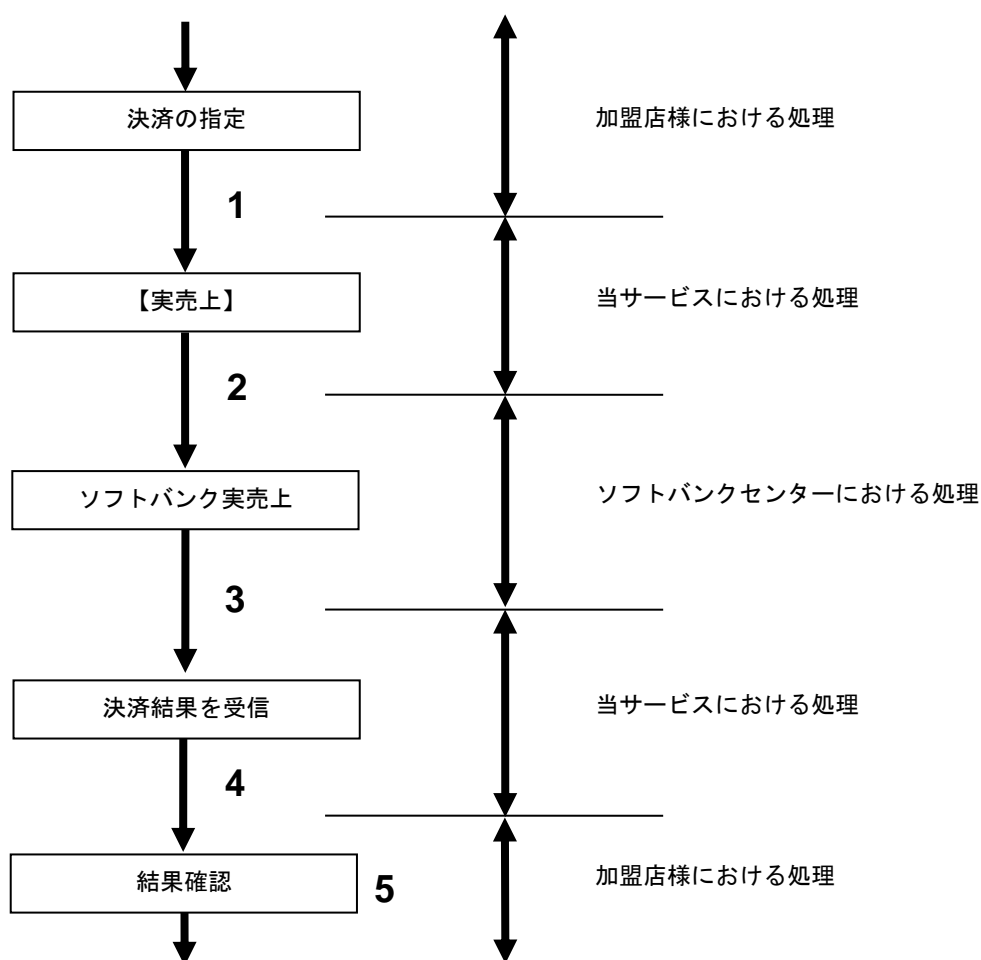


図 13.3.1-1 実売上の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、実売上する取引の取引IDと取引パスワードを指定し、当サービスの**【実売上】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の実売上リクエストをソフトバンクセンターに送信します。
3. ソフトバンクセンターは、実売上結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、実売上結果を返します。
5. 加盟店様は、実売上結果をお客様に表示します。

13.3.2. 各インタフェース仕様詳細

13.3.2.1. 実売上

接続先URL

/payment/SbSales.idPass

インタフェース概要

仮売上の決済に対して実売上を行います。尚、実行時に仮売上時との金額チェックを行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	Version		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	Amount	◎	NUMBER	6	利用金額	利用金額+税送料が売上金額となります ※利用金額が1円以上である必要があります。 ※オーソリ時より金額が大きい場合はエラーとなります。
8	Tax		NUMBER	5	税送料	※オーソリ時と異なる金額を指定した場合は、指定された金額で売上を確定します。残分を再度実売上する事はできません。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	実売上成功時は以下のステータスが返却されます。 ・SALES：実売上
3	Amount	-	Number	6	利用金額	
4	Tax	-	Number	5	税送料	
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

14. じぶん銀行決済インターフェース仕様

じぶん銀行決済は提供終了しました。

15. JCBプリカ決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

15.1. JCBプリカ決済を実行する

購入時にお客様がJCBプリカ決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

15.1.1. JCBプリカ決済の流れ

以下に、JCBプリカ決済の流れを説明します。

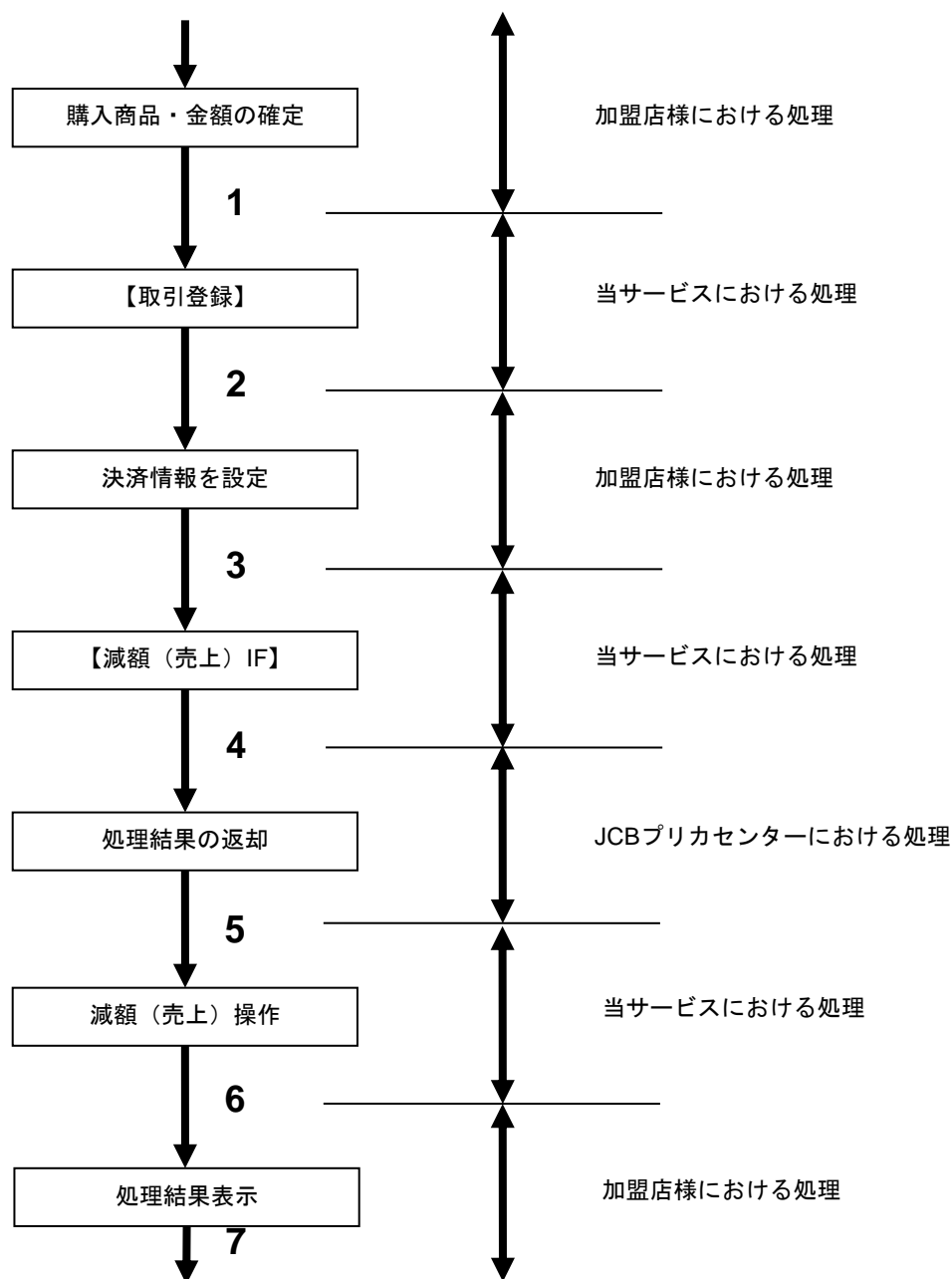


図 15.1.1-1 JCBプリカ決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの**【決済実行】**を呼び出します。
4. 当サービスは、決済情報をもってJCBプリカセンターの**【減額（売上）IF】**を呼び出します。
5. JCBプリカセンターは、決済結果を当サービスに返します。
6. 当サービスは、決済結果を加盟店様に返します。
7. 加盟店様は、決済結果をお客様に決済結果を表示します。

15.1.2. 各インタフェース仕様詳細

15.1.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranJcbPrecal.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	Amount	◎	NUMBER	8	利用金額	
6	Tax		NUMBER	8	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が決済金額となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)
 ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

15.1.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranJcbPreca.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンを返却します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	CardNo	◎	CHAR	32	カード番号	決済に使用するカード番号を指定します。
8	ApprovalNo	◎	CHAR	16	認証番号	決済に使用するカードの認証番号を指定します。
9	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
10	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
11	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
12	CarryInfo		CHAR	34	持ち回り情報	自由に設定してください。 ※ここに設定した値は取引の実行時にJCBブリカセンターまで送信されます。 ※半角英数時と一部の記号が入力可能です。設定可能な文字については、別紙「制限事項一覧」を参照ください。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	取引ID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	実売上成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ SALES : 実売上 実売上失敗時は実売上処理前のステータスが返却されます。
3	Amount	-	NUMBER	5	利用金額	
4	Tax	-	NUMBER	5	税送料	
5	BeforeBalance	-	NUMBER	5	利用前残高	決済に利用したカードの決済実行前の残高
6	AfterBalance	-	NUMBER	5	利用後残高	決済に利用したカードの決済実行後の残高
7	CardActivateStatus	-	CHAR	1	カードアクティベートステータス	決済に利用したカードのアクティベートステータス 0 : 非アクティベート 1 : アクティベート 2 : 初回利用（当取引でアクティベートされた）
8	CardTermStatus	-	CHAR	1	カード有効期限ステータス	決済に利用したカードの有効期限の状態 0 : 有効期限内 1 : 有効期限切れ 2 : 利用開始前
9	CardInvalidStatus	-	CHAR	1	カード有効ステータス	決済に利用したカードの有効／無効を表す 0 : 有効 1 : 無効
10	CardWebInquiryStatus	-	CHAR	1	カードWEB参照ステータス	決済に利用したカードのWEB参照可否を表す 0 : WEB照会可 1 : WEB照会不可
11	CardValidLimit	-	CHAR	8	カード有効期限	決済に利用したカードの有効期限年月日 (YYYYMMDD形式)
12	CardTypeCode	-	CHAR	4	券種コード	決済に利用したカードのJCBプリカセンターが規定する券種コード
13	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
14	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

15.2. 決済の内容をキャンセルする

決済が完了した取引の各種情報を指定すると、以前実施した決済内容をキャンセルすることが可能です。

キャンセル可能期間は以下のとおりです。

- ・ JCBプリカセンターにて取引が実行されてから720時間(30日間)以内です。
- ・ キャンセルは、1オーダーIDにつき1度のみ実行可能です。

15.2.1. 決済内容をキャンセルする流れ

以下に、決済の内容をキャンセルする流れを説明します。

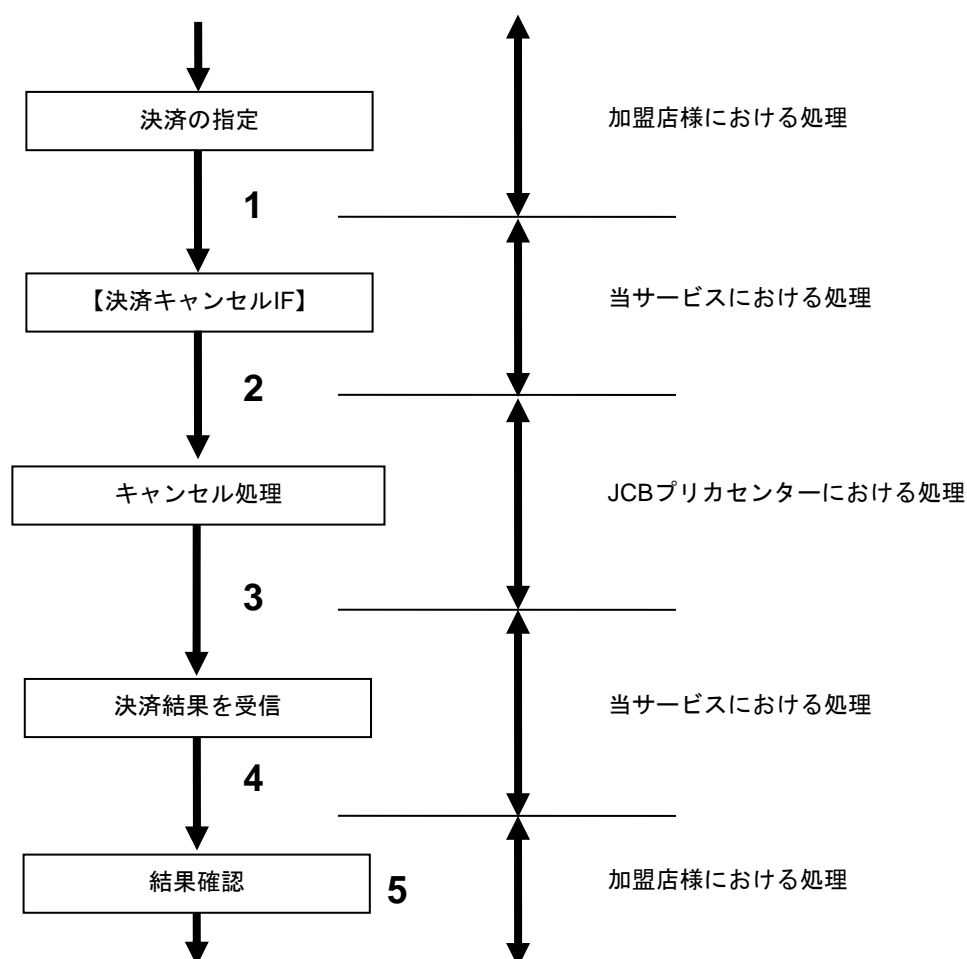


図 15.2.1-1 決済キャンセルの流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、キャンセルする取引の各種情報を指定し、当サービスの**【決済キャンセル IF】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引のキャンセルリクエストをJCB プリカセンターに送信します。
3. JCB プリカセンターは、キャンセル結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、キャンセル結果を加盟店様に返却します。
5. 加盟店様は、決済キャンセルの結果を確認します。

15.2.2. 各インタフェース仕様詳細

15.2.2.1. 決済キャンセル

接続先URL

/payment/JcbPrecaCancel.idPass

インタフェース概要

決済が完了した取引に対して決済内容のキャンセルを行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	キャンセル成功時は以下のステータスが返却されます。 ・CANCEL：キャンセル キャンセル失敗時はキャンセル処理前のステータスが返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

15.3. カード残高を照会する

決済に関わりなく指定の各種情報をもとに、カードの残高を照会することができます。

15.3.1. カード残高を照会する流れ

以下に、カードの残高を照会する流れを説明します。

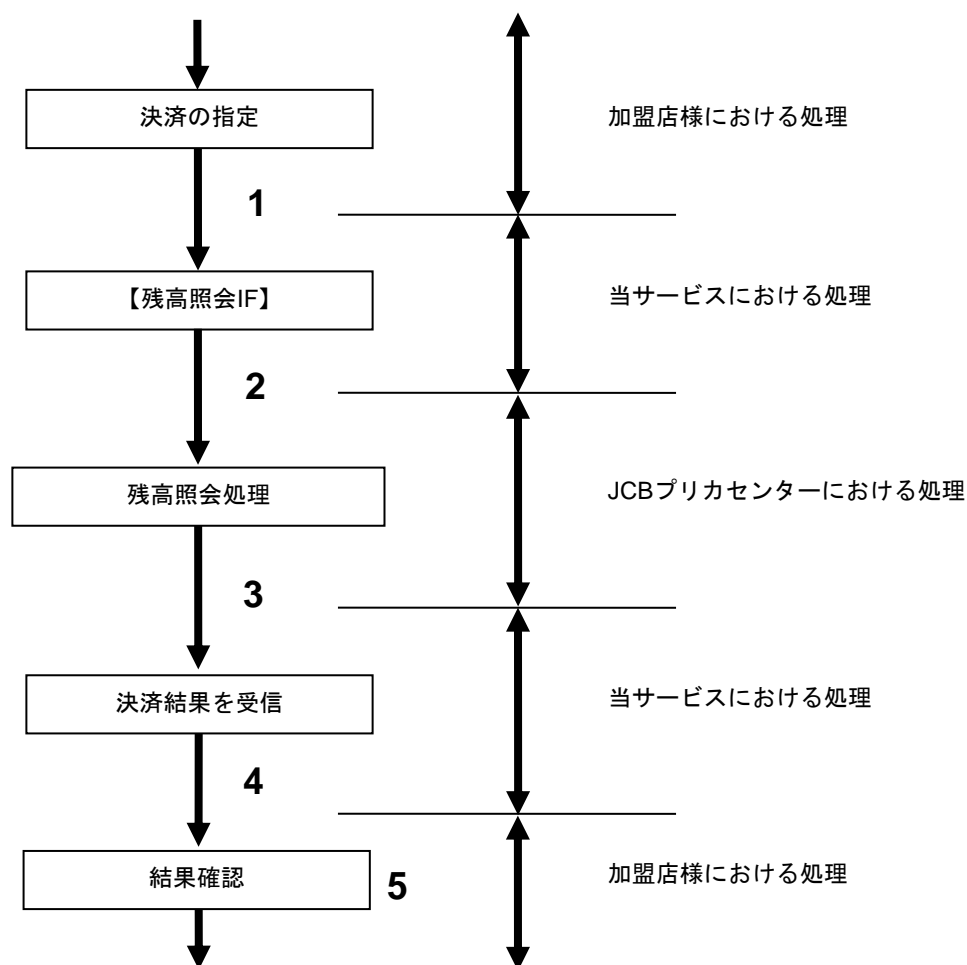


図 15.3.1-1 カードの残高照会の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、残高照会するカードの各種情報を指定し、当サービスの**【残高照会 IF】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定されたカードの残高照会リクエストを JCB プリカセンターに送信します。
3. JCB プリカセンターは、残高照会結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、残高照会結果を加盟店様に返却します。
5. 加盟店様は、残高照会の結果を確認します。

15.3.2. 各インタフェース仕様詳細

15.3.2.1. 残高照会

接続先URL

/payment/JcbPrecaBalanceInquiry.idPass

インタフェース概要

カードの残高照会を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	CardNo	◎	CHAR	32	カード番号	残高照会対象のカード番号
5	ApprovalNo	◎	CHAR	16	認証番号	カード番号に対応する認証番号

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	CardNo	-	CHAR	32	カード番号	入力パラメータに設定したカード番号
2	Balance	-	CHAR	-	残高	カードの現残高
3	CardActivateStatus	-	CHAR	1	カードアクティベートステータス	決済に利用したカードのアクティベートステータス 0: 非アクティベート 1: アクティベート 2: 初回利用(当取引でアクティベートされた)
4	CardTermStatus	-	CHAR	1	カード有効期限ステータス	決済に利用したカードの有効期限の状態 0: 有効期限内 1: 有効期限切れ 2: 利用開始前
5	CardInvalidStatus	-	CHAR	1	カード有効ステータス	決済に利用したカードの有効/無効をあらわす 0: 有効 1: 無効
6	CardWebInquiryStatus	-	CHAR	1	カードWEB参照ステータス	決済に利用したカードのWEB参照可否を表す 0: WEB照会可 1: WEB照会不可
7	CardValidLimit	-	CHAR	8	カード有効期限	決済に利用したカードの有効期限年月日(YYYYMMDD形式)
8	CardTypeCode	-	CHAR	4	券種コード	決済に利用したカードのJCBプリカセンターが規定する券種コード
9	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
10	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

16. NET CASH・nanacoギフト決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

16.1. NET CASH・nanacoギフト決済を実行する

購入時にお客様がNET CASH・nanacoギフト決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

16.1.1. NET CASH・nanacoギフト決済の流れ

以下に、NET CASH・nanacoギフト決済の流れを説明します。

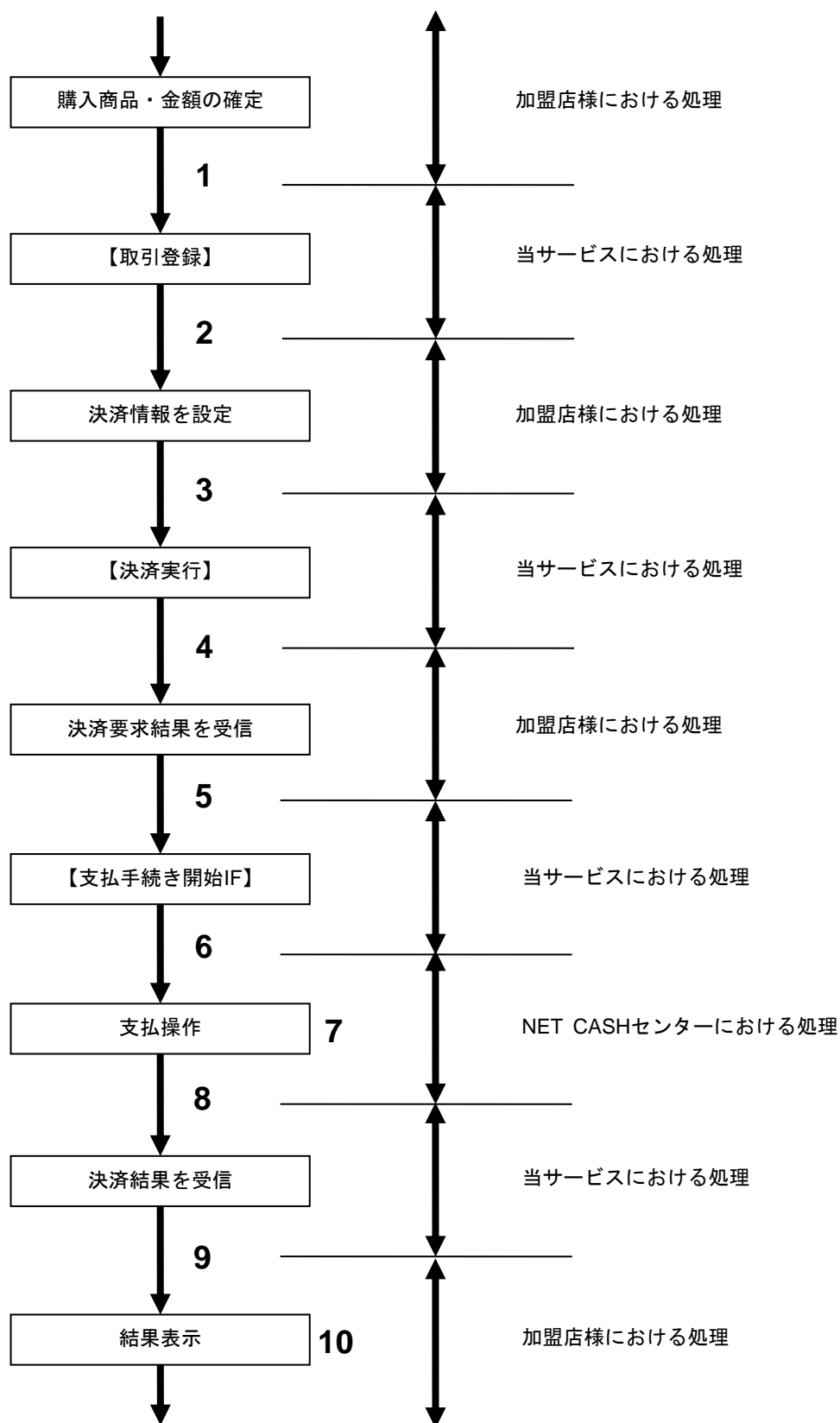


図 16.1.1-1 NET CASH・nanacoギフト決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 当サービスは、NET CASH センターとの通信を行い決済要求結果を返します。
5. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
6. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様を NET CASH・nanaco ギフットの決済画面に誘導します。
7. お客様は、NET CASH・nanaco ギフットの決済画面にて支払操作を行います。
8. NET CASH センターは、決済結果を当サービスに送信します。
9. 当サービスは、リダイレクト経由で、決済結果を返します。
10. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

16.1.2. 各インタフェース仕様詳細

16.1.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranNetcash.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	Amount	◎	NUMBER	6	利用金額	上限は200,000円です。
6	Tax		NUMBER	6	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が決済金額となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	入力パラメータの値を返却します。
2	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
5	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)
ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

16.1.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranNetcash.idPass

インタフェース概要

契約情報を確認し、これ以降の処理に必要なトークンを返却します。

決済方法は「NET CASH」または「nanacoギフト」のいずれかを指定してください。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	RetURL	◎	CHAR	256	リダイレクトURL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信URLを指定します。 NET CASH・nanacoギフト上でお客様が支払操作を完了した場合や、キャンセルした場合に指定されたURLに結果を送信します。 結果はリダイレクト経由で送信します。
8	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
9	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
10	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
11	NetCashPayType	◎	CHAR	40	決済方法	以下のいずれかを設定します。 NET CASH決済：NETCASH nanacoギフト決済：NNCGIFT ご契約内容により利用可能な決済方法が異なります。詳細についてはサポートセンターまでお問い合わせください。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	Token	-	CHAR	256	トークン	アクセスIDのハッシュ値を返却します。
3	StartURL	-	CHAR	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始IFのURLを返却します。
4	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
5	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

16.1.2.3. 支払手続き開始IFの呼び出し

処理概要

NET CASH・nanacoギフト決済において、お客様をNET CASHの決済画面へと遷移させる必要があります。
 加盟店様のサイトから画面遷移させる場合は、お客様を当サービスの支払手続き開始IFに誘導してください。
 当サービスは、お客様をNET CASH・nanacoギフトの決済画面に誘導します。
 ※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

接続先URL

/payment/NetCashStart.idPass

インタフェース概要

お客様をNET CASH・nanacoギフトの決済画面に誘導します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
2	Token	◎	CHAR	256	トークン	【決済実行】で発行された値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページサンプル

```
<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="NetCashStartCall" action="https://p01.mul-pay.jp/payment/NetCashStart.idPass" method="POST">
    <noscript>
      <br>
      <br>
      <center>
        <h2>
          NETCASHの決済画面へ遷移します。
        </h2>
        <input type="submit" value="続行">
      </center>
    </noscript>
    <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
    <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
  </form>
  <script >
  <!--
    function OnLoadEvent() {
      document.NetCashStartCall.submit();
    }
  //-->
  </script>
</body>
</html>
```

- ・ 本番用

https://p01.mul-pay.jp/payment/NetCashStart.idPass

- ・ テスト環境用

https://pt01.mul-pay.jp/payment/NetCashStart.idPass

16.1.2.4. 決済結果受信

処理概要

NET CASHセンターから、当サービスに支払操作結果が通知されます。

支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と支払操作をキャンセルした場合（オプション）に通知されます。

※ブラウザを×ボタンで閉じた場合は、通知されません。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクトURLに決済結果を通知します。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータをPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	該当取引のショップIDを返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
3	Status	-	CHAR	16	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 PAYSUCCESS：決済完了 PAYFAIL：決済失敗
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	CheckString	-	CHAR	32	MD5ハッシュ	ShopID～TranDate＋ショップパスワードハッシュ値(※1)します。
6	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)
7	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：出力内容のShopID～TranDateとショップパスワードをベースにしたハッシュ値

※2：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

17. BitCoin決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

17.1. Bitcoin決済を実行する

17.1.1. Bitcoin決済の流れ

以下に、Bitcoin決済の流れを説明します。

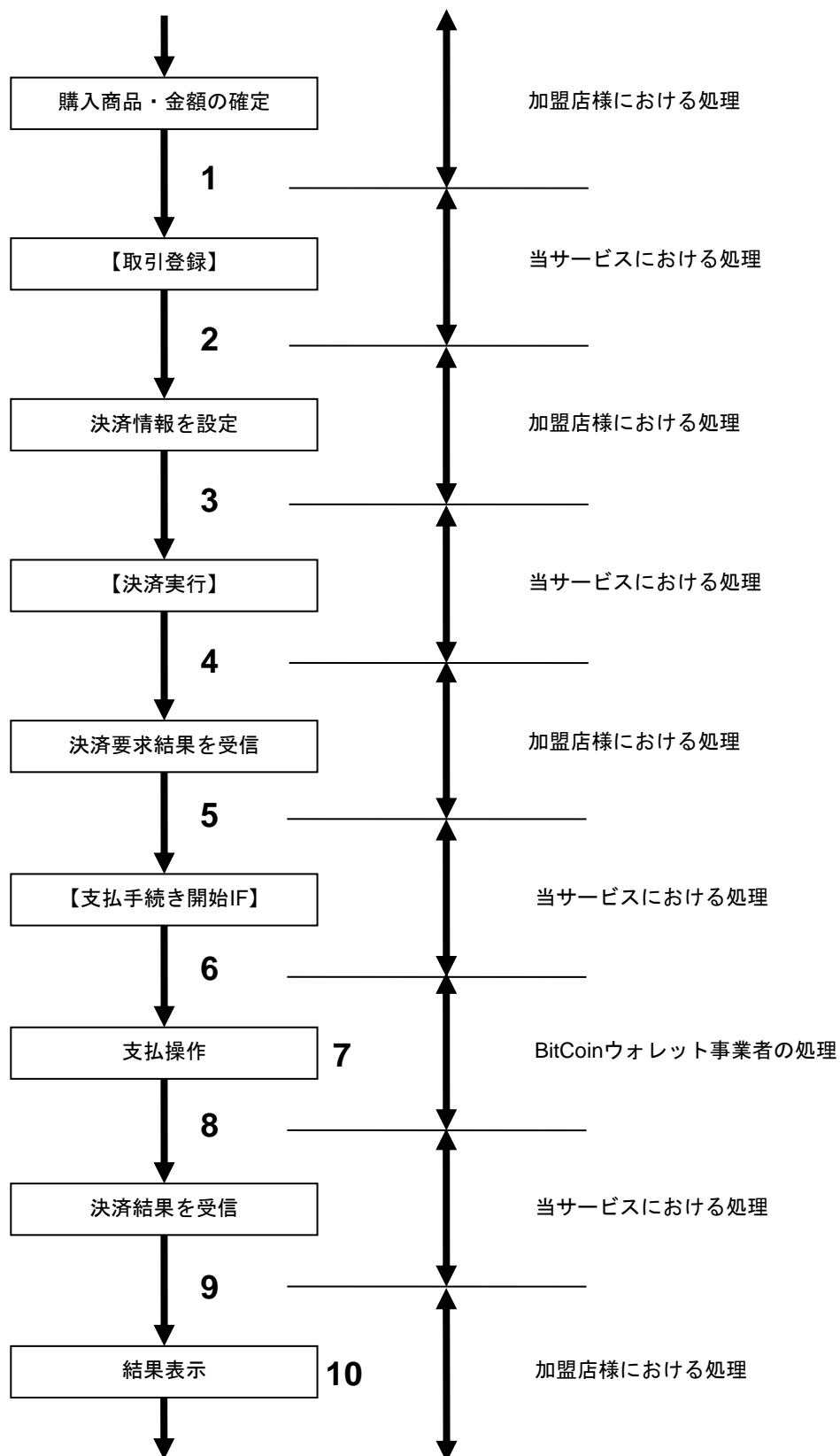


図 17.1.1-1 BitCoin決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様を BitCoin 決済画面に誘導します。
6. お客様は、BitCoin ウォレット事業者の決済画面にて支払操作を行います。
7. BitCoin ウォレット事業者は、決済結果を当サービスに送信します。
8. 当サービスは、リダイレクト経由で、決済結果を返します。
9. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

17.1.2. 各インタフェース仕様詳細

17.1.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranBTC.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	Amount	◎	NUMBER	6	利用金額	上限は300,000円です。 ・円を設定してください。 ・決済時のビットコインレートによっては、300,000円より少ない金額でエラーとなる場合があります。その場合、ビットコインウォレットの画面で、エンドユーザーにエラーが表示されます。
6	Tax		NUMBER	6	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が決済金額となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)
ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

17.1.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranBTC.idPass

インタフェース概要

契約情報を確認し、これ以降の処理に必要なトークンを返却します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
6	RetURL	◎	CHAR	256	リダイレクトURL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信URLを指定します。 BitCoinウォレット上でお客様が支払操作を完了した場合や、キャンセルした場合に指定されたURLに結果を送信します。 結果はリダイレクト経由で送信します。
7	ItemName	◎	CHAR	64	商品名	商品名称です。bitCoin決済画面およびエンドユーザーへのメールに表示されます。
8	Timeout	◎	NUMBER	5	手続き開始タイムアウト秒	本インタフェースの処理結果として返却する、bitCoin決済手続きURLの有効期限秒数です。最大86400(24時間)です。
9	ItemMemo	◎	CHAR	64	商品説明	商品の説明です。bitCoin決済画面およびエンドユーザーへのメールに表示されます。
10	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
11	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
12	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	Token	-	CHAR	256	トークン	決済開始に必要なトークンです。
3	StartURL	-	CHAR	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始IFのURLを返却します。
4	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
5	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

17.1.2.3. 支払手続き開始IFの呼び出し

処理概要

お客様をBitCoinウォレット事業者の決済画面へと遷移させる必要があります。

加盟店様のサイトから画面遷移させる場合は、お客様を当サービスの支払手続き開始IFに誘導してください。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

接続先URL

(【決済実行】の戻りパラメータ：StartURL)

インタフェース概要

お客様をBitCoinウォレットの決済画面に誘導します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
2	Token	◎	CHAR	256	トークン	【決済実行】で発行された値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページサンプル

```
<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="BTCCall" action="(StartURLの値)" method="POST">
    <noscript>
      <br>
      <br>
      <center>
        <h2>
          BitCoinの決済画面へ遷移します。
        </h2>
        <input type="submit" value="続行">
      </center>
    </noscript>
    <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
    <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
  </form>
  <script>
  <!--
    function OnLoadEvent() {
      document.BTCCall.submit();
    }
  //-->
  </script>
</body>
</html>
```

17.1.2.4. 決済結果受信

処理概要

BitCoinウォレットから、当サービスに支払操作結果が通知されます。

支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合に通知されます。

※ブラウザを×ボタンで閉じた場合は、通知されません。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクトURLに決済結果を通知します。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータをPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	該当取引のショップIDを返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
3	Status	-	CHAR	16	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 PAYSUCCESS：決済完了 PAYFAIL：決済失敗
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	CheckString	-	CHAR	32	MD5ハッシュ	ShopID～TranDate+ショップパスワードハッシュ値(※1)します。
6	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)
7	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：出力内容のShopID～TranDateとショップパスワードをベースにしたハッシュ値

※2：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

17.1.2.5. レート取得

接続先URL

/payment/GetBTCRate.idPass

インタフェース概要

ビットコインのレート(参考値)を返却します。

注意：このレートは、決済後の円換算レートを保証するものではありません。エンドユーザーに表示する場合等、参考値としてご利用ください。

また、レートはリクエストビットコインウォレット事業者から取得した値を返却しております。

レートの更新頻度は、ウォレット事業者に依存します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Medium	-	Number	-	レート(参考値)	1 ビットコインの、参考レート(円)です。
2	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
3	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

18. 楽天ペイインタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

18.1. 楽天ペイを実行する

購入時にお客様が楽天ペイに必要な情報を入力してから決済依頼します。

18.1.1. 楽天ペイの流れ

以下に、楽天ペイの流れを説明します。

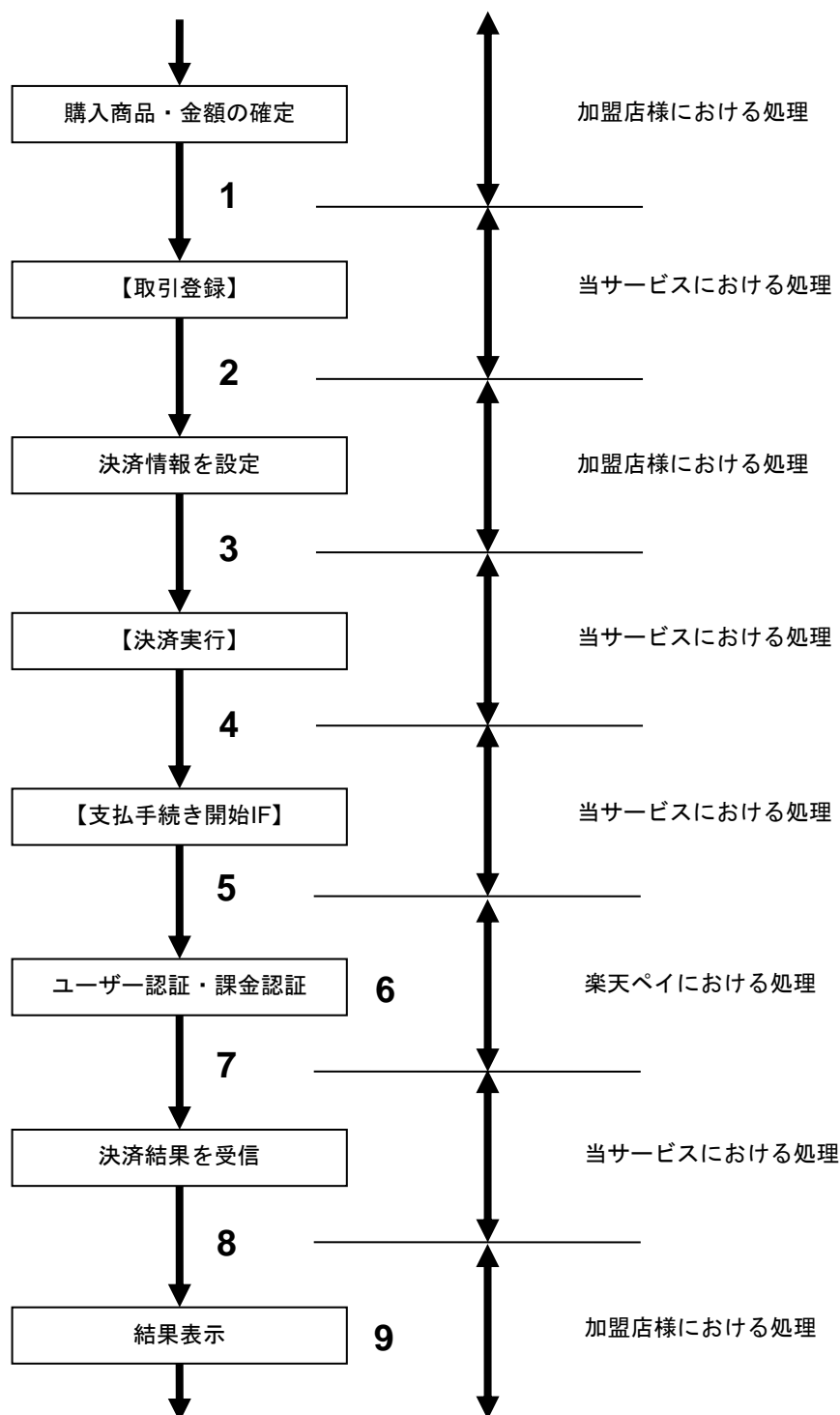


図 18.1.1-1 楽天ペイの流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様を楽天ペイ支払いセンターの決済画面に誘導します。
6. お客様は、楽天ペイの決済画面にて支払操作を行います。
7. 楽天ペイは、決済結果を当サービスに送信します。
8. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果を返します。
9. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

以下に、楽天ペイによる随時決済の流れを説明します。

事前にサブスクリプションIDを取得すると、加盟店様の任意のタイミングで決済（随時決済）を行うことができます。

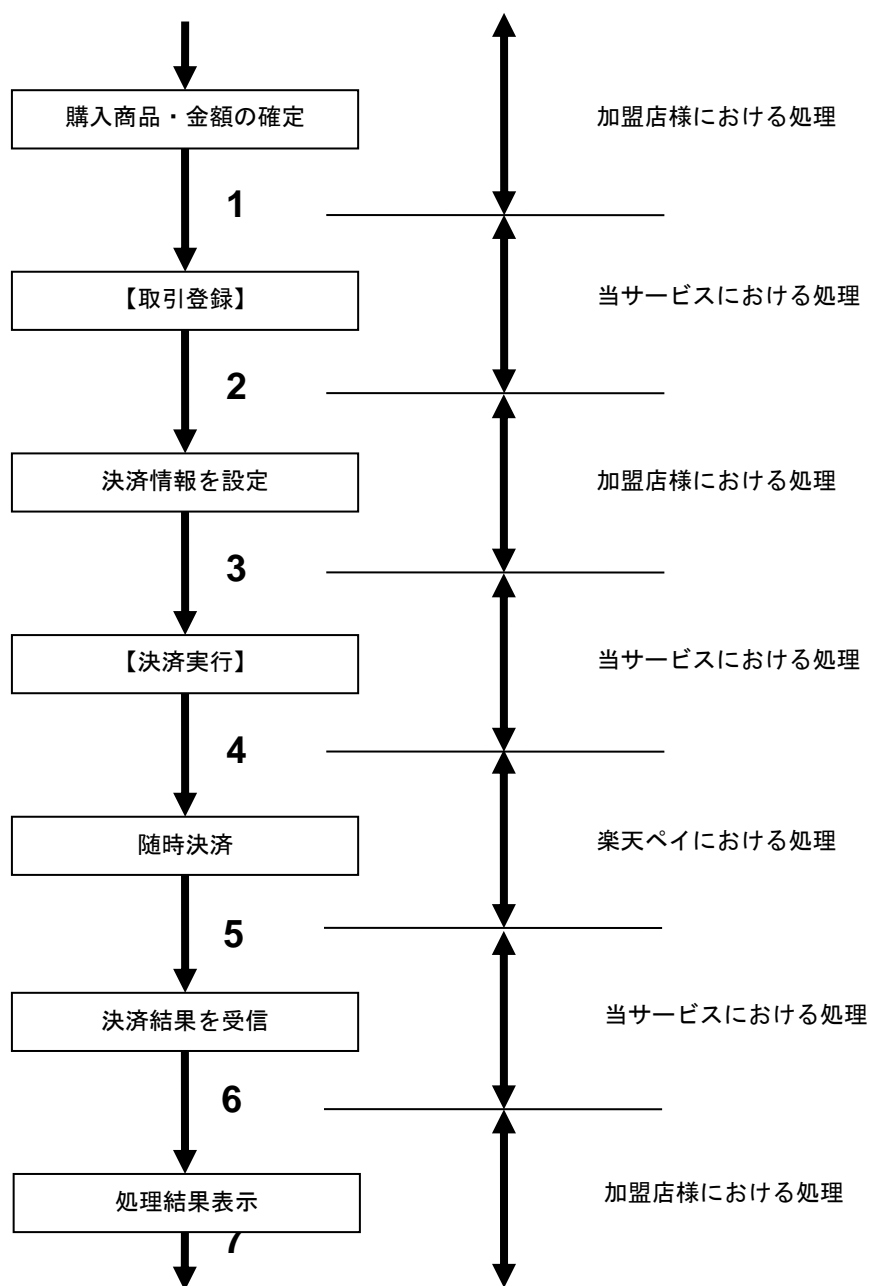


図 18.1.1-2 随時決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、決済情報及びサブスクリプションIDを設定し当サービスの**【決済実行】**を呼び出します。
4. 当サービスは、指定された取引の随時決済リクエストを楽天ペイに送信します。
5. 楽天ペイは、随時決済結果を当サービスに送信します。
6. 当サービスは、随時決済結果を返します。
7. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

18.1.2. 各インタフェース仕様詳細

18.1.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranRakutenId.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	JobCd	◎	CHAR	7	処理区分	AUTH：仮売上 CAPTURE：即時売上 REGISTER：申込み（お客様への注文は行わずに随時決済に必要なサブスクリプションIDの発行を行います） ※加盟店様と楽天との契約で、取扱商材がDLの場合は「CAPTURE」、非ギャザリングの場合は「AUTH」を指定してください。
6	Amount	◎	NUMBER	8	利用金額	処理区分が「REGISTER」の場合、0を指定してください。
7	Tax		NUMBER	5	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額＋税送料が決済金額となります。 利用金額＋税送料で100円以上99,999,999円以下である必要があります。 処理区分が「REGISTER」の場合、指定しないでください。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	入力パラメータの値を返却します。
2	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
5	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

18.1.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranRakutenId.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンを返却します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
8	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
9	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
10	ItemId	●	CHAR	100	商品ID	取引情報として表示される商品IDを設定します。 【取引登録】で処理区分に「AUTH」及び「CAPTURE」を指定した場合に必須です。
11	ItemSubId	●	CHAR	77	商品サブID(※1)	取引情報として表示される商品サブIDを設定します。
12	ItemName	●	CHAR	255	商品名	取引情報として表示される商品名を設定します。 【取引登録】で処理区分に「AUTH」及び「CAPTURE」を指定した場合に必須です。
13	RetURL	●	CHAR	2048	決済結果戻しURL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信URLを設定します。 楽天ペイ上でお客様が決済手続きを正常に完了された場合に、指定されたURLに結果をリダイレクト経由で送信されます。 随時決済の場合は設定不要です。
14	ErrorRcvURL	●	CHAR	2048	処理NG時URL	加盟店様が当サービスからの処理失敗となった結果を受信するための処理NG時URLを設定します。 楽天ペイ上でお客様が決済手続きを正常に完了できなかった場合に、指定されたURLに結果をリダイレクト経由で送信されます。 随時決済の場合は設定不要です。

15	PaymentTermSec		NUMBER	5	支払開始期限秒	<p>お客様が【決済実行】から【支払手続き開始IF】を呼び出すまでの期限です。</p> <p>最大86,400秒（1日）</p> <p>呼び出しパラメータが空の場合、120秒で処理されます。</p>
16	Multitem		CHAR	30000	複数商品(※2)	<p>商品を複数指定する場合に設定します。</p> <p>XMLフォーマットをUTF-8でBASE64エンコーディングした値を設定してください。</p> <p>複数商品の商品個数 × 商品単価と取引登録時の利用金額 + 税送料は一致するように設定してください。</p>
17	SubscriptionType		CHAR	10	サブスクリプションタイプ	<p>決済を行う際のオプションを指定します。</p> <p>REGISTER：申込みする（決済と同時に随時決済の際に必要なサブスクリプションIDを発行します）</p> <p>SETTLEMENT：随時決済をする（お客様の認証をしないで決済します。サブスクリプションIDが必要です）</p> <p>【取引登録】で処理区分に「AUTH」及び「CAPTURE」を指定した場合にのみ設定することができます。</p> <p>都度決済のみの場合は設定不要です。</p>
18	SubscriptionName	●	CHAR	200	サブスクリプション名	<p>申込情報として表示されるサブスクリプション名を設定します。最大200文字まで指定できます。</p> <p>(全角文字はひらがなカタナ数字記号と第1・2水準の漢字のみになります。4バイト文字は使用できません。)</p> <p>【取引登録】で処理区分に「REGISTER」を指定した場合、及び、サブスクリプションタイプに「REGISTER」を指定した場合に必須です。</p> <p>都度決済のみの場合は設定不要です。</p>
19	SettlementSubscriptionId	●	CHAR	20	決済用サブスクリプションID	<p>随時決済を行う場合に設定します。</p> <p>サブスクリプションタイプに「SETTLEMENT」を指定した場合に必須です。それ以外の場合は無視されます。</p> <p>都度決済のみの場合は設定不要です。</p>

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

※1：加盟店様独自のポイントシステムがある加盟店様の場合必須となります。

[趣旨] 1つの加盟店様側ユーザIDに対して、決済することができる楽天会員IDは1つのみにします。(逆は可)

[目的] 1) 楽天スーパーポイント規約にて禁止されている「ポイントの合算」に該当する恐れがあるため

(楽天スーパーポイント利用規約 第4 条2 項)

2) 複数の楽天会員ID を使用した不正利用被害の抑止のため

[実装方法] ユーザに対してユニークな文字列（MD5で暗号化したユーザIDのハッシュ値等）を設定します。

これを楽天側で初回決済時の楽天会員IDと紐付けることにより、

1つの加盟店様側ユーザIDに対して複数の楽天会員IDでの決済をできなくしております。

※2：複数の商品を指定する場合のみ設定してください。

以下のXMLフォーマットをUTF-8でBASE64エンコーディングした値を設定してください。

[XMLフォーマット]

Lv	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	itemsInfo	-	-	-	商品情報親属性	
2	item	-	-	-	商品	複数指定することが可能です。
3	itemId	◎	CHAR	100	商品ID	商品を特定する商品IDを設定します。 XML内で商品IDが重複した場合エラーとなります。
4	itemName	◎	CHAR	255	商品名	商品を特定する商品名を設定します。
5	itemNumbers	◎	NUMBER	3	商品個数	商品の個数を設定します。
6	ItemFee	◎	NUMBER	8	商品単価	商品単価を設定します。

XMLヘッダは不要です。

Base64エンコーディングする前のデータが30000バイト以内になるように設定してください。

[XML例]

```
<itemsInfo>
  <item>
    <itemId>ITEMID-001</itemId>
    <itemName>商品 0 0 1</itemName>
    <itemNumbers>5</itemNumbers>
    <itemFee>100</itemFee>
  </item>
  <item>
    <itemId>ITEMID-002</itemId>
    <itemName>商品 0 0 2</itemName>
    <itemNumbers>2</itemNumbers>
    <itemFee>80</itemFee>
  </item>
</itemsInfo>
```

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

決済実行時にサブスクリプションIDを指定しない場合

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	アクセスID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Token	-	CHAR	256	トークン	アクセスIDのハッシュ値を返却します。
3	StartURL	-	CHAR	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始IFのURLを返却します。
4	StartLimitDate	-	CHAR	14	支払開始期限日時	支払手続き開始IFの呼び出し期限を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

決済実行時にサブスクリプションIDを指定した場合（随時決済の場合）

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 REQAUTH：仮売上受付 REQCAPTURE：即時売上受付 PAYFAIL：決済失敗
3	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
4	CheckString	-	CHAR	32	改ざんチェック文字列	OrderID,AccessID,ShopID,ShopPassを 連結しMD5ハッシュした値を返却します。
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

18.1.2.3. 支払手続き開始IFの呼び出し

処理概要

楽天ペイにおいて、お客様を楽天ペイ画面へと遷移させる必要があります。

加盟店様のサイトから画面遷移させる場合は、お客様を当サービスの支払手続き開始IFに誘導してください。

当サービスは、お客様を楽天ペイ画面に誘導します。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

接続先URL

/payment/RakutenIdStart.idPass

インタフェース概要

お客様を楽天ペイ画面に誘導します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
2	Token	◎	CHAR	256	トークン	【決済実行】で発行された値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページサンプル

```

<html>
  <head>
    <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
  </head>
  <body OnLoad='OnLoadEvent();'>
    <form name="RakutenIdStartCall" action="https://p01.mul-pay.jp/payment/RakutenIdStart.idPass" method="POST">
      <noscript>
        <br>
        <br>
        <center>
          <h2>
            楽天ペイ画面へ遷移します。
          </h2>
          <input type="submit" value="続行">
        </center>
      </noscript>
      <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
      <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
    </form>
    <script>
    <!--
      function OnLoadEvent() {
        document. RakutenIdStartCall.submit();
      }
    //-->
    </script>
  </body>
</html>

```

- ・ 本番用
https://p01.mul-pay.jp/payment/RakutenIdStart.idPass
- ・ テスト環境用
https://pt01.mul-pay.jp/payment/RakutenIdStart.idPass

18.1.2.4. 決済結果受信

処理概要

楽天ペイから、当サービスに支払操作結果が通知されます。

支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合に通知されます。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクトURLに決済結果を通知します。

この決済結果は、楽天ペイの決済完了画面からブラウザ経由で連携されるため、ユーザの操作方法によっては支払操作が完了したにもかかわらず、加盟店様に通知されないことがあります。その際はショップ管理画面または結果通知にて確認ください。また、同様の理由でこの決済結果が複数回加盟店様に通知されることがあります。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータをPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	該当取引のショップIDを返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
3	c	-	CHAR	32	MD5ハッシュ	チェック用の文字列(CheckString)を返却します。 ShopID+OrderID+ショップパスワードをMD5ハッシュした値を返却します。
4	SubscriptionId	-	CHAR	20	サブスクリプションID	英数字20桁固定長の値を返却します。 【取引登録】で処理区分に「REGISTER」を指定した場合、及び【決済実行】でサブスクリプションタイプに「REGISTER」を指定した場合に返却します。
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

18.2. 決済の内容をキャンセルする

決済が完了した取引の取引ID・取引パスワードを指定すると、以前実施した決済内容をキャンセルすることが可能です。
キャンセル可能な条件や期間は以下のとおりです。

- ・ 仮売として登録した取引であること。
- ・ 注文確定前の取引の場合、注文日の5ヵ月後の末日迄であること。
- ・ 注文確定後の取引の場合、注文確定の処理完了日から翌月末日迄であること。
- ・ キャンセルは、1オーダーIDにつき1度のみ実行可能です。

18.2.1. 決済内容をキャンセルする流れ

以下に、決済の内容をキャンセルする流れを説明します。

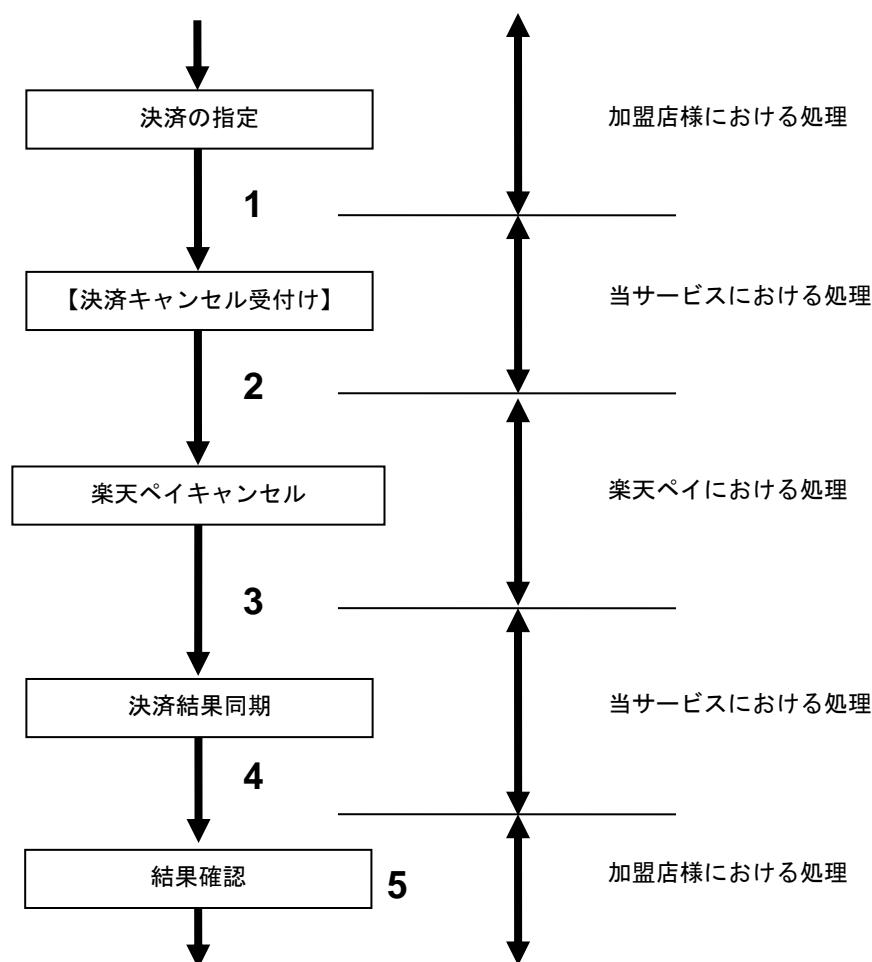


図 18.2.1-1 決済キャンセルの流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、キャンセルする取引の取引IDと取引パスワードを指定し、当サービスの**【決済キャンセル】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引のキャンセルリクエストを楽天ペイに送信します。
3. 楽天ペイは、キャンセルを受付後、非同期でキャンセルを確定します。
4. 当サービスは、楽天ペイとの同期処理を行い、キャンセル結果を加盟店様へ通知します。
(※ 楽天ペイ側で非同期処理が入るため5分～30分かかります。)
5. 加盟店様は、決済キャンセルの結果を確認します。

18.2.2. 各インタフェース仕様詳細

18.2.2.1. 決済キャンセル

接続先URL

/payment/RakutenIdCancel.idPass

インタフェース概要

決済が完了した取引に対して決済内容のキャンセルを行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	キャンセル成功時は以下のステータスが返却されます。 ・REQCANCEL：注文キャンセル受け キャンセル失敗時はキャンセル処理前のステータスが返却されます。
3	Amount	-	Number	8	利用金額	利用金額金額を返却します。
4	Tax	-	Number	8	税送料	税送料を返却します。
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

18.3. 決済の金額を変更する

決済が完了した取引の取引ID・取引パスワードを指定すると、以前実施した決済の金額を変更することが可能です。

金額変更可能な条件や期間は以下のとおりです。

- ・ 仮売として登録した取引であること。
- ・ 注文確定前の取引の場合、注文日の5ヵ月後の末日迄であること。
- ・ 注文確定後の取引の場合、注文確定の処理完了日から翌月末日迄であること。

18.3.1. 決済の金額変更を行う流れ

以下に、決済の内容を金額変更する流れを説明します。

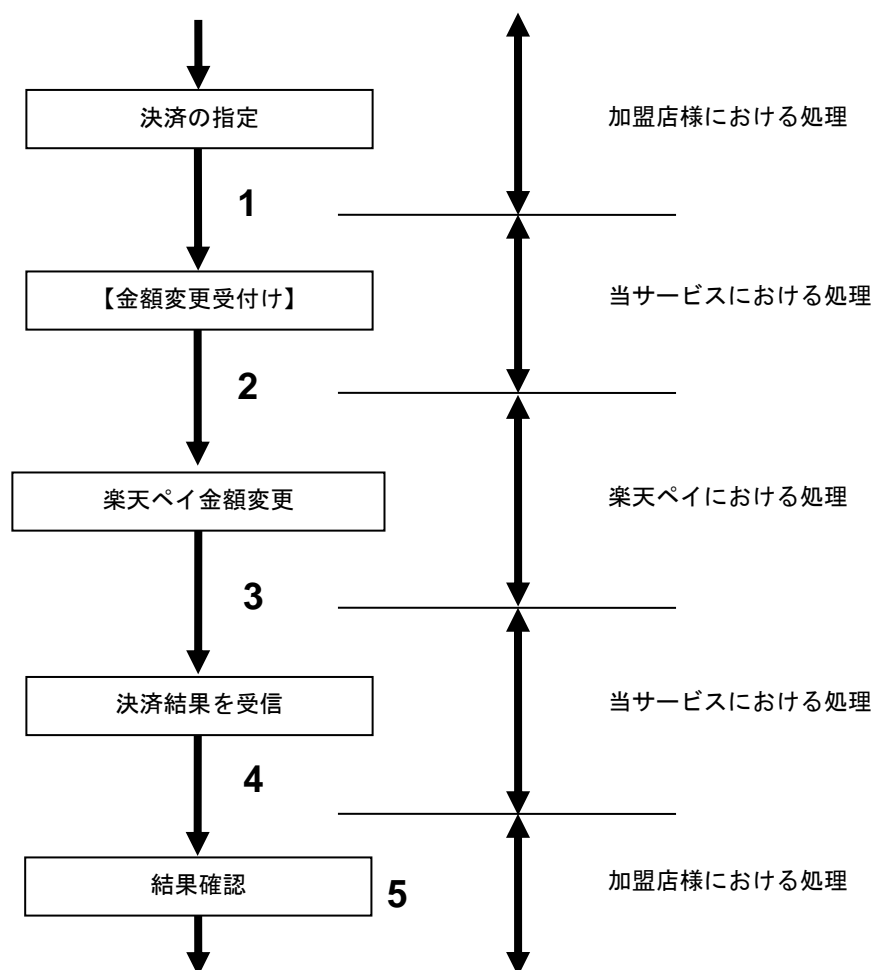


図 18.3.1-1 決済金額変更の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、金額変更する取引の取引IDと取引パスワード、変更後の利用金額と税送料を指定し、当サービスの**【金額変更】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の金額変更リクエストを楽天ペイに送信します。
3. 楽天ペイは、金額変更を受付後、非同期で金額変更を確定します。
4. 当サービスは、楽天ペイとの同期処理を行い、金額変更結果を加盟店様へ通知します。
(※楽天ペイ側で非同期処理が入るため5分～30分かかります。)
5. 加盟店様は、金額変更の結果を確認します。

18.3.2. 各インタフェース仕様詳細

18.3.2.1. 決済金額変更

接続先URL

/payment/RakutenIdChange.idPass

インタフェース概要

決済が完了した取引に対して決済内容の金額変更を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	Amount	◎	NUMBER	8	変更利用金額	指定の金額で利用金額を設定しなします。
8	Tax		NUMBER	8	変更税送料	指定の金額で税送料を設定しなします。
9	UseCoupon		CHAR	1	クーポン使用フラグ	決済時に使用されたクーポンを金額変更時に使用するか否かを設定します。 0: 使用しない 1: 使用する 未指定の場合は、クーポンが使用されていない取引は「0」、クーポンが使用された取引は「1」をデフォルトで使用します。 ※クーポンが使用されていない取引に対して「1」を指定するとエラーが発生します。 ※クーポンが利用された取引で「1」を指定した場合、変更利用金額がクーポン金額より少ないとエラーが発生します。
10	Multitem	●	CHAR	30000	複数商品(※1)	複数商品を指定する場合、設定してください。 XMLフォーマットをUTF-8でBASE64エンコーディングした値を設定してください。 複数商品の商品個数 X 商品単価と変更利用金額+変更税送料は一致するように設定してください。 決済実行時に複数商品を入力した場合は必須入力になります。 決済実行時に複数商品を入力していない場合金額変更時に複数商品を入力することはできません。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 複数の商品を指定する場合のみ設定してください。

以下のXMLフォーマットをUTF-8でBASE64エンコーディングした値を設定してください。

[XMLフォーマット]

Lv	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	itemsInfo	-	-	-	商品情報親属性	
2	item	-	-	-	商品	複数指定することが可能です。
3	itemId	◎	CHAR	100	商品ID	商品を特定する商品IDを設定します。 決済実行時に設定した商品IDを設定してください。
3	itemNumbers	◎	NUMBER	3	商品個数	変更する商品個数を設定します。 変更しない場合は決済実行時又は直前の金額変更時に設定した商品個数を設定してください。 商品を削除する場合は商品個数に0を設定してください。
3	itemFee	◎	NUMBER	8	商品単価	変更する商品単価を設定します。 変更しない場合は決済実行時又は直前の金額変更時に設定した商品単価を設定してください。

XMLヘッダは不要です。

Base64エンコーディングする前のデータが30000バイト以内になるように設定してください。

[XML例]

<pre> <itemsInfo> <item> <itemId>ITEMID-001</itemId> <itemNumbers>5</itemNumbers> <itemFee>100</itemFee> </item> <item> <itemId>ITEMID-002</itemId> <itemNumbers>2</itemNumbers> <itemFee>80</itemFee> </item> </itemsInfo> </pre>
--

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	金額変更成功時は以下のステータスが返却されます。 ・REQCHANGE：金額変更受付け 金額変更失敗時は金額変更処理前のステータスが返却されます。
3	Amount	-	Number	8	利用金額	利用金額金額を返却します。
4	Tax	-	Number	8	税送料	税送料を返却します。
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

18.4. 売上の確定を行う

仮売上の決済の取引ID・取引パスワードを指定すると、売上の確定処理(以下、実売上)が可能です。

実売上可能な条件や期間は以下のとおりです。

- ・ 仮売として登録した取引であること。
 - ・ 注文確定前の取引の場合、注文日の5ヵ月後の末日迄であること。
- (カードのオーソリ期限はオーソリから60日有効となりますが、オーソリ期限切れの決済に対しこの売上確定処理を行った場合は、楽天側で再オーソリを行った後、売上確定を行います。)

18.4.1. 実売上を行う流れ

以下に、実売上を行う流れを説明します。

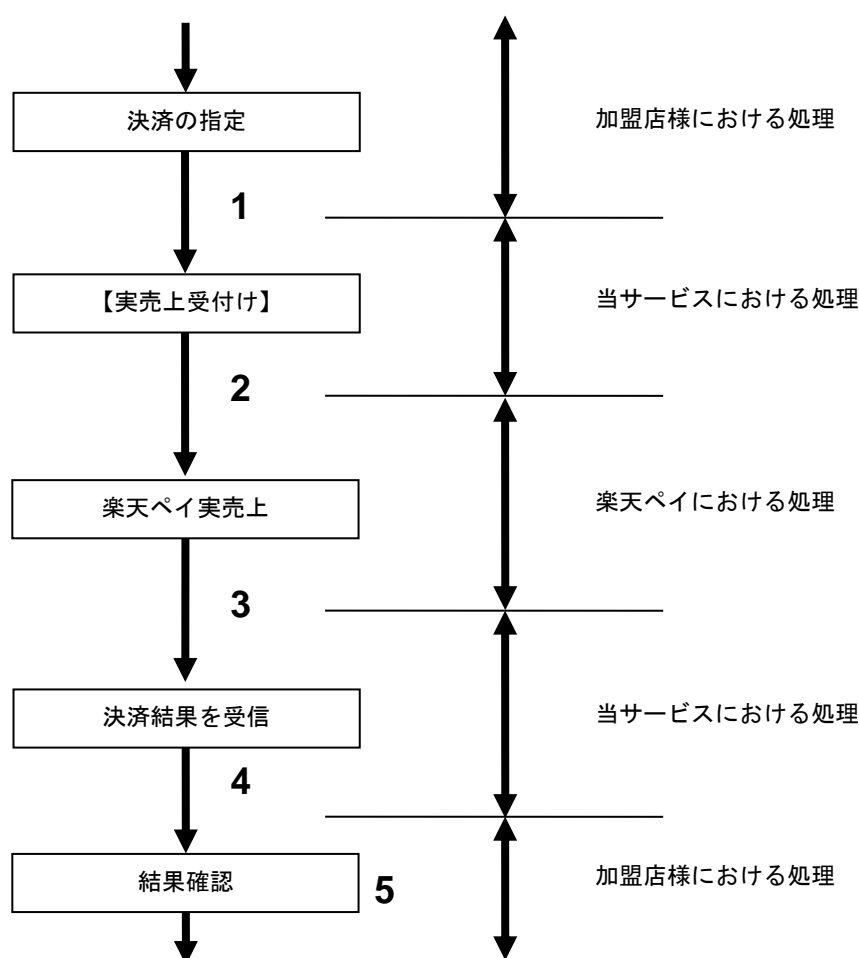


図 18.4.1-1 実売上の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、実売上する取引の取引IDと取引パスワードを指定し、当サービスの**【実売上】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の実売上リクエストを楽天ペイに送信します。
3. 楽天ペイは、実売上を受付後、非同期で実売上を確定します。
4. 当サービスは、楽天ペイとの同期処理を行い、実売上結果を加盟店様へ通知します。
(※楽天ペイ側で非同期処理が入るため5分～30分かかります。)
5. 加盟店様は、実売上結果をお客様に表示します。

18.4.2. 各インタフェース仕様詳細

18.4.2.1. 実売上

接続先URL

/payment/RakutenIdSales.idPass

インタフェース概要

仮売上の決済に対して実売上を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	Version		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	実売上成功時は以下のステータスが返却されます。 ・REQSALES：実売上受け 実売上失敗時は実売上処理前のステータスが返却されます。
3	Amount	-	NUMBER	8	利用金額	実売上になった利用金額が返却されます。
4	Tax	-	NUMBER	8	税送料	実売上になった税送料が返却されます。
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

19. 多通貨クレジットカード決済（MCP）インタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

入出力パラメータのカード番号の制限について

各APIの入力パラメータのカード番号(CardNo)は、カード番号の取扱いが許可された加盟店様の場合のみ指定可能です。カード番号の取扱いが許可されていない加盟店様の場合は、入力パラメータのカード番号(CardNo)を指定してAPIを呼び出すとエラーコード“E61040001”が返却されます。（カード番号の代わりにトークンを指定してAPIを呼び出してください）

また、各APIの出力パラメータのカード番号(CardNo)は、設定により任意のマスク形式で返却可能ですが、カード番号の取扱いが許可されていない加盟店様の場合は、最大で先頭6桁末尾4桁以外をマスクした形式で返却されます。

19.1. カード番号を入力して決済する

購入時にお客様が多通貨クレジットカード決済（MCP）に必要な情報を入力してから決済依頼します。

19.1.1. カード番号を入力し、多通貨クレジットカード決済（MCP）する流れ

以下に、多通貨クレジットカード決済（MCP）の流れを説明します。

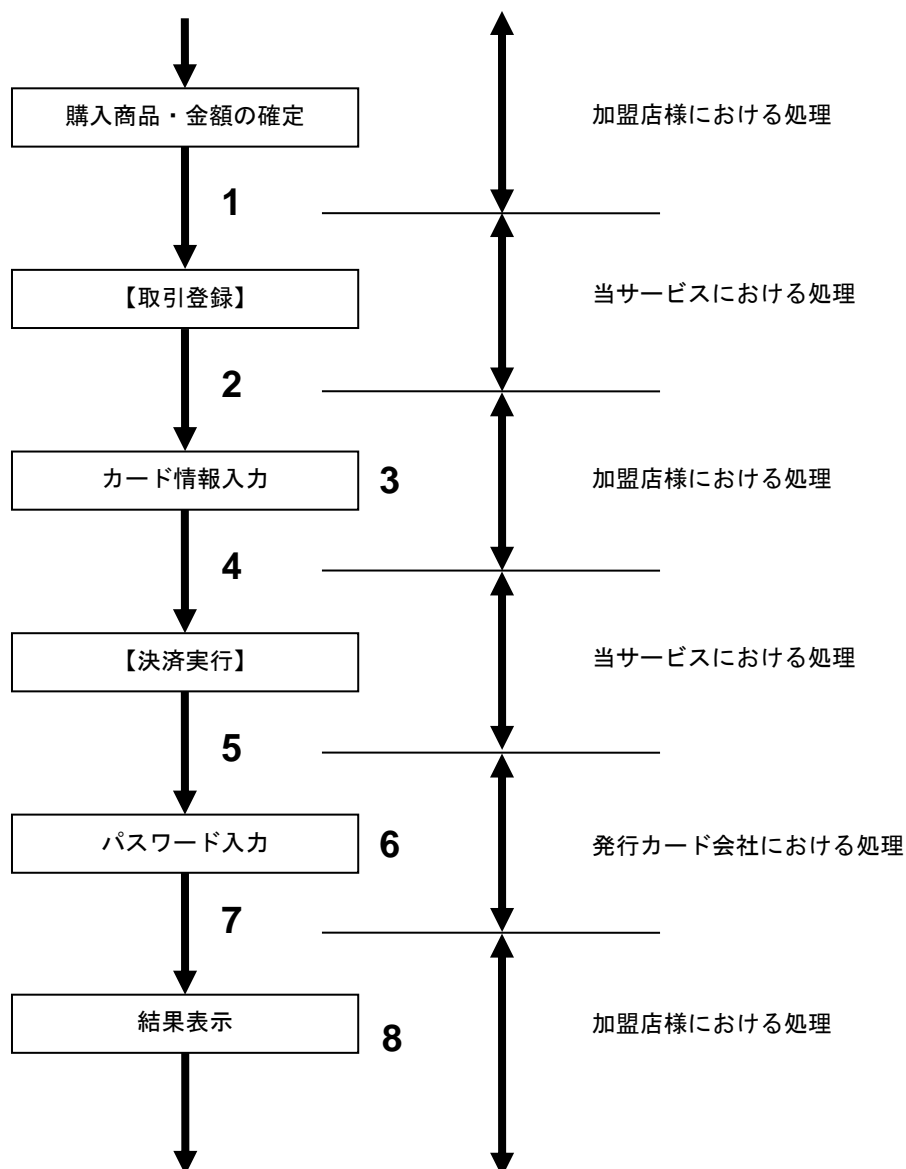


図 19.1.1-1 カード番号を入力し、多通貨クレジットカード決済（MCP）する流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、お客様にカード情報を入力する画面を表示します。
4. 加盟店様は、入力されたカード情報をもって当サービスの【決済実行】を呼び出します。
5. 当サービスは、カード情報を使用して本人認証サービスとの通信を行い本人認証可能なカード情報が否かを判定し本人認証パスワード入力画面 URL を返します。
入力されたカード情報が本人認証サービス不可であった場合は、カード会社と通信を行い決済を実施して結果を返します
6. 加盟店様は、当サービスの【支払手続き開始 IF】を呼び出し、本人認証パスワード入力画面を表示します。
(本人認証が必要な場合のみ実行してください。)
7. 当サービスは、本人認証サービスより戻された値を解析し、その情報を使用してカード会社と通信を行い決済を実施して結果を返します。
(本人認証が必要な場合のみ実行されます。)
8. 加盟店様は、決済の結果をお客様に表示します。

19.1.2. 各インタフェース仕様詳細

19.1.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranMcp.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	JobCd	◎	CHAR	-	処理区分	以下のいずれかを設定します。 CAPTURE：即時売上 AUTH：仮売上
6	ItemCode		CHAR	7	商品コード	省略時は、"0000990"を適用します。 (※1)
7	Currency	◎	CHAR	3	通貨コード	通貨コードを設定します。 3文字の英字を設定します。
8	Amount	◎	NUMBER	10	利用金額	整数部8桁、小数部は2桁まで可能です。 指定した通貨での金額を指定ください。 (例)100米ドルの場合、100
9	Tax		NUMBER	10	税送料	整数部8桁、小数部は2桁まで可能です。 指定した通貨での金額を指定ください。 (例)100米ドルの場合、100
10	TdTenantName		CHAR	25	3Dセキュア表示店舗名	表示店舗名をEUC-JPでBASE64エンコーディングした値を設定してください。 (※2) 設定値は25Byte以内である必要があります。 省略時は、店舗名が「未指定」となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：通常は省略してください。カード会社との間の契約で使用する商品コードが決められた場合のみ設定してください。

※2：日本語も使用可能ですが、文字化けが起りやすいので使用する場合は十分な検証を実施してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	入力パラメータの値を返却します。
2	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
5	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

19.1.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranMcp.idPass

インタフェース概要

お客様が入力したカード番号と有効期限の情報で本人認証を実施し、結果を返します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	CardNo	●	CHAR	16	カード番号	決済に使用するクレジットカードの番号を設定します。トークン(No.17)または当パラメータいずれかが必須です。 ※カード番号の取扱いが許可された加盟店様のみ設定可能です。
8	Expire	●	CHAR	4	有効期限	決済に使用するクレジットカードの有効期限を設定します。 (YYMM形式)
9	SecurityCode		CHAR	4	セキュリティコード	カードの裏面(あるいは表面)に記載されている3桁もしくは4桁の数字を設定します。
10	RetURL	◎	CHAR	2048	決済結果戻しURL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信URLを設定します。 多通貨クレジットカード決済(MCP)上でお客様が決済手続きを正常に完了された場合に、指定されたURLに結果をリダイレクト経由で送信されます。
11	ErrorRcvURL	◎	CHAR	2048	処理NG時URL	加盟店様が当サービスからの処理失敗となった結果を受信するための処理NG時URLを設定します。 多通貨クレジットカード決済(MCP)上でお客様が決済手続きを正常に完了できなかった場合に、指定されたURLに結果をリダイレクト経由で送信されます。
12	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
13	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
14	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
15	ClientFieldFlag		CHAR	1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定します。 0: 返却しない(デフォルト) 1: 返却する

16	PaymentTermSec		NUMBER	5	支払開始期限秒	<p>お客様が【決済実行】から【支払手続き開始IF】を呼び出すまでの期限です。</p> <p>最大86,400秒（1日）</p> <p>呼び出しパラメータが空の場合、120秒で処理されます。</p>
17	Token	●	CHAR	-	カード情報トークン	<p>カード番号トークン化サービスをご利用の場合、取得したトークンを設定してください。トークンが指定された場合、No.7,8,9は無視され、トークン取得時に指定したカード番号・有効期限・セキュリティコードが利用されます。</p>

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

本人認証を行う必要がある場合

入力されたクレジットカードが本人認証を行う必要がある場合です。支払手続き開始 IF の呼び出し処理を行い、お客様が本人認証パスワードを入力する画面に遷移してください。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ACS	-	CHAR	1	ACS呼出判定	1：ACS呼出要
2	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を返却します。
3	Token	-	CHAR	256	トークン	アクセスIDのハッシュ値を返却します。
4	StartURL	-	CHAR	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始IFのURLを返却します。
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

本人認証を行う必要がない場合

入力されたクレジットカードが本人認証を行う必要がない場合です。決済が完了されましたので、後続処理を行う必要がありません。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ACS	-	CHAR	1	ACS呼出判定	0 : ACS呼出不要
2	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を返却します。
3	Status	-	CHAR	-	現状態	以下のステータスが返却されます。 処理成功時 ・ AUTH ・ REQCAPTURE 処理失敗時 ・ PAYFAIL 実売失敗時は処理前のステータスが返却されます。
4	CheckString	-	CHAR	32	MD5ハッシュ	AccessID,ShopID,ShopPass,OrderIDのハッシュ値を返却します。
5	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	【決済実行】時に加盟店自由項目返却フラグが返却する場合のみ返却します。
6	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
7	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
8	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
9	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

19.1.2.3. 支払手続き開始IFの呼び出し

処理概要

多通貨クレジットカード決済（MCP）において、お客様をカード会社のパスワード入力画面へと遷移させる必要があります。

加盟店様のサイトから画面遷移させる場合は、お客様を当サービスの支払手続き開始 IF に誘導してください。

当サービスは、お客様をカード会社のパスワード入力画面に誘導します。

※本人認証を行う必要がある場合のみ実施してください。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

接続先URL

/payment/McpStart.idPass

インタフェース概要

お客様を多通貨クレジットカード決済（MCP）画面に誘導します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
2	Token	◎	CHAR	256	トークン	【決済実行】で発行された値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページサンプル

```

<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="McpStartCall" action="https://p01.mul-pay.jp/payment/McpStart.idPass" method="POST"
  >
    <noscript>
      <br>
      <br>
      <center>
        <h2>
          カード会社のパスワード入力画面へ移動
        </h2>
        <input type="submit" value="続行">
      </center>
    </noscript>
    <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
    <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
  </form>
  <script >
    <!--
      function OnLoadEvent() {
        document. McpStartCall.submit();
      }
    //-->
  </script>
</body>
</html>

```

- ・ 本番用
https://p01.mul-pay.jp/payment/McpStart.idPass
- ・ テスト環境用
https://pt01.mul-pay.jp/payment/McpStart.idPass

19.1.2.4. 決済結果受信

処理概要

当サービスから決済結果が通知されます。

※ブラウザを×ボタンで閉じた場合は、通知されません。

当サービスは、【決済実行】時に指定された決済結果戻しURL、または処理NG時URLに決済結果を通知します。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を返却します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	以下のステータスが返却されます。 処理成功時 ・ AUTH ・ REQCAPTURE 処理失敗時 ・ PAYFAIL 実売失敗時は処理前のステータスが返却されます。
3	CheckString	-	CHAR	32	MD5ハッシュ	OrderID,AccessID,ShopID,ShopPassのハッシュ値を返却します。
4	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	【決済実行】時に加盟店自由項目返却フラグが返却する場合のみ返却します。
5	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
6	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
7	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
8	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

19.2. 登録したカード情報で決済する

事前に会員が登録したカード情報を使用して決済を行います。

19.2.1. カード番号を選択し、多通貨クレジットカード決済（MCP）をする流れ

以下に、多通貨クレジットカード（MCP）の会員ID決済の流れを説明します。

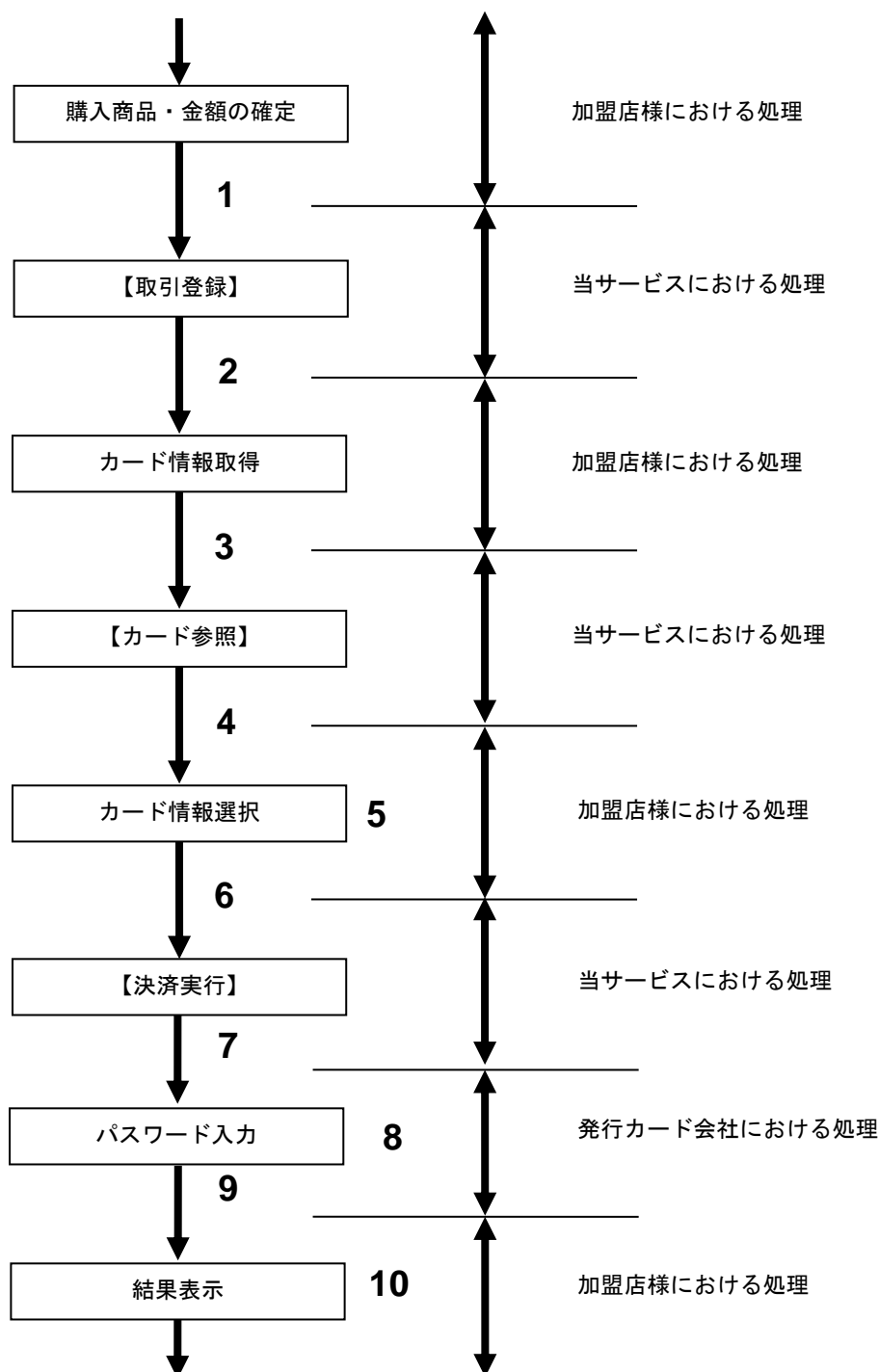


図 19.2.1-1 カード番号を選択し、多通貨クレジットカード決済（MCP）をする流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、会員 ID をもって、当サービスの【カード参照】を呼び出します。
4. 当サービスは、対象会員のカード情報を参照し返します。
5. 加盟店様は、お客様にカード情報を選択する画面を表示します。
6. 加盟店様は、お客様が選択したカード情報のカード登録連番をもって、当サービスの【決済実行】を呼び出します。
7. 当サービスは、カード登録連番よりカード情報を参照します。取得したカード情報を使用して本人認証サービスとの通信を行い本人認証可能なカード情報が否かを判定し本人認証パスワード入力画面 URL を返します。
入力されたカード情報が本人認証サービス不可であった場合は、カード会社と通信を行い決済を実施して結果を返します。
8. 加盟店様は、当サービスの【支払手続き開始 IF】を呼び出し、本人認証パスワード入力画面を表示します。
(本人認証が必要な場合のみ実行してください。)
9. 当サービスは、本人認証サービスより戻された値を解析し、その情報を使用してカード会社と通信を行い決済を実施して結果を返します。
(本人認証が必要な場合のみ実行されます。)
10. 加盟店様は、決済の結果をお客様に表示します。

19.2.2. 各インタフェース仕様詳細

19.2.2.1. 取引登録

「19.1.2.1. 取引登録」の内容を参照ください。

19.2.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranMcp.idPass

インタフェース概要

お客様が入力したカード番号と有効期限の情報で本人認証を実施し、結果を返します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	SiteID	◎	CHAR	13	サイトID	弊社が発行する値を設定します。
8	SitePass	◎	CHAR	10	サイトパスワード	弊社が発行する値を設定します。
9	MemberID	◎	CHAR	10	会員ID	カードを登録する対象の会員IDを設定します。
10	SeqMode		CHAR	1	カード登録連番モード	以下のいずれかを設定します。 0: 論理モード(デフォルト) 1: 物理モード(※1)
11	CardSeq	◎	NUMBER	4	カード登録連番	決済に使用するカード登録連番を設定します。(※1)
12	SecurityCode		CHAR	4	セキュリティコード	カードの裏面(あるいは表面)に記載されている3桁もしくは4桁の数字を設定します。
13	RetURL	◎	CHAR	2048	決済結果戻しURL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信URLを設定します。 多通貨クレジットカード決済(MCP)上でお客様が決済手続きを正常に完了された場合に、指定されたURLに結果をリダイレクト経由で送信されます。
14	ErrorRcvURL	◎	CHAR	2048	処理NG時URL	加盟店様が当サービスからの処理失敗となった結果を受信するための処理NG時URLを設定します。 多通貨クレジットカード決済(MCP)上でお客様が決済手続きを正常に完了できなかった場合に、指定されたURLに結果をリダイレクト経由で送信されます。

15	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
16	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
17	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
18	ClientFieldFlag		CHAR	1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定します。 0: 返却しない(デフォルト) 1: 返却する
19	PaymentTermSec		NUMBER	5	支払開始期限秒	お客様が【決済実行】から【支払手続き開始IF】を呼び出すまでの期限です。 最大86,400秒(1日) 呼び出しパラメータが空の場合、120秒で処理されます。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 物理モードの場合、削除カードでの決済が可能です。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

本人認証を行う必要がある場合

入力されたクレジットカードが本人認証を行う必要がある場合です。支払手続き開始 IF の呼び出し処理を行い、お客様が本人認証パスワードを入力する画面に遷移してください。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ACS	-	CHAR	1	ACS呼出判定	1: ACS呼出要
2	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を返却します。
3	Token	-	CHAR	256	トークン	アクセスIDのハッシュ値を返却します。
4	StartURL	-	CHAR	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始IFのURLを返却します。
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

本人認証を行う必要がない場合

入力されたクレジットカードが本人認証を行う必要がない場合です。決済が完了されましたので、後続処理を行う必要がありません。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ACS	-	CHAR	1	ACS呼出判定	0 : ACS呼出不要
2	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を返却します。
3	Status	-	CHAR	-	現状態	以下のステータスが返却されます。 処理成功時 ・ AUTH ・ REQCAPTURE 処理失敗時 ・ PAYFAIL 実売失敗時は処理前のステータスが返却されます。
4	CheckString	-	CHAR	32	MD5ハッシュ	AccessID,ShopID,ShopPass,OrderIDのハッシュ値を返却します。
5	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	【決済実行】時に加盟店自由項目返却フラグが返却する場合のみ返却します。
6	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
7	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
8	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
9	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

19.2.2.3. 支払手続き開始IFの呼び出し

「19.1.2.3. 支払手続き開始IFの呼び出し」の内容を参照ください。

19.2.2.4. 決済結果受信

「19.1.2.4. 決済結果受信」の内容を参照ください。

19.3. 決済の内容を取り消す

決済が完了した取引の取引ID・取引パスワードを指定すると、以前実施した決済内容をキャンセルすることが可能です。

※決済の取り消しを行っても与信枠はすぐに戻らない場合があります。

与信枠への反映はカード会社によってタイミングが異なります。

19.3.1. 決済内容を取り消す流れ

以下に、決済の内容を取り消す流れを説明します。

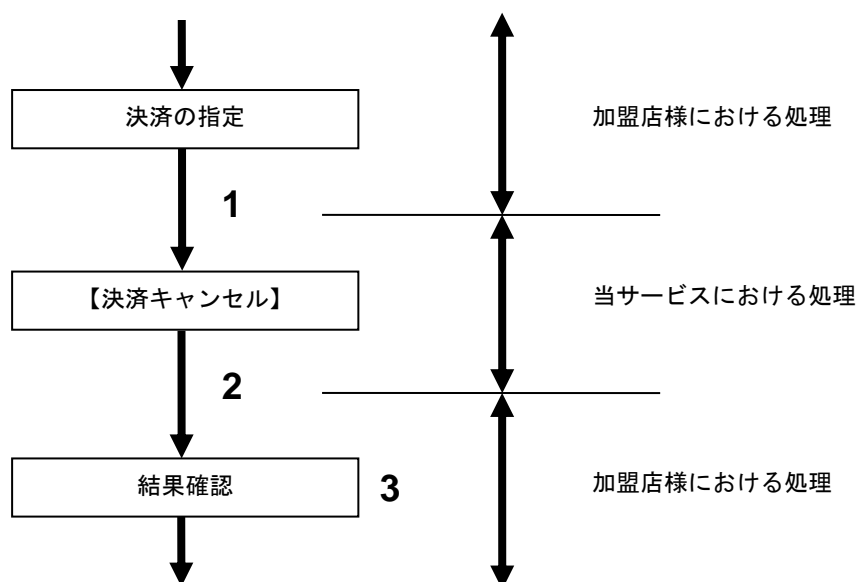


図 19.3.1-1 決済取消の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、変更する取引の取引IDと取引パスワードを指定し、当サービスの【決済キャンセル】を呼び出します。
2. 当サービスは、キャンセル処理を実施します。
3. 加盟店様は、決済キャンセルの結果を確認します。

19.3.2. 各インタフェース仕様詳細

19.3.2.1. 決済キャンセル

接続先URL

/payment/McpCancel.idPass

インタフェース概要

決済が完了した取引に対して決済内容の取り消しを行います。指定された取引情報を使用して取り消しを実施します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	【決済キャンセル】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	取消成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ CANCEL (処理前のステータスがAUTHの場合) ・ REQRETURN (処理前のステータスがSALESまたはCAPTUREの場合) 取消失敗時は処理前のステータスが返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

19.4. 売上の確定を行う

仮売上の決済の取引ID・取引パスワードを指定すると、売上の確定処理(以下、実売上)が可能です。

※実売上の実施期限は、仮売上の処理完了日から90日以内です。

19.4.1. 実売上を行う流れ

以下に、実売上を行う流れを説明します。

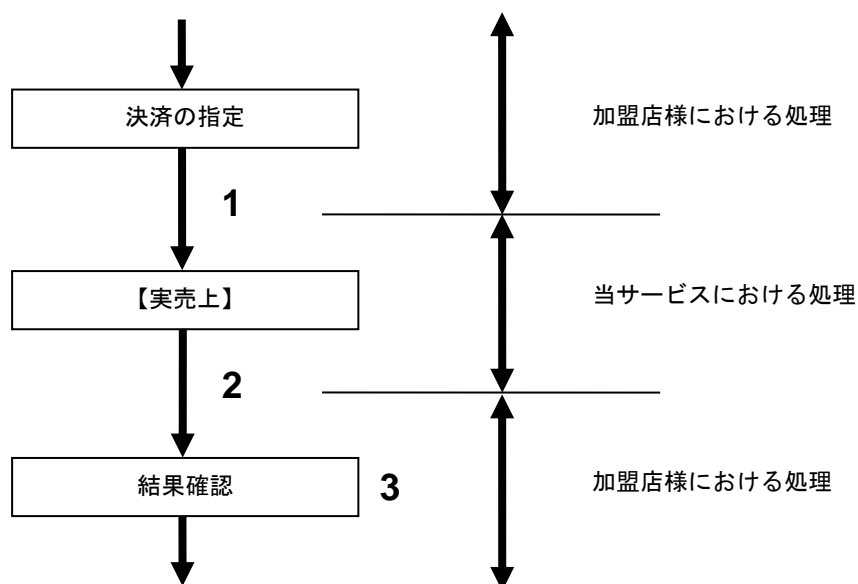


図 19.4.1-1 実売上の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、実売上する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの**【実売上】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の売上を確定します。
3. 加盟店様は、実売上の結果を確認します。

19.4.2. 各インタフェース仕様詳細

19.4.2.1. 実売上

接続先URL

/payment/McpSales.idPass

インタフェース概要

仮売上の決済に対して実売上を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	【実売上】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	実売成功時は以下のステータスが返却されます。 ・REQSALES 実売失敗時は処理前のステータスが返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

19.5. 多通貨クレジットカード決済（MCP）に使用したカード番号を登録する

正常に完了した多通貨クレジットカード決済（MCP）に使用したカード情報を登録すること(以下、決済後カード登録)が可能です。本インタフェースを使用した場合には、決済にて有効性の確認が取れていますので、カード会社への有効性チェックは行いません。

19.5.1. 多通貨クレジットカード決済（MCP）に使用したカード番号登録の流れ

以下に、決済で使用したカード情報を登録する流れを説明します。

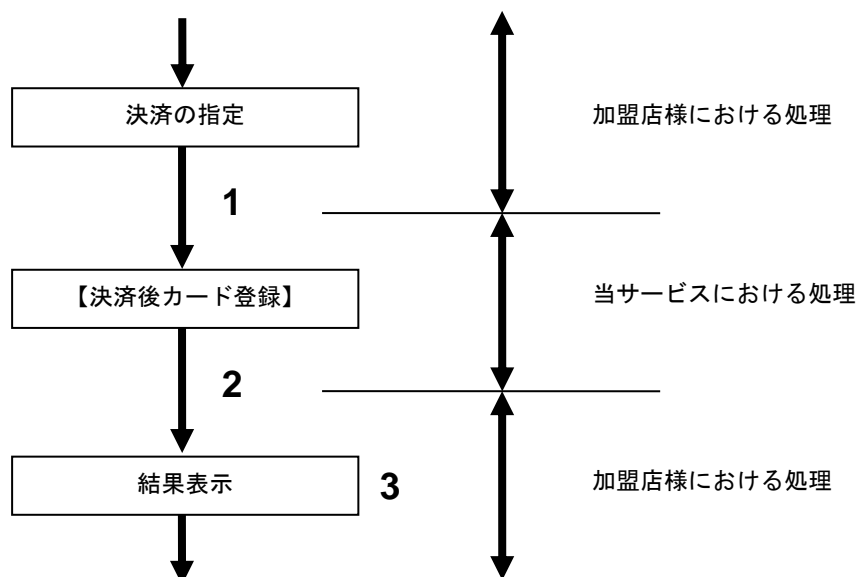


図 19.5.1-1 決済後カード登録の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、カード番号を登録する取引のオーダーID と登録する対象の会員 ID を指定し、当サービスの**【決済後カード登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の内容を取得して、指定された会員のカード情報を登録します。
3. 加盟店様は、お客様に登録結果を表示します。

19.5.1.1. 各インタフェース仕様詳細

19.5.1.2. 決済後カード登録

接続先URL

/payment/TradedCard.idPass

インタフェース概要

指定されたオーダーIDの取引に使用したカードを登録します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	カード登録対象の取引に指定した値を設定します。
5	SiteID	◎	CHAR	13	サイトID	弊社が発行する値を設定します。
6	SitePass	◎	CHAR	10	サイトパスワード	弊社が発行する値を設定します。
7	MemberID	◎	CHAR	60	会員ID	カードを登録する対象の会員IDを設定します。
8	SeqMode		CHAR	1	カード登録連番モード	以下のいずれかを設定します。 0: 論理モード(デフォルト) 1: 物理モード
9	DefaultFlag		CHAR	1	洗替・継続課金フラグ	以下のいずれかを設定します。 0: 継続課金対象としない(デフォルト) 1: 継続課金対象とする
10	CardSeq		NUMBER	4	カード登録連番	入力無しの場合、登録になります。 更新時は、更新する値を設定します。
11	HolderName		CHAR	50	名義人	登録するカードに記載されている名義人 を設定します。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	CardSeq	-	CHAR	4	カード登録連番	登録が完了したカード番号の値を返却します。 同一カードでも、モードにより返却内容が異なります。
2	CardNo	-	CHAR	16	カード番号	登録したカード番号を返却します。 下4桁以外伏字。
3	Forward	-	CHAR	7	仕向先コード	決済を行ったときに仕向けたカード会社のコードを返却します。
4	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
5	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

20. LINE Pay決済インタフェース仕様

ドキュメント統合しましたので、今後は「LINE Pay決済」をご参照ください。

21. ネット銀聯決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

21.1. ネット銀聯決済を実行する

購入時にお客様がネット銀聯決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

21.1.1. ネット銀聯決済の流れ

以下に、ネット銀聯決済の流れを説明します。

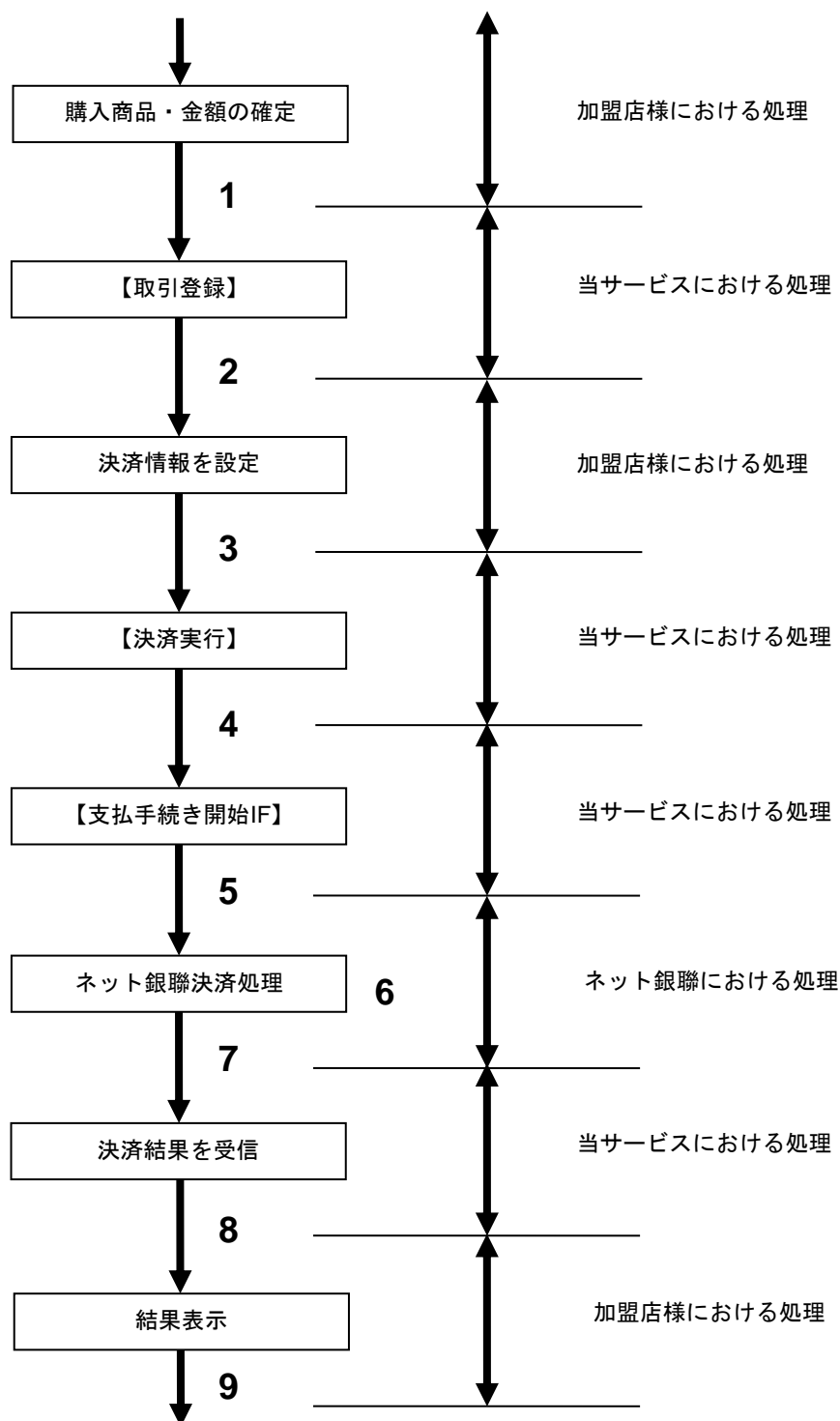


図 21.1.1-1 ネット銀聯決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をネット銀聯の決済画面に誘導します。
6. お客様は、ネット銀聯の決済画面にて支払操作を行います。
7. ネット銀聯は、決済結果を当サービスに送信します。
8. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果を返します。
9. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

21.1.2. 各インタフェース仕様詳細

注意事項) ネット銀聯決済では、仮売上(AUTH)が成功した場合でも、その後の通貨レート変動の影響により、実売上がエラーとなる場合がございます。
このため、弊社では仮売上／実売上の使用を推奨しておりません。即時売上(CAPTURE)の使用をお勧めします。

21.1.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranUnionpay.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	JobCd	◎	CHAR	-	処理区分	AUTH：仮売上 CAPTURE：即時売上
6	Amount	◎	NUMBER	8	利用金額	
7	Tax		NUMBER	7	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額＋税送料が決済金額となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	入力パラメータの値を返却します。
2	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
5	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

21.1.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranUnionpay.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンと遷移URLを返却します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	CommodityName		CHAR	255	商品名	半角英数字で指定してください。
8	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
9	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
10	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
11	ClientFieldFlag		CHAR	1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定します。 0: 返却しない(デフォルト) 1: 返却する
12	RetURL	◎	CHAR	2048	決済結果戻しURL	加盟店様が当サービスから決済結果を受信する結果受信URLを設定します。 お客様が決済手続きを正常に完了された場合、指定されたURLに結果をリダイレクト経由で送信されます。
13	ErrorRcvURL	◎	CHAR	2048	処理NG時URL	加盟店様が当サービスから処理失敗となった結果を受信する処理NG時URLを設定します。 お客様が決済手続きを正常に完了できなかった場合、指定されたURLに結果をリダイレクト経由で送信されます。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Token	-	CHAR	256	トークン	取引IDのハッシュ値を返却します。
3	StartURL	-	CHAR	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始IFのURLを返却します。
4	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
5	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

21.1.2.3. 支払手続き開始IFの呼び出し

処理概要

ネット銀聯決済において、お客様をネット銀聯の決済画面へと遷移させる必要があります。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

接続先URL

/payment/UnionpayStart.idPass

インタフェース概要

お客様をネット銀聯の決済画面に誘導します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
2	Token	◎	CHAR	256	トークン	【決済実行】で発行された値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページサンプル

```

<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="UnionpayStartCall" action="{UnionpayStartURL}" method="POST">
    <noscript>
      <center>
        <h2>ネット銀聯の決済画面へ遷移します。</h2>
        <input type="submit" value="続行">
      </center>
    </noscript>
    <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
    <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
  </form>
  <script >
    <!--
      function OnLoadEvent() {
        document.UnionpayStartCall.submit();
      }
    //-->
  </script>
</body>
</html>

```

21.1.2.4. 決済結果受信

処理概要

ネット銀聯決済から、当サービスに支払操作結果が通知されます。

支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と支払操作をキャンセルした場合（オプション）に通知されます。

※ブラウザを×ボタンで閉じた場合は、通知されません。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクトURLに決済結果を通知します。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータをPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	該当取引のショップIDを返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
3	Status	-	CHAR	32	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 AUTH：仮売上 CAPTURE：即時売上 PAYFAIL：決済失敗
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	【決済実行】時に加盟店自由項目返却フラグが返却する場合のみ返却します。
6	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
7	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
8	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
9	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01 ErrInfo=M01000007|M01000008

21.2. 決済の内容をキャンセルする

仮売上/実売上/即時売上の決済の取引ID・取引パスワードを指定すると、以前実施した決済内容をキャンセルすることが可能です。

※キャンセルの実施期間は、仮売上の場合は処理完了日から179日以内、実売上／即時売上の場合は当日以内です。

21.2.1. 決済内容をキャンセルする流れ

以下に、決済の内容をキャンセルする流れを説明します。

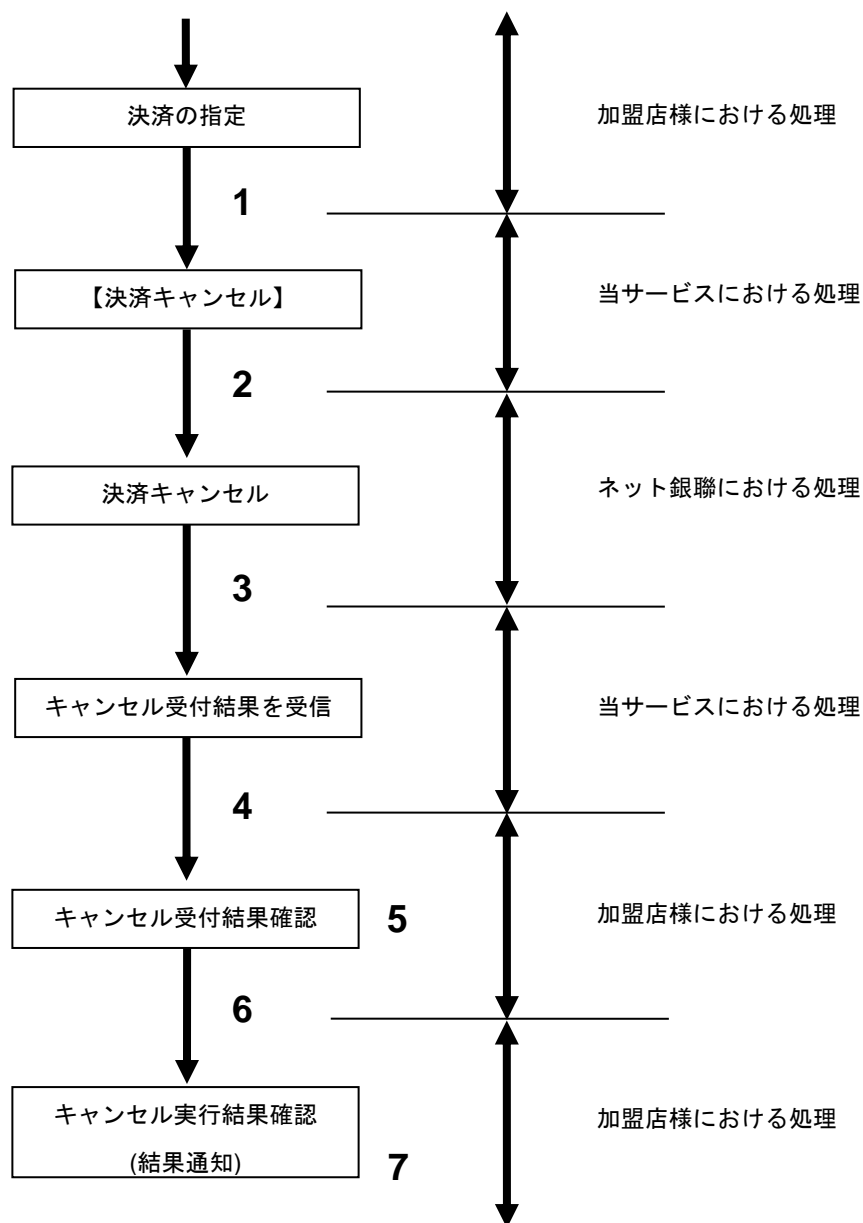


図 21.2.1-1 決済キャンセルの流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、キャンセルする取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの【決済キャンセル】を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引のキャンセルリクエストをネット銀聯に送信します。
3. ネット銀聯は、キャンセル受付結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、キャンセル受付結果を返します。
5. 加盟店様は、キャンセル受付結果を確認します。
6. 当サービスは、キャンセル実行結果を結果通知にて返します。
7. 加盟店様は、キャンセル実行結果を結果通知にて確認します。

注意) 決済キャンセルAPIの出力パラメータとして返却されるのは、決済キャンセル要求を受け付けたか否かを示す結果です。

決済キャンセルの実行結果は結果通知にて返却されますので、結果通知の内容で決済キャンセルの実行結果を確認してください。

21.2.2. 各インタフェース仕様詳細

21.2.2.1. 決済キャンセル

接続先URL

/payment/UnionpayCancel.idPass

インタフェース概要

決済内容のキャンセルを行います。

※本インタフェースは、決済のキャンセル要求を行い要求結果を返します。

キャンセル処理の実行結果は別途結果通にて返却されます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【決済キャンセル】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	処理成功時は以下のステータスが返却されます。 ・REQCANCEL：キャンセル要求中
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

21.3. 決済の内容を返品する

即時売上、実売上の決済の取引ID・取引パスワードを指定すると、以前実施した決済内容を返品することが可能です。

一部返品、全額返品が可能です。一部返品の場合、全額返品になるまで複数回実行することが可能です。

※返品の実施期間は、即時売上・実売上の処理完了日の翌日から179日以内です。

21.3.1. 決済内容を返品する流れ

以下に、決済の内容を返品する流れを説明します。

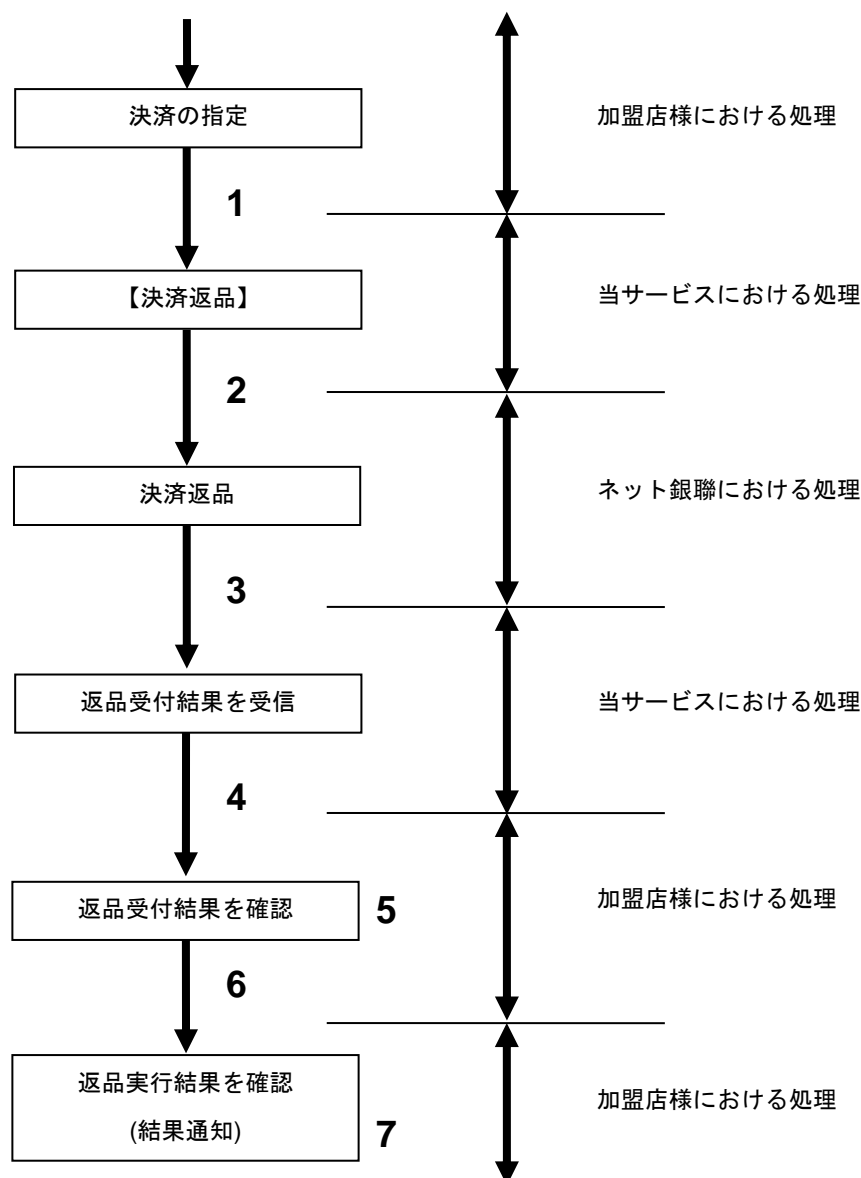


図 21.3.1-1 決済返品の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は返品する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの【**決済返品**】を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の返品リクエストをネット銀聯に送信します。
3. ネット銀聯は、返品受付結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、返品受付結果を返します。
5. 加盟店様は、決済返品受付結果を確認します。
6. 当サービスは、返品実行結果を結果通知に返します。
7. 加盟店様は、返品実行結果を結果通知にて確認します。

注意) 決済返品APIの出力パラメータとして返却されるのは、決済返品要求を受け付けたか否かを示す結果です。

決済返品の実行結果は結果通知にて返却されますので、結果通知の内容で決済返品の実行結果を確認してください。

21.3.2. 各インタフェース仕様詳細

21.3.2.1. 決済返品

接続先URL

/payment/UnionpayReturn.idPass

インタフェース概要

即時売上、実売上の取引に対して決済内容の返品を行います。

※本インタフェースは、決済の返品要求を行い要求結果を返します。

返品処理の実行結果は別途結果通知にて返却されます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	Version		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	CancelAmount	●	Number	8	返品金額	返品金額+返品税送料を返品金額とします。(1円以上) 売上確定金額の一部返品が可能です。
8	CancelTax	●	Number	7	返品税送料	例) 実売上525円より210円分返品 →返品金額: 210 例) 実売上525円を全額返品 →返品金額: 525

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【決済返品】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	処理成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ REQRETURN : 返品要求 一部返品時は返品処理前のステータスが返却されます。
3	Amount	-	Number	8	利用金額	利用金額から返品金額を減算した結果を返却します。 例) 利用金額5,000円より返品金額3,000円 => 利用金額2,000円
4	Tax	-	Number	7	税送料	税送料から返品税送料を減算した結果を返却します。 例) 税送料250円より返品税送料150円 => 税送料100円
5	CancelAmount	-	Number	8	返品金額	返品金額を返却します。
6	CancelTax	-	Number	7	返品税送料	返品税送料を返却します。
7	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
8	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

21.4. 売上の確定を行う

仮売上の決済の取引ID・取引パスワードを指定すると、売上の確定処理(以下、実売上)が可能です。

- ・ オーソリした金額以内で、金額を指定した実売上が可能です。
- ・ 実売上は、1オーダーIDにつき1度のみ実行可能です。減額して実売上を行った場合、残分を再度実売上することはできません。
- ・ 実売上の実施期間は、仮売上の処理完了日から29日以内です。

21.4.1. 実売上を行う流れ

以下に実売上を行う流れを説明します。

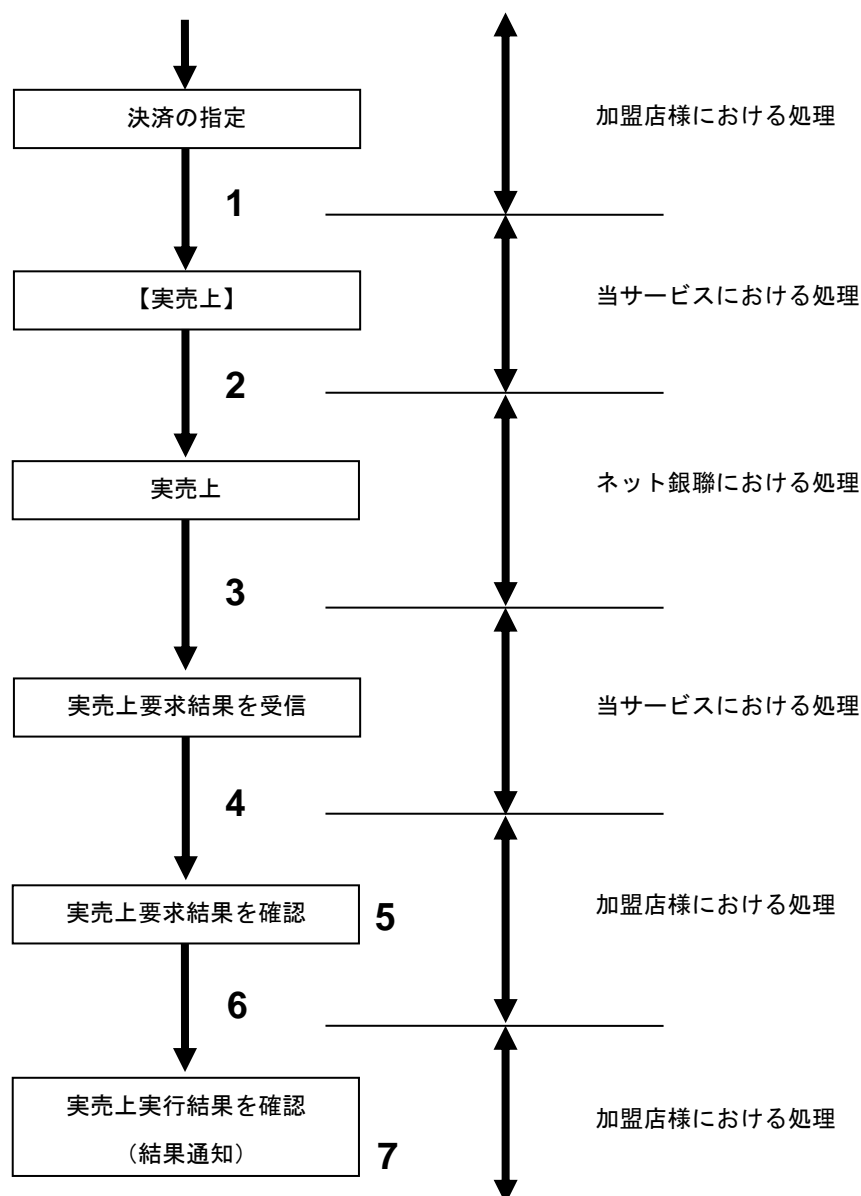


図 21.4.1-1 実売上の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、実売上する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの【**実売上**】を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の実売上リクエストをネット銀聯に送信します。
3. ネット銀聯は、実売上受付結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、実売上受付結果を返します。
5. 加盟店様は、実売上受付結果を確認します。
6. 当サービスは、実売上実行結果を結果通知にて返します。
7. 加盟店様は、実売上実行結果を結果通知にて確認します。

注意) 実売上APIの出力パラメータとして返却されるのは、実売上要求を受け付けたか否かを示す結果です。

実売上の実行結果は結果通知にて返却されますので、結果通知の内容で実売上の実行結果を確認してください。

21.4.2. 各インタフェース仕様詳細

21.4.2.1. 実売上

接続先URL

/payment/UnionpaySales.idPass

インタフェース概要

仮売上の決済に対して実売上を行います。

※本インタフェースは、決済の実売上要求を行い要求結果を返します。

実売上処理の実行結果は別途結果通にて返却されます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	Version		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	Amount	◎	NUMBER	8	利用金額	
8	Tax		NUMBER	7	税送料	利用金額＋税送料が売上金額となります (1円以上) ※0円の場合はエラーとします。 ※オーソリ時より大きい金額の場合はエラーとします。 ※オーソリ時と異なる金額の場合は、指定された金額で売上を確定します。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	【実売上】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	処理時は以下のステータスが返却されます。 ・REQSALES: 実売上
3	Amount	-	Number	8	利用金額	売上確定した利用金額を返却します。
4	Tax	-	Number	7	税送料	売上確定した税送料を返却します。
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

22. ソフトバンクまとめて支払い（B）継続課金決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

22.1. ソフトバンクまとめて支払い（B）継続課金決済を実行する

購入時にお客様がソフトバンクまとめて支払い（B）継続課金決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

22.1.1. ソフトバンクまとめて支払い（B）継続課金決済の流れ

以下に、ソフトバンクまとめて支払い（B）継続課金決済の流れを説明します。

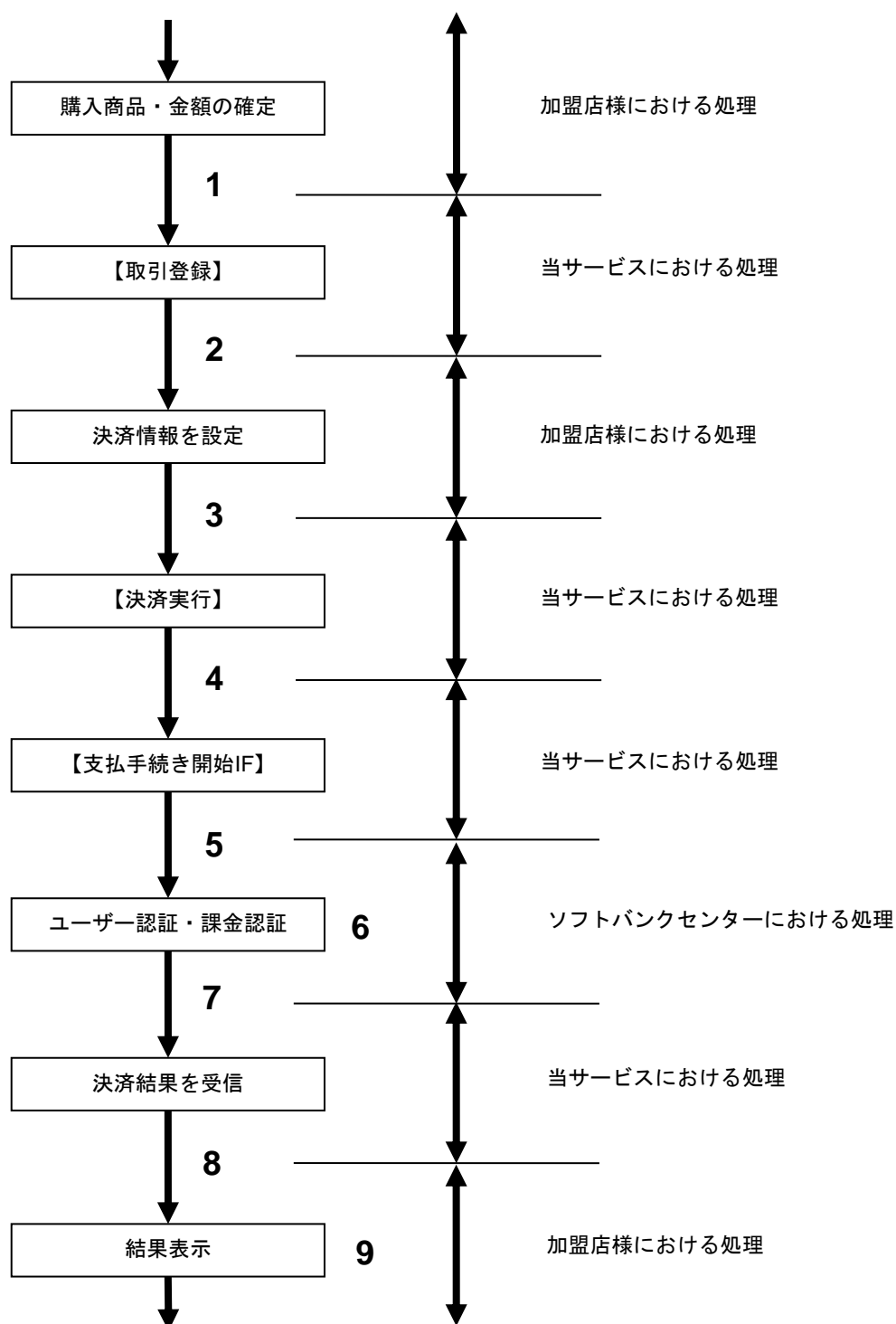


図 22.1.1-1 ソフトバンクまとめて支払い（B）決済の流れ
流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をソフトバンクセンターの決済画面に誘導します。
6. お客様は、ソフトバンクまとめて支払い（B）継続課金決済の決済画面にて支払操作を行います。
7. ソフトバンクセンターは、決済結果を当サービスに送信します。
8. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果を返します。
9. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

22.1.2. 各インタフェース仕様詳細

22.1.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranSbContinuance.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	Amount	◎	NUMBER	6	利用金額	
6	Tax		NUMBER	6	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が決済金額となります。 利用金額+税送料で1円以上100,000円／月以下である必要があります。 ソフトバンクまとめて支払い(B)の利用限度額はお客様の契約期間や年齢によって変わってきます。詳細はソフトバンクサイトでご確認ください。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)
ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

22.1.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranSbContinuance.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンを返却します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
8	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
9	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
10	RetURL	◎	CHAR	256	決済結果戻しURL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信URLを設定します。 ソフトバンクセンター上でお客様が決済手続きを正常に完了された場合に、指定されたURLに結果をリダイレクト経由で送信されます。
11	PaymentTermSec		NUMBER	5	支払開始期限秒	お客様が【決済実行】から【支払手続き開始IF】を呼び出すまでの期限です。 最大86,400秒（1日） 呼び出しパラメータが空の場合、120秒で処理されます。
12	ChargeDay	◎	CHAR	2	課金基準日	月々の継続課金を確定する日を指定します。 有効な日付は10,15,20,25,31です。 尚、31の場合は毎月月末に継続課金データを確定します。
13	FirstMonthFreeFlag	◎	CHAR	1	初月無料フラグ	継続課金申込時に課金するかを指定します。 0：課金する 1：課金しない（申込みのみ）

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	アクセスID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Token	-	CHAR	256	トークン	アクセスIDのハッシュ値を返却します。
3	StartURL	-	CHAR	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始IFのURLを返却します。
4	StartLimitDate	-	CHAR	14	支払開始期限日時	支払手続き開始IFの呼び出し期限を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

22.1.2.3. 支払手続き開始IFの呼び出し

処理概要

お客様をソフトバンクセンターへ誘導します。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

接続先URL

/payment/SbContinuanceStart.idPass

インタフェース概要

お客様をソフトバンクセンターへ誘導します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
2	Token	◎	CHAR	256	トークン	【決済実行】で発行された値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページサンプル

```

<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="SbContinuanceStartCall" action="{SbContinuanceStartURL}" method="POST">
    <noscript>
      <br>
      <br>
      <center>
        <h2>
          ソフトバンクまとめて支払い（B）の決済画面へ遷移します。
        </h2>
        <input type="submit" value="続行">
      </center>
    </noscript>
    <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
    <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
  </form>
  <script>
  <!--
    function OnLoadEvent() {
      document.SbContinuanceStartCall.submit();
    }
  //-->
  </script>
</body>
</html>

```

22.1.2.4. 決済結果受信

処理概要

ソフトバンクセンターから、当サービスに認証・支払操作結果が通知されます。

認証・支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と認証・支払操作をキャンセルした場合に通知されます。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクトURLに決済結果を通知します。

この決済結果は、ソフトバンクセンターの決済完了画面からブラウザ経由で連携されるため、ユーザの操作方法によっては支払操作が完了したにもかかわらず、加盟店様に通知されないことがあります。その際はショップ管理画面または結果通知にてご確認ください。また、同様の理由でこの決済結果が複数回加盟店様に通知されることがあります。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータをPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	該当取引のショップIDを返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
3	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 REGISTER：継続課金登録 PAYFAIL：継続課金登録失敗 AUTHCANCEL：認証処理キャンセル
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	SbTrackingId	-	CHAR	14	ソフトバンク 処理トラッキングID	継続課金申込処理が正常終了した時にソフトバンクから振り出される番号です。 お客様が利用履歴画面で確認できます。
6	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
7	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

22.2. 課金データを取消する

取引の取引ID・取引パスワード・年月を指定すると、指定した課金データを取消することが可能です。

すでに利用者に対しソフトバンクから代金請求済みの場合、返品扱い(マイナス請求)となります。

キャンセル可能期間は以下のとおりです。

- ・ 売上が未確定の場合は、取引登録後60日間です。
- ・ 売上が確定済みの場合は、確定日を含めて180日間です。

※キャンセル期限を超過した場合はエラーコード”SC1000004”が返却されます。

キャンセルは、1 オーダーIDにつき 1 度のみ実行可能です。

22.2.1. 課金データを取消する流れ

以下に、決済の内容を取消する流れを説明します。

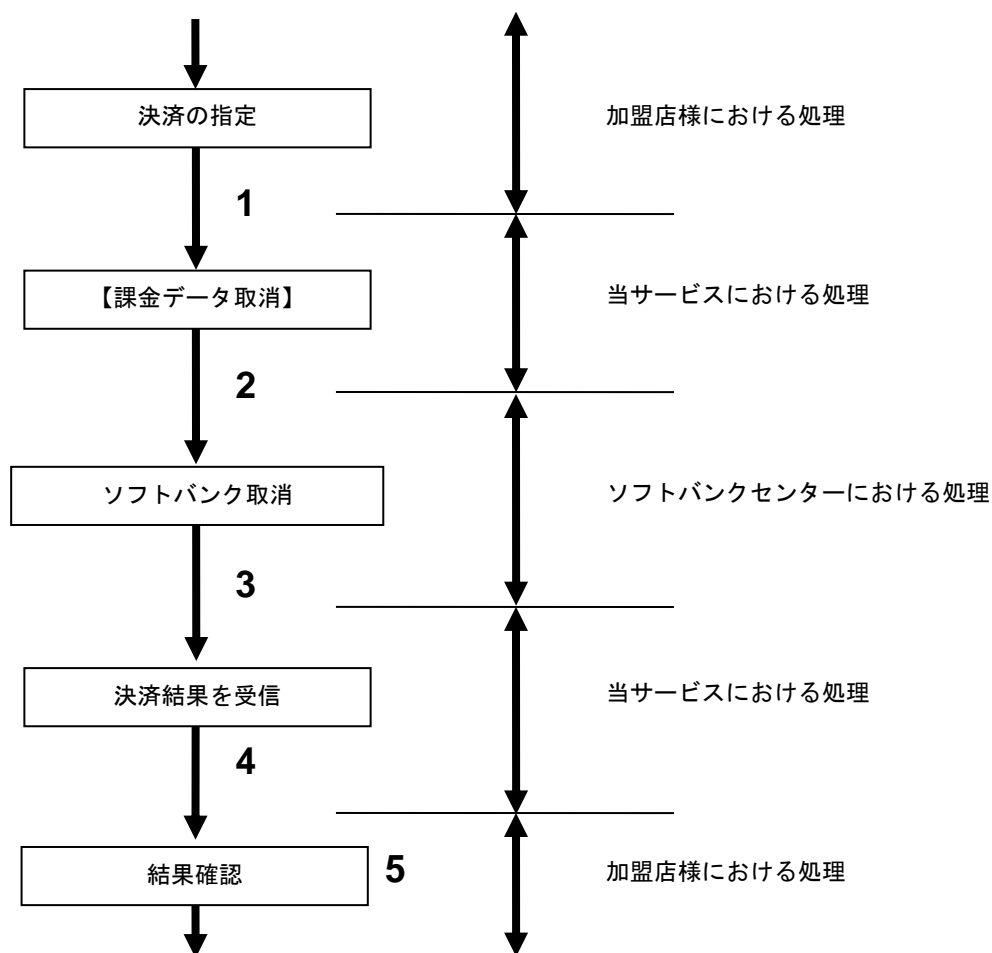


図 22.2.1-1 課金データ取消の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、取消する取引の取引 ID・取引パスワード・年月を指定し、当サービスの**【課金データ取消】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の取消リクエストをソフトバンクセンターに送信します。
3. ソフトバンクセンターは、取消結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、取消結果を返します。
5. 加盟店様は、課金データ取消の結果を確認します。

22.2.2. 各インタフェース仕様詳細

22.2.2.1. 課金データ取消

接続先URL

/payment/SbContinuanceChargeCancel.idPass

インタフェース概要

課金データの取消を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	ContinuanceMonth	◎	CHAR	6	継続課金年月	取消する継続課金の年月をyyyyMM書式で指定してください。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	キャンセル成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ CANCEL：課金要求取消 ・ RETURN：課金取消 取消失敗時は取消処理前のステータスが返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

22.3. 継続課金を解約する

課金登録が完了した取引の取引ID・取引パスワードを指定すると、以前に登録した継続課金を解約することが可能です。
課金登録の解約とすでに課金されている各月の課金は連動しません。

- ・ 課金解約は課金申込み後いつでも実行可能です。
 - ・ 課金解約を実行すると、翌月から課金されなくなります。
 - ・ 課金解約を実行しても、すでに発生した課金は取消されません。
- 取消が必要な場合は、別途課金データの取消処理を行ってください。

22.3.1. 継続課金を解約する流れ

以下に、継続課金を解約する流れを説明します。

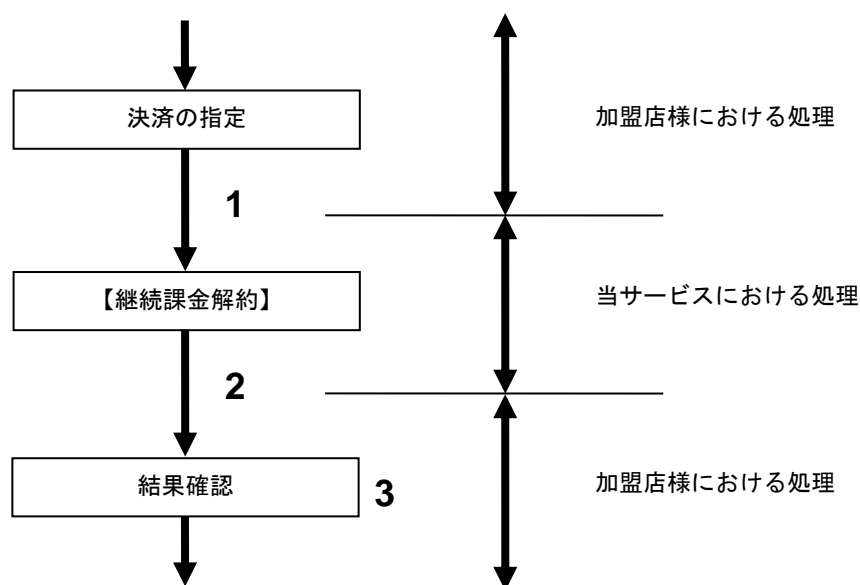


図 22.3.1-1 継続課金解約の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、解約する取引の取引IDと取引パスワードを指定し、当サービスの**【継続課金解約】**を呼び出します。
2. 当サービスは、継続課金解約処理を行い結果を返します。
3. 加盟店様は、継続課金解約の結果を確認します。

22.3.2. 各インタフェース仕様詳細

22.3.2.1. 継続課金解約

接続先URL

/payment/SbContinuanceCancel.idPass

インタフェース概要

継続課金登録した取引に対して解約を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	解約成功時は以下のステータスが返却されます。 ・CANCEL：継続課金解約
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

22.4. 課金要求結果ファイル、課金確定結果ファイル送信

月初（課金要求）、また課金日当日（課金確定）にソフトバンクセンターで処理された結果をショップID単位に作成します。

結果ファイル送信は12:00までを目処に開始します。

加盟店様側からの正常応答が確認できなかった場合は60分おきに5回再送します。

また、結果ファイルは管理画面にて取得可能です。

22.4.1. ファイル出力対象

課金要求結果ファイルに出力される情報は以下の通りです。

- ・ 月初に、当月の **課金対象** に対し課金要求を行った結果データ
- ・ 課金要求が成功または失敗の課金データ

※課金対象とは、継続課金登録（REGISTER） かつ 課金開始月 >= 当月 の継続課金データ

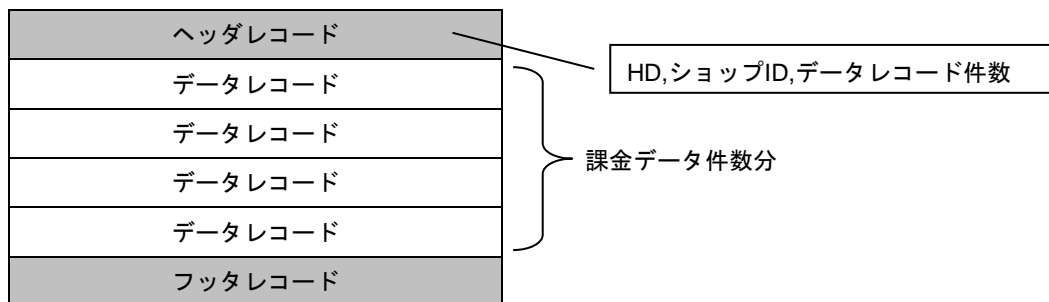
課金確定結果ファイルに出力される情報は以下の通りです。

- ・ 課金日当日に、当月の課金要求が成功したデータに対し課金確定を行った結果データ
- ・ 課金確定が成功または失敗の課金データ

22.4.3. ファイル情報

課金結果ファイルは、ヘッダ、データ（課金データ件数分）、フッタの3種類のレコード構成となります。

図 22.4.3-1 課金結果ファイルイメージ



出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

下記パラメータ名でファイルを送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	FileContents	◎	File	-	ファイル	課金要求結果ファイル、または課金確定結果ファイルを返却します。

■ファイル情報

No	項目	値	詳細
1	ファイル名	【課金要求結果ファイル】 SB_A_ショップID_課金要求日_ [0-9].csv 【課金確定結果ファイル】 SB_S_ショップID_課金確定日_ [0-9].csv	SB_A_tshop99999999_20151001_59576858 70812785188.csv SB_S_tshop99999999_20151031_15086376 5215807927.csv
2	区切り文字	半角コンマ	
3	改行コード	CRLF	
4	ソート順	オーダID 昇順	
5	囲み文字	ダブルクォート	

■ヘッダレコード

No	項目	必須	型	桁	詳細
1	レコード区分	◎	CHAR	2	“HD”固定となります。
2	ショップID	◎	CHAR	13	ショップIDを設定します。
3	データレコード件数	◎	NUMBER	8	データレコードの件数を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 空白：省略可能】

※CHAR型の桁数は設定可能な最大バイト数を表記しています。

■データレコード

No	項目	必須	型	桁	詳細
1	ショップID	◎	CHAR	13	
2	オーダID	◎	CHAR	27	
3	課金日	◎	CHAR	8	課金日をyyyyMMdd書式で返却します。
4	取引状態	◎	CHAR	15	取引状態を返却します。 AUTH：課金要求済み AUTHFAIL：課金要求失敗 SALES：課金済み FAILED：課金失敗
5	利用金額	◎	CHAR	6	
6	税送料	◎	CHAR	6	
7	ソフトバンク処理トラッキングID		CHAR	14	処理結果が正常の場合設定されます。
8	エラーコード		CHAR	3	
9	エラー詳細コード		CHAR	9	
10	処理日時	◎	CHAR	14	処理日時をyyyyMMddHHmmss

【必須項目の記号 ◎：必須 空白：省略可能】

※CHAR型の桁数は設定可能な最大バイト数を表記しています。

■フッタレコード

No	項目	必須	型	桁	詳細
1	レコード区分	◎	CHAR	2	“FT”固定となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 空白：省略可能】

※CHAR型の桁数は設定可能な最大バイト数を表記しています。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

パラメータ名を使用せずに0もしくは1の値を返却します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	RecvRes	◎	CHAR	1	受信結果	以下のいずれか 0：受信OK 1：受信失敗

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

23. リクルートかんたん支払い決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

23.1. リクルートかんたん支払い決済を実施する

購入時にお客様がリクルートかんたん支払い決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

23.1.1. リクルートかんたん支払い決済の流れ

以下に、リクルートかんたん支払い決済の流れを説明します。

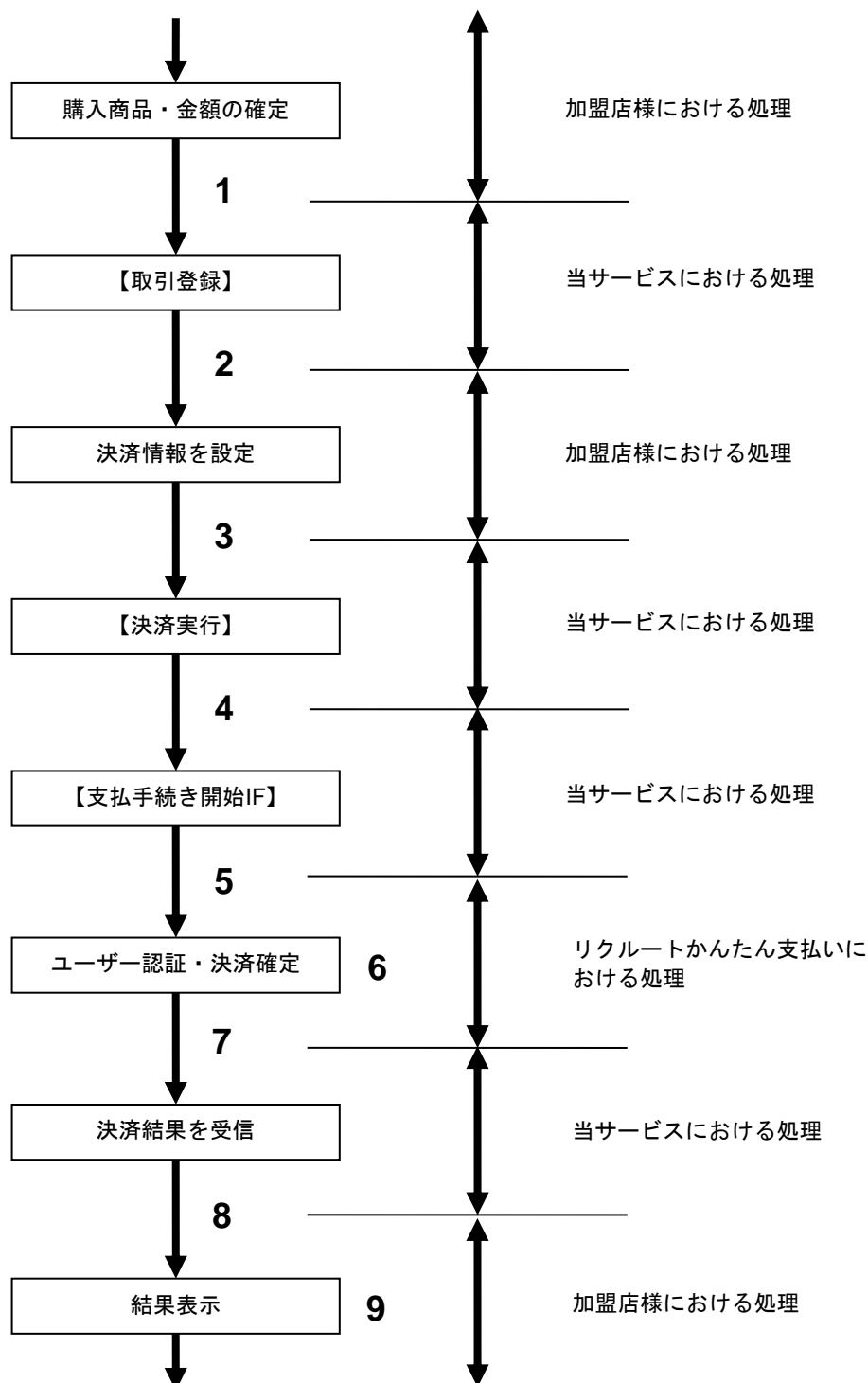


図 23.1.1-1 リクルートかんたん支払い決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をリクルートかんたん支払いの決済画面に誘導します。
6. お客様は、リクルートかんたん支払いの決済画面にて支払操作を行います。
7. リクルートかんたん支払いは、決済結果を当サービスに送信します。
8. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果を返します。
9. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します

23.1.2. 各インタフェース仕様詳細

23.1.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranRecruit.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	JobCd	◎	CHAR	7	処理区分	AUTH：仮売上 CAPTURE：即時売上
6	Amount	◎	NUMBER	7	利用金額	
7	Tax		NUMBER	7	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額＋税送料が決済金額となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	入力パラメータの値を返却します。
2	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
5	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)
ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

23.1.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranRecruit.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンを返却します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
8	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
9	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
10	ClientFieldFlag		CHAR	1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定します。 0：返却しない(デフォルト) 1：返却する
11	RetURL	◎	CHAR	2048	決済結果戻しURL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信URLを設定します。 リクルートかんたん支払い上でお客様が決済手続きを正常に完了された場合に、指定されたURLに結果をリダイレクト経由で送信されます。
12	ItemName	◎	CHAR	512	商品名	商品名称を設定します。※
13	PaymentTermSec		NUMBER	5	支払開始期限秒	お客様が【決済実行】から【支払手続き開始IF】を呼び出すまでの期限です。 最大3,600秒（1時間） 呼び出しパラメータが空の場合、120秒で処理されます。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※文字バイトチェックはUTF-8を使用しているため、全角文字は3byteで換算されます。

設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	アクセスID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Token	-	CHAR	256	トークン	アクセスIDのハッシュ値を返却します。
3	StartURL	-	CHAR	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始IFのURLを返却します。
4	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
5	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

23.1.2.3. 支払手続き開始IFの呼び出し

処理概要

お客様をリクルートかんたん支払いへ誘導します。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

接続先URL

/payment/RecruitStart.idPass

インタフェース概要

お客様をリクルートかんたん支払いへ誘導します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
2	Token	◎	CHAR	256	トークン	【決済実行】で発行された値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページサンプル

```

<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="RecruitStartCall" action="{RecruitStartURL}" method="POST">
    <noscript>
      <br>
      <br>
      <center>
        <h2>
          リクルートかんたん支払いの決済画面へ遷移します。
        </h2>
        <input type="submit" value="続行">
      </center>
    </noscript>
    <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
    <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
  </form>
  <script>
    <!--
      function OnLoadEvent() {
        document.RecruitStartCall.submit();
      }
    //-->
  </script>
</body>
</html>

```

23.1.2.4. 決済結果受信

処理概要

リクルートかんたん支払いから、当サービスに認証・支払操作結果が通知されます。

認証・支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と認証・支払操作をキャンセルした場合に通知されます。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクトURLに決済結果を通知します。

この決済結果は、リクルートかんたん支払いの決済完了画面からブラウザ経由で連携されるため、ユーザの操作方法によっては支払操作が完了したにもかかわらず、加盟店様に通知されないことがあります。その際はショップ管理画面または結果通知にて確認ください。また、同様の理由でこの決済結果が複数回加盟店様に通知されることがあります。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータをPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	該当取引のショップIDを返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
3	Status	-	CHAR	32	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 AUTH：仮売上 PAYFAIL：決済失敗 REQCAPTURE：即時売上受け ※即時売上で決済した場合「即時売上受け」となります。リクルートかんたん支払いにて売上確定が行われた後「即時売上受け」から「即時売上」になります。「即時売上」は結果通知にて返却されます。
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	CheckString	-	CHAR	32	改ざんチェック文字列	OrderID, AccessID, ShopID, ShopPassのハッシュ値を返却します。
6	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	【決済実行】時に加盟店自由項目返却フラグが返却する場合のみ返却します。
7	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
8	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
9	RcOrderId	-	CHAR	16	注文番号	決済の注文番号を返却します。
10	RcOrderTime	-	CHAR	14	注文時刻	注文確定時間を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
11	RcUsePoint	-	CHAR	13	行使ポイント数	購入者が行使したポイント数を返却します。
12	RcUseCoupon		CHAR	13	リクルート原資クーポン割引額	リクルート原資クーポンの割引額を返却します。 ※値引き額が絶対値で入ります。
13	RcUseShopCoupon		CHAR	13	加盟店様原資クーポン割引額	加盟店様原資クーポンの割引額を返却します。 ※値引き額が絶対値で入ります。
14	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
15	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01 ErrInfo=M01000007|M0100000

23.2. 決済の内容をキャンセルする

決済が完了した取引の取引ID・取引パスワードを指定すると、以前実施した決済内容をキャンセルすることが可能です。
キャンセル可能な条件や期間は以下のとおりです。

(i)注文確定前の場合

何回でもキャンセルを実施することができる(※)。

※一度キャンセル処理が成功した上でもう一度キャンセルを実施した場合はエラーになります。

(ii)注文確定後、及び即時売上の取引の場合

注文確定の処理完了日の翌月末日迄であること。

23.2.1. 決済内容をキャンセルする流れ

以下に、決済の内容をキャンセルする流れを説明します。

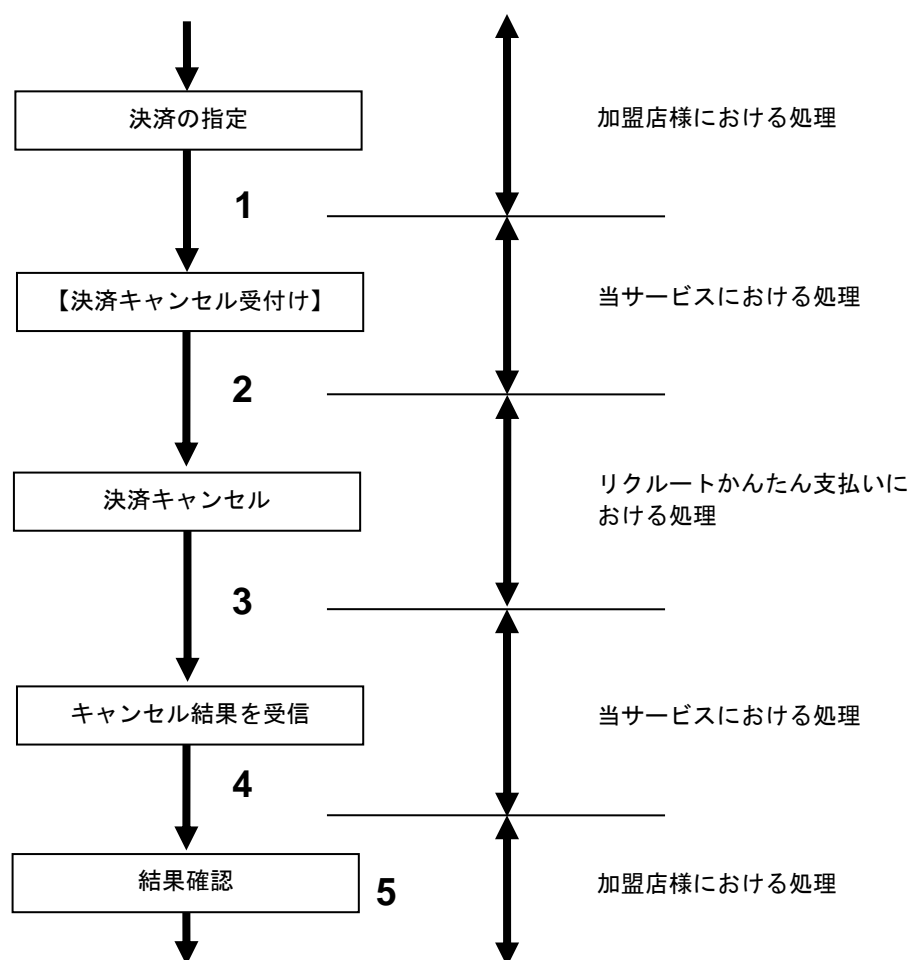


図 23.2.1-1 決済キャンセルの流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、キャンセルする取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの**【決済キャンセル】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引のキャンセルリクエストをリクルートかんたん支払いに送信します。
3. リクルートかんたん支払いは、キャンセル結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、キャンセル結果を返します。
5. 加盟店様は、決済キャンセルの結果を確認します。

23.2.2. 各インタフェース仕様詳細

23.2.2.1. 決済キャンセル

接続先URL

/payment/RecruitCancel.idPass

インタフェース概要

決済内容のキャンセルを行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	Version		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【決済キャンセル】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	処理成功時は以下のステータスが返却されます。 ・CANCEL：キャンセル ・RETURN：返品 処理失敗時は処理前の下記ステータスが維持されます。 ・AUTH：仮売上 ・SALES：実売上 ・CAPTURE：即時売上
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

23.3. 売上の確定を行う

仮売上の決済の取引ID・取引パスワードを指定すると、売上の確定処理(以下、実売上)が可能です。

実行可能な条件や期間は以下のとおりです。

- ・ 仮売として登録した取引であること。
- ・ オーソリ有効期限内であること。

※オーソリ有効期限は、注文日を含む1日後から60日後までの期間を指します。加盟店様の申し込み時に、1日から60日までの任意の期間を選択いただけます。

例：注文日が2日で、有効期間を15日間に選択している場合、オーソリ有効期限は16日までとなります。

※オーソリの有効期限を超えた場合は、リクルートかんたん支払いにて自動でキャンセルされます。

23.3.1. 実売上を行う流れ

以下に、実売上を行う流れを説明します。

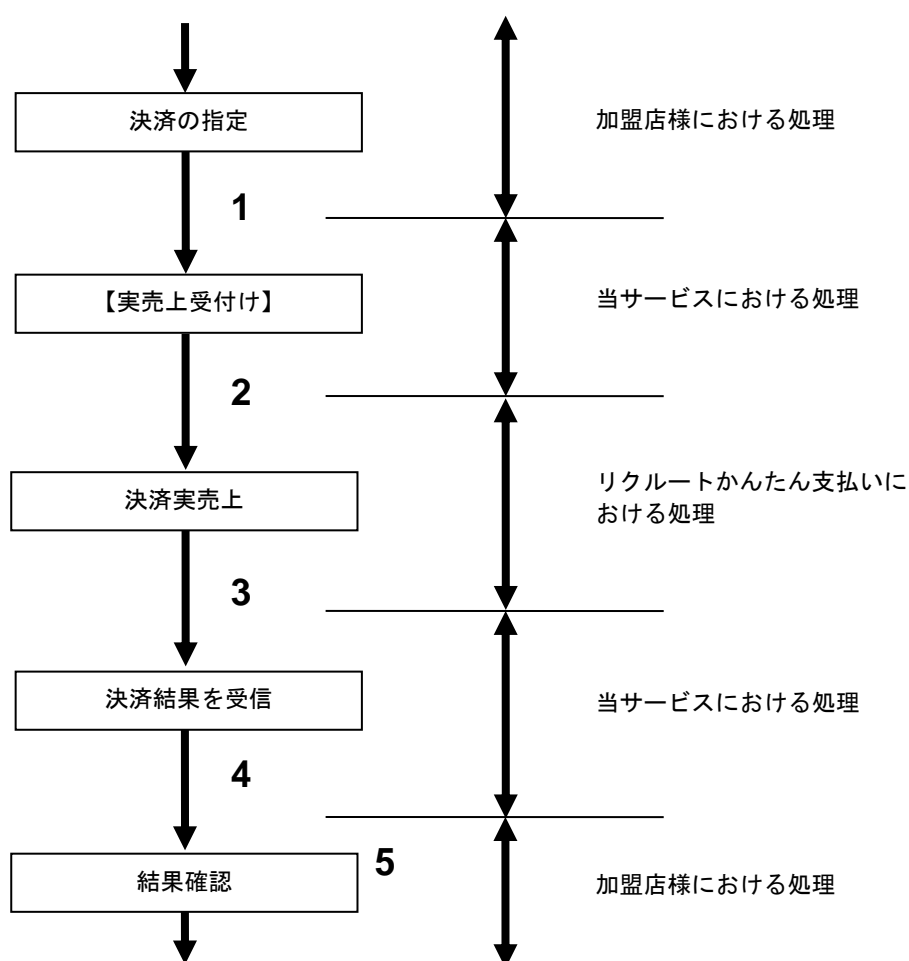


図 23.3.1-1 実売上の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、実売上する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの【**実売上**】を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の実売上リクエストをリクルートかんたん支払いに送信します。
3. リクルートかんたん支払いは、実売上結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、実売上結果を返します。
5. 加盟店様は、実売上結果をお客様に表示します。

23.3.2. 各インタフェースの仕様詳細

23.3.2.1. 実売上

接続先URL

/payment/RecruitSales.idPass

インタフェース概要

仮売上の決済に対して実売上を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	Version		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	【実売上】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	処理時は以下のステータスが返却されます。 ・SALES：実売上 処理失敗時は処理前の下記ステータスが維持されます。 ・AUTH：仮売上
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

23.4. 決済の金額を変更する

決済が完了した取引の取引ID・取引パスワードを指定すると、以前実施した決済の金額を変更することが可能です。
金額変更可能な条件や期間は以下のとおりです。

(i)注文確定前の場合

金額変更が成功した場合、リクルートかんたん支払いから購入者に対してメールが送信される。

(ii)注文確定後、及び即時売上の取引の場合

注文確定の処理完了日から翌月末日迄であること。

合計金額を増額することはできない。

金額変更が成功した場合、リクルートかんたん支払いから購入者に対してメールが送信される。

売上確定、即時売上を実施した日の翌日AM0:00～AM1:00は、リクルートかんたん支払いにて金額変更ができない。(エラーコード：RC1000109が返却される)

※金額変更は何回でも実施することができます。

※金額変更時にクーポン利用下限金額を下回った場合、クーポンの利用が取り消されることがあります。

※購入時にポイントのみを利用し支払いされた場合、金額を増額することはできません。

※尚、売上の確定当日は金額変更を実施することはできません(翌日以降)。

23.4.1. 決済の金額変更を行う流れ

以下に、決済の内容を金額変更する流れを説明します。

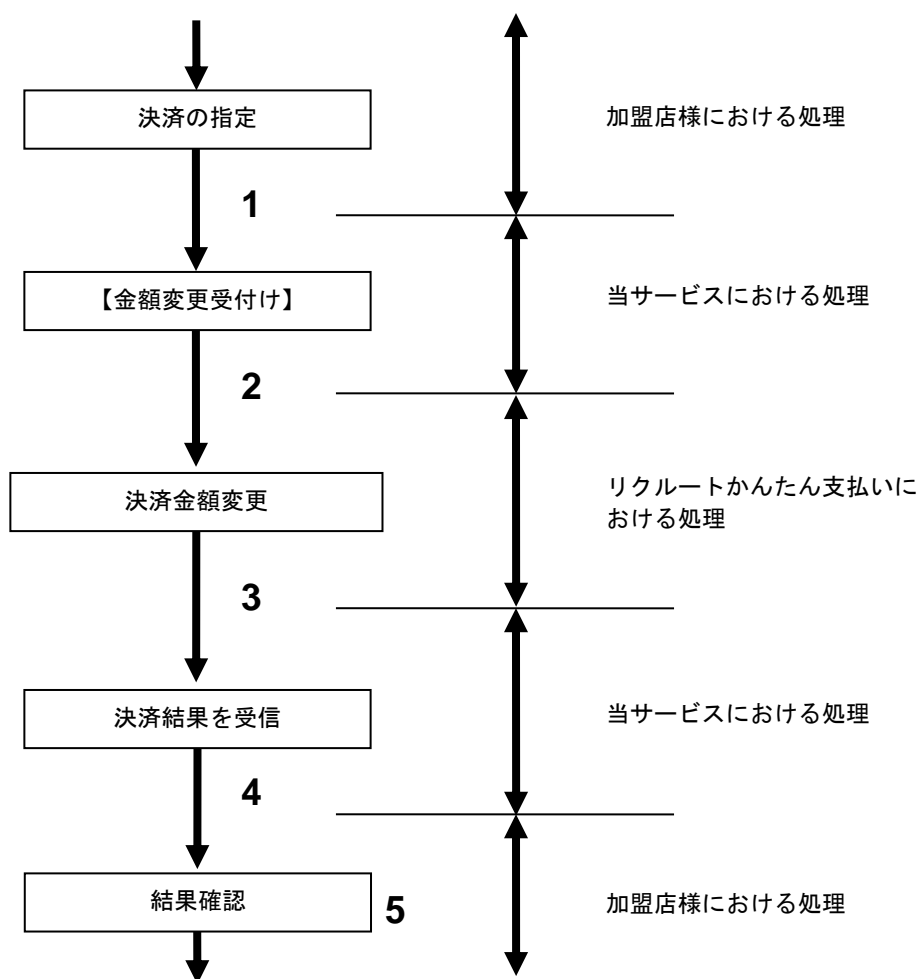


図 24.4.1-1 決済金額変更の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、金額変更する取引の取引 ID と取引パスワード、変更後の利用金額と税送料を指定し、当サービスの**【金額変更】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の金額変更リクエストをリクルートかんたん支払いに送信します。
3. リクルートかんたん支払いは、金額変更結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、金額変更結果を返します。
5. 加盟店様は、金額変更の結果を確認します。

23.4.2. 各インタフェースの仕様詳細

23.4.2.1. 決済金額変更

接続先URL

/payment/RecruitChange.idPass

インタフェース概要

仮売上・実売上の取引に対して決済内容の金額変更を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	Amount	◎	NUMBER	7	変更利用金額	指定の金額で利用金額を設定しなします。
8	Tax		NUMBER	7	変更税送料	指定の金額で税送料を設定しなします。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	金額変更成功時は以下の金額変更処理前のステータスが返却されます。 ・ AUTH：仮売上 ・ SALES：実売上 ・ CAPTURE：即時売上 金額変更失敗時においても金額変更処理前のステータスが返却されます。
3	Amount	-	NUMBER	7	利用金額	利用金額を返却します。
4	Tax	-	NUMBER	7	税送料	税送料を返却します。
5	RcUsePoint	-	CHAR	13	行使ポイント数	金額変更後のポイント数を返却します。
6	RcUseCoupon		CHAR	13	リクルート原資クーポン割引額	リクルート原資クーポンの割引額を返却します。(※1) ※割引額が絶対値で入ります。
7	RcUseShopCoupon		CHAR	13	加盟店様原資クーポン割引額	加盟店様原資クーポンの割引額を返却します。(※1) ※値引き額が絶対値で入ります。
8	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)となります。
9	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：金額変更時にクーポン利用下限金額を下回った場合、クーポンの利用が取り消されることがあります。

※2：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

23.5. 決済のオーソリ期限延長を行う

仮売上上の決済の取引ID・取引パスワードを指定すると、オーソリ期限延長が可能です。

オーソリ期限延長可能な条件や期間は以下のとおりです。

- 仮売として登録した取引であること。
- オーソリの有効期限内であること。

※オーソリが有効であっても、オーソリの期限延長が実施できる期間は注文日から注文日を含む120日間となります。

※オーソリの有効期限を超えた場合は、リクルートかんたん支払いにて自動でキャンセルされます。

※オーソリ有効期限は、注文日を含む1日後から60日後までの期間を指します。加盟店様の申し込み時に、

1日から60日までの任意の期間を選択いただけます。注文日が2日で、有効期間を15日間に選択している場合、
オーソリ有効期限は16日までとなります。

※オーソリ期限延長に失敗した場合、加盟店様側でお客様に対し有効なカードへの変更をお願いしていただく必要がございます。

23.5.1. オーソリ期限延長を行う流れ

以下に、オーソリ期限延長を行う流れを説明します。

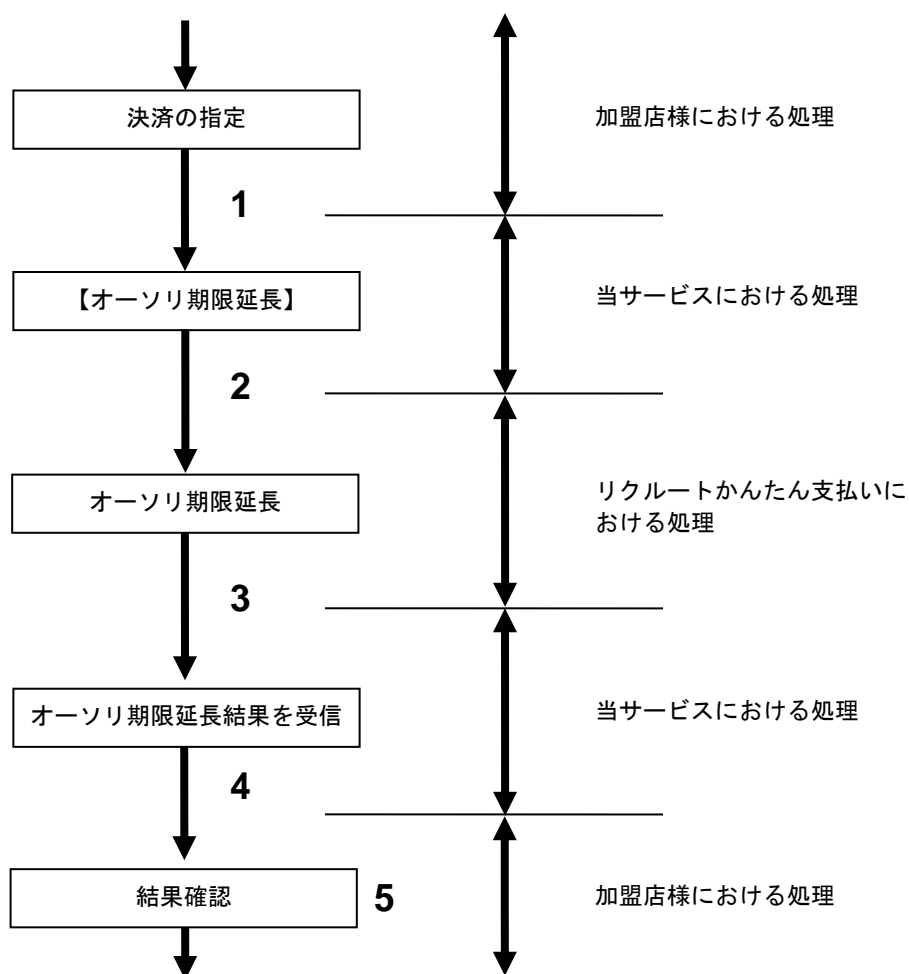


図 23.5.1-1 オーソリ期限延長の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、オーソリ期限延長する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの **【オーソリ期限延長】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引のオーソリ期限延長リクエストをリクルートかんたん支払いに送信します。
3. リクルートかんたん支払いは、オーソリ期限延長結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、オーソリ期限延長結果を返します。
5. 加盟店様は、オーソリ期限延長の結果を確認します。

23.5.2. 各インタフェースの仕様詳細

23.5.2.1. オーソリ期限延長

接続先URL

/payment/RecruitUpdateAuth.idPass

インタフェース概要

仮売上の取引に対してオーソリ期限の延長を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	オーソリ期限延長成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ AUTH：仮売上 オーソリ期限延長失敗時は処理前のステータスが返却されます。
3	RcUpdateAuthDay	-	CHAR	8	オーソリ期限延長実施日	オーソリ期限延長実施日をyyyyMMdd形式で返却します。
4	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
5	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

24. リクルートかんたん支払い継続課金決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

24.1. リクルートかんたん支払い継続課金決済を実行する

購入時にお客様がリクルートかんたん支払い継続課金決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

24.1.1. リクルートかんたん支払い継続課金決済の流れ

以下に、リクルートかんたん支払い継続課金決済の流れを説明します。

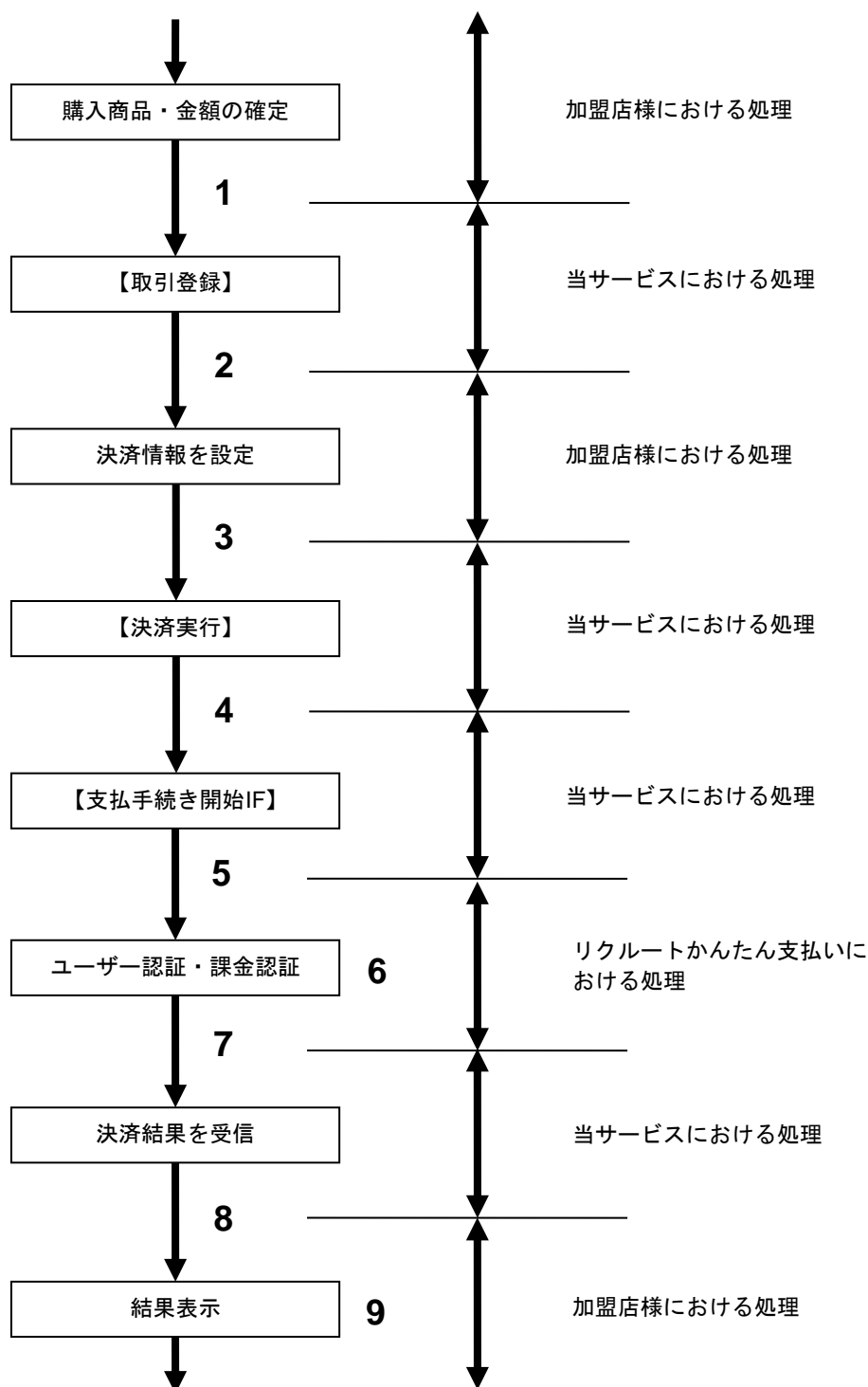


図 24.1.1-1 リクルートかんたん支払い継続課金決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をリクルートかんたん支払いの決済画面に誘導します。
6. お客様は、リクルートかんたん支払いの決済画面にて支払操作を行います。
7. リクルートかんたん支払いは、決済結果を当サービスに送信します。
8. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果を返します。
9. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

24.1.2. 各インタフェース仕様詳細

24.1.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranRecruitContinuance.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	Amount	◎	NUMBER	7	利用金額	
6	Tax		NUMBER	7	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が決済金額となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	入力パラメータの値を返却します。
2	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
5	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)
ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

24.1.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranRecruitContinuance.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンを返却します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
8	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
9	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
10	ClientFieldFlag		CHAR	1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定します。 0: 返却しない(デフォルト) 1: 返却する
11	RetURL	◎	CHAR	2048	決済結果戻しURL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信URLを設定します。 リクルートかんたん支払い上でお客様が決済手続きを正常に完了された場合に、指定されたURLに結果をリダイレクト経由で送信されます。
12	ItemName	◎	CHAR	512	商品名	商品名称を設定します。※
13	PaymentTermSec		NUMBER	5	支払開始期限秒	お客様が【決済実行】から【支払手続き開始IF】を呼び出すまでの期限です。 最大3,600秒（1時間） 呼び出しパラメータが空の場合、120秒で処理されます。
14	ChargeDay	◎	CHAR	2	課金基準日	月々の継続課金を確定する日を指定します。 有効な日付は10,15,20,25,31です。 尚、31の場合は毎月月末に継続課金データを確定します。
15	FirstMonthFreeFlag	◎	CHAR	1	初月無料フラグ	継続課金申込時に課金するかを指定します。 0: 課金する 1: 課金しない

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】
 ※文字バイトチェックはUTF-8を使用しているため、全角文字は3byteで換算されます。
 設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	アクセスID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Token	-	CHAR	256	トークン	アクセスIDのハッシュ値を返却します。
3	StartURL	-	CHAR	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始IFのURLを返却します。
4	StartLimitDate	-	CHAR	14	支払開始期限日時	支払手続き開始IFの呼び出し期限を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

24.1.2.3. 支払手続き開始IFの呼び出し

処理概要

お客様をリクルートかんたん支払いへ誘導します。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

接続先URL

/payment/RecruitContinuanceStart.idPass

インタフェース概要

お客様をリクルートかんたん支払いへ誘導します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
2	Token	◎	CHAR	256	トークン	【決済実行】で発行された値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

ダイレクトページサンプル

```

<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="RecruitContinuanceStartCall" action="{RecruitContinuanceStartURL}" method="POST">
    <noscript>
      <br>
      <br>
      <center>
        <h2>
          リクルートかんたん支払いの決済画面へ遷移します。
        </h2>
        <input type="submit" value="続行">
      </center>
    </noscript>
    <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
    <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
  </form>
  <script>
  <!--
    function OnLoadEvent() {
      document.RecruitContinuanceStartCall.submit();
    }
  -->
  </script>
</body>
</html>

```


24.1.2.4. 決済結果受信

処理概要

リクルートかんたん支払いから、当サービスに認証・支払操作結果が通知されます。

認証・支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と認証・支払操作が失敗した場合に通知されます。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクトURLに決済結果を通知します。

この決済結果は、リクルートかんたん支払いの決済完了画面からブラウザ経由で連携されるため、ユーザの操作方法によっては支払操作が完了したにもかかわらず、加盟店様に通知されないことがあります。その際はショップ管理画面または結果通知にて確認ください。また、同様の理由でこの決済結果が複数回加盟店様に通知されることがあります。

※初月無料フラグが「0：課金する」の場合、初月課金の結果通知も送信されます。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータをPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	該当取引のショップIDを返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
3	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 REGISTER：継続課金登録 PAYFAIL：継続課金登録失敗
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	CheckString	-	CHAR	32	改ざんチェック文字列	OrderID,AccessID,ShopID,ShopPassのハッシュ値を返却します。
6	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	【決済実行】時に加盟店自由項目返却フラグが返却する場合のみ返却します。
7	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
8	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
9	RcContractId	-	CHAR	15	契約番号	継続課金の契約を一意に識別するIDを返却します。(リクルートかんたん支払いが発行)
10	RcOrderId	-	CHAR	16	注文番号	継続課金ごとに払い出す決済を一意に識別するIDを返却します。(リクルートかんたん支払いが発行)
11	RcOrderTime	-	CHAR	14	注文時刻	注文確定時間を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
12	RcCustomerId		CHAR	256	顧客IDハッシュ値	リクルートIDのMD5ハッシュ値が返却されます。
13	RcUsePoint	-	CHAR	13	行使ポイント数	購入者が行使したポイント数を返却します。
14	RcUseCoupon		CHAR	13	リクルート原資クーポン割引額	リクルート原資クーポンの割引額を返却します。 ※値引き額が絶対値で入ります。
15	RcUseShopCoupon		CHAR	13	加盟店様原資クーポン割引額	加盟店様原資クーポンの割引額を返却します。 ※値引き額が絶対値で入ります。
16	RcStartChargeMonth	-	CHAR	6	課金開始月	自動課金を行う開始月を返却します。 処理日時(ユーザが継続課金申込完了した日時)の翌月が設定されます。 yyyyMM書式
17	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

18	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
----	---------	---	------	---	----------	---

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

24.2. 課金データを取消する

取引の取引ID・取引パスワード・年月を指定すると、指定した課金データを取消することが可能です。

取消可能な条件や期間は以下のとおりです。

- ・ 課金データの取消は1度のみ実行可能
- ・ 取引状態が「課金要求済み」「課金済み」の課金データに対し取消が実行可能
- ・ 取引状態が「課金済み」の場合、課金確定実行日の翌月末日迄、取消が実行可能

24.2.1. 課金データを取消する流れ

以下に、決済の内容を取消する流れを説明します。

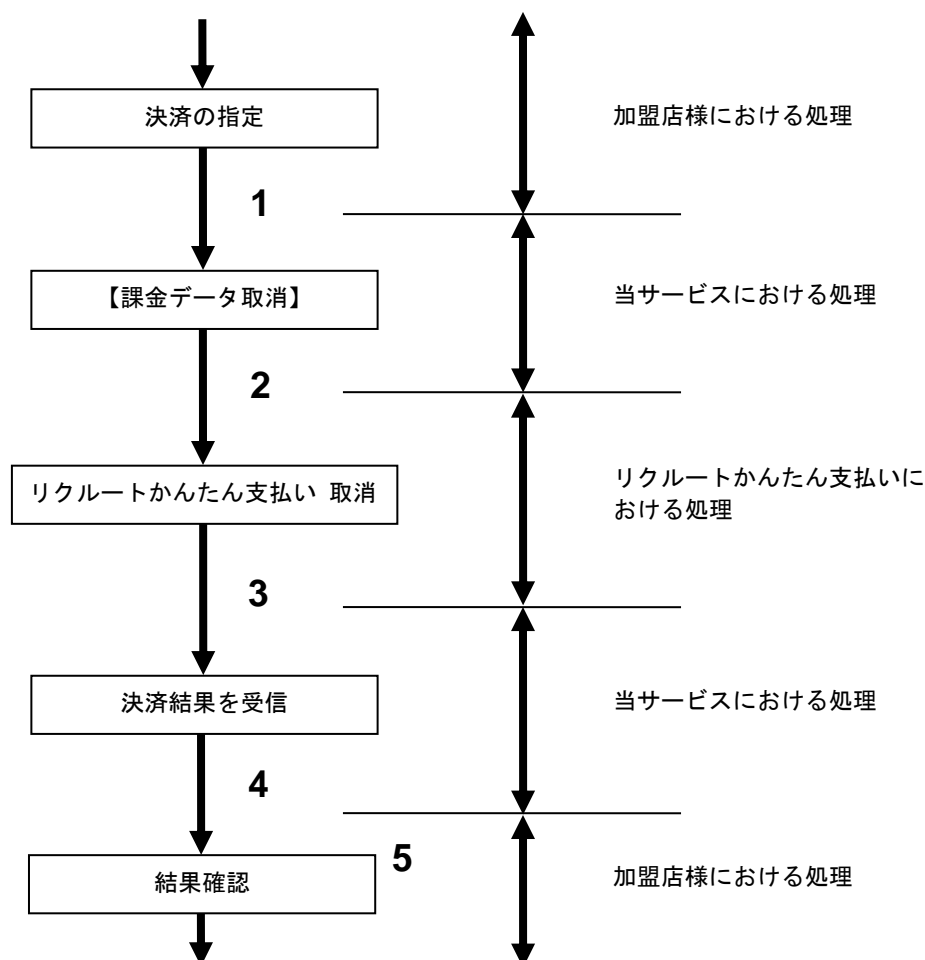


図 24.2.1-1 課金データ取消の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、取消する取引の取引ID・取引パスワード・年月を指定し、当サービスの**【課金データ取消】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の取消リクエストをリクルートかんたん支払いに送信します。
3. リクルートかんたん支払いは、取消結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、取消結果を返します。
5. 加盟店様は、課金データ取消の結果を確認します。

24.2.2. 各インタフェース仕様詳細

24.2.2.1. 課金データ取消

接続先URL

/payment/RecruitContinuanceChargeCancel.idPass

インタフェース概要

課金データの取消を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	キャンセル成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ CANCEL：課金要求取消 ・ RETURN：課金取消 取消失敗時は取消処理前のステータスが返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

24.3. 継続課金を解約する

課金登録が完了した取引の取引ID・取引パスワードを指定すると、以前登録した継続課金を解約することが可能です。

解約可能な条件や期間は以下のとおりです。

- ・ 課金解約は課金申込後いつでも実行可能です。
- ・ 課金解約を実行すると、次回以降の課金要求が行われません。
- ・ 課金解約を実行しても、すでに発生した課金データは取消されません。

取消が必要な場合は、別途課金データの取消処理を行ってください

※ユーザがリクルートマイページから解約する場合があります。解約結果は結果通知にて連携されます。

※月初5日の課金要求時に強制解約される場合があります。解約結果は結果通知にて連携されます。

(加盟店様の申し込み時に、課金要求の際にクレジットカードの有効期間切れ・有効性エラー・与信枠不足などが発生した場合に、強制解約を行う・行わないを選択できる形となっております。)

24.3.1. 継続課金を解約する流れ

以下に、継続課金を解約する流れを説明します。

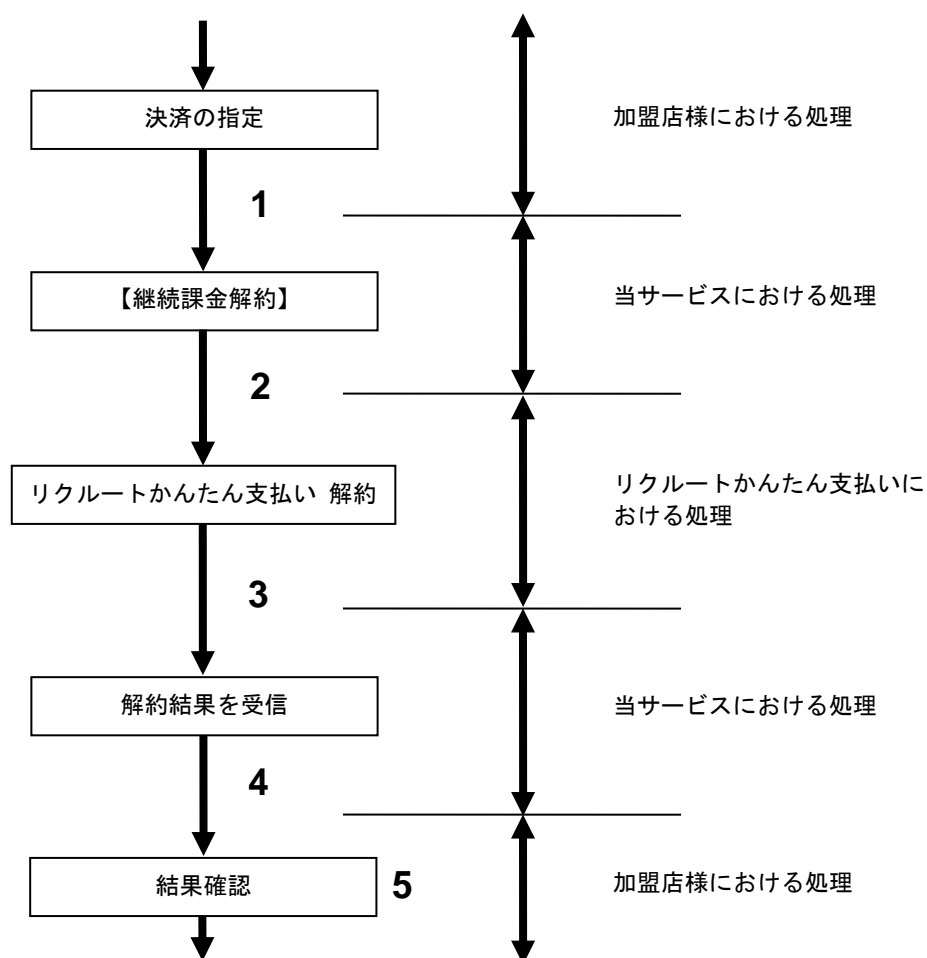


図 24.3.1-1 継続課金解約の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、解約する取引の取引 ID・取引パスワードを指定し、当サービスの**【継続課金解約】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の継続課金解約リクエストをリクルートかんたん支払いに送信します。
3. リクルートかんたん支払いは、継続課金解約結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、継続課金解約結果を返します。
5. 加盟店様は、継続課金解約の結果を確認します。

24.3.2. 各インタフェース仕様詳細

24.3.2.1. 継続課金解約

接続先URL

/payment/RecruitContinuanceCancel.idPass

インタフェース概要

継続課金登録した取引に対して解約を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	解約成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ CANCEL：継続課金解約
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

24.4. 継続課金の金額を変更する

継続課金登録中の取引の取引ID・取引パスワードを指定すると、次回からの課金要求時の金額を変更することが可能です。
金額変更可能な条件や期間は以下のとおりです。

- ・ 金額変更を行うと次回以降の課金要求から変更後の金額で課金を行います。
- ・ すでに課金要求を行った課金データ、また課金確定を行った課金データに対しての金額変更はできません。

24.4.1. 継続課金の金額変更を行う流れ

以下に、金額変更する流れを説明します。

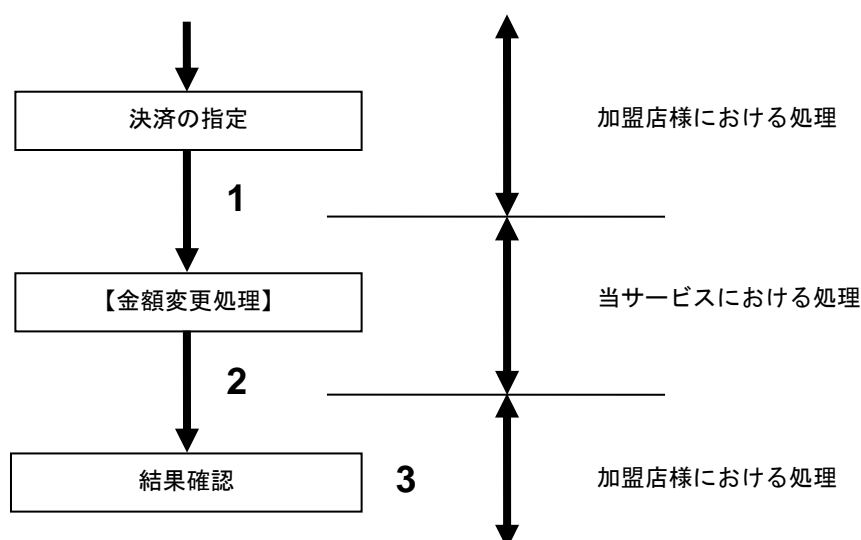


図 25.4.1-1 決済金額変更の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、金額変更する取引の取引 ID と取引パスワード、変更後の利用金額と税送料を指定し、当サービスの**【金額変更】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の金額変更処理を行います。
3. 加盟店様は、金額変更の結果を確認します。

24.4.2. 各インタフェースの仕様詳細

24.4.2.1. 金額変更

接続先URL

/payment/RecruitContinuanceChange.idPass

インタフェース概要

継続課金登録中の取引に対して金額変更を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	Amount	◎	NUMBER	7	変更利用金額	指定の金額で利用金額を設定しなおします。
8	Tax		NUMBER	7	変更税送料	指定の金額で税送料を設定しなおします。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	以下の金額変更処理前のステータスが返却されます。 ・REGISTER: 継続課金登録
3	Amount	-	NUMBER	7	利用金額	利用金額を返却します。
4	Tax	-	NUMBER	7	税送料	税送料を返却します。
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

24.5. 課金要求結果ファイル、課金確定結果ファイル送信

月初5日（課金要求）、また課金日当日（課金確定）にリクルートかんたん支払いで処理された結果をショップID単位に作成します。

結果ファイル送信は12:00までを目処に開始します。

加盟店様側からの正常応答が確認できなかった場合は60分おきに5回再送します。また、結果ファイルはショップ管理画面にて取得可能です。

24.5.1. ファイル出力対象

課金要求結果ファイルに出力される情報は以下の通りです。

- ・ 月初5日に、当月の **課金対象(※1)**に対し課金要求を行った結果データ
- ・ 課金要求が成功または失敗の課金データ

※1：課金対象とは、継続課金登録（REGISTER）かつ 課金開始月 >= 当月 の継続課金データ

課金確定結果ファイルに出力される情報は以下の通りです。

- ・ 課金日当日に、当月の課金要求が成功した課金データに対し課金確定を行った結果データ
- ・ 課金確定が成功または失敗の課金データ

24.5.2. 課金結果ファイルを送信する流れ

以下に、課金結果ファイルを送信する流れを説明します。

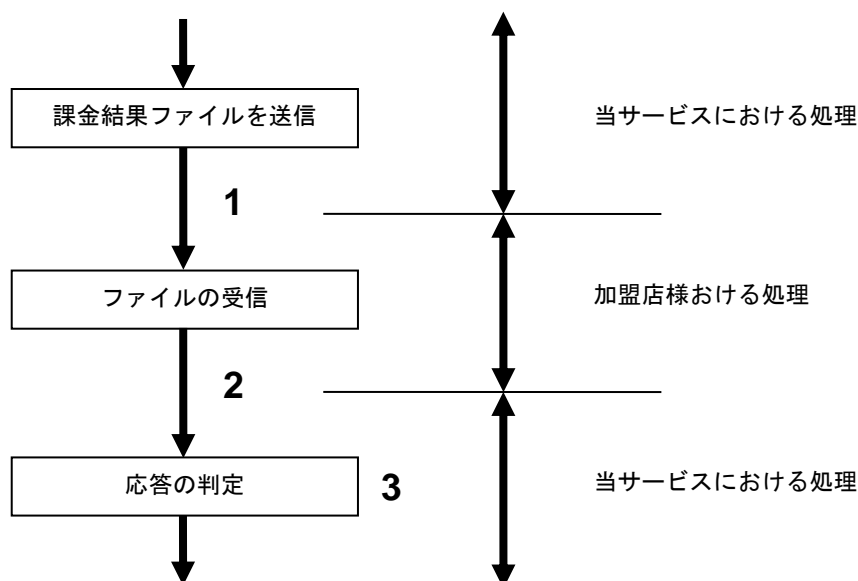


図 24.5.2-1 課金結果ファイルを送信する流れ

流れの説明

1. 当サービスは、課金結果ファイルを加盟店様が指定された URL に送信します。※
2. 加盟店様は、ファイルを受信後に正常または異常の応答をします。
3. 当サービスは、応答を判定し正常に送信されたを記録します。

※ショップ管理画面のメニュー「継続決済」>「リクルートかんたん支払い継続」>「設定」にて設定します。

ご注意点

結果通知プログラムにおいて、決済結果をhttps通信にて受け取る場合は、第三者が発行したSSLサーバ証明書が必要になります。尚、弊社で動作保証をしている電子証明書は下記になります。

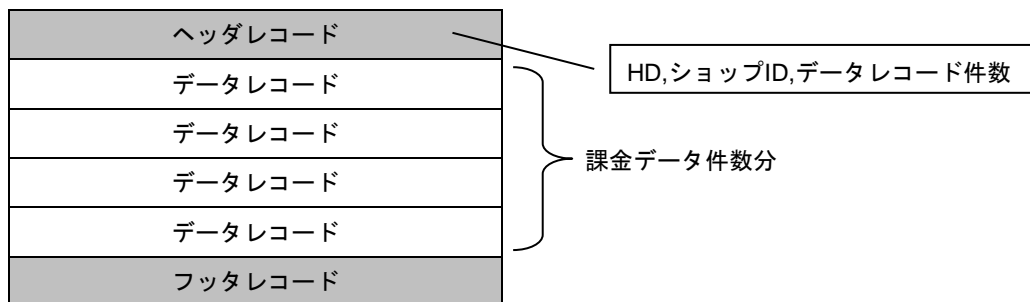
- ・ペリサイン
- ・GlobalSign
- ・日本ジオトラスト

※上記以外の電子証明書を使用する場合は、必ずテスト環境で疎通確認してください。

24.5.3. ファイル情報

課金結果ファイルは、ヘッダ、データ（課金データ件数分）、フッタの3種類のレコード構成となります。

図 24.5.3-1 課金結果ファイルイメージ



出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

下記パラメータ名でファイルを送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	FileContents	◎	File	-	ファイル	課金要求結果ファイル、または課金確定結果ファイルを返却します。 文字コード：UTF-8

■ファイル情報

No	項目	値	詳細
1	ファイル名	【課金要求結果ファイル】 RC_A_ショップID_課金要求日_ [0-9]. csv 【課金確定結果ファイル】 RC_S_ショップID_課金確定日_ [0-9]. csv	RC_A_tshop99999999_20151005_5957685 870812785188.csv RC_S_tshop99999999_20151031_15086376 5215807927.csv
2	区切り文字	半角コンマ	
3	改行コード	CRLF	
4	ソート順	オーダID 昇順	
5	囲み文字	ダブルクォート	

■ヘッダレコード

No	項目	必須	型	桁	詳細
1	レコード区分	◎	CHAR	2	“HD”固定となります。
2	ショップID	◎	CHAR	13	ショップIDを設定します。
3	データレコード件数	◎	NUMBER	8	データレコードの件数を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 空白：省略可能】

※CHAR型の桁数は設定可能な最大バイト数を表記しています。

■データレコード

No	項目	必須	型	桁	詳細
1	ショップID	◎	CHAR	13	
2	オーダID	◎	CHAR	27	
3	課金日	◎	CHAR	8	課金日をyyyyMMdd書式で返却します。
4	取引状態	◎	CHAR	15	取引状態を返却します。 AUTH：課金要求済み AUTHFAI：課金要求失敗 SALES：課金済み FAILED：課金失敗
5	利用金額	◎	CHAR	7	
6	税送料		CHAR	7	
7	契約番号	◎	CHAR	15	継続課金の契約を一意に識別するID
8	注文番号		CHAR	16	継続課金ごとに払い出す決済を一意に識別するID
9	注文時刻		CHAR	14	yyyyMMddHHmmss書式
10	行使ポイント数		CHAR	13	購入者が行使したポイント数
11	エラーコード		CHAR	3	
12	エラー詳細コード		CHAR	9	
13	処理日時	◎	CHAR	14	処理日時をyyyyMMddHHmmss

【必須項目の記号 ◎：必須 空白：省略可能】

※CHAR型の桁数は設定可能な最大バイト数を表記しています。

■フッタレコード

No	項目	必須	型	桁	詳細
1	レコード区分	◎	CHAR	2	“FT”固定となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 空白：省略可能】

※CHAR型の桁数は設定可能な最大バイト数を表記しています。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

パラメータ名を使用せずに0もしくは1の値を返却します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	RecvRes	◎	CHAR	1	受信結果	以下のいずれか 0：受信OK 1：受信失敗

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

25. 銀行振込(バーチャル口座)インタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

25.1. 概要

25.1.1. 口座契約形態について

銀行振込(バーチャル口座)の口座契約形態は2種類あります。

口座契約形態	説明
専有口座	加盟店様専用のバーチャル口座を、契約した口座数割り当てします。 バーチャル口座の口座名称には加盟店様の名称が付与されます。 「取引口座」、「継続口座」としての利用が可能です。
共有口座	複数の加盟店様でバーチャル口座を使いまわします。 バーチャル口座の口座名称は、「GMOPG」です。 後述する「取引口座」として利用が可能です。

25.1.2. 取引口座・継続口座について

銀行振込(バーチャル口座)の利用方法は2種類あります。

利用方法	説明
取引口座	取引ごと(決済実行時)に、未使用(※1)の口座を割り当てします。 割り当てた口座への入金、もしくは取引の有効期限が切れると、結果通知を行います。 入金および有効期限切れしたあと口座再利用保留期間経過後に再利用可能となります。
継続口座	継続口座IDを指定して口座を割り当てします。 割り当てた口座に対して入金されると、自動的に取引を作成し結果通知を行います。

※1：未使用の口座とは以下の状態を除く口座です。

取引中(入金待ち)、継続口座として口座IDを割り当て中、口座再利用保留期間中

25.1.3. 取引の自動生成について

専有口座契約において、取引口座として割り当てしていないバーチャル口座に対して入金されると、自動的に入金済み状態の取引を作成し結果通知を行います。

(継続口座としても使用していない未使用口座に対する入金の場合でも自動生成されます)

自動作成される取引情報は以下のとおりです。

取引項目	値
オーダーID	“VA-ORDER” + yyyyMMddHHmmssSSS 例) VA-ORDER20160101172613638
利用金額(振込依頼金額)	入金された金額
税送料(振込依頼金額)	0
取引状態	入金済み
処理日付	入金を取り込んだ日付

また、共有口座において、取引の有効期限が切れたあとで入金された場合、加盟店様に当該入金が加盟店様へのものであることを確認した上で、入金済み状態の取引を作成する場合がございます。

25.2. 取引口座を利用する

取引登録を行い、該当取引に対して決済実行を行います。

決済実行を行うと、取引ごとにバーチャル口座が割り当てられ、加盟店様に返却されます。

（決済実行により取引ごとに割り当てられた口座を「取引口座」と記載します）

加盟店様は返却された「取引口座」に対する振込みをお客様に依頼します。

取引口座は、お客様から入金されるか、入金取引有効期限(+取引猶予期間)が切れるまで利用可能です。

入金もしくは取引有効期限(+取引猶予期間)後に取引口座は開放され、別の取引に割り当てられます。

25.2.1. 取引口座利用の流れ

以下に、取引口座利用の流れを説明します。

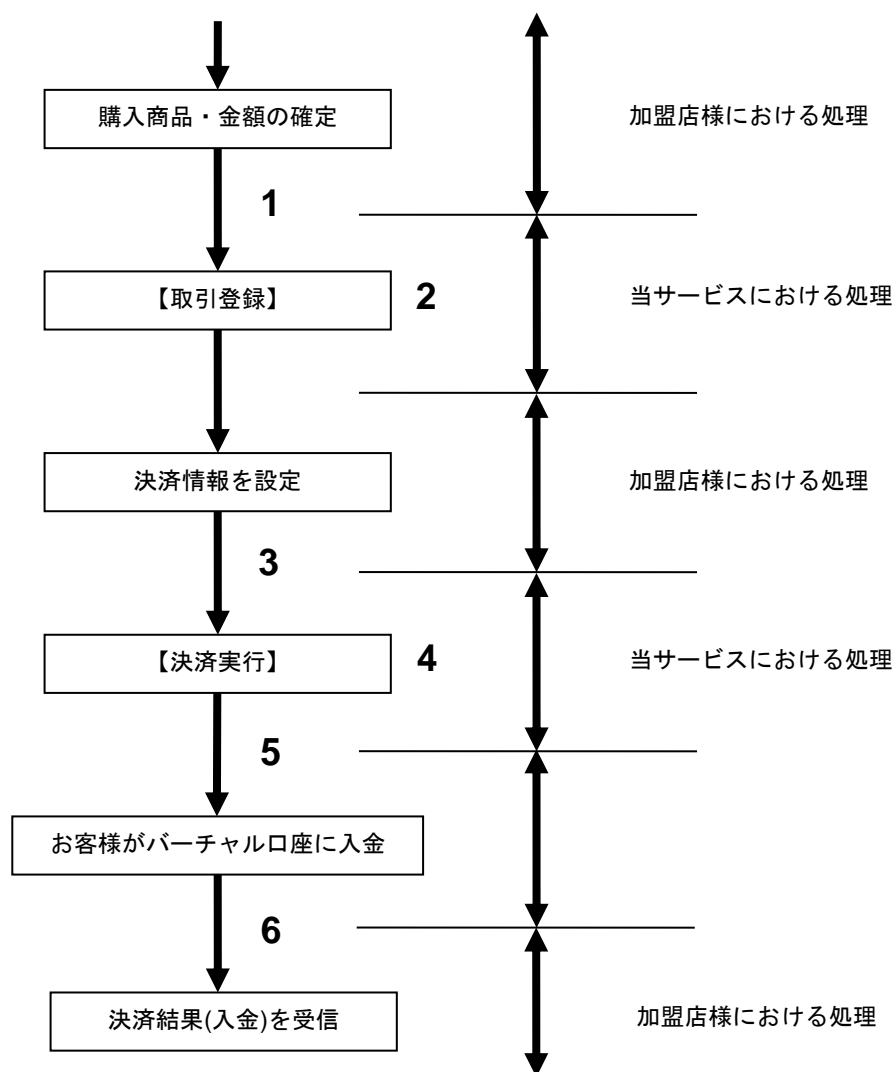


図 25.2.1-1 取引口座利用の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの**【決済実行】**を呼び出します。
4. 当サービスは、未使用のバーチャル口座を割り当てます。

決済情報としてお客様のメールアドレスを設定していた場合は、振込依頼メールを送信します。

【決済実行】の結果として、バーチャル口座の口座情報（銀行コード、支店コード、口座番号）を加盟店様に返却します。

5. **【決済実行】**にてメールアドレスを設定しなかった場合は、加盟店様からお客様に振込依頼をします。
6. お客様が入金した場合、弊社から加盟店様に結果通知にて入金を通知します。

（**【決済実行】**に指定した取引有効日数を経過しても入金がなかった場合は、有効期限切れを通知します）

25.2.2. 各インタフェース仕様詳細

25.2.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranVirtualaccount.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	Amount	◎	NUMBER	8	利用金額 (振込依頼金額)	税送料を指定した場合は、利用金額+税 送料が振込依頼金額となります。
6	Tax		NUMBER	7	税送料(振込依頼金額)	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

注意事項)

利用金額、税送料は、お客様へ振込を依頼する際の金額です。

指定した振込依頼金額（利用金額、税送料）と異なる金額が入金される可能性があります。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	入力パラメータの値を返却します。
2	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
5	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

25.2.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranVirtualaccount.idPass

インタフェース概要

振込依頼に関する情報を受け取り、バーチャル口座の口座情報を返却します。

振込依頼情報としてお客様のメールアドレスを指定すると、振込依頼メールを送信します。

(メールアドレス未指定の場合は、加盟店様からお客様に振込依頼をしてください)

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
8	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
9	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
10	TradeDays	◎	NUMBER	2	振込有効日数	取引が有効な日数を指定してください。
11	TradeReason		CHAR	64	振込事由	取引の内容を設定してください。 本項目は、振込依頼メールの「利用内容」欄に記載されます。
12	TradeClientName		CHAR	64	振込依頼者氏名	振込依頼者の氏名を設定してください。 全角文字＋半角文字が使用可能です。
13	TradeClientMailaddress		CHAR	256	振込依頼者メールアドレス	振込を依頼するお客様のメールアドレスを設定してください。 設定した場合は、当該メールアドレスに振込依頼メールが送信されます。 未設定の場合は、お客様に対して加盟店様から振込依頼をしてください。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

振込有効日数について

お客様が振込を行う期日を日数で指定します。

お客様には、出力パラメータで返される「振込有効期限」を振込期限として案内してください。

(振込依頼メールには本パラメータで指定された振込期限が記載されます)

尚、振込期限内に入金がない場合、当該取引は取引猶予期間後に有効期限切れとなり、払い出されたバーチャル口座は利用不能となります。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	アクセスID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	BankCode	-	CHAR	4	銀行コード	振込先口座の銀行コードを返却します。
3	BankName	-	CHAR	30	銀行名	振込先口座の銀行名を返却します。
4	BranchCode	-	CHAR	3	支店コード	振込先口座の支店コードを返却します。
5	BranchName	-	CHAR	30	支店名	振込先口座の支店名を返却します。
6	AccountType	-	CHAR	1	預金種別	振込先口座の預金種別を返却します。 1：普通預金、2：当座預金
7	AccountNumber	-	CHAR	7	口座番号	振込先口座の口座番号を返却します。
8	AvailableDate	-	CHAR	8	振込有効期限	入力パラメータで指定された振込有効日数を元に算出された振込有効期限を返却します。
9	TradeCode	-	CHAR	7	振込コード	振込時に「依頼人名」に入力するコードを返却します。 お客様が振込を行う際に「振込依頼人名」欄に振込コード+お客様氏名を入力するように案内してください。
10	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
11	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

25.3. 継続口座を利用する

＜＜本機能は、銀行振込(バーチャル口座)の専有口座契約の加盟店様のみご利用できます＞＞

継続口座登録をすると、継続的に利用可能なバーチャル口座が割り当てられ、口座情報（銀行コード、銀行名、支店コード、支店名、預金種別、口座番号）が返却されます。

（継続口座登録された口座を「継続口座」と記載します）

継続的に入金を受ける口座が必要な場合に、継続口座をご利用ください。

継続口座に入金された場合は、自動的に入金済み状態の取引が作成され結果通知が行われます。

25.3.1. 継続口座利用の流れ

以下に、継続口座利用の流れを説明します。

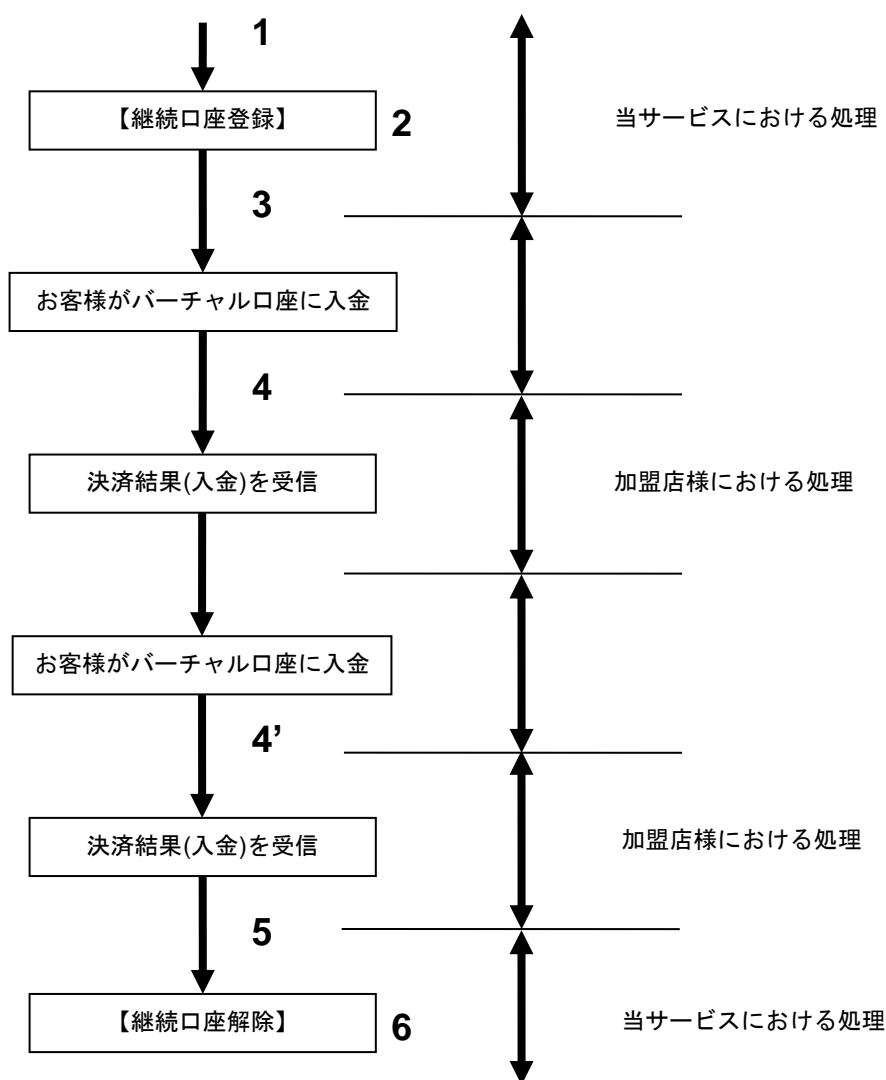


図 25.3.1-1 継続口座利用の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、当サービスの**【継続口座登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、加盟店様の保有するバーチャル口座から未使用の口座を割り当てます。
【継続口座登録】の結果として、割り当てした口座情報（銀行コード、支店コード、口座番号）を加盟店様に返却します。
3. 加盟店様は、返却されたバーチャル口座への振込をお客様に依頼します。
4. お客様が入金をした場合、当サービスは入金済み状態の取引を登録し、加盟店様に結果通知にて入金を通知します。
 （4' 該当口座への入金が複数回発生した場合は、その都度入金を通知します）
5. 該当口座の継続口座としての利用をやめる場合、加盟店様は当サービスの**【継続口座解除】**を呼び出します。
6. 当サービスは、該当するバーチャル口座を未使用状態に変更します。
 未使用状態のバーチャル口座は、取引口座として再利用されます。

25.3.2. 各インタフェース仕様詳細

25.3.2.1. 継続口座登録

接続先URL

/payment/AssignVirtualaccount.idPass

インタフェース概要

入力パラメータで指定した口座IDとして未使用のバーチャル口座を割り当てし、口座情報を返却します。

返却された口座は、継続口座として利用可能です。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	ReserveID	◎	CHAR	32	継続口座ID	加盟店様が継続口座を識別するための ユニークな値を設定します。
5	BankCode		CHAR	4	銀行コード	銀行コードを設定します。
6	BranchCode		CHAR	3	支店コード	支店コードを設定します。
7	AccountType		CHAR	1	預金種別	預金種別を設定します。 1：普通預金、2：当座預金
8	AccountNumber		CHAR	7	口座番号	口座番号を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

補足事項)

口座情報（BankCode, BranchCode, AccountType, AccountNumber）を指定しなかった場合、
お客様が保有するバーチャル口座で未使用な口座を自動的に選択し、継続口座に割り当てします。
口座情報を指定した場合は、指定された口座を継続口座に割り当てします。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ReserveID	-	CHAR	32	継続口座ID	呼び出し時に指定した継続口座IDを返却します。
2	BankCode	-	CHAR	4	銀行コード	振込先口座の銀行コードを返却します。
3	BankName	-	CHAR	30	銀行名	振込先口座の銀行名を返却します。
4	BranchCode	-	CHAR	3	支店コード	振込先口座の支店コードを返却します。
5	BranchName	-	CHAR	30	支店名	振込先口座の支店名を返却します。
6	AccountType	-	CHAR	1	預金種別	振込先口座の預金種別を返却します。 1：普通預金、2：当座預金
7	AccountNumber	-	CHAR	7	口座番号	振込先口座の口座番号を返却します。
8	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
9	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

25.3.2.2. 継続口座解除

接続先URL

/payment/FreeVirtualaccount.idPass

インタフェース概要

入力パラメータで指定した継続口座IDに割り当てられている継続口座を解除します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	ReserveID	◎	CHAR	32	継続口座ID	解除対象の継続口座IDを設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ReserveID	-	CHAR	32	継続口座ID	呼び出し時に指定した継続口座IDを返却します。
2	BankCode	-	CHAR	4	銀行コード	解除された継続口座の銀行コードを返却します。
3	BankName	-	CHAR	30	銀行名	解除された継続口座の銀行名を返却します。
4	BranchCode	-	CHAR	3	支店コード	解除された継続口座の支店コードを返却します。
5	BranchName	-	CHAR	30	支店名	解除された継続口座の支店名を返却します。
6	AccountType	-	CHAR	1	預金種別	解除された継続口座の預金種別を返却します。 1：普通預金、2：当座預金
7	AccountNumber	-	CHAR	7	口座番号	解除された継続口座の口座番号を返却します。
8	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
9	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

25.4. 専有口座情報照会を実行する

<<本機能は、銀行振込(バーチャル口座)の専有口座契約の加盟店様のみご利用できます>>

銀行振込(バーチャル口座)の専有口座契約の加盟店様は、保有するバーチャル口座に関する以下の照会が可能です。

- ・ 保有するバーチャル口座の一覧の取得
- ・ 保有するバーチャル口座に対する入金履歴の一覧の取得

25.4.1. 専有口座情報照会実行の流れ

以下に、専有口座情報照会実行の流れを説明します。

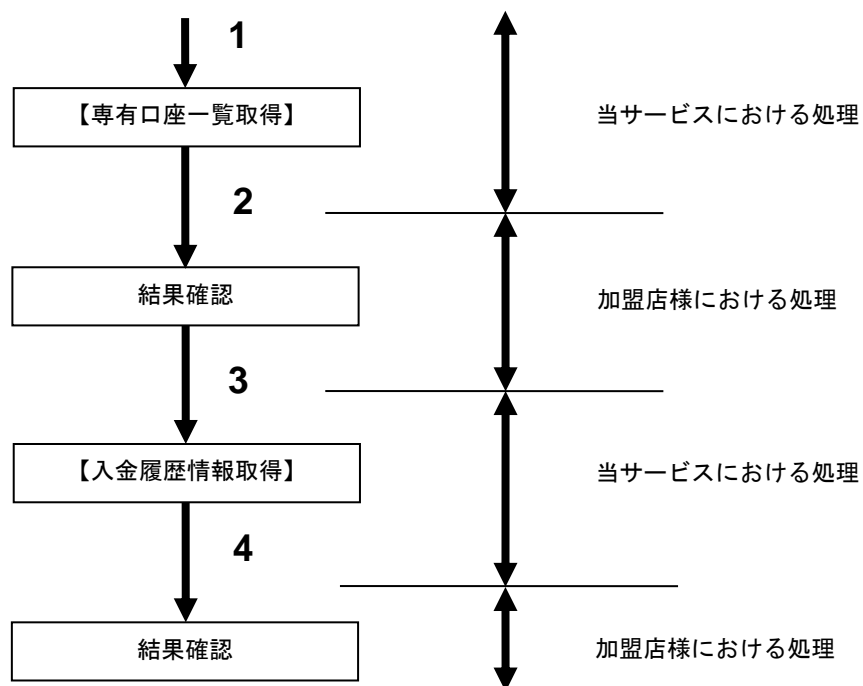


図 25.4.1-1 専有口座情報照会の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、当サービスの**【専有口座一覧取得】**を呼び出します。
2. 当サービスは、加盟店様が保有するバーチャル口座の一覧を返却します。
3. 加盟店様は、当サービスの**【入金履歴情報取得】**を呼び出します。
4. 当サービスは、指定されたバーチャル口座の入金履歴の一覧を返却します。

25.4.2. 各インタフェース仕様詳細

25.4.2.1. 専有口座一覧取得

接続先URL

/payment/ListVirtualaccount.idPass

インタフェース概要

加盟店様が保有するバーチャル口座をリスト形式で返却します。

※エラーの場合は、エラーコードとエラー詳細コードを返却します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

正常終了の場合)

レスポンスボディに以下の形式で出力します。

{BankCode},{BranchCode},{AccountType},{AccountNumber},{AccountStatus},{ReserveID}

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	BankCode	-	CHAR	4	銀行コード	銀行コードを返却します。
2	BranchCode	-	CHAR	3	支店コード	支店コードを返却します。
3	AccountType	-	CHAR	1	預金種別	預金種別を返却します。 1：普通預金、2：当座預金
4	AccountNumber	-	CHAR	7	口座番号	口座番号を返却します。
5	AccountStatus	-	CHAR	32	口座状態	口座の状態を返却します。 UNUSED：未使用 TRADING：取引中(取引口座) TRANSFERRED：入金済み(取引口座) EXPIRED：有効期限切れ(取引口座) ASSIGNED：継続口座ID割当中(継続口座)
6	ReserveID	-	CHAR	32	継続口座ID	口座状態が"ASSIGNED"の場合、割り当てされている継続口座IDをセットします。

異常終了の場合)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
2	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

25.4.2.2. 入金履歴情報取得

接続先URL

/payment/InquiryVirtualaccountTransfer.idPass

インタフェース概要

指定したバーチャル口座に対する入金の履歴情報を返却します。

※エラーの場合は、エラーコードとエラー詳細コードを返却します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	ReserveID		CHAR	32	継続口座ID	加盟店様が継続口座を識別するための ユニークな値を設定します。
5	BankCode		CHAR	4	銀行コード	銀行コードを設定します。
6	BranchCode		CHAR	3	支店コード	支店コードを設定します。
7	AccountType		CHAR	1	預金種別	預金種別を設定します。 1：普通預金、2：当座預金
8	AccountNumber		CHAR	7	口座番号	口座番号を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

補足事項)

継続口座IDもしくは口座情報 (BankCode, BranchCode, AccountType, AccountNumber) のいずれかを
指定します。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

正常終了の場合)

レスポンスボディに以下の形式で出力します。

{InquiryNumber},{SettlementDate},{SettlementAmount},{TradeClientName},{TradeSummary},{TransferStatus}

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	InquiryNumber	-	CHAR	8	照会番号	銀行から返された照会番号を返却します。
2	SettlementDate	-	CHAR	8	勘定日	銀行から返された勘定日を返却します。 (フォーマット: YYYYMMDD)
3	SettlementAmount	-	NUMBER	13	入金金額	銀行から返された入金金額を返却します。
4	TradeClientName	-	CHAR	144	振込依頼人名	銀行から返された振込依頼人名を返却します。
5	TradeSummary	-	CHAR	60	摘要	銀行から返された摘要を返却します。
6	TransferStatus	-	CHAR	32	入金状態	入金状態を返却します。 RELATED_ONETIME: 取引口座への入金 RELATED_ASSIGN: 継続口座への入金 RELATED_FORCE: 強制紐付け(※1) RETURN: 振り戻し(※2)

※1: 取引が有効期限切れ後に入金された場合など、弊社にて入金済み状態の取引を新規作成したことを示します。

※2: 入金があったものの、振込者からの依頼で入金を取り消したことを示します。

異常終了の場合)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
2	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

26. Paid決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

26.1. 取引先を登録する

取引先をPaidに登録します。登録後、Paidにおいて審査が行われます。審査が完了するとPaidで取引ができるようになります。取引様がすでにPaid会員であっても、加盟店様（Paidアカウント）ごとに審査が必要となります。

※審査には通常1～3営業日掛かります。

加盟店様サイトの会員新規登録時に登録するか、加盟店様サイトの既存会員情報を元にPaidの取引先登録をする想定です。加盟店様サイトの会員登録時は、Paidの取引先登録必須項目をご準備ください。

※取引登録時には以下のページ内のPaid利用規約をご案内ください。

<https://paid.jp/>

26.1.1. 取引先を登録する流れ

以下に、取引先を登録する流れを説明します。

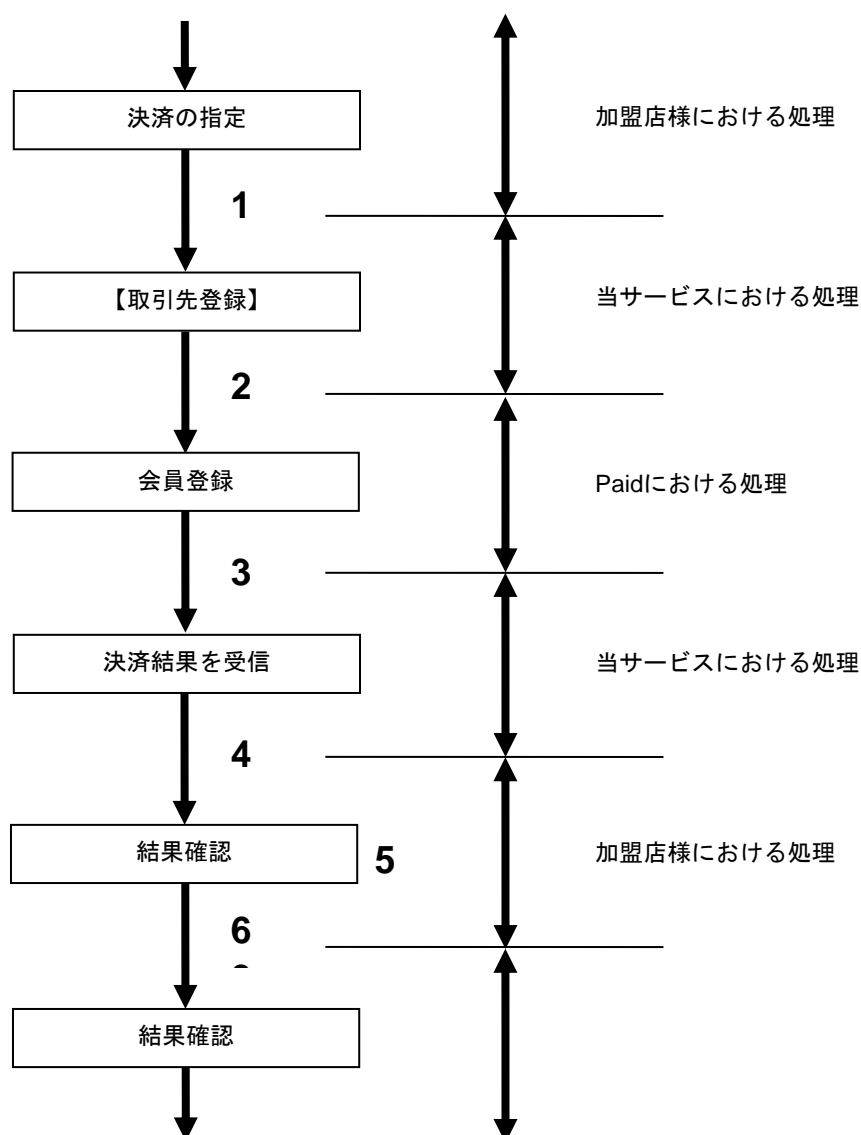


図 26.1.1-1 取引先登録の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、取引先情報をもって当サービスの**【取引先登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引先の会員登録リクエストを Paid に送信します。
3. Paid は、会員登録結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、会員登録結果を返します。
5. 加盟店様は、会員登録の結果を確認します。
6. Paid は、会員登録内容を元に利用審査を行います。
審査が完了すると会員のメールアドレスに審査結果をメールします。

26.1.2. 各インタフェース仕様詳細

26.1.2.1. 取引先登録

接続先URL

/payment/SavePaidBuyer.idPass

インタフェース概要

指定された取引先情報を登録します。

※登録するとPaidで取引先の審査が行われます。Paidから取引先にメールや電話で連絡をする場合があります。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

※本APIの桁数はPaidの仕様に合わせて文字数となります。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	Version		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	PaidBuyerID	◎	CHAR	20	Paid取引先ID	Paidにおいて加盟店様の取引先を識別する一意なID。 ※英数半角と「-」「_」「_」が入力可。
5	CompanyName	◎	CHAR	50	会社名	個人事業主の場合は屋号・店舗等をご入力ください。
6	CompanyNameKana	◎	CHAR	50	会社名カナ	
7	RepresentativeSei	◎	CHAR	50	代表者姓	
8	RepresentativeMei	◎	CHAR	50	代表者名	
9	RepresentativeSeiKana	◎	CHAR	50	代表者姓カナ	
10	RepresentativeMeiKana	◎	CHAR	50	代表者名カナ	
11	ZipCode	◎	CHAR	8	郵便番号	999-9999形式。
12	Prefecture	◎	CHAR	5	都道府県	
13	Address1	◎	CHAR	50	市区町村	
14	Address2	◎	CHAR	50	町名・番地	
15	Address3		CHAR	50	ビル・マンション名	
16	AuxName		CHAR	50	部署名 / 支店名	
17	ClerkSei	◎	CHAR	50	担当者姓	
18	ClerkMei	◎	CHAR	50	担当者名	
19	ClerkSeiKana	◎	CHAR	50	担当者姓カナ	
20	ClerkMeiKana	◎	CHAR	50	担当者名カナ	
21	Tel	◎	CHAR	25	電話番号	市外局番からハイフンを入れて入力。
22	Fax		CHAR	25	FAX番号	市外局番からハイフンを入れて入力。
23	MobileTel		CHAR	25	携帯電話番号	999-9999-9999形式。
24	Email	◎	CHAR	100	メールアドレス	
25	ClosingDay		NUMBER	2	締め日	20 : 20日締め 31 : 末日締め ※デフォルト値は31

26	PaymentMethod		NUMBER	1	支払方法	1：銀行振り込み 2：口座振替 3：コンビニ払い ※デフォルト値は1 ※コンビニ払いでご請求額が30万円を超えた場合は銀行振り込みとなります。
----	---------------	--	--------	---	------	---

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	PaidBuyerID	-	CHAR	20	Paid取引先ID	
2	PaidID	-	CHAR	10	Paid番号	Paidに登録した企業に割り振られる番号
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

26.2. 取引先のステータスを確認する

取引先IDを指定すると、取引先の審査状態（ステータス）を確認できます。

26.2.1. 取引先ステータス確認を行う流れ

以下に、取引先ステータス確認を行う流れを説明します。

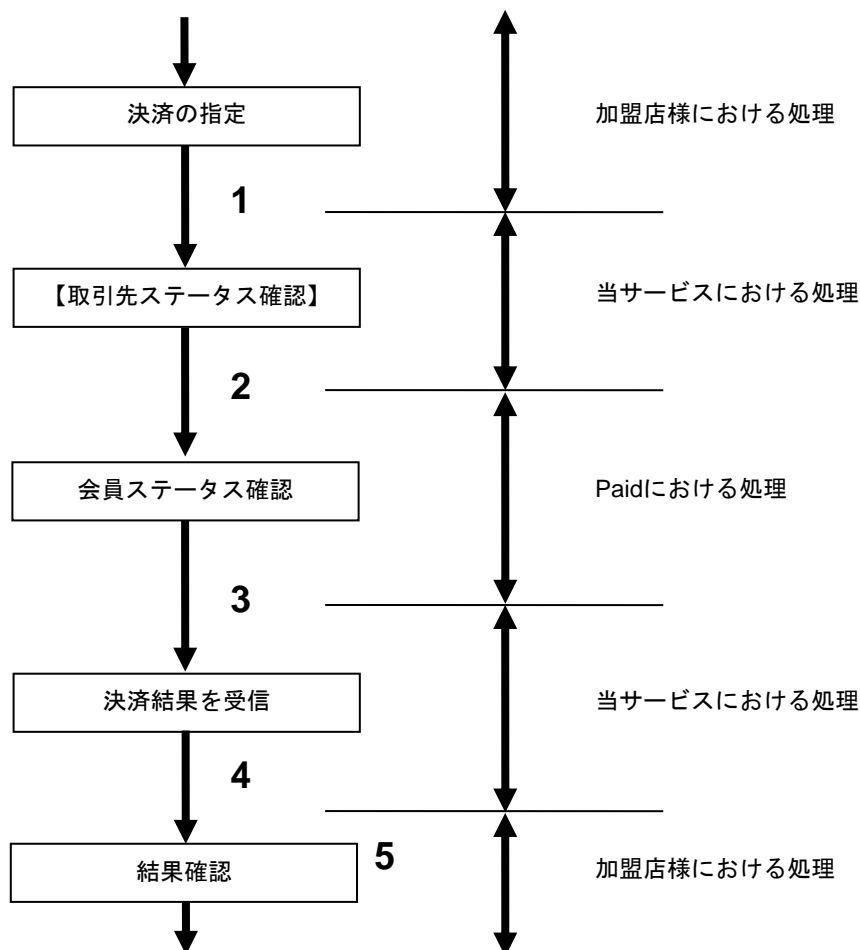


図 26.2.1-1 取引先ステータス確認の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確認する取引先の取引先 ID を指定し、当サービスの**【取引先ステータス確認】**を呼び出します。
2. 当サービスは、取引先の会員ステータス確認リクエストを Paid に送信します。
3. Paid は、会員ステータス確認結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、取引先ステータス確認結果を返します。
5. 加盟店様は、取引先ステータス確認の結果を確認します。

26.2.2. 各インタフェース仕様詳細

26.2.2.1. 取引先ステータス確認

接続先URL

/payment/CheckPaidBuyer.idPass

インタフェース概要

取引先の審査状態を確認します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	Version		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	PaidBuyerID	◎	CHAR	20	Paid取引先ID	Paidにおいて加盟店様の取引先を識別する一意なID。 ※英数半角と「-」「.」「_」が入力可。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	PaidBuyerID	-	CHAR	20	Paid取引先ID	Paidにおいて加盟店様の取引先を識別する一意なID。
2	BuyerStatus	-	CHAR	-	審査状態	取引先の審査状態です。 1：審査中 2：利用可能-取引中 3：利用可能-取引不可 4：利用不可 ※「2」の場合、取引可能です。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

26.2.2.2. 取引先利用可能額確認

接続先URL

/payment/CheckPaidRestAmount.idPass

インタフェース概要

取引先の利用可能額を確認します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	Version		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	PaidBuyerID	◎	CHAR	20	Paid取引先ID	Paidにおいて加盟店様の取引先を識別する一意なID。 ※英数半角と「-」「_」「_」が入力可。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	PaidBuyerID	-	CHAR	20	Paid取引先ID	Paidにおいて加盟店様の取引先を識別する一意なID。
2	RestAmount	-	CHAR	-	利用可能額	取引先の利用可能額です。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

26.3. Paid決済を実施する

購入時にPaid決済に必要な情報を指定して決済依頼します。

26.3.1. Paid決済の流れ

以下に、Paid決済の流れを説明します。

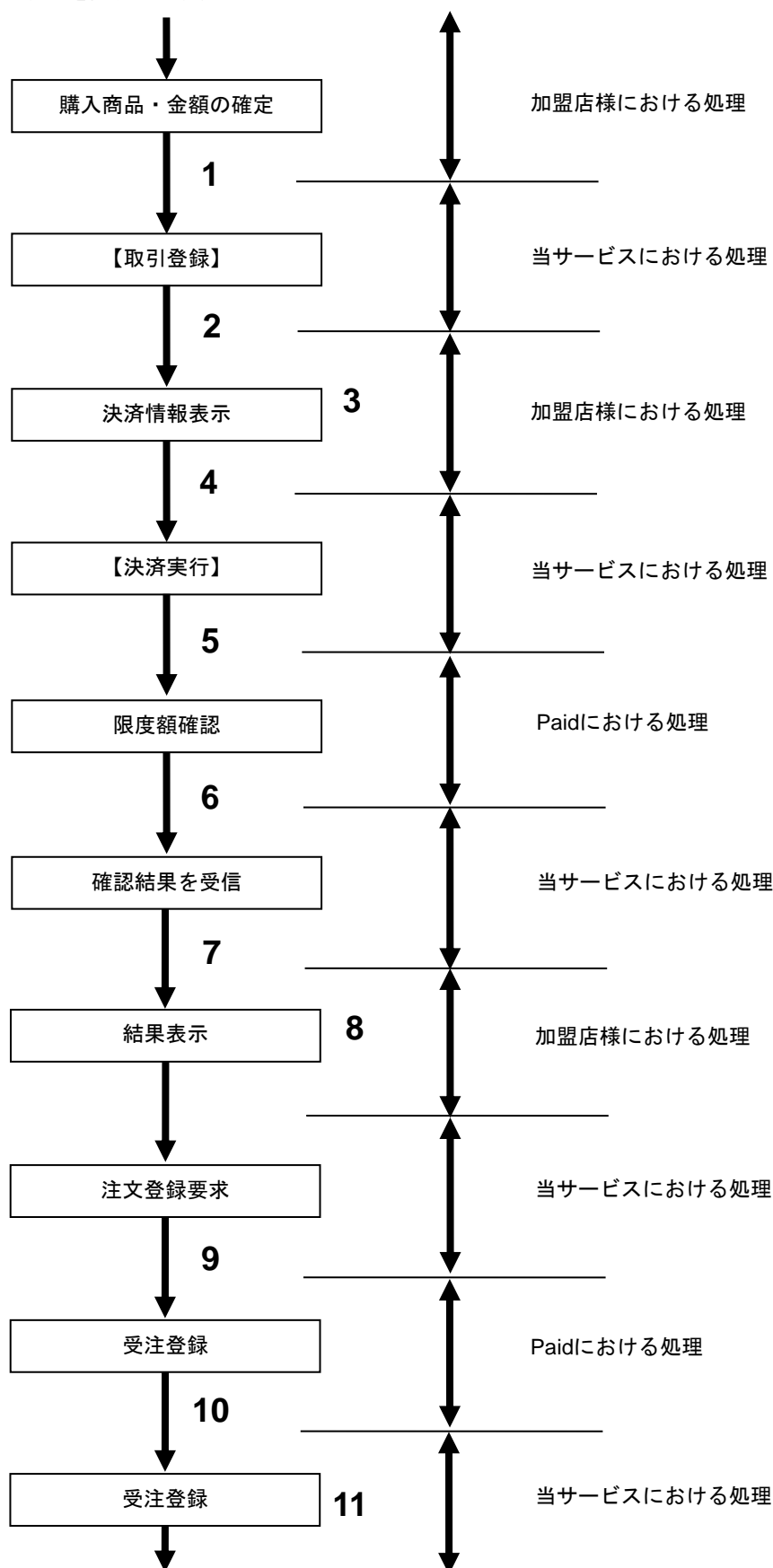


図 26.3.1-1 Paid決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、お客様に決済内容を確認する画面を表示します。
4. 加盟店様は、確認された決済内容をもって当サービスの【決済実行】を呼び出します
5. 当サービスは、取引先の限度額確認リクエストを Paid に送信します。
6. Paid は、限度額確認結果を当サービスに送信します。
7. 当サービスは、決済実行結果を返します。
8. 加盟店様は、決済実行の結果を確認します。
9. 決済完了後、当サービスは、取引の受注登録リクエストを Paid に送信します。
10. Paid は、受注登録結果を当サービスに送信します。
11. 当サービスは、受注登録結果を受信します。

加盟店様は結果を結果通知、または管理画面で確認することができます。

26.3.2. 各インタフェース仕様詳細

26.3.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranPaid.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	Amount	◎	NUMBER	10	利用金額	利用金額を設定します。 ※利用金額と税送料の合計が10桁。
6	Tax		NUMBER	10	税送料	税送料を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

26.3.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranPaid.idPass

インタフェース概要

指定した決済内容でPaidに限度額の確認を行い、結果を返します。

処理完了後にPaidに受注登録しますので、ご利用状況によりご注文がキャンセル（決済失敗）される場合があります。

※決済結果は結果通知、または管理画面で確認することができます。

※Paidでは受注登録の翌日を起算日として180日経過すると、取引が自動キャンセルされます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	PaidBuyerID	◎	CHAR	20	Paid取引先ID	Paidにおいて加盟店様の取引先を識別する一意なID。 ※英数半角と「-」「.」「_」が入力可。
8	Contents		CHAR	80	注文内容	Paidの「注文内容」を設定します。 未指定の場合、Paidに登録される「注文内容」はオーダーIDが自動で設定されます。 ※桁数はPaidの仕様に合わせて文字数となります。
9	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
10	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
11	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
12	ClientFieldFlag		CHAR	1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定します。 0: 返却しない(デフォルト) 1: 返却する

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	処理成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ REQSUCCESS : 要求成功 処理失敗時は処理前のステータスが返却されます。
3	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	【決済実行】時に加盟店自由項目返却フラグが返却する場合のみ返却
4	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
5	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
6	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
7	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

26.4. 決済の金額を変更する

仮売上状態の取引の取引ID・取引パスワードを指定すると、以前実施した決済内容の金額を変更すること(以下、金額変更)が可能です。

26.4.1. 金額変更を行う流れ

以下に、金額変更を行う流れを説明します。

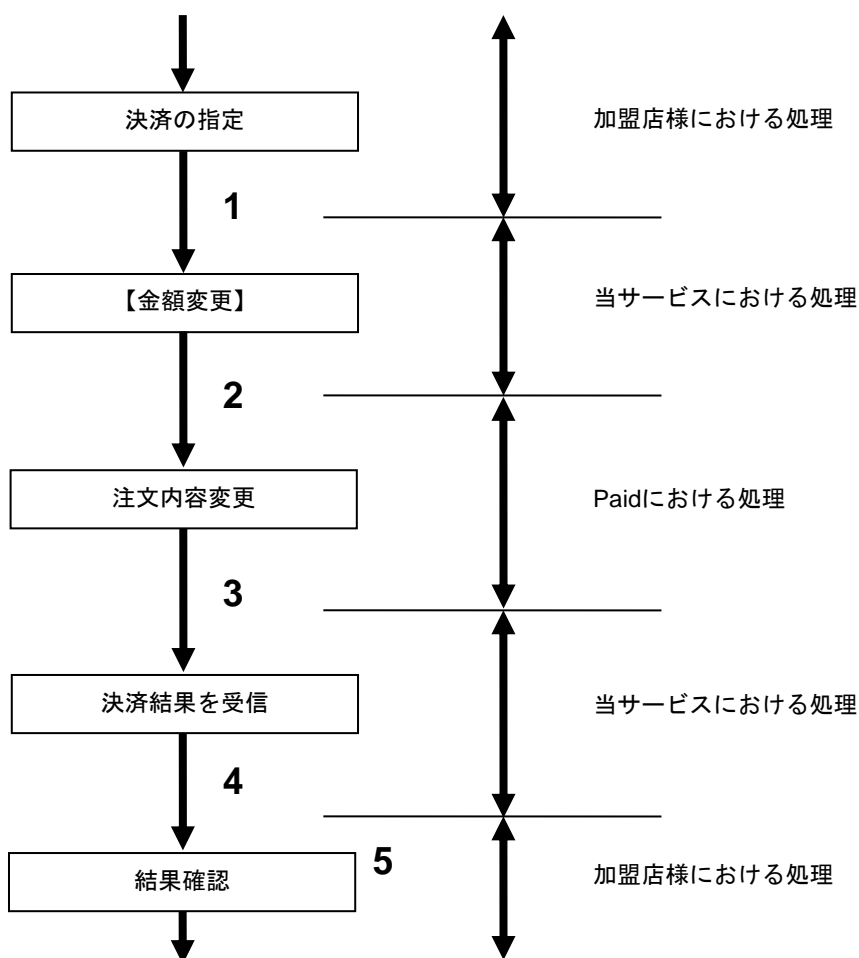


図 26.4.1-1 金額変更の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、金額変更する取引の取引IDと取引パスワード、変更後の利用金額と税送料を指定し、当サービスの**【金額変更】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の注文内容変更リクエストをPaidに送信します。
3. Paidは、注文内容変更結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、金額変更結果を返します。
5. 加盟店様は、金額変更の結果を確認します。

26.4.2. 各インタフェース仕様詳細

26.4.2.1. 金額変更

接続先URL

/payment/PaidChange.idPass

インタフェース概要

仮売上の取引に対して金額の変更を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	Version		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	Amount	◎	NUMBER	10	利用金額	変更後の利用金額を設定します。 ※利用金額と税送料の合計が10桁。
8	Tax		NUMBER	10	税送料	変更後の税送料を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	処理成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ AUTH：仮売上 処理失敗時は処理前の下記ステータスが維持されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

26.5. 決済の内容をキャンセルする

決済が完了した取引の取引ID・取引パスワードを指定すると、以前実施した決済内容をキャンセルすること(以下、決済キャンセル)が可能です。

26.5.1. 決済内容をキャンセルする流れ

以下に、決済の内容をキャンセルする流れを説明します。

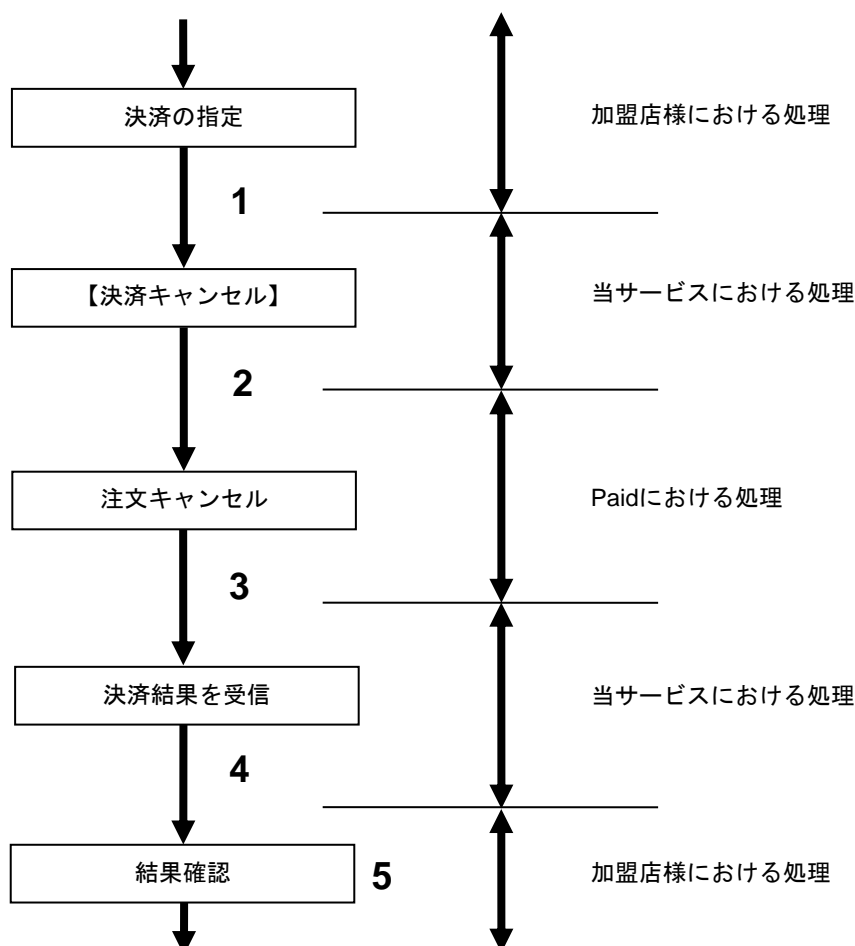


図 26.5.1-1 決済キャンセルの流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、キャンセルする取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの**【決済キャンセル】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の注文キャンセルリクエストを Paid に送信します。
3. Paid は、注文キャンセル結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、決済キャンセル結果を返します。
5. 加盟店様は、決済キャンセルの結果を確認します。

26.5.2. 各インタフェース仕様詳細

26.5.2.1. 決済キャンセル

接続先URL

/payment/PaidCancel.idPass

インタフェース概要

仮売上の取引に対して決済内容のキャンセルを行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	Version		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	処理成功時は以下のステータスが返却されます。 ・CANCEL：キャンセル 処理失敗時は処理前のステータスが返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

26.6. 売上の確定を行う

仮売上の決済の取引ID・取引パスワードを指定すると、売上の確定処理(以下、実売上)が可能です。

26.6.1. 実売上を行う流れ

以下に、実売上を行う流れを説明します。

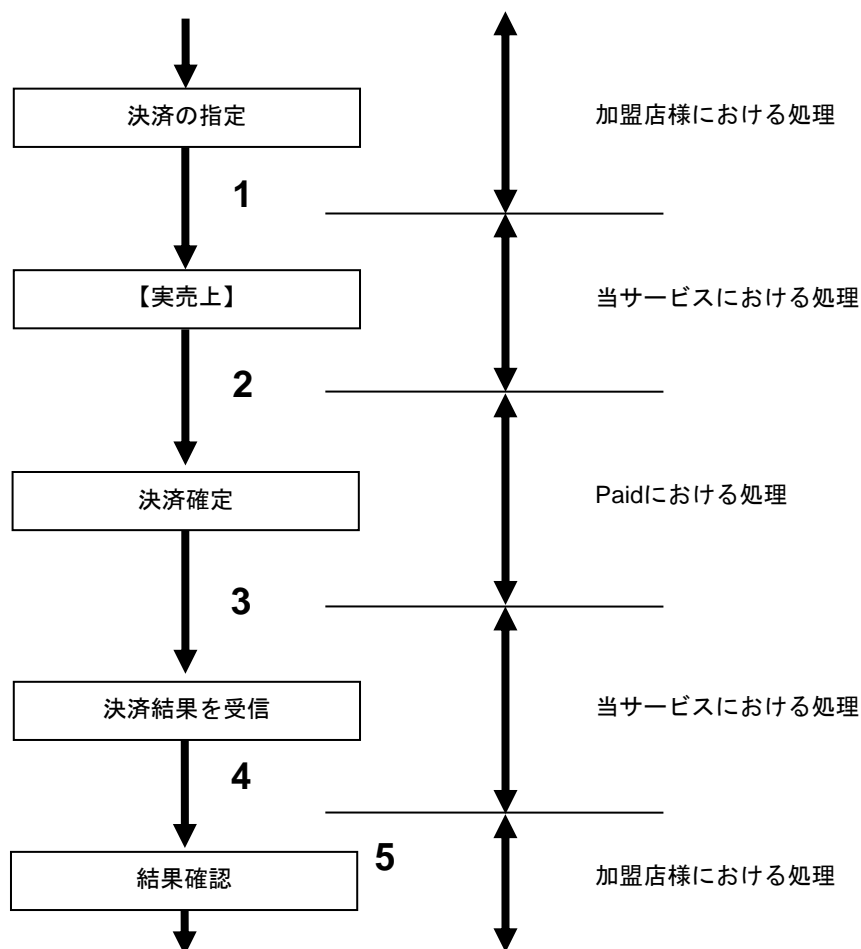


図 26.6.1-1 実売上の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、実売上する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの**【実売上】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の確定リクエストを Paid に送信します。
3. Paid は、確定結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、確定結果を返します。
5. 加盟店様は、決済確定の結果を確認します。

26.6.2. 各インタフェース仕様詳細

26.6.2.1. 実売上

接続先URL

/payment/PaidSales.idPass

インタフェース概要

仮売上取引に対して実売上を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	Version		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	FixedAt		CHAR	8	決済確定日	<p>(本パラメータを利用するには設定が必要なため弊社にご連絡ください。) 決済確定日に過去日を指定し実売上を行うことが可能です。</p> <p>当日の日付が21日～第2営業日(※1)の場合：21日～当日の範囲で指定可能。 当日の日付が第3営業日(※2)～20日の場合：第3営業日(※2)～当日の範囲で指定可能。</p> <p>※1 1月と5月は第1営業日。(ただし5月は1日、2日が平日の場合、第2営業日。) ※2 1月と5月は第2営業日。(ただし5月は1日、2日が平日の場合、第3営業日。)</p> <p>例) 2020/8/4時点で指定できる日付：2020/7/21～2020/8/4 2020/8/13時点で指定できる日付：2020/8/5～2020/8/13 2020/8/25時点で指定できる日付：2020/8/21～2020/8/25</p>

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	処理成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ SALES : 実売上 処理失敗時は処理前の下記ステータスが維持されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

26.7. 決済を返品する

決済が完了した取引の取引ID・取引パスワードを指定すると、以前実施した決済を返品することが可能です。

※実売上後、180日以上経過すると返品できません。

26.7.1. 決済を返品する流れ

以下に、決済を返品する流れを説明します。

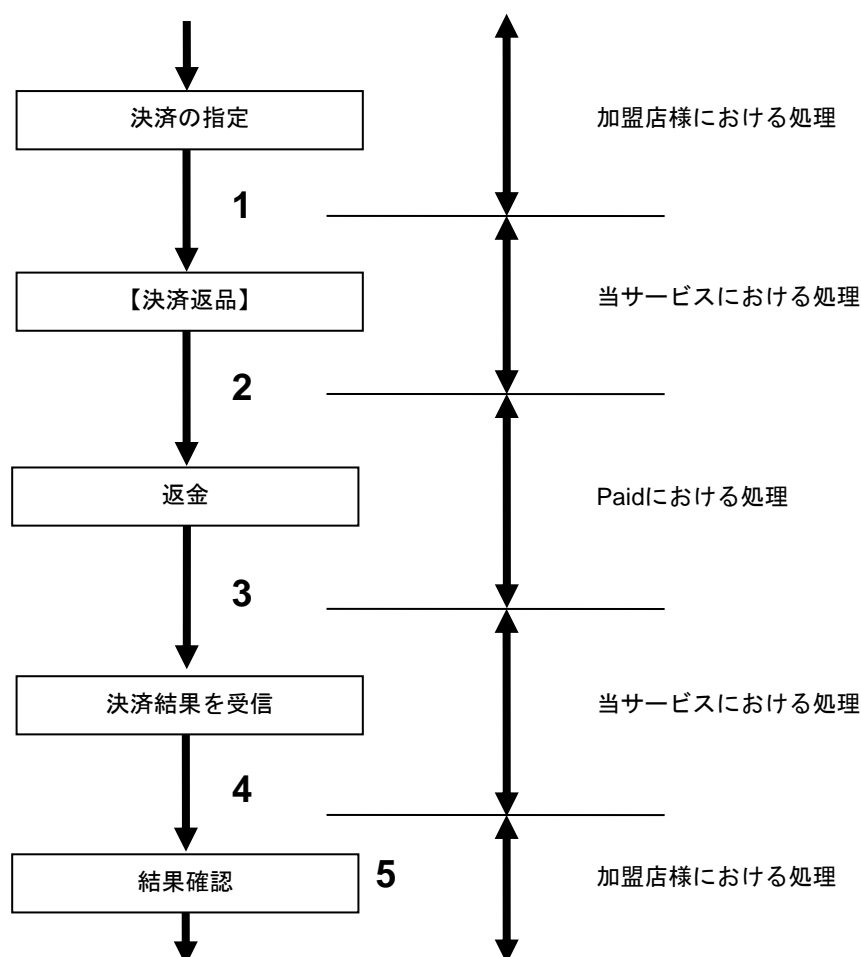


図 26.7.1-1 決済返品の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、返品する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの**【決済返品】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の返金リクエストを Paid に送信します。
3. Paid は、返金結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、返品結果を返します。
5. 加盟店様は、決済返品の結果を確認します。

26.7.2. 各インタフェース仕様詳細

26.7.2.1. 決済返品

接続先URL

/payment/PaidReturn.idPass

インタフェース概要

決済が完了した取引に対して返品を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	Version		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	処理成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ RETURN：返品 処理失敗時は処理前のステータスが返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

27. ドコモ払い随時決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

27.1. 利用承諾を行う

お客様から事前に利用承諾を1回取得すると、加盟店様の任意のタイミングで決済（随時決済）を行うことができます。お客様による利用承諾のみでは決済は発生しません。加盟店様は商品・役務などの提供の状況に応じ、別途随時決済を行います。

- 利用承諾処理が正常に完了するとドコモよりお客様にレシートメールが送信されます。
- 利用承諾の内容はドコモのご利用履歴に表示されます。
- 利用承諾を行ったあと即時に随時決済を行う場合、3秒の待ち時間を入れてください。

27.1.1. 利用承諾の流れ

以下に、利用承諾の流れを説明します。

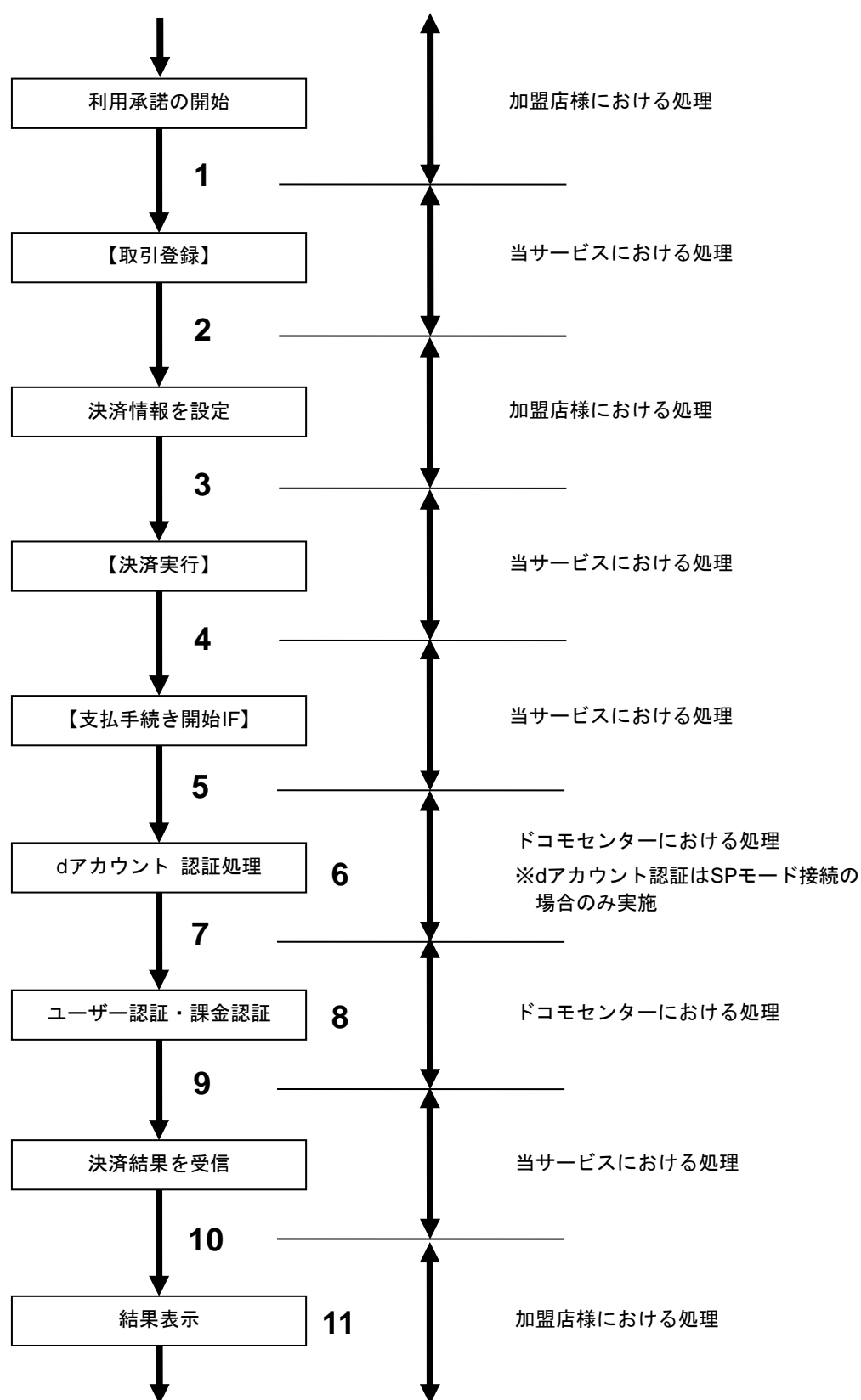


図 27.1.1-1 利用承諾の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、お客様に利用承諾に関する案内を告知したうえで当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をドコモセンターの d アカウント認証画面に誘導します。

※d アカウント認証は SP モード接続の場合のみ実施

6. お客様は、ドコモセンターの d アカウント認証画面にて ID の連携を行います。
7. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をドコモセンターの決済画面に誘導します。
8. お客様は、ドコモ払い決済の決済画面にて支払操作を行います。
9. ドコモセンターは、決済結果を当サービスに送信します。
10. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果を返します。

※ドコモセンター障害などにより、リダイレクト経由の処理結果と結果通知に相違が発生する場合がございます。その場合、結果通知を正としてください。

11. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

27.1.2. 各インタフェース仕様詳細

27.1.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranDocomoAccept.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	10	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)
 ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

27.1.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranDocomoAccept.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンを返却します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
8	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
9	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
10	DocomoDisp1		CHAR	40	ドコモ表示項目1	spモードの場合のみ、以下のドコモ払い画面に表示されます。 ・ 決済内容確認画面 ・ 利用明細 商品の詳細説明や、お客様へのメッセージなどにご使用ください。 改行が必要な場合は表示項目1、表示項目2に分けて設定してください。
11	DocomoDisp2		CHAR	40	ドコモ表示項目2	設定可能な文字は、別紙「制限事項一覧」で禁止している文字に加え["][.]['] [¥][/]以外です。
12	RetURL	◎	CHAR	256	決済結果戻しURL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信URLを設定します。 ドコモセンター上でお客様が認証、支払操作をキャンセルした場合や、当サービスにて決済処理を実行した場合に指定されたURLに結果をリダイレクト経由で送信されます。
13	PaymentTermSec		NUMBER	5	支払開始期限秒	お客様が【決済実行】から【支払手続き開始IF】を呼び出すまでの期限です。 最大86,400秒（1日） 呼び出しパラメータが空の場合、120秒で処理されます。

14	DispShopName		CHAR	32	利用店舗名(※1)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として使用する店舗名です。 DispShopName～DispShopUrlのいずれも指定しない場合は、登録されているショップ名を使用します。 設定可能な文字は、別紙「制限事項一覧」で禁止している文字に加え["] ['] [¥] [/]以外です。
15	DispPhoneNumber		CHAR	13 (※2)	連絡先電話番号(※1)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として表示する電話番号です。 設定可能な文字は半角数字と半角ハイフンのみです。
16	DispMailAddress		CHAR	96 (※2)	メールアドレス(※1)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として表示するメールアドレスです。 設定可能な文字は半角英数字、[@](半角アットマーク)、[.](半角ピリオド)、[-](半角ハイフン)、[_](半角アンダースコア)のみです。
17	DispShopUrl		CHAR	96 (※2)	問い合わせURL(※1)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として表示するURLです。 設定可能な文字は半角英数と["] ['] [¥]以外の半角記号です。 尚、"/"(半角スラッシュ)は4バイトとしてカウントされます。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

※1：docomoと直接契約している加盟店様は、DispPhoneNumber～DispShopUrlの指定は不要です。

※2：DispPhoneNumber～DispShopUrlの設定値の合計バイト数を96バイト以内にしてください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Token	-	CHAR	256	トークン	アクセスIDのハッシュ値を返却します。
3	StartURL	-	CHAR	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始IFのURLを返却します。
4	StartLimitDate	-	CHAR	14	支払開始期限日時	支払手続き開始IFの呼び出し期限を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

27.1.2.3. 支払手続き開始IFの呼び出し

処理概要

お客様をドコモセンターへ誘導します。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

接続先URL

/payment/DocomoAcceptStart.idPass

インタフェース概要

お客様をドコモセンターへ誘導します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
2	Token	◎	CHAR	256	トークン	【決済実行】で発行された値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページサンプル

```

<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="DocomoAcceptStartCall" action="{DocomoAcceptStartURL}" method="POST">
    <noscript>
      <br>
      <br>
      <center>
        <h2>
          ドコモ払いの利用承諾画面へ遷移します。
        </h2>
        <input type="submit" value="続行">
      </center>
    </noscript>
    <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
    <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
  </form>
  <script>
    <!--
      function OnLoadEvent() {
        document.DocomoAcceptStartCall.submit();
      }
    //-->
  </script>
</body>
</html>

```

27.1.2.4. 決済結果受信

処理概要

ドコモセンターから、当サービスに認証・支払操作結果が通知されます。

認証・支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と認証・支払操作をキャンセルした場合に通知されます。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクトURLに決済結果を通知します。

この決済結果は、ドコモセンターの決済完了画面からブラウザ経由で連携されるため、ユーザの操作方法によっては支払操作が完了したにもかかわらず、加盟店様に通知されないことがあります。その際はショップ管理画面または結果通知にて確認ください。また、同様の理由でこの決済結果が複数回加盟店様に通知されることがあります。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータをPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	該当取引のショップIDを返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
3	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 REGISTER：利用承諾 PAYFAIL：決済失敗
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	DocomoAcceptCode	-	CHAR	12	ドコモ承諾番号	正常終了した際にドコモから払い出される番号です。 お客様がMy docomo画面で確認できます。
6	CheckString	-	CHAR	32	改ざんチェック文字列	OrderID,AccessID,ShopID,ShopPassを連結しMD5ハッシュした値を返却します。
7	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
8	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

27.2. 利用承諾の終了を行う

利用承諾時の取引ID・取引パスワードを指定すると、利用承諾を終了することが可能です。

- 月末20:00～23:59は、利用承諾の終了はできません。
- 利用承諾が発生した月、もしくは随時決済で決済が発生した最終月を初月（N年n月）とし、14ヶ月目の12日AM5:00までに随時決済が行われなかった場合は、ドコモにより利用承諾が終了されます。
- お客様が利用承諾を登録した状態で、ドコモの携帯電話サービスを解約するなどの手続きを行った場合は、ドコモにより利用承諾が終了されます。
- 利用承諾が終了すると随時決済を行うことはできません。
- 随時決済をした後に利用承諾を終了した場合でも、随時決済の取引に対し実売上・キャンセル・返品・増額を行うことができます。これらの処理は随時決済を行った翌々月末20時まで行うことができます。
- 利用承諾の終了時にドコモよりお客様へレシートメールは送信されません。
- ドコモのご利用履歴には利用承諾の終了を行った翌日未明に反映されます。
(N-1日20:00 ～ N日19:59までに行った利用承諾の終了がN+1日未明に反映されます。)

27.2.1. 利用承諾の終了を行う流れ

以下に、利用承諾の終了を行う流れを説明します。

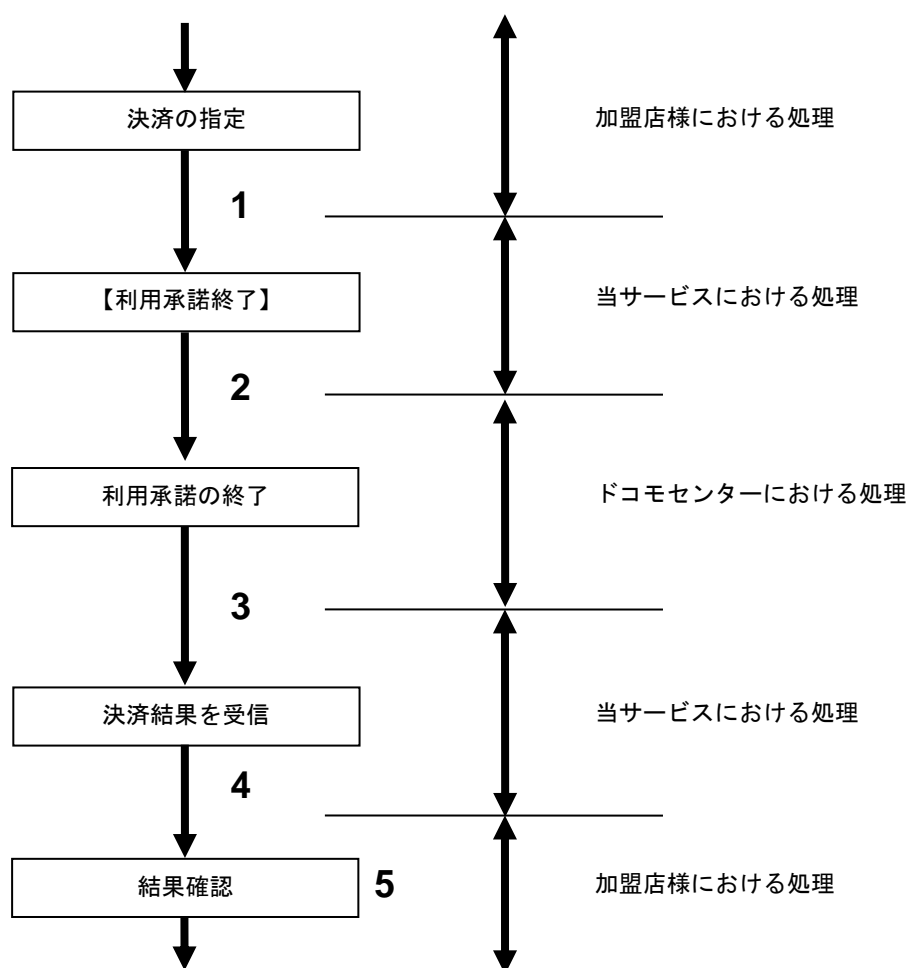


図 27.2.1-1 利用承諾の終了の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、利用承諾を終了する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの **【利用承諾終了】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の利用承諾終了リクエストをドコモセンターに送信します。
3. ドコモセンターは、利用承諾終了結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、利用承諾終了結果を返します。
5. 加盟店様は、利用承諾終了結果をお客様に表示します。

27.2.2. 各インタフェース仕様詳細

27.2.2.1. 利用承諾終了

接続先URL

/payment/DocomoAcceptUserEnd.idPass

インタフェース概要

利用承諾の終了を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	Version		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	10	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	DocomoAcceptCode	◎	CHAR	12	ドコモ承諾番号	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	処理成功時は以下のステータスが返却されます。 ・END：利用承諾終了
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

27.3. 随時決済を実行する

購入時にお客様がドコモ払い決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

27.3.1. 随時決済の流れ

以下に、ドコモ払いによる随時決済の流れを説明します。

お客様から事前に利用承諾を1回取得すると、加盟店様の任意のタイミングで決済（随時決済）を行うことができます。

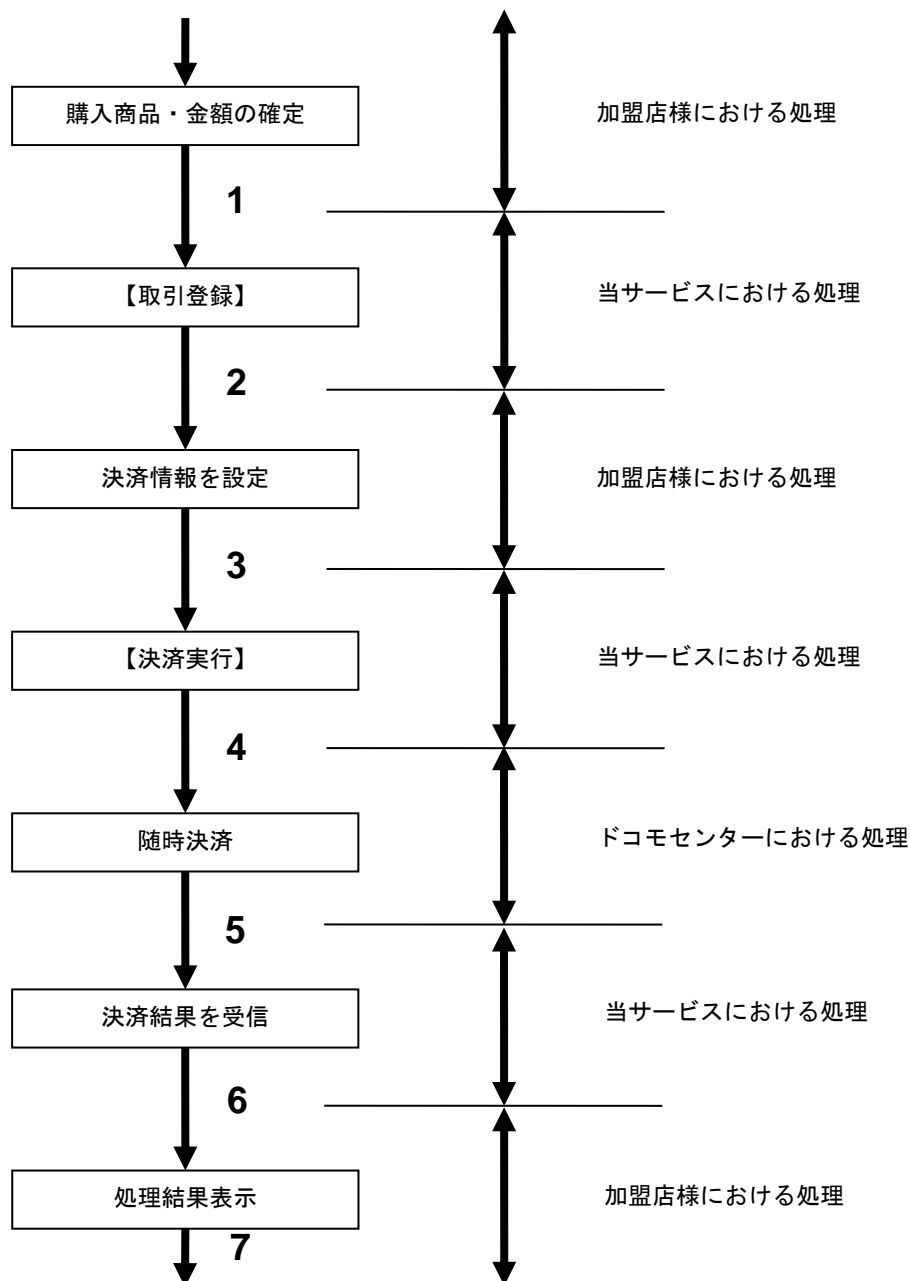


図 27.3.1-1 随時決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、決済情報及びドコモ承諾番号を設定し当サービスの**【決済実行】**を呼び出します。
4. 当サービスは、指定された取引の随時決済リクエストをドコモセンターに送信します。
5. ドコモセンターは、随時決済結果を当サービスに送信します。
6. 当サービスは、随時決済結果を返します。
7. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

27.3.2. 各インタフェース仕様詳細

27.3.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranDocomo.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	10	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	JobCd	◎	CHAR	-	処理区分	AUTH：仮売上 CAPTURE：即時売上
6	Amount	◎	NUMBER	6	利用金額	
7	Tax		NUMBER	6	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額＋税送料が決済金額となります。 ドコモ料金合算払いの上限：10,000円 ※お客様のご利用状況によって30,000円となります。 ドコモ口座払いの上限：500,000円
8	PaymentType	●	CHAR	1	決済タイプ	1：随時決済 ※随時決済を行う場合、必須です。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

27.3.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranDocomo.idPass

インタフェース概要

随時決済を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
8	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
9	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
10	DocomoDisp1		CHAR	40	ドコモ表示項目1	spモードの場合のみ、以下のドコモ払い画面に表示されます。 ・ 決済内容確認画面 ・ 利用明細 商品の詳細説明や、お客様へのメッセージなどにご使用ください。 改行が必要な場合は表示項目1、表示項目2に分けて設定してください。
11	DocomoDisp2		CHAR	40	ドコモ表示項目2	設定可能な文字は、別紙「制限事項一覧」で禁止している文字に加え["][.]['][¥][/]以外です。
12	DispShopName		CHAR	32	利用店舗名(※1)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として使用する店舗名です。 DispShopName～DispShopUrlのいずれも指定しない場合は、登録されているショップ名を使用します。 設定可能な文字は、別紙「制限事項一覧」で禁止している文字に加え["]['][¥][/]以外です。
13	DispPhoneNumber		CHAR	13 (※2)	連絡先電話番号(※1)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として表示する電話番号です。 設定可能な文字は半角数字と半角ハイフンのみです。

14	DispMailAddress		CHAR	96 (※2)	メールアドレス(※1)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として表示するメールアドレスです。 設定可能な文字は半角英数字、[@](半角アットマーク)、[.](半角ピリオド)、[-](半角ハイフン)、[_](半角アンダースコア)のみです。
15	DispShopUrl		CHAR	96 (※2)	問い合わせURL(※1)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として表示するURLです。 設定可能な文字は半角英数と["] ['] [¥]以外の半角記号です。 尚、"/"(半角スラッシュ)は4バイトとしてカウントされます。
16	DocomoAcceptCode	●	CHAR	12	ドコモ承諾番号	利用承諾時に払い出されたドコモ承諾番号を指定します。 随時決済を行う場合、必須となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

※1：docomoと直接契約している加盟店様は、DispPhoneShopName～DispShopUrlの指定は不要です。

※2：DispPhoneNumber～DispShopUrlの設定値の合計バイト数を96バイト以内にしてください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 AUTH：仮売上 CAPTURE：即時売上 PAYFAIL：決済失敗
3	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
4	DocomoSettlementCode	-	CHAR	12	ドコモ決済番号	処理が正常終了した時にドコモから振り出される番号です。 お客様がMy docomo画面で確認できません。
5	CheckString	-	CHAR	32	改ざんチェック文字列	OrderID,AccessID,ShopID,ShopPassを連結しMD5ハッシュした値を返却します。
6	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
7	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

27.4. 決済の内容をキャンセル・返品する

「11.2. 決済の内容をキャンセル・返品する」を参照ください。

27.5. 売上の確定を行う

「11.3. 売上の確定を行う」を参照ください。

27.6. 決済の内容を増額する

「11.4. 決済の内容を増額する」を参照ください。

28. auかんたん決済 随時決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

28.1. 利用承諾を行う

お客様から事前に利用承諾を1回取得すると、加盟店様の任意のタイミングで決済（随時決済）を行うことができます。加盟店様は商品・役務などの提供の状況に応じ別途、随時決済を行います。随時決済は利用承諾後に払い出されるau承諾番号を利用します。

- au承諾番号の有効期限は発効日、もしくは随時決済での最終利用日より5年です。
- お客様がauの携帯電話サービスを解約するなどの手続きを行った場合は、au承諾番号は無効となり随時決済時にエラーとなります。
- お客様がau ID画面にてID連携解除した場合、au承諾番号は無効となり随時決済時にエラーとなります。
- お客様がauのご利用内容の確認画面で選択したお支払方法が以下でない場合エラーとなります。
合算、クレジットカード、au PAY カード

28.1.1. 利用承諾の流れ

以下に、利用承諾の流れを説明します。

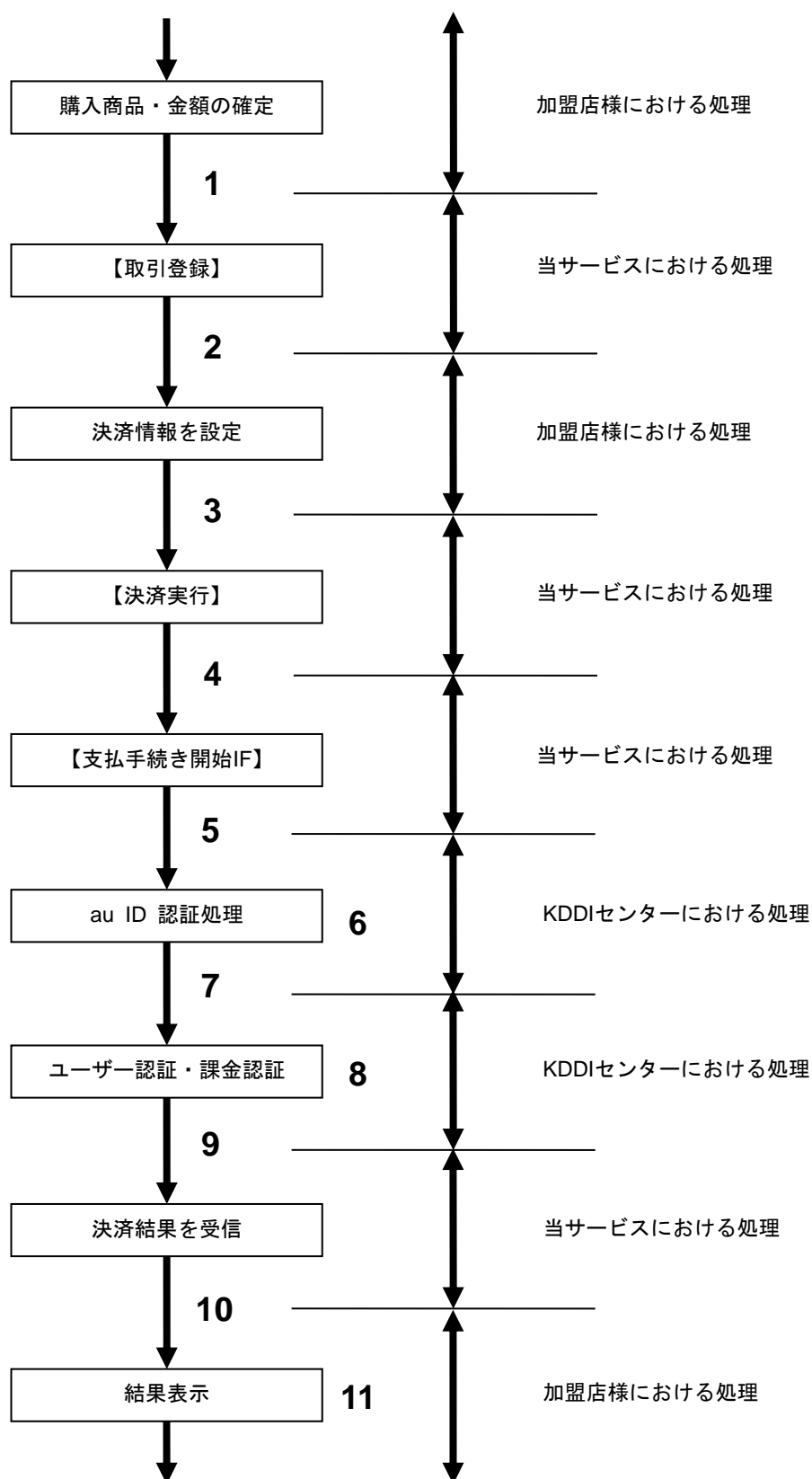


図 28.1.1-1 利用承諾の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様を KDDI センターの au ID 認証画面に誘導します。
6. お客様は、KDDI センターの au ID 認証画面にて ID の連携を行います。
7. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様を KDDI センターの決済画面に誘導します。
8. お客様は、au かんたん決済の決済画面にて支払操作を行います。
9. KDDI センターは、決済結果を当サービスに送信します。
10. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果（au 承諾番号）を返します。
11. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

28.1.2. 各インタフェース仕様詳細

28.1.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranAuAccept.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	10	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)
 ErrCode=M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

28.1.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranAuAccept.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンを返却します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	SiteID	●	CHAR	13	サイトID	弊社が発行する値を設定します。 会員ID指定時は必須です。
8	SitePass	●	CHAR	20	サイトパスワード	弊社が発行する値を設定します。 会員ID指定時は必須です。
9	MemberID	●	CHAR	60	会員ID	決済する対象の会員IDを設定します。
10	MemberName		CHAR	255	会員名	登録する名前を設定します。
11	CreateMember	●	CHAR	1	会員作成フラグ	会員が存在しない場合の動作を指定します。 0: 登録しない。 会員が存在しない場合、エラーを返す 1: 登録する。 会員が存在しない場合、新規登録する 会員ID指定時は必須です。
12	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
13	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
14	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
15	Commodity	◎	CHAR	48	摘要	お客様が購入する商品の情報を設定します。 KDDIセンターでの決済時に表示されます。 設定可能な文字は「全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。
16	RetURL	◎	CHAR	256	決済結果戻しURL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信URLを設定します。 KDDIセンター上でお客様が認証、支払操作をキャンセルした場合や、当サービスにて決済処理を実行した場合に指定されたURLに結果をリダイレクト経由で送信されます。

17	PaymentTermSec		NUMBER	5	支払開始期限秒	お客様が【決済実行】から【支払手続き開始IF】を呼び出すまでの期限です。 最大86,400秒（1日） 呼び出しパラメータが空の場合、120秒で処理されます。
18	ServiceName	◎	CHAR	48	表示サービス名	加盟店様のサービス名称です。 お客様の購入履歴などに表示されます。 設定可能な文字は「全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。
19	ServiceTel	◎	CHAR	15	表示電話番号	加盟店様の電話番号です。 お客様の購入履歴などに表示されます。 設定可能な文字は「半角数字と” - “(ハイフン)」です。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Token	-	CHAR	256	トークン	アクセスIDのハッシュ値を返却します。
3	StartURL	-	CHAR	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始IFのURLを返却します。
4	StartLimitDate	-	CHAR	14	支払開始期限日時	支払手続き開始IFの呼び出し期限を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

28.1.2.3. 支払手続き開始IFの呼び出し

処理概要

auかんたん決済において、お客様をKDDIセンターのau ID認証画面へと遷移させる必要があります。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

接続先URL

/payment/AuAcceptStart.idPass

インタフェース概要

お客様をau ID認証画面に誘導します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
2	Token	◎	CHAR	256	トークン	【決済実行】で発行された値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページサンプル

```

<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="AuAcceptStartCall" action="{AuAcceptStartURL}" method="POST">
    <noscript>
      <br>
      <br>
      <center>
        <h2>
          auの決済画面へ遷移します。
        </h2>
        <input type="submit" value="続行">
      </center>
    </noscript>
    <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
    <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
  </form>
  <script >
    <!--
      function OnLoadEvent() {
        document.AuAcceptStartCall.submit();
      }
    //-->
  </script>
</body>
</html>

```

28.1.2.4. 決済結果受信

処理概要

KDDIセンターから、当サービスに認証・支払操作結果が通知されます。

認証・支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と認証・支払操作をキャンセルした場合に通知されます。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたりダイレクトURLに決済結果を通知します。

この決済結果は、KDDIセンターの決済完了画面からブラウザ経由で連携されるため、ユーザの操作方法によっては支払操作が完了したにもかかわらず、加盟店様に通知されないことがあります。その際はショップ管理画面または結果通知にて確認ください。また、同様の理由でこの決済結果が複数回加盟店様に通知されることがあります。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータをPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	該当取引のショップIDを返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
3	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 REGISTER：利用承諾 PAYFAIL：決済失敗
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	PayMethod	-	CHAR	2	支払方法	支払方法です。 01：合算 02：クレジットカード 06：au PAY カード お客様がau ID画面で確認できます。
6	AuAcceptCode	-	CHAR	14	au承諾番号	オーソリ処理が正常終了した時に弊社にて払い出す番号です。 随時決済に利用します。
7	CheckString	-	CHAR	32	改ざんチェック文字列	OrderID,AccessID,ShopID,ShopPassを連結しMD5ハッシュした値を返却します。
8	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
9	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

28.2. 利用承諾の終了を行う

利用承諾時の取引ID・取引パスワードを指定すると、利用承諾を終了することが可能です。

お客様のサービス停止やau承諾番号が不要になった場合に行ってください。

28.2.1. 利用承諾の終了を行う流れ

以下に、利用承諾の終了を行う流れを説明します。

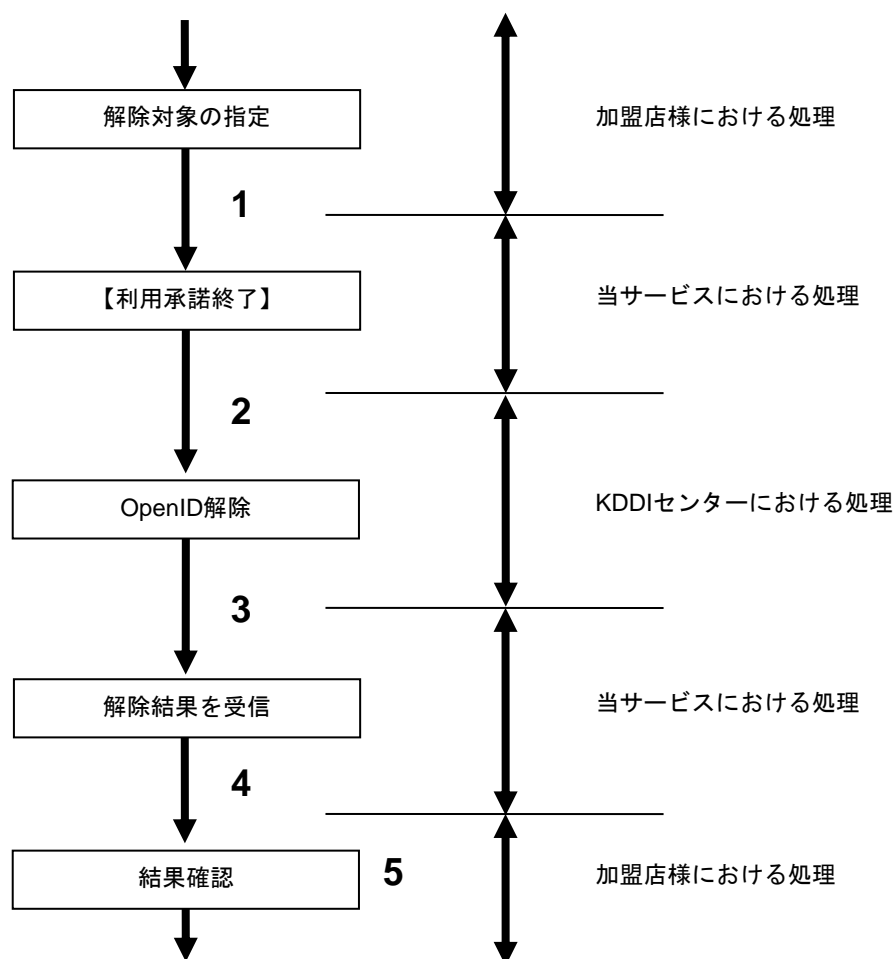


図 28.2.1-1 利用承諾終了の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、利用承諾を終了する取引の取引IDと取引パスワードを指定し、当サービスの**【利用承諾終了】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定されたau承諾番号に該当するOpenID解除リクエストをKDDIセンターに送信します。
3. KDDIセンターは、OpenID解除結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、利用承諾終了結果を返します。
5. 加盟店様は、利用承諾終了結果を確認します。

28.2.2. 各インタフェース仕様詳細

28.2.2.1. 利用承諾終了

接続先URL

/payment/AuAcceptUserEnd.idPass

インタフェース概要

利用承諾の終了を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	Version		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	10	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	AuAcceptCode	◎	CHAR	12	au承諾番号	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	処理成功時は以下のステータスが返却されます。 ・END：利用承諾終了
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

28.3. 随時決済を実行する

購入時にお客様がauかんたん決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

28.3.1. 随時決済の流れ

以下に、随時決済の流れを説明します。

事前にau承諾番号を取得すると、加盟店様の任意のタイミングで決済（随時決済）を行うことができます。

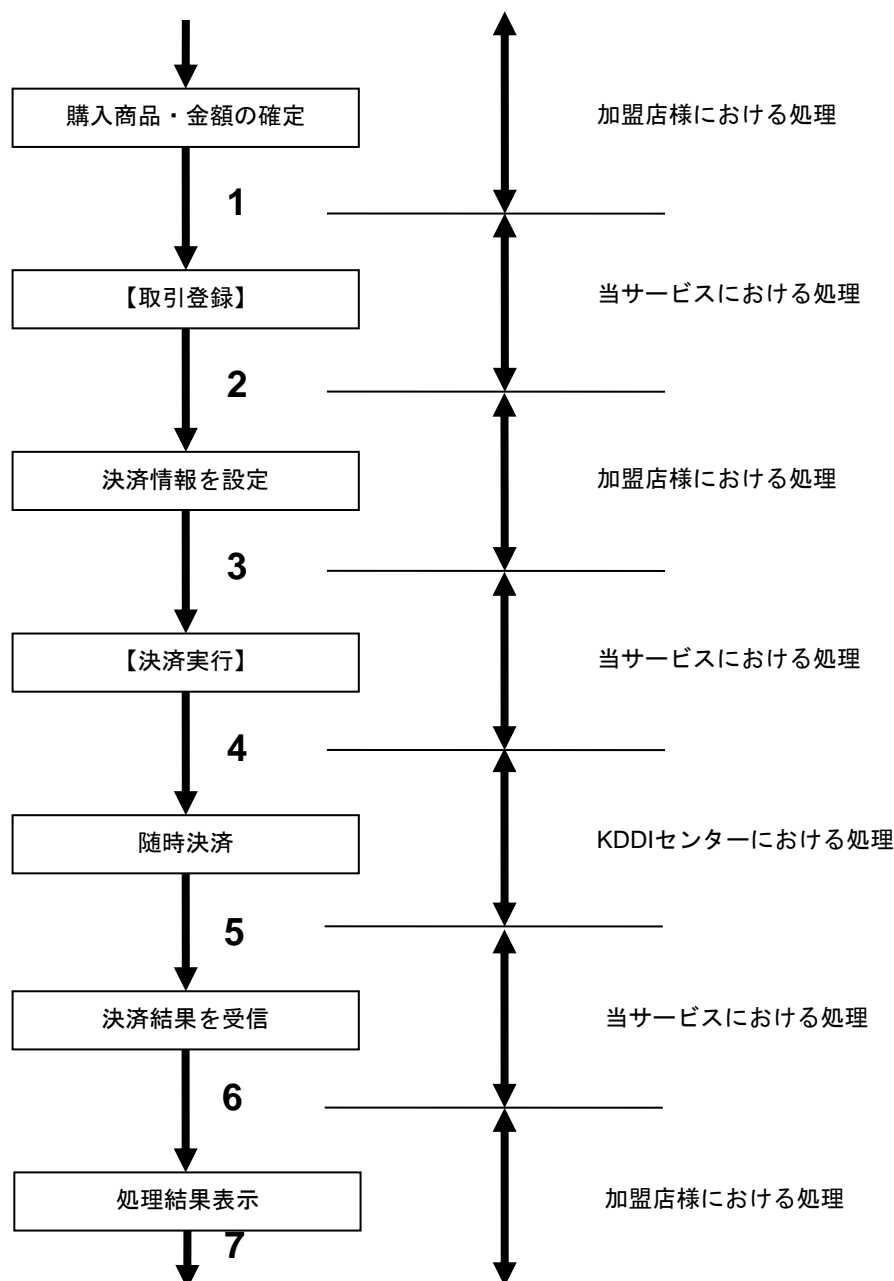


図 28.3.1-1 随時決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、決済情報及びau承諾番号を設定し当サービスの**【決済実行】**を呼び出します。
4. 当サービスは、指定された取引の随時決済リクエストをKDDIセンターに送信します。
5. KDDIセンターは、随時決済結果を当サービスに送信します。
6. 当サービスは、随時決済結果を返します。
7. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

28.3.2. 各インタフェース仕様詳細

28.3.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranAu.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	10	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	JobCd	◎	CHAR	-	処理区分	AUTH：仮売上 CAPTURE：即時売上
6	Amount	◎	NUMBER	7	利用金額	
7	Tax		NUMBER	7	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額＋税送料が決済金額となります。 利用金額＋税送料で1円以上9,999,999円以下である必要があります。
8	PaymentType	●	CHAR	1	決済タイプ	1：随時決済 ※随時決済を行う場合、必須です。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)
ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

28.3.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranAu.idPass

インタフェース概要

随時決済を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
8	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
9	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
10	Commodity	◎	CHAR	48	摘要	お客様が購入する商品の情報を設定します。 KDDIセンターでの決済時に表示されます。 設定可能な文字は「全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。
11	ServiceName	◎	CHAR	48	表示サービス名	加盟店様のサービス名称です。 お客様の購入履歴などに表示されます。 設定可能な文字は「全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。
12	ServiceTel	◎	CHAR	15	表示電話番号	加盟店様の電話番号です。 お客様の購入履歴などに表示されます。 設定可能な文字は「半角数字と” - “(ハイフン)」です。
13	AuAcceptCode	●	CHAR	14	au承諾番号	利用承諾時に払い出されたau承諾番号を指定します。 随時決済で支払い方法は、利用承諾時にお客様が指定した支払い方法となります。 随時決済を行う場合、必須となります。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 AUTH：仮売上 CAPTURE：即時売上
3	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
4	PayInfoNo	-	CHAR	16	決済情報番号	オーソリ処理が正常終了した時に振り出される番号です。 お客様がau ID画面で確認できます。
5	PayMethod	-	CHAR	2	支払方法	支払方法です。 01：合算 02：クレジットカード 06：au PAY カード 利用承諾時にお客様が選択した支払方法で決済されます。
6	CheckString	-	CHAR	32	改ざんチェック文字列	OrderID,AccessID,ShopID,ShopPassを連結しMD5ハッシュした値を返却します。
7	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
8	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

28.4. 決済の内容をキャンセル・返品する

「9.2. 決済の内容をキャンセル・返品する」を参照ください。

28.5. 売上の確定を行う

「9.3. 売上の確定を行う」を参照ください。

28.6. OpenID解除を行う

「9.4. OpenID解除を行う」を参照ください。

29. ソフトバンクまとめて支払い（B）随時決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

※ソフトバンクまとめて支払い（B）随時決済をご利用になるには「ソフトバンク継続課金」契約が必要です。

29.1. 利用承諾を行う

お客様から事前に利用承諾を1回取得すると、加盟店様の任意のタイミングで決済（随時決済）を行うことができます。加盟店様は商品・役務などの提供の状況に応じ、別途随時決済を行います。随時決済は利用承諾後に払い出されるSB承諾番号を利用します。

- SB承諾番号の有効期限は発効日、もしくは随時決済での最終利用日より186日です。
- お客様がソフトバンクの携帯電話サービスを解約するなどの手続きを行った場合は、SB承諾番号は無効となり随時決済時にエラーとなります。

29.1.1. 利用承諾の流れ

以下に、利用承諾の流れを説明します。

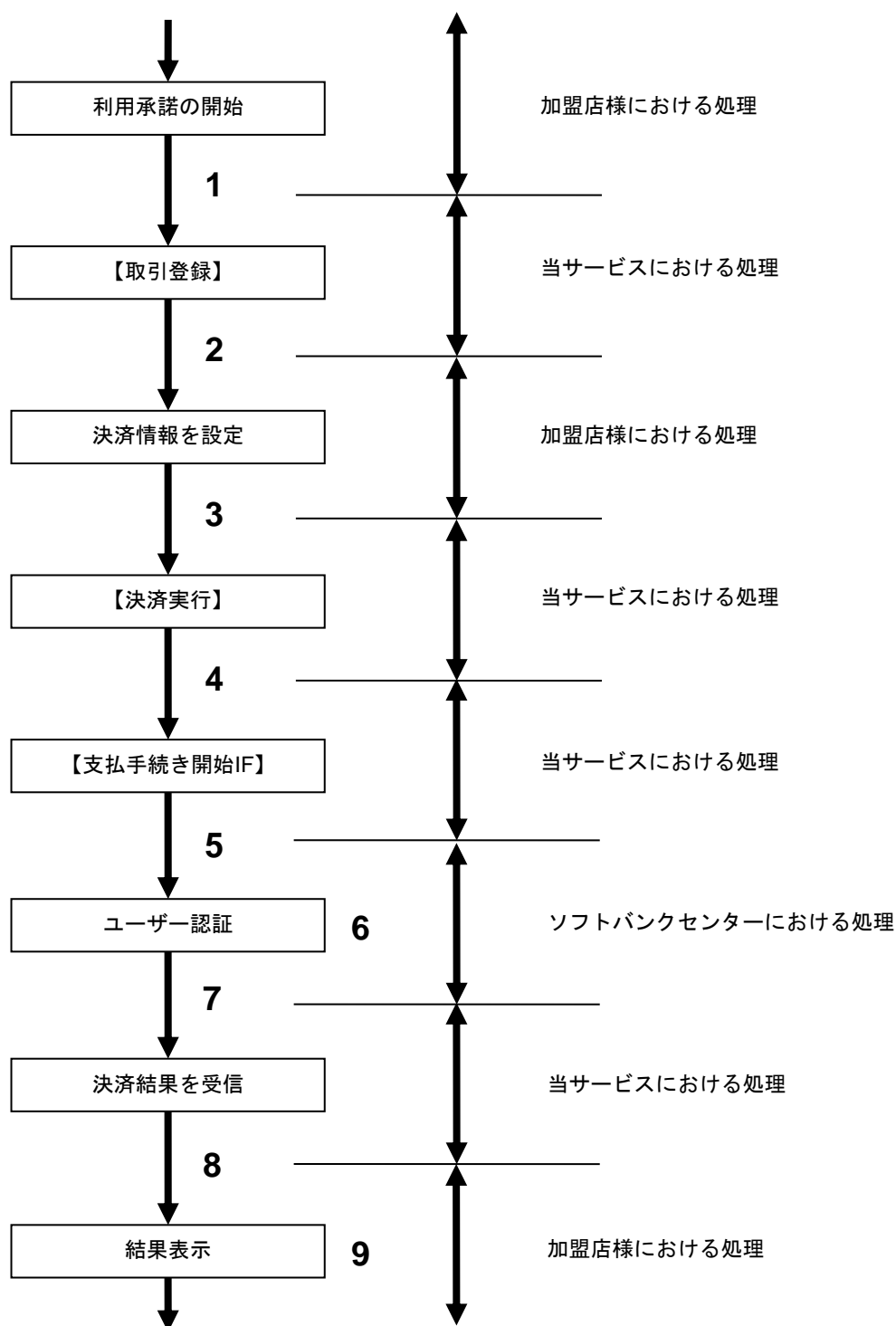


図 29.1.1-1 利用承諾の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、お客様に利用承諾に関する案内を告知したうえで当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をソフトバンクセンターの決済画面に誘導します。
6. お客様は、ソフトバンクまとめて支払い（B）決済の画面にて支払操作を行います。
7. ソフトバンクセンターは、決済結果を当サービスに送信します。
8. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果（SB 承諾番号）を返します。
9. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

29.1.2. 各インタフェース仕様詳細

29.1.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranSbAccept.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	10	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)
 ErrCode=M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

29.1.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranSbAccept.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンを返却します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	10	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
8	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
9	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
10	RetURL	◎	CHAR	256	決済結果戻しURL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信URLを設定します。 ソフトバンクセンター上でお客様が決済手続きを正常に完了された場合に、指定されたURLに結果をリダイレクト経由で送信されます。
11	PaymentTermSec		NUMBER	5	支払開始期限秒	お客様が【決済実行】から【支払手続き開始IF】を呼び出すまでの期限です。 最大86,400秒（1日） 呼び出しパラメータが空の場合、120秒で処理されます。

12	ItemName	CHAR	40	商品名	<p>ソフトバンク側の決済画面に表示されます。</p> <p>※使用可能文字は以下となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半角英数字 ・半角記号(* アスタリスク - ハイフン _ アンダーバー @ アットマーク . ピリオド 半角スペース) ・全角文字 (JIS 第一水準漢字、JIS 第二水準漢字) <p>上記以外を指定した場合は、ソフトバンク側でエラーとなります。</p> <p>※機種依存文字は使用できません。</p> <p>※以下8文字は例外で使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> — ダッシュ(01 区 2130 +D) \ バックスラッシュ(01 区 2140 +0) ～ 波ダッシュ(01 区 2140 +1) ∥ パラレル(01 区 2140 +2) — 二分ダッシュ(01 区 2150 +D) ¢ セント(01 区 2170 +1) £ ポンド(01 区 2170 +) ¬ 否定算術記号(02 区 2240 +C) <p>※マルチバイト文字は2バイト扱いとなります。</p> <p>※半角カナは全角に変換されます。</p> <p>※40バイトを超える場合は切り捨てられて表示されます。</p> <p>※弊社システム上は40文字まで指定可能です。</p> <p>※指定しない場合はショップ名が適用されます。</p>
----	----------	------	----	-----	---

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Token	-	CHAR	256	トークン	アクセスIDのハッシュ値を返却します。
3	StartURL	-	CHAR	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始IFのURLを返却します。
4	StartLimitDate	-	CHAR	14	支払開始期限日時	支払手続き開始IFの呼び出し期限を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

29.1.2.3. 支払手続き開始IFの呼び出し

処理概要

お客様をソフトバンクセンターへ誘導します。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

接続先URL

/payment/SbAcceptStart.idPass

インタフェース概要

お客様をソフトバンクセンターへ誘導します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
2	Token	◎	CHAR	256	トークン	【決済実行】で発行された値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページサンプル

```

<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="SbAcceptStartCall" action="{SbAcceptStartURL}" method="POST">
    <noscript>
      <br>
      <br>
      <center>
        <h2>
          ソフトバンクまとめて支払い（B）の決済画面へ遷移します。
        </h2>
        <input type="submit" value="続行">
      </center>
    </noscript>
    <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
    <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
  </form>
  <script>
    <!--
      function OnLoadEvent() {
        document.SbAcceptStartCall.submit();
      }
    //-->
  </script>
</body>
</html>

```

29.1.2.4. 決済結果受信

処理概要

ソフトバンクセンターから、当サービスに認証・支払操作結果が通知されます。

認証・支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と認証・支払操作をキャンセルした場合に通知されます。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクトURLに決済結果を通知します。

この決済結果は、ソフトバンクセンターの決済完了画面からブラウザ経由で連携されるため、ユーザの操作方法によっては支払操作が完了したにもかかわらず、加盟店様に通知されないことがあります。その際はショップ管理画面または結果通知にてご確認ください。また、同様の理由でこの決済結果が複数回加盟店様に通知されることがあります。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータをPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	該当取引のショップIDを返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
3	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 REGISTER：利用承諾 PAYFAIL：決済失敗
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
5	SbAcceptCode	-	CHAR	14	SB承諾番号	オーソリ処理が正常終了した時にソフトバンクから振り出される番号です。 随時決済に利用します。 お客様が利用履歴画面で確認できます。
6	CheckString	-	CHAR	32	改ざんチェック文字列	OrderID,AccessID,ShopID,ShopPassを連結しMD5ハッシュした値を返却します。
7	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
8	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

29.2. 利用承諾の終了を行う

利用承諾時の取引ID・取引パスワードを指定すると、利用承諾を終了することが可能です。

お客様のサービス停止やSB承諾番号が不要になった場合に行ってください。

29.2.1. 利用承諾の終了を行う流れ

以下に、利用承諾の終了を行う流れを説明します。

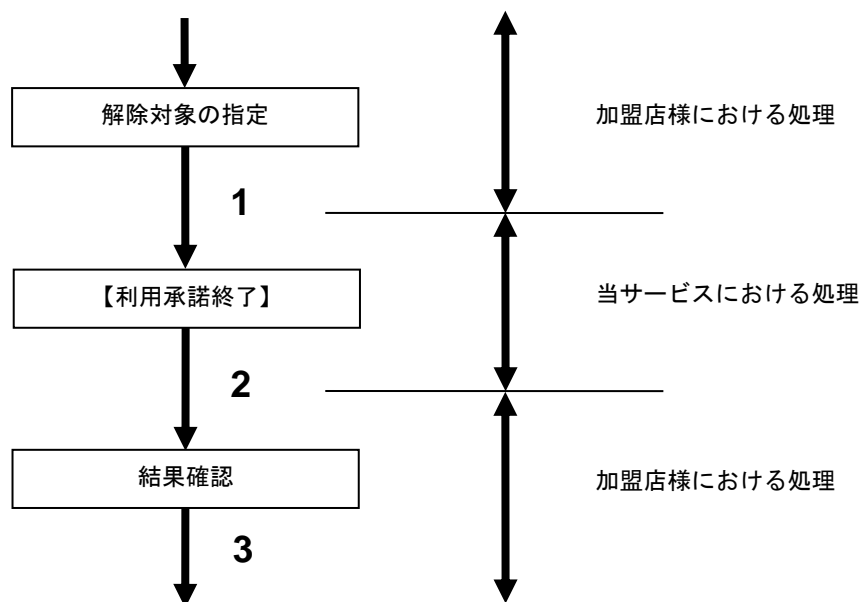


図 29.2.1-1 利用承諾終了の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、利用承諾を終了する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの **【利用承諾終了】** を呼び出します。
2. 当サービスは、利用承諾終了結果を返します。
3. 加盟店様は、利用承諾終了結果を確認します。

29.2.2. 各インタフェース仕様詳細

29.2.2.1. 利用承諾終了

接続先URL

/payment/SbAcceptUserEnd.idPass

インタフェース概要

利用承諾の終了を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	Version		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	10	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	SbAcceptCode	◎	CHAR	14	SB承諾番号	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	処理成功時は以下のステータスが返却されます。 ・END：利用承諾終了
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

29.3. 随時決済を実行する

購入時にお客様がソフトバンクまとめて支払い（B）随時決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

29.3.1. 随時決済の流れ

以下に、ソフトバンクまとめて支払い（B）随時決済の流れを説明します。

事前にSB承諾番号を取得すると、加盟店様の任意のタイミングで決済（随時決済）を行うことができます。

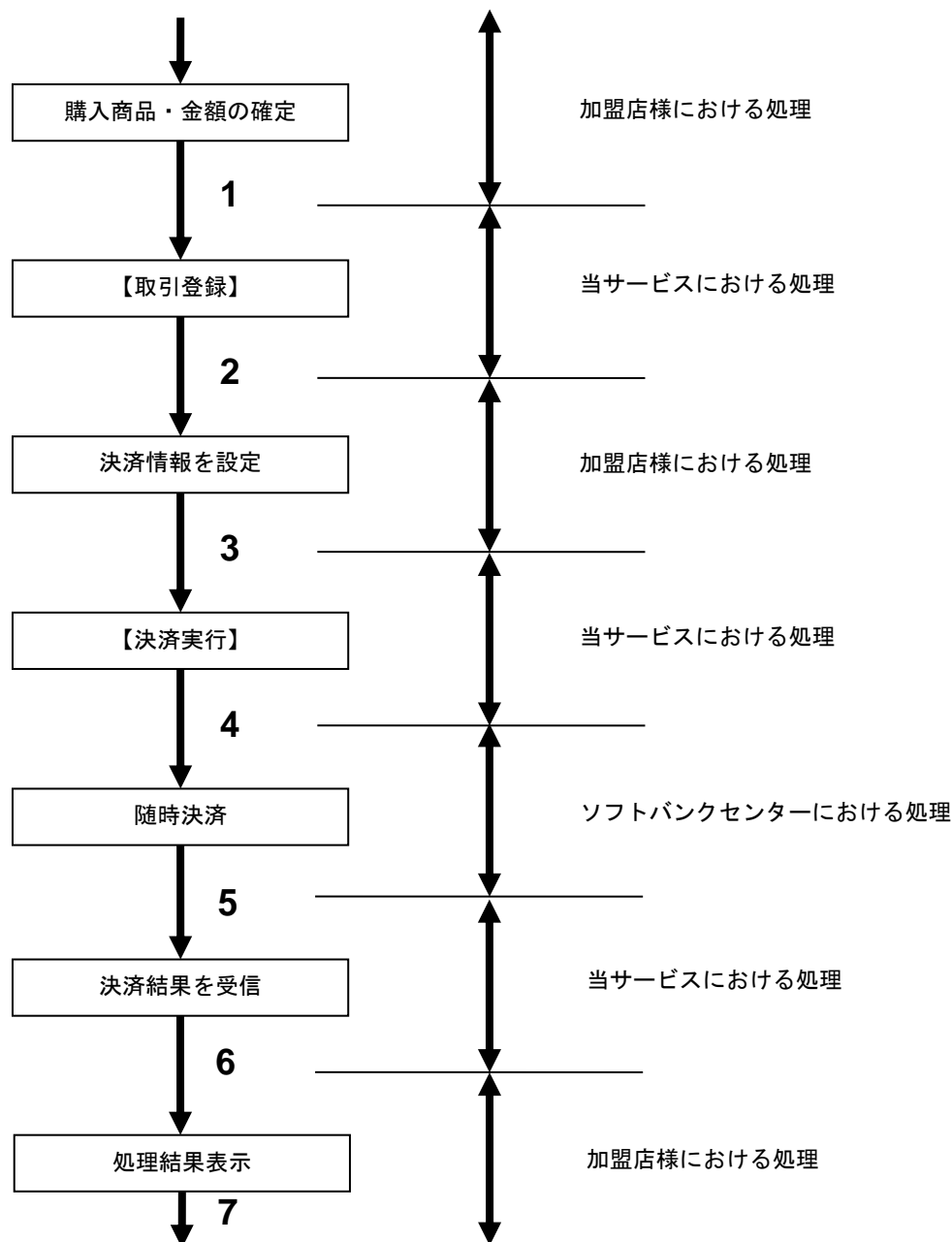


図 29.3.1-2 随時決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、決済情報及びSB承諾番号を設定し当サービスの**【決済実行】**を呼び出します。
4. 当サービスは、指定された取引の随時決済リクエストをソフトバンクセンターに送信します。
5. ソフトバンクセンターは、随時決済結果を当サービスに送信します。
6. 当サービスは、随時決済結果を返します。
7. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

29.3.2. 各インタフェース仕様詳細

29.3.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranSb.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	10	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	JobCd	◎	CHAR	-	処理区分	AUTH：仮売上 CAPTURE：即時売上
6	Amount	◎	NUMBER	5	利用金額	
7	Tax		NUMBER	5	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額＋税送料が決済金額となります。 利用金額＋税送料で1円以上100,000円／月以下である必要があります。 ソフトバンクまとめて支払い(B)の利用限度額はお客様の契約期間や年齢によって変わってきます。詳細はソフトバンクサイトでご確認ください。
8	PaymentType	●	CHAR	1	決済タイプ	1：随時決済 ※随時決済を行う場合、必須です。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

29.3.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranSb.idPass

インタフェース概要

随時決済を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
8	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
9	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
10	ItemName		CHAR	40	商品名	<p>ソフトバンクのご利用履歴に表示されます。</p> <p>※使用可能文字は以下となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半角英数字 ・半角記号(* アスタリスク - ハイフン _ アンダーバー @ アットマーク . ピリオド 半角スペース) ・全角文字 (JIS 第一水準漢字、JIS 第二水準漢字) <p>上記以外を指定した場合は、ソフトバンク側でエラーとなります。</p> <p>※機種依存文字は使用できません。</p> <p>※以下8文字は例外で使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> — ダッシュ(01 区 2130 +D) ＼ バックスラッシュ(01 区 2140 +0) ～ 波ダッシュ(01 区 2140 +1) ∥ パラレル(01 区 2140 +2) — 二分ダッシュ(01 区 2150 +D) ¢ セント(01 区 2170 +1) £ ポンド(01 区 2170 +2) ¬ 否定算術記号(02 区 2240 +C) <p>※マルチバイト文字は2バイト扱いとなります。</p> <p>※半角カナは全角に変換されます。</p> <p>※40バイトを超える場合は切り捨てられて表示されます。</p> <p>※弊社システム上は40文字まで指定可能です。</p> <p>※指定しない場合はショップ名が適用されます。</p>

11	SbAcceptCode	●	CHAR	14	SB承諾番号	<p>利用承諾時に払い出されたSB承諾番号を指定します。</p> <p>または、継続課金申込処理が正常終了した時にソフトバンクから払い出される「ソフトバンク処理トラッキングID」を指定します。</p> <p>随時決済を行う場合、必須です。</p>
----	--------------	---	------	----	--------	---

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	<p>該当取引の取引状態を返却します。</p> <p>AUTH：仮売上</p> <p>CAPTURE：即時売上</p>
3	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	<p>当サービスで処理を実施した日時を返却します。</p> <p>yyyyMMddHHmmss書式</p>
4	SbTrackingId	-	CHAR	14	トラッキングID	<p>オーソリ処理が正常終了した時にソフトバンクから振り出される番号です。</p> <p>お客様が利用履歴画面で確認できます。</p>
5	CheckString	-	CHAR	32	改ざんチェック文字列	OrderID,AccessID,ShopID,ShopPassを連結しMD5ハッシュした値を返却します。
6	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	<p>エラー発生時のみ値を設定します。</p> <p>複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)</p>
7	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	<p>エラー発生時のみ値を設定します。</p> <p>複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)</p>

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)
 ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

29.4. 決済の内容をキャンセルする

「13.2. 決済の内容をキャンセルする」を参照ください。

29.5. 売上の確定を行う

「13.3. 売上の確定を行う」を参照ください。

30. マルチ決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

30.1. 決済結果を参照する

オーダーIDを指定すると、該当の決済結果を取得すること(以下、取引状態参照)が可能です。通信障害でタイムアウトが発生した場合等で決済結果が取得できなかった場合は、本インタフェースにて取得してください。

30.1.1. 取引状態参照の流れ

以下に、決済の結果を参照する流れを説明します。

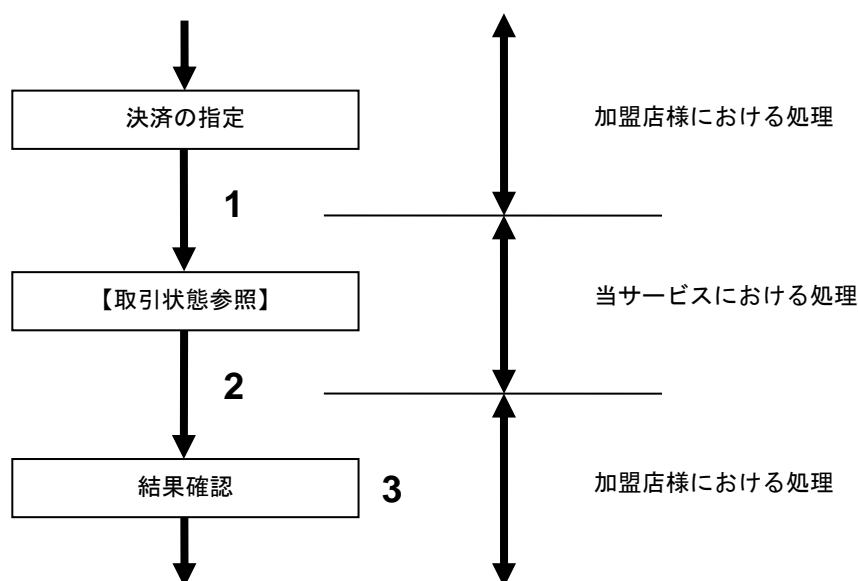


図 30.1.1-1 取引状態参照の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、参照する取引のオーダーID を指定し当サービスの**【取引状態参照】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の内容を取得して返します。
3. 加盟店様は、取引の結果を確認します。

※ご注意点

クレジットカードの決済結果や、コンビニ／Pay-easy等の入金結果、期限切れデータは結果通知プログラムURLにて取得してください。取引参照で対応される場合は、短くても60分は間隔を空けていただき、決済実行まで実施された取引に対してのみ要求処理を行ってください。

30.1.2. 各インタフェース仕様詳細

30.1.2.1. 取引状態参照

接続先URL

/payment/SearchTradeMulti.idPass

インタフェース概要

指定したオーダーIDの取引情報を取得します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	PayType	◎	CHAR	2	決済方法	0 : クレジット 1 : モバイルSuica 2 : 楽天Edy 3 : コンビニ 4 : Pay-easy 6 : iDネット 7 : WebMoney 8 : auかんたん(都度・随時) 9 : ドコモ払い(都度・随時) 10 : ドコモ継続課金 11 : ソフトバンクまとめて支払い (B) (都度・随時) 13 : auかんたん継続課金 14 : JCBプリカ 16 : NET CASH・nanacoギフト 17 : BITCOIN 18 : 楽天ペイ 19 : 多通貨クレジットカード決済 (MCP) 21 : ネット銀聯 22 : ソフトバンクまとめて支払い (B) 継続課金 23 : 銀行振込(バーチャル口座) 24 : リクルートかんたん支払い 25 : リクルートかんたん支払い継続課金 29 : Paid決済 31 : ドコモ払い(利用承諾) 33 : auかんたん(利用承諾) 34 : ソフトバンクまとめて支払い (B) (利用承諾) 35 : PAYSLE

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

カード決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 AUTHENTICATED : 未決済(3DS登録済) CHECK : 有効性チェック CAPTURE : 即時売上 AUTH : 仮売上 SALES : 実売上 VOID : 取消 RETURN : 返品 RETURNX : 月跨り返品 SAUTH : 簡易オーソリ
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	JobCd	-	CHAR	-	処理区分	CHECK : 有効性チェック CAPTURE : 即時売上 AUTH : 仮売上 SALES : 実売上 VOID : 取消 RETURN : 返品 RETURNX : 月跨り返品 SAUTH : 簡易オーソリ
4	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	ItemCode	-	CHAR	7	商品コード	
7	Amount	-	NUMBER	10	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
8	Tax	-	NUMBER	10	税送料	
9	Currency	-	CHAR	3	通貨コード	決済に利用された通貨を返却します。
10	SiteID	-	CHAR	13	サイトID	
11	MemberID	-	CHAR	60	会員ID	
12	CardNo	-	CHAR	16	カード番号	下4桁以外は伏字
13	Expire	-	CHAR	4	有効期限	
14	Method	-	CHAR	1	支払方法	以下のいずれかが返却されます。 1 : 一括 2 : 分割 3 : ボーナス一括 4 : ボーナス分割 5 : リボ
15	PayTimes	-	NUMBER	2	支払回数	
16	Forward	-	CHAR	7	仕向先会社コード	
17	TranID	-	CHAR	28	トランザクションID	
18	Approve	-	CHAR	7	承認番号	文字種については、別紙「プロトコルタイプ(カード決済インターフェース仕様)」の「1.1. 項目の説明」を参照
19	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
20	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	

21	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
22	PayType	-	CHAR	2	決済方法	0 : クレジット
23	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
24	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

iDネット決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 CAPTURE : 即時売上 AUTH : 仮売上 SALES : 実売上 CANCEL : キャンセル PAYFAIL : 決済失敗 EXPIRED : 期限切れ
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	JobCd	-	CHAR	-	処理区分	CAPTURE : 即時売上 AUTH : 仮売上 SALES : 実売上 CANCEL : キャンセル
4	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	ItemCode	-	CHAR	7	商品コード	
7	Amount	-	NUMBER	10	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
8	Tax	-	NUMBER	10	税送料	
9	SiteID	-	CHAR	13	サイトID	
10	Currency	-	CHAR	3	通貨コード	決済に利用された通貨を返却します。
11	CardNo	-	CHAR	16	カード番号	下4桁以外は伏字
12	Expire	-	CHAR	4	有効期限	
13	Method	-	CHAR	1	支払方法	以下のいずれかが返却されます。 1 : 一括 2 : 分割 3 : ボーナス一括 4 : ボーナス分割 5 : リボ
14	PayTimes	-	NUMBER	2	支払回数	
15	Forward	-	CHAR	7	仕向先会社コード	
16	TranID	-	CHAR	28	トランザクションID	
17	Approve	-	CHAR	7	承認番号	
18	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
19	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
20	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
21	PayType	-	CHAR	2	決済方法	6 : iDネット
22	PaymentTerm	-	CHAR	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss書式
23	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
24	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

Pay-easy決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 PAYSUCCESS : 決済完了 EXPIRED : 期限切れ CANCEL : 支払停止
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	Amount	-	NUMBER	10	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
6	Tax	-	NUMBER	10	税送料	
7	SiteID	-	CHAR	13	サイトID	
8	Currency	-	CHAR	3	通貨コード	決済に利用された通貨を返却します。
9	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
10	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
11	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
12	PayType	-	CHAR	2	決済方法	4 : Pay-easy
13	CustID	-	CHAR	11	お客様番号	Pay-easyお客様番号
14	BkCode	-	CHAR	5	収納機関番号	Pay-easy収納機関番号
15	ConfNo	-	CHAR	20	確認番号	Pay-easy確認番号
16	EncryptReceiptNo	-	CHAR	128	暗号化決済番号	Pay-easy暗号化決済番号
17	PaymentTerm	-	CHAR	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss書式
18	PayeasyPaymentURL	-	CHAR	256	金融機関選択画面URL	
19	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
20	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

コンビニ決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 PAYSUCCESS : 決済完了 EXPIRED : 期限切れ CANCEL : 支払停止
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	Amount	-	NUMBER	10	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
6	Tax	-	NUMBER	10	税送料	
7	SiteID	-	CHAR	13	サイトID	
8	Currency	-	CHAR	3	通貨コード	決済に利用された通貨を返却します。
9	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
10	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
11	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
12	PayType	-	CHAR	2	決済方法	3 : コンビニ
13	CvsCode	-	CHAR	5	支払先コンビニコード	支払先コンビニ会社コード
14	CvsConfNo	-	CHAR	20	確認番号	コンビニ確認番号
15	CvsReceiptNo	-	CHAR	32	受付番号	支払先コンビニが返却した受付番号
16	PaymentTerm	-	CHAR	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss書式
17	FinishDate	-	CHAR	8	入金確定日	yyyyMMdd書式 ※本番環境での利用開始は2020年12月15日を予定しています。
18	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
19	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

楽天Edy決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 PAYSUCCESS : 決済完了 PAYFAIL : 決済失敗 EXPIRED : 期限切れ
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	Amount	-	NUMBER	10	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
6	Tax	-	NUMBER	10	税送料	
7	SiteID	-	CHAR	13	サイトID	
8	Currency	-	CHAR	3	通貨コード	決済に利用された通貨を返却します。
9	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
10	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
11	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
12	PayType	-	CHAR	2	決済方法	2 : 楽天Edy
13	EdyReceiptNo	-	CHAR	16	受付番号	Edy受付番号
14	EdyOrderNo	-	CHAR	40	Edy注文番号	オーダーID + "-" + 連番
15	PaymentTerm	-	CHAR	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss書式
16	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
17	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

モバイルSuica決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 PAYSUCCESS : 決済完了 PAYFAIL : 決済失敗 EXPIRED : 期限切れ
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	※ : 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※ : 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	Amount	-	NUMBER	10	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
6	Tax	-	NUMBER	10	税送料	
7	Currency	-	CHAR	3	通貨コード	決済に利用された通貨を返却します。
8	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
9	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
10	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
11	PayType	-	CHAR	2	決済方法	1 : モバイルSuica
12	SuicaReceiptNo	-	CHAR	9	受付番号	Suica受付番号
13	SuicaOrderNo	-	CHAR	40	Suica注文番号	オーダーID + "-" + 連番
14	PaymentTerm	-	CHAR	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss書式
15	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
16	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

WebMoney決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 PAYSTART : 決済開始 PAYSUCCESS : 決済完了 PAYFAIL : 決済失敗 EXPIRED : 期限切れ RETURN : 返品
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	Amount	-	NUMBER	10	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
6	Tax	-	NUMBER	10	税送料	
7	Currency	-	CHAR	3	通貨コード	決済に利用された通貨を返却します。
8	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
9	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
10	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
11	PayType	-	CHAR	2	決済方法	7 : WebMoney
12	PaymentTerm	-	CHAR	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss書式
13	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
14	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
15	WebMoneyManagementNo	-	CHAR	16	管理番号	購入に使用されたWebMoneyの管理番号
16	WebMoneySettleCode	-	CHAR	25	決済コード	WebMoneyセンターが返却した決済コード

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

auかんたん決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 AUTHPROCESS : 認証処理中 AUTH : 仮売上 SALES : 実売上 CAPTURE : 即時売上 PAYFAIL : 決済失敗 CANCEL : キャンセル RETURN : 返品
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	JobCd	-	CHAR	-	処理区分	AUTH : 仮売上 SALES : 実売上 CAPTURE : 即時売上 CANCEL : キャンセル RETURN : 返品
4	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	Amount	-	NUMBER	10	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
7	Tax	-	NUMBER	10	税送料	
8	Currency	-	CHAR	3	通貨コード	決済に利用された通貨を返却します。
9	SiteID	-	CHAR	13	サイトID	
10	MemberID	-	CHAR	60	会員ID	
11	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
12	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
13	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
14	PayType	-	CHAR	2	決済方法	8 : auかんたん
15	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
16	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
17	AuPayInfoNo	-	CHAR	16	au決済情報番号	購入に使用されたauかんたん決済の管理番号 お客様がau ID画面で確認できます。
18	AuPayMethod	-	CHAR	2	au支払方法	購入に使用されたauかんたん決済の支払方法
19	AuCancelAmount	-	NUMBER	7	キャンセル金額	キャンセル・返品した金額を返却します。
20	AuCancelTax	-	NUMBER	7	キャンセル税送料	キャンセル・返品した税送料を返却します。
21	AuAcceptCode	-	CHAR	14	au承諾番号	随時決済時に指定されたau承諾番号を返却します。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

ドコモ払い決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 AUTHPROCESS : 認証処理中 AUTH : 仮売上 SALES : 実売上 CAPTURE : 即時売上 PAYFAIL : 決済失敗 EXPIRED : 期限切れ CANCEL : キャンセル
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	JobCd	-	CHAR	-	処理区分	AUTH : 仮売上 SALES : 実売上 CAPTURE : 即時売上 CANCEL : キャンセル
4	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	Amount	-	NUMBER	10	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
7	Tax	-	NUMBER	10	税送料	
8	Currency	-	CHAR	3	通貨コード	決済に利用された通貨を返却します。
9	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
10	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
11	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
12	PayType	-	CHAR	2	決済方法	9 : ドコモ払い
13	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
14	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
15	DocomoSettlementCode	-	CHAR	12	ドコモ決済番号	オーソリ処理が正常終了した時にドコモから振り出される番号です。 利用者が加盟店へ問い合わせをする際に利用します。
16	DocomoCancelAmount	-	NUMBER	6	ドコモキャンセル金額	キャンセル・返品した金額を返却します。
17	DocomoCancelTax	-	NUMBER	6	ドコモキャンセル税送料	キャンセル・返品した税送料を返却します。
18	DocomoIncreaseAmount	-	NUMBER	6	ドコモ増額金額	増額した金額を返却します。
19	DocomoIncreaseTax	-	NUMBER	6	ドコモ増額税送料	増額した税送料を返却します。
20	DocomoAcceptCode	-	CHAR	12	ドコモ承諾番号	随時決済時に指定されたドコモ承諾番号を返却します。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

ドコモ継続課金決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 登録手続中 REQSUCCESS : 要求成功 AUTHPROCESS : 認証処理中 PAYFAIL : 決済失敗 REGISTER : 契約中 END : 契約終了 ERASE : 抹消 RUN-CHANGE : 変更処理中 RUN-END : 契約終了処理中
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	JobCd	-	CHAR	-	処理区分	REGISTER : 契約中 END : 終了
4	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	Amount	-	NUMBER	10	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
7	Tax	-	NUMBER	10	税送料	
8	Currency	-	CHAR	3	通貨コード	決済に利用された通貨を返却します。
9	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
10	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
11	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
12	PayType	-	CHAR	2	決済方法	10 : ドコモ継続課金
13	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
14	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
15	DocomoSettlementCode	-	CHAR	12	ドコモ決済番号	オーソリ処理が正常終了した時にドコモから振り出される番号です。 利用者が加盟店へ問い合わせをする際に利用します。
16	DocomoCancelAmount	-	NUMBER	6	ドコモキャンセル金額	キャンセル・返品した金額を返却します。
17	DocomoCancelTax	-	NUMBER	6	ドコモキャンセル税送料	キャンセル・返品した税送料を返却します。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

ソフトバンクまとめて支払い (B) 決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 AUTHPROCESS : 認証処理中 AUTH : 仮売上 SALES : 実売上 CAPTURE : 即時売上 PAYFAIL : 決済失敗 CANCEL : キャンセル
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	JobCd	-	CHAR	-	処理区分	AUTH : 仮売上 SALES : 実売上 CAPTURE : 即時売上 CANCEL : キャンセル
4	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	Amount	-	NUMBER	10	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
7	Tax	-	NUMBER	10	税送料	
8	Currency	-	CHAR	3	通貨コード	決済に利用された通貨を返却します。
9	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
10	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
11	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
12	PayType	-	CHAR	2	決済方法	11: ソフトバンクまとめて支払い (B)
13	PaymentTerm	-	CHAR	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss書式
14	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
15	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
16	SbTrackingId	-	CHAR	14	ソフトバンク 処理トラッキングID	ソフトバンクまとめて支払い (B) 決済時のみ返却 オーソリ処理が正常終了した時にソフトバンクから振り出される番号です。 利用者が加盟店へ問い合わせをする際に利用します。
17	SbCancelAmount	-	NUMBER	5	ソフトバンクキャンセル金額	ソフトバンクまとめて支払い (B) 決済時のみ返却 キャンセルした金額を返却します。
18	SbCancelTax	-	NUMBER	5	ソフトバンクキャンセル税送料	ソフトバンクまとめて支払い (B) 決済時のみ返却 キャンセルした税送料を返却します。
19	SbAcceptCode	-	CHAR	14	SB承諾番号	随時決済時に指定されたSB承諾番号を返却します。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

auかんたん決済継続課金

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 AUTHPROCESS : 認証処理中 CERT_DONE : 決済認可完了 REGISTER : 継続課金登録 CANCEL : 継続課金解約 PAYFAIL : 決済失敗
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	JobCd	-	CHAR	-	処理区分	
4	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	Amount	-	NUMBER	7	課金利用金額	決済または決済依頼をした継続課金利用金額を返却します。
7	Tax	-	NUMBER	7	課金税送料	決済または決済依頼をした継続課金税送料を返却します。
8	SiteID	-	CHAR	13	サイトID	
9	MemberID	-	CHAR	60	会員ID	
10	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
11	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
12	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
13	PayType	-	CHAR	2	決済方法	13 : auかんたん決済継続課金
14	AuPayMethod	-	CHAR	2	au支払方法	購入に使用されたauかんたん決済の支払方法
15	AccountTimingKbn	-	CHAR	2	課金タイミング区分	01 : 日指定 02 : 月末日
16	AccountTiming	-	CHAR	2	課金タイミング	1~28
17	FirstAccountDate	-	CHAR	8	初回課金日	yyyyMMddフォーマット
18	FirstAmount	-	NUMBER	7	初回課金利用金額	決済または決済依頼をした初回課金利用金額を返却します。
19	FirstTax	-	NUMBER	7	初回課金税送料	決済または決済依頼をした継続課金税送料を返却します。
20	AuContinuanceErrCode	-	CHAR	3	au継続課金エラーコード	au継続課金の処理でエラーが発生したときの取引の結果を取得する場合に返却します。
21	AuContinuanceErrInfo	-	CHAR	9	au継続課金エラー詳細コード	au継続課金の処理でエラーが発生したときの取引の結果を取得する場合に返却します。
22	AuContinueAccountID	-	CHAR	11	au継続課金ID	KDDIにて採番されるID
23	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
24	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

JCBプリカ決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 SALES : 実売上 CANCEL : キャンセル
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	JobCd	-	CHAR	-	処理区分	
4	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	
5	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	
6	Amount	-	NUMBER	7	利用金額	
7	Tax	-	NUMBER	7	税送料	
8	CardNo	-	CHAR	32	カード番号	
9	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
10	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
11	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
12	PayType	-	CHAR	2	決済方法	14 : JCBプリカ
13	JcbPrecaSalesCode	-	CHAR	20	伝票番号	JCBプリカセンターに登録する取引を 識別する番号
14	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
15	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

NET CASH・nanacoギフト決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED：未決済 REQSUCCESS：要求成功 PAYSTART：決済開始 PAYSUCCESS：決済完了 PAYFAIL：決済失敗 EXPIRED：期限切れ
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	Amount	-	NUMBER	10	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
6	Tax	-	NUMBER	10	税送料	
7	Currency	-	CHAR	3	通貨コード	決済に利用された通貨を返却します。
8	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
9	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
10	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
11	PayType	-	CHAR	2	決済方法	16：NET CASH・nanacoギフト
12	NetCashPayType	-	CHAR	40	決済方法	NET CASH決済：NETCASH nanacoギフト決済：NNCGIFT
13	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
14	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

楽天ペイ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 PAYSTART : 決済開始 PAYFAIL : 決済失敗 EXPIRED : 期限切れ AUTH : 仮売上 CAPTURE : 即時売上 REQSALES : 実売上受付 REQCANCEL : キャンセル受付 REQCHANGE : 金額変更受付 SALES : 実売上 CANCEL : キャンセル REGISTER : 申込完了 REQAUTH : 仮売上受付 REQCAPTURE : 即時売上受付
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	Amount	-	NUMBER	8	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
6	Tax	-	NUMBER	8	税送料	
7	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
8	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
9	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
10	PayType	-	CHAR	2	決済方法	18 : 楽天ペイ
11	JobCd	-	CHAR	7	処理区分	AUTH : 仮売上 CAPTURE : 即時売上
12	OrderDate	-	CHAR	14	注文日	yyyyMMddHHmmss書式
13	CompletionDate	-	CHAR	8	完了日	売上確定、注文キャンセル、注文金額変更処理の完了日を返却します。 yyyyMMdd書式
14	RakutenidCouponFee	-	NUMBER	8	クーポン金額	決済時に使用されたクーポンの金額です。クーポンが使用されていない取引の場合、0になります。
15	SubscriptionId	-	CHAR	20	サブスクリプションID	
16	SettlementSubscriptionId	-	CHAR	20	決済用サブスクリプションID	
17	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
18	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

多通貨クレジットカード決済 (MCP)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 AUTHENTICATED : 要求成功 PAYSTART : 決済開始 PAYFAIL : 決済失敗 EXPIRED : 期限切れ AUTH : 仮売上 CAPTURE : 即時売上 REQSALES : 売上要求中 REQRETURN : 返品要求中 REQCAPTURE : 即時売上要求中 SALES : 実売上 RETURN : 返品 CANCEL : 取消
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	JobCd	-	CHAR	-	処理区分	CAPTURE : 即時売上 AUTH : 仮売上
4	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	ItemCode	-	CHAR	7	商品コード	
7	Amount	-	NUMBER	10	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
8	Tax	-	NUMBER	10	税送料	決済または決済依頼をした税送料を返却します。
9	SiteID	-	CHAR	13	サイトID	
10	MemberID	-	CHAR	60	会員ID	
11	CardNo	-	CHAR	16	カード番号	下4桁以外は伏字
12	Expire	-	CHAR	4	有効期限	
13	Method	-	CHAR	1	支払方法	以下が返却されます。 1 : 一括
14	PayTimes	-	NUMBER	2	支払回数	
15	Forward	-	CHAR	7	仕向先会社コード	
16	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
17	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
18	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
19	PayType	-	CHAR	2	決済方法	19 : 多通貨クレジットカード決済 (MCP)
20	Currency	-	CHAR	3	通貨コード	決済に利用された通貨を返却します。
21	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
22	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

ネット銀聯決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 PAYSTART : 決済開始 PAYFAIL : 決済失敗 EXPIRED : 期限切れ AUTH : 仮売上 CAPTURE : 即時売上 REQSALES : 実売上要求中 REQRETURN : 返品要求中 REQCANCEL : キャンセル要求中 SALES : 実売上 RETURN : 返品 CANCEL : キャンセル
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	JobCd	-	CHAR	-	処理区分	CAPTURE : 即時売上 AUTH : 仮売上 SALES : 実売上 RETURN_CAPTURE : 返品(即時売上) RETURN_SALES : 返品(実売上) CANCEL_CAPTURE : キャンセル(即時売上) CANCEL_SALES : キャンセル(実売上) CANCEL_AUTH : キャンセル(仮売上)
4	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	Amount	-	NUMBER	8	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
7	Tax	-	NUMBER	7	税送料	決済または決済依頼をした税送料を返却します。
8	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
9	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
10	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
11	PayType	-	CHAR	2	決済方法	21 : ネット銀聯
12	CommodityName		CHAR	255	商品名	
13	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
14	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

ソフトバンクまとめて支払い (B) 継続課金決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 AUTHPROCESS : 認証処理中 AUTHCANCEL : 認証処理キャンセル REGISTER : 継続課金登録 PAYFAIL : 継続課金登録失敗 EXPIRED : 期限切れ CANCEL : 継続課金解約
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	JobCd	-	CHAR	-	処理区分	CHARGE : 課金申込 CANCEL : 継続課金解約
4	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	※ : 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※ : 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	Amount	-	NUMBER	6	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
7	Tax	-	NUMBER	6	税送料	
8	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
9	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
10	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
11	PayType	-	CHAR	2	決済方法	22 : ソフトバンクまとめて支払い (B) 継続課金
12	PaymentTerm	-	CHAR	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss書式
13	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
14	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
15	SbTrackingId	-	CHAR	14	ソフトバンク 処理トラッキングID	継続課金申込処理が正常終了した時にソフトバンクから振り出される番号です。利用者が加盟店へ問い合わせをする際に利用します。
16	SbStartChargeMonth	-	CHAR	6	課金開始月	yyyyMM書式

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

銀行振込(バーチャル口座)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 TRADING : 取引中 TRANSFERRED : 入金済み EXPIRED : 有効期限切れ
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	Amount	-	NUMBER	8	利用金額(振込依頼金額)	振込依頼をした金額を返却します。
6	Tax	-	NUMBER	7	税送料(振込依頼金額)	振込依頼をした金額を返却します。
7	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
8	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
9	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
10	PayType	-	CHAR	2	決済方法	23 : 銀行振込(バーチャル口座)
11	VaExpireDate	-	CHAR	8	振込有効期限	yyyyMMdd書式
12	VaTradeReason	-	CHAR	96	振込事由	振込依頼内容を返却します。
13	VaTradeClientName	-	CHAR	64	振込依頼先氏名	決済実行時に指定した振込依頼人名を返却します。
14	VaTradeClientMailaddress	-	CHAR	256	振込依頼先メールアドレス	決済実行時に指定した振込依頼人メールアドレスを返却します。
15	VaAccountNumber	-	CHAR	7	口座番号	口座番号を返却します。
16	VaBankCode	-	CHAR	4	銀行コード	銀行コードを返却します。
17	VaBankName	-	CHAR	45	銀行名	銀行名を返却します。
18	VaBranchCode	-	CHAR	3	支店コード	支店コードを返却します。
19	VaBranchName	-	CHAR	45	支店名	支店名を返却します。
20	VaAccountType	-	CHAR	1	預金種別	預金種別を返却します。 1 : 普通預金、2 : 当座預金
21	VaReserveID	-	CHAR	32	継続口座ID	継続口座IDを返却します。
22	VaInquiryNumber	-	CHAR	8	照会番号	銀行から返された照会番号を返却します。
23	VaInSettlementDate	-	CHAR	8	勘定日	勘定日を返却します。 yyyyMMdd書式
24	VaInAmount	-	CHAR	8	入金金額	入金金額を返却します。
25	VaInClientName	-	CHAR	144	振込依頼人名	振込依頼人を返却します。
	VaRequestAmount	-	CHAR	16	振込要求金額	利用金額+税送料の値を返却します。
	VaInClientCode	-	CHAR	10	振込依頼人コード	振込依頼人コードを返却します。
26	VaInSummary	-	CHAR	60	摘要	摘要を返却します。
27	VaTradeCode	-	CHAR	7	振込コード	振込時に「依頼人名」に入力するコードを返却します。
28	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
29	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

リクルートかんたん支払い決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 AUTHPROCESS : 認証処理中 AUTH : 仮売上 SALES : 実売上 REQCAPTURE : 即時売上受付け CAPTURE : 即時売上 AUTOCANCEL : 自動キャンセル CANCEL : キャンセル RETURN : 返品 PAYFAIL : 決済失敗 EXPIRED : 期限切れ
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	JobCd	-	CHAR	-	処理区分	AUTH : 仮売上 CAPTURE : 即時売上
4	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	Amount	-	NUMBER	7	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
7	Tax	-	NUMBER	7	税送料	
8	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
9	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
10	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
11	PayType	-	CHAR	2	決済方法	24 : リクルートかんたん支払い
12	PaymentTerm	-	CHAR	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss書式
13	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
14	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
15	RcOrderId	-	CHAR	16	注文番号	決済の注文番号を返却します。 (リクルートかんたん支払いにて発行)
16	RcCustomerId		CHAR	256	顧客IDハッシュ値	リクルートIDのMD5ハッシュ値が返却されます。
17	RcOrderTime	-	CHAR	25	注文時刻	注文時間を返却します。
18	RcUsePoint	-	CHAR	13	行使ポイント数	購入者が行使したポイント数を返却します。
19	RcUseCoupon	-	CHAR	13	リクルート原資クーポン割引額	リクルート原資クーポンの割引額を返却します。 ※値引き額が絶対値で入ります。
20	RcUseShopCoupon	-	CAHR	13	加盟店様原資クーポン割引額	加盟店様原資クーポンの割引額を返却します。 ※値引き額が絶対値で入ります。
21	RcUpdateAuthDay	-	CAHR	8	オーソリ期限延長実施日	yyyyMMdd書式

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

リクルートかんたん支払い継続課金決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED：未決済 REQSUCCESS：要求成功 AUTHPROCESS：認証処理中 REGISTER：継続課金登録 PAYFAIL：継続課金登録失敗 EXPIRED：期限切れ CANCEL：継続課金解約
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	JobCd	-	CHAR	-	処理区分	CHARGE：課金申込 CHANGE：金額変更 CANCEL：継続課金解約
4	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	Amount	-	NUMBER	7	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
7	Tax	-	NUMBER	7	税送料	
8	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
9	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
10	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
11	PayType	-	CHAR	2	決済方法	25：リクルートかんたん支払い継続課金
12	PaymentTerm	-	CHAR	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss書式
13	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
14	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
15	RcContractId	-	CHAR	15	契約番号	継続課金の契約を一意に識別するIDを返却します。(リクルートかんたん支払いが発行)
16	RcOrderId	-	CHAR	16	注文番号	継続課金ごとに払い出す決済を一意に識別するIDを返却します。(リクルートかんたん支払いが発行)
17	RcOrderTime	-	CHAR	14	注文時刻	注文確定時間を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
18	RcCustomerId		CHAR	256	顧客IDハッシュ値	リクルートIDのMD5ハッシュ値が返却されます。
19	RcUsePoint	-	CHAR	13	行使ポイント数	購入者が行使したポイント数を返却します。
20	RcUseCoupon		CHAR	13	リクルート原資クーポン割引額	リクルート原資クーポンの割引額を返却します。 ※値引き額が絶対値で入ります。
21	RcUseShopCoupon		CHAR	13	加盟店様原資クーポン割引額	加盟店様原資クーポンの割引額を返却します。 ※値引き額が絶対値で入ります。
22	RcStartChargeMonth	-	CHAR	6	課金開始月	自動課金を行う開始月を返却します。 処理日時(ユーザが継続課金申込完了した日時)の翌月が設定されます。 yyyyMM書式

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

Paid決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 PAYFAIL : 決済失敗 AUTH : 仮売上 SALES : 実売上 RETURN : 返品 CANCEL : キャンセル
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	JobCd	-	CHAR	-	処理区分	AUTH : 仮売上 SALES : 実売上 CHANGE : 金額変更 RETURN : 返品 CANCEL : キャンセル
4	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	※ : 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※ : 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	Amount	-	NUMBER	10	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
7	Tax	-	NUMBER	10	税送料	
8	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
9	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
10	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
11	PayType	-	CHAR	2	決済方法	29 : Paid決済
12	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
13	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
14	PaidCancelAmount	-	NUMBER	10	Paidキャンセル金額	キャンセル・返品した金額を返却します。
15	PaidCancelTax	-	NUMBER	10	Paidキャンセル税送料	キャンセル・返品した税送料を返却します。
16	PaidBuyerID	-	CHAR	20	Paid取引先ID	決済実行時に指定したPaid取引先ID。
17	PaidCode	-	CHAR	27	Paid伝票番号	当サービスで発行した伝票番号。
18	PaidContents	-	CHAR	160	Paid注文内容	決済実行時に指定した注文内容。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

ドコモ払い(利用承諾)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 AUTHPROCESS : 認証中 PAYFAIL : 決済失敗 EXPIRED : 期限切れ REGISTER : 利用承諾 END : 利用承諾終了
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	JobCd	-	CHAR	-	処理区分	REGISTER : 利用承諾 END : 利用承諾終了
4	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
7	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
8	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
9	PayType	-	CHAR	2	決済方法	31 : ドコモ払い(利用承諾)
10	DocomoAcceptCode	-	CHAR	12	ドコモ承諾番号	処理が正常終了した時にドコモから振り出される番号です。 随時決済をする際に利用します。
11	ProcessLastDate	-	CHAR	14	最終処理日時	利用承諾を行った日時、またはドコモ承諾番号を使用して随時決済を行った日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
12	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
13	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

auかんたん決済(利用承諾)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED：未決済 REQSUCCESS：要求成功 AUTHPROCESS：認証中 PAYFAIL：決済失敗 REGISTER：利用承諾 END：利用承諾終了
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	JobCd	-	CHAR	-	処理区分	REGISTER：利用承諾 END：利用承諾終了
4	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	SiteID	-	CHAR	13	サイトID	
7	MemberID	-	CHAR	60	会員ID	
8	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
9	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
10	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
11	PayType	-	CHAR	2	決済方法	33：auかんたん決済(利用承諾)
12	AuPayMethod	-	CHAR	2	au支払方法	購入に使用されたauかんたん決済の支払方法
13	AuAcceptCode	-	CHAR	14	au承諾番号	処理が正常終了した時払い出される番号です。 随時決済をする際に利用します。
14	ProcessLastDate	-	CHAR	14	最終処理日時	利用承諾を行った日時、またはau承諾番号を使用して随時決済を行った日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
15	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
16	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

ソフトバンクまとめて支払い (B) 決済(利用承諾)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 AUTHPROCESS : 認証中 PAYFAIL : 決済失敗 REGISTER : 利用承諾 END : 利用承諾終了
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	JobCd	-	CHAR	-	処理区分	REGISTER : 利用承諾 END : 利用承諾終了
4	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※: 同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
7	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
8	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
9	PayType	-	CHAR	2	決済方法	34 : ソフトバンクまとめて支払い (B) (利用承諾)
10	SbAcceptCode	-	CHAR	14	SB承諾番号	処理が正常終了した時にソフトバンクから振り出される番号です。 随時決済をする際に利用します。
11	ProcessLastDate	-	CHAR	14	最終処理日時	利用承諾を行った日時、またはSB承諾番号を使用して随時決済を行った日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
12	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
13	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

PAYSLE決済（PAYSLEアプリ方式）

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED：未決済 REQSUCCESS：要求成功 PAYWAITING：支払待ち PAYSUCCESS：決済完了 PAYFAIL：決済失敗 REQCANCEL：支払停止受付 CANCEL：支払停止
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	Amount	-	NUMBER	10	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
6	Tax	-	NUMBER	10	税送料	
7	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
8	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
9	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
10	PayType	-	CHAR	2	決済方法	35：PAYSLE
11	PaysleDisplayTerm	-	CHAR	8	表示開始日	PAYSLEアプリでのバーコード表示開始日を返却します。 yyyyMMdd書式
12	PayslePaymentTerm	-	CHAR	8	支払期限日	バーコードの支払期限日を返却します。 yyyyMMdd書式
13	PaysleNotifyTerm	-	CHAR	8	購入者通知日	お客様のPAYSLEアプリへの支払通知日です。 yyyyMMdd書式
14	PaysleOrderSerial	-	CHAR	18	注文管理ID	PAYSLE事業者が発行する注文管理IDです。
15	PaysleResultCode	-	CHAR	1	収納結果	1：支払い 2：確定 3：支払取消
16	FinishDate	-	CHAR	14	入金日時	お客様がコンビニでお支払いをした日時です。 yyyyMMddHHmmss書式
17	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
18	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

PAYSLE決済（事業者アプリ方式）

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED：未決済 REQSUCCESS：要求成功 PAYSUCCESS：決済完了 CANCEL：支払停止
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	Amount	-	NUMBER	10	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
6	Tax	-	NUMBER	10	税送料	
7	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
8	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
9	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
10	PayType	-	CHAR	2	決済方法	35：PAYSLE
11	PayslePaymentTerm	-	CHAR	8	支払期限日	バーコードの支払期限日を返却します。 yyyyMMdd書式
12	PaysleOrderSerial	-	CHAR	18	注文管理ID	PAYSLE事業者が発行する注文管理IDです。
13	PaysleBarcodeWidth	-	CHAR	5	バーコードイメージ横幅	単位はpxです。
14	PaysleBarcodeHeight	-	CHAR	5	バーコードイメージ縦幅	単位はpxです。
15	PaysleBarcodeFormat	-	CHAR	10	バーコードイメージ形式	jpg/png/bmp
16	PaysleResultCode	-	CHAR	1	収納結果	1：支払い 2：確定 3：支払取消
17	FinishDate	-	CHAR	14	支払日時	yyyyMMddHHmmss書式
18	PaysleBarcode	-	CHAR	-	バーコードデータ	BASE64でエンコードされた文字列です。
19	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列（※1）
20	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列（※1）

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。（必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります）

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

31. 不正住所検知サービスインタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

※照会結果は、該当データの有無に関わらず、加盟店様のリスクを弊社が保証するものではありません。

31.1. 同時実行数について

照会 I / F の同時実行数は、ショップ単位で一つとなります。

照会実行中に【照会データ登録】を呼び出すと、エラーになりますのでご注意ください。

31.2. 照会結果について

照会結果の履歴は保存しておりませんので、次回の照会データ登録までに照会結果の取得を実施してください。

不正住所データは定期的に更新されますので、前回と結果が一致しない場合がございます。

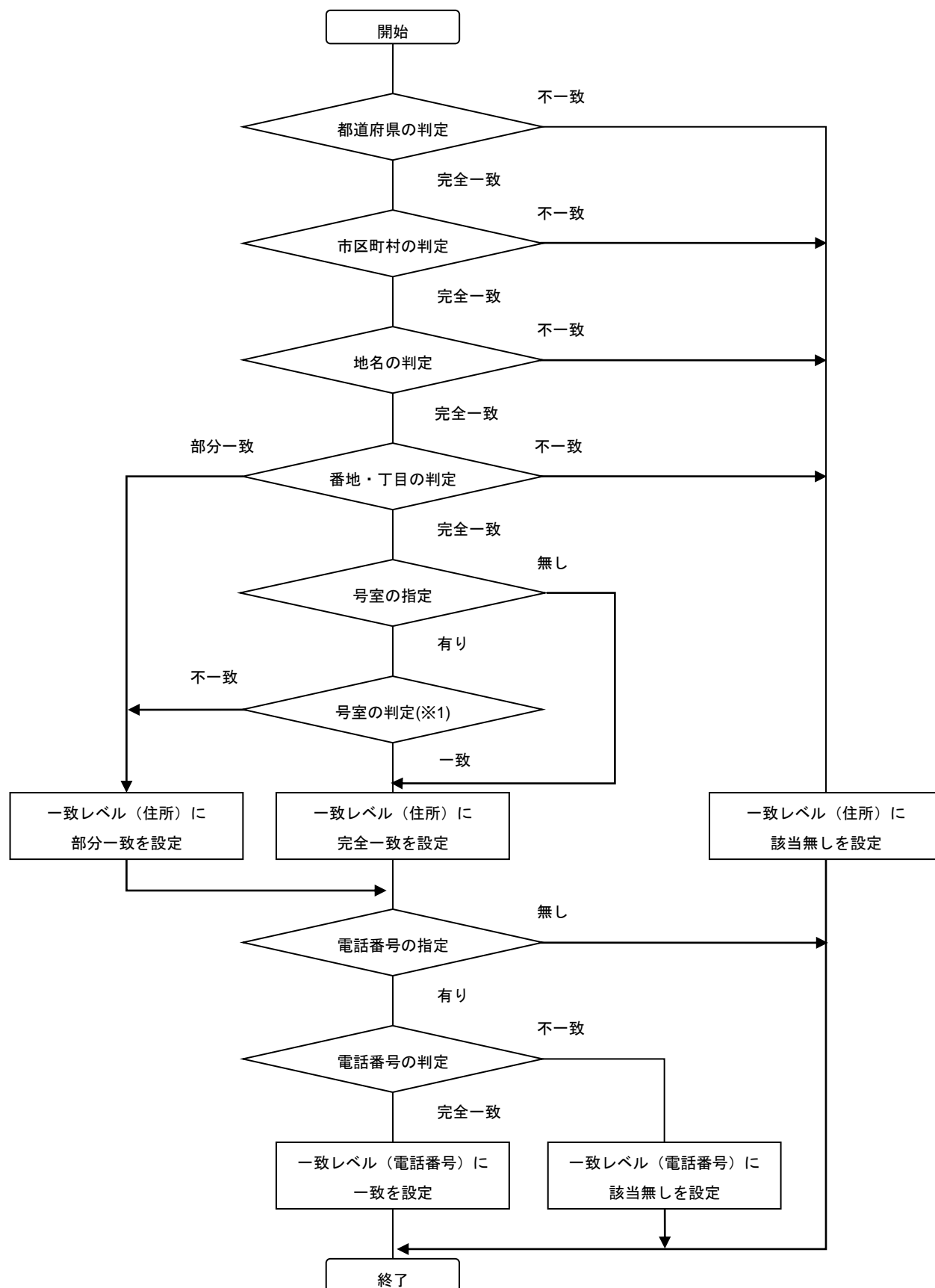
表 31.2-1 照会条件ごとの判定と照会結果の一致レベルについて

照会条件ごとの判定						照会結果	
住所					電話番号	一致レベル	
都道府県	市区町村	地名	番地・丁目	号室		住所	電話番号
完全一致			指定無し	指定無し	指定無し	完全一致	
					完全一致	完全一致	一致
					不一致	完全一致	該当無し
			一致 (※1)	一致 (※1)	指定無し	完全一致	
					完全一致	完全一致	一致
					不一致	完全一致	該当無し
			不一致	不一致	指定無し	部分一致	
					完全一致	部分一致	一致
					不一致	部分一致	該当無し
			部分一致	(※2)	指定無し	部分一致	
				(※2)	完全一致	部分一致	一致
				(※2)	不一致	部分一致	該当無し
不一致			不一致	(※2)	(※2)	該当無し	
			(※2)	(※2)	(※2)	該当無し	

※1：号室は、部分一致で対象があれば一致と判定します。

※2：照会条件の指定有無に関わらず、照会結果の判定には使用されません。

図 31.2-2 照会結果判定フロー



※1：号室は、部分一致で対象があれば一致と判定します。

31.3. 照会を実行する

照会データを登録し、照会結果を取得します。

31.3.1. 照会実行の流れ

以下に、照会実行の流れを説明します。

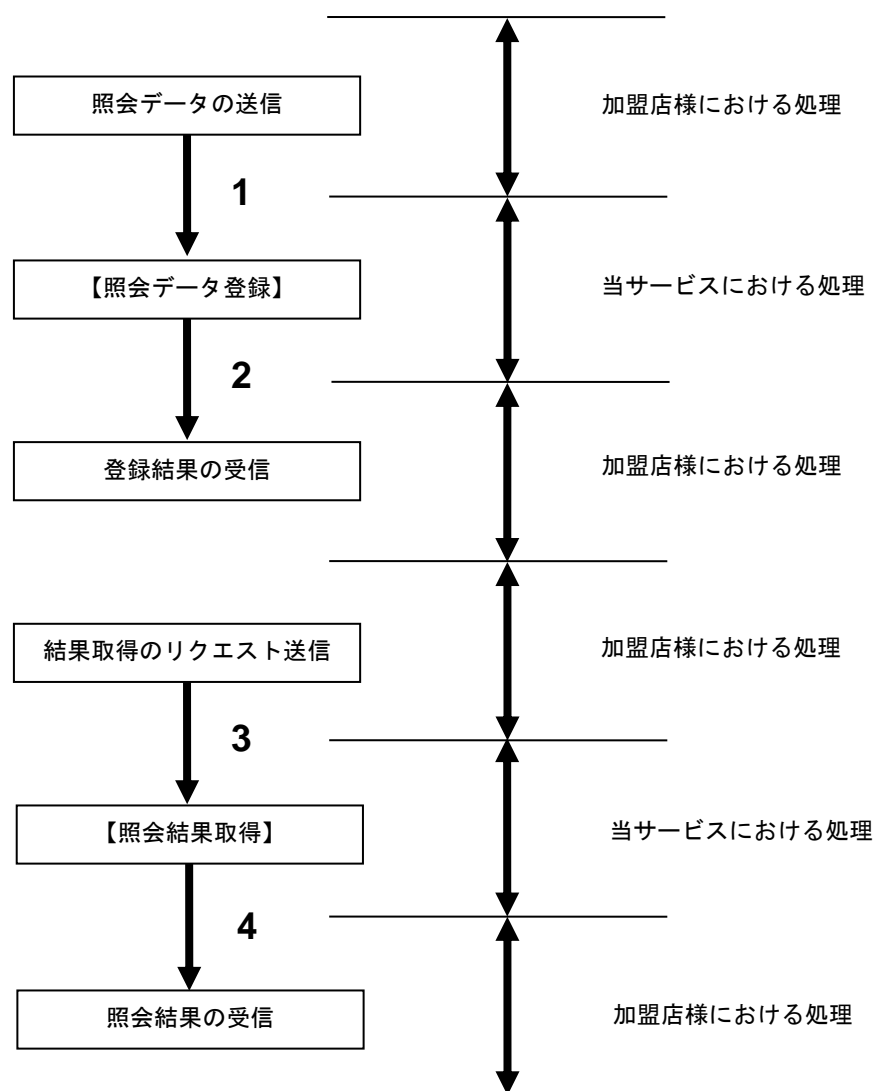


図 31.3.1-1 照会実行の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、照会条件を設定して当サービスの**【照会データ登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、照会を識別する為の照会 ID と登録結果を返します。
3. 加盟店様は、照会 ID を設定して当サービスの**【照会結果取得】**を呼び出します。
4. 当サービスは、照会結果を返します。

31.3.2. 各インタフェース仕様詳細

31.3.2.1. 照会データ登録

接続先URL

/payment/EntryInquiryData.idPass

インタフェース概要

照会データの登録を行い、照会を識別するための照会IDと登録結果を返します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	意味	備考
1	InquiryData	◎	照会データ	下記レコード構成のデータを設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 空白：省略可能】

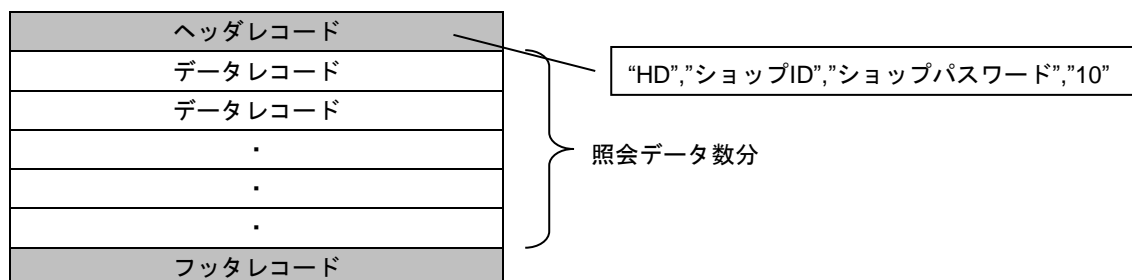
照会データは、ヘッダ、データ（照会データ数分）、フッタの3種類のレコード構成となります。

各レコードはCRLFで改行してください。

レコード項目は全て"(ダブルクォート)"にて、括ってください。

各項目の区切り文字には,(コンマ)を使用してください。

図 31.3.2.1-1 照会データの構成イメージ



■ヘッダレコード

No	項目	必須	型	桁	詳細
1	レコード区分	◎	CHAR	2	"HD"固定となります。
2	ショップID	◎	CHAR	13	ショップIDを設定します。
3	ショップパスワード	◎	CHAR	8	ショップパスワードを設定します。
4	データレコード件数	◎	NUMBER	5	データレコードの件数を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 空白：省略可能】

※CHAR型の桁数は設定可能な最大バイト数を表記しています。

■データレコード

No	項目	必須	型	桁	詳細
1	レコード区分	◎	CHAR	2	“DT”固定となります。
2	住所（都道府県）	◎	CHAR	16	照会条件の住所（都道府県）を設定します。 例）東京都
3	住所（市区町村）	◎	CHAR	32	照会条件の住所（市区町村）を設定します。 例）渋谷区
4	住所（地名）	◎	CHAR	64	照会条件の住所（地名）を設定します。 例）道玄坂
5	住所（番地・丁目）	◎	CHAR	64	照会条件の住所（番地・丁目）を設定します。 例）1-2-3
6	住所（号室）		CHAR	32	照会条件の住所（号室）を設定します。 例）101
7	電話番号		CHAR	13	照会条件の電話番号を設定します。 半角数字、-(ハイフン)が使用可能です。 例1) 09011112222 例2) 090-1111-2222

【必須項目の記号 ◎：必須 空白：省略可能】

※CHAR型の桁数は設定可能な最大バイト数を表記しています。

■フッタレコード

No	項目	必須	型	桁	詳細
1	レコード区分	◎	CHAR	2	“FT”固定となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 空白：省略可能】

※CHAR型の桁数は設定可能な最大バイト数を表記しています。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。(※1)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	リクエスト時に指定された値です。
2	InquiryID	-	CHAR	20	照会ID	照会を識別する為のIDが設定されます。 照会結果の取得時に必要となりますので 保管してください。
3	RecNum	-	NUMBER	5	データレコード件数	リクエスト時に指定された値です。
4	RegRecNum	-	NUMBER	5	照会登録レコード件数	データレコードの内、照会実行可能なデ ータとして登録された件数です。
5	ErrRecNum	-	NUMBER	5	フォーマットNGレ コード件数	データレコードの内、フォーマットが不正なレコードの件数です。 ※対象レコードの照会は実行されません。
6	ErrCode	-	CHAR	-	エラーコード	照会データの登録に失敗した場合のみ返却されます。 エラーが複数ある場合は" "で接続された 文字列が設定されます。(※2) ※照会処理は実行されません。
7	ErrInfo	-	CHAR	-	エラー詳細コード	照会データの登録に失敗した場合のみ返却されます。 エラーが複数ある場合は" "で接続された 文字列が設定されます。(※2)

※CHAR型の桁数は設定される最大バイト数を表記しています。

※1：登録成功時：ShopID=xxx&InquiryID=20090814100000-12345&RecNum=10&RegRecNum=10&ErrRecNum=0
登録失敗時：ErrCode=F01&ErrInfo=F01001001

※2：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode= F01|F01|F01|F01|F01&ErrInfo=F01001001|F01002001|F01003002|F01030001|F01030006

31.3.2.2. 照会結果取得

接続先URL

/payment/GetInquiryResult.idPass

インタフェース概要

照会状況及び照会結果を返します。

照会結果の履歴は保存しておりませんので、次回の照会データ登録までに照会結果の取得を実施してください。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	ショップIDを設定します。
2	InquiryID	◎	CHAR	20	照会ID	【照会データ登録】で発行された値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 空白：省略可能】

※CHAR型の桁数は設定可能な最大バイト数を表記しています。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	意味	備考
1	InquiryResult	-	照会結果データ	下記レコード構成のデータを返却します。

【必須項目の記号 ◎：必須 空白：省略可能】

照会結果データは、照会実行中と照会完了後ではレコード構成が異なります。

照会実行中は、ヘッダ、フッタの2種類のレコード構成となります。

(照会結果の取得に失敗した場合も同様となります。)

照会完了後は、ヘッダ、データ(照会データ数分)、フッタの3種類のレコード構成となります。

各レコードはCRLFで改行されています。

レコード項目は全て"(ダブルクォート)にて、括られています。

各項目は,(コンマ)で区切られています。

図 31.3.2.2-1 照会実行中の照会結果データの構成イメージ

ヘッダレコード	
フッタレコード	"HD","ショップID","照会ID","1","10","10","0","1","5","0","",""

※照会結果の取得に失敗した場合も上記のレコード構成となります。

図 31.3.2.2-1 照会データの構成イメージ

ヘッダレコード	
データレコード	"HD","ショップID","照会ID","2","10","10","0","0","10",""
データレコード	
.	
.	
.	
フッタレコード	

照会データ数分

■ヘッダレコード

No	項目	型	桁	詳細
1	レコード区分	CHAR	2	"HD"固定となります。
2	ショップID	CHAR	13	リクエスト時に指定された値です。
3	照会ID	CHAR	20	リクエスト時に指定された値です。
4	照会ステータス	CHAR	1	照会状況が設定されます。 0：登録（照会データ登録後、照会実行待ちの状態です） 1：実行中 2：照会完了
5	データレコード件数	NUMBER	5	【照会データ登録】で指定された値です。
6	照会登録レコード件数	NUMBER	5	データレコードの内、照会実行可能なデータとして登録された件数です。
7	フォーマットNGレコード件数	NUMBER	5	データレコードの内、フォーマットが不正なレコードの件数です。
8	照会実行中レコード件数	NUMBER	5	データレコードの内、照会実行中のレコードの件数です。
9	照会完了レコード件数	NUMBER	5	データレコードの内、照会が完了したレコードの件数です。
10	照会失敗レコード件数	NUMBER	5	データレコードの内、照会が失敗したレコードの件数です。
11	エラーコード	CHAR	3	照会結果の取得に失敗した場合のみ値が設定されます。
12	エラー詳細コード	CHAR	9	照会結果の取得に失敗した場合のみ値が設定されます。

※CHAR型の桁数は設定される最大バイト数を表記しています。

■データレコード

No	項目	型	桁	詳細
1	レコード区分	CHAR	2	"DT"固定となります。
2	住所（都道府県）	CHAR	16	【照会データ登録】で指定された値です。
3	住所（市区町村）	CHAR	32	【照会データ登録】で指定された値です。
4	住所（地名）	CHAR	64	【照会データ登録】で指定された値です。
5	住所（番地・丁目）	CHAR	64	【照会データ登録】で指定された値です。
6	住所（号室）	CHAR	32	【照会データ登録】で指定された値です。
7	電話番号	CHAR	13	【照会データ登録】で指定された値です。
8	一致レベル（住所）	CHAR	1	照会条件に指定された住所での一致レベルが設定されます。 0：該当無し 1：部分一致 2：完全一致 ※フォーマットNG、照会失敗の場合は""固定となります。
9	一致レベル（電話番号）	CHAR	1	照会条件に指定された電話番号での一致レベルが設定されます。 0：該当無し 1：一致 ※条件指定無し、住所での一致レベルが該当無し、フォーマットNG、照会失敗の場合は""固定となります
10	状態コード	CHAR	8	レコードの状態が設定されます。 INVALID：フォーマットNG COMPLETE：照会完了 FAIL：照会失敗 ※フォーマットNGのレコードの照会の実行されません。
11	エラーコード	CHAR	3	フォーマットNG、照会失敗の場合のみ値が設定されます。
12	エラー詳細コード	CHAR	9	フォーマットNG、照会失敗の場合のみ値が設定されます。
13	処理日時	CHAR	14	処理を行った日時が設定されます。 書式は、"yyyymmddhhmmss"となります。

※CHAR型の桁数は設定される最大バイト数を表記しています。

■フッタレコード

No	項目	型	桁	詳細
1	レコード区分	CHAR	2	"FT"固定となります。

※CHAR型の桁数は設定される最大バイト数を表記しています。

31.4. 単発照会を実行する

照会データを指定し、照会します。

31.4.1. 単発照会実行の流れ

以下に、単発照会実行の流れを説明します。

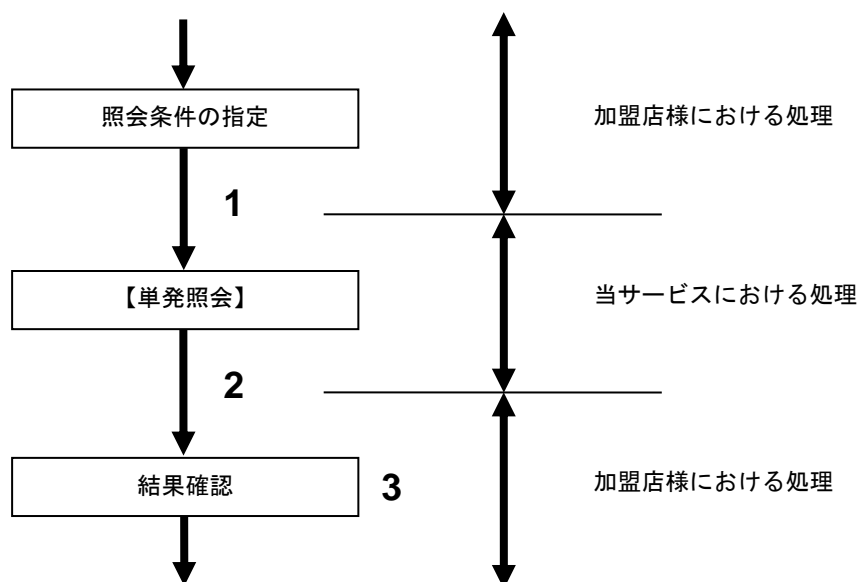


図 31.4.1-1 単発照会の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、照会条件を指定して当サービスの**【単発照会】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された条件で照会処理を実行し、照会結果を返します。
3. 加盟店様は、照会結果を確認します。

31.4.2. 各インタフェース仕様詳細

31.4.2.1. 単発照会

接続先URL

/payment/SearchNac.idPass

インタフェース概要

単発照会処理を実行します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	InquiryID	◎	CHAR	27	検索ID	加盟店様が検索を識別するための値を設定します。
4	Address1	◎	CHAR	16	住所（都道府県）	照会条件の住所（都道府県）を設定します。
5	Address2	◎	CHAR	32	住所（市区町村）	照会条件の住所（市区町村）を設定します。
6	Address3	◎	CHAR	64	住所（地名）	照会条件の住所（地名）を設定します。
7	Address4	◎	CHAR	64	住所（番地・丁目）	照会条件の住所（番地・丁目）を設定します。
8	Address6		CHAR	32	住所（号室）	照会条件の住所（号室）を設定します。
9	TelNo		CHAR	13	電話番号	照会条件の電話番号を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。(※1)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	リクエスト時に指定された値です。
2	InquiryID	-	CHAR	27	照会ID	リクエスト時に指定された値です。
3	Address1	-	CHAR	16	住所（都道府県）	リクエスト時に指定された値です。
4	Address2	-	CHAR	32	住所（市区町村）	リクエスト時に指定された値です。
5	Address3	-	CHAR	64	住所（地名）	リクエスト時に指定された値です。
6	Address4	-	CHAR	64	住所（番地・丁目）	リクエスト時に指定された値です。
7	Address6	-	CHAR	32	住所（号室）	リクエスト時に指定された値です。
8	TelNo	-	CHAR	13	電話番号	リクエスト時に指定された値です。
9	LevelAddress	-	CHAR	1	一致レベル（住所）	照会条件に指定された住所での一致レベルが設定されます。 0：該当無し 1：部分一致 2：完全一致 ※エラー発生時は""固定となります。
10	LevelTelNo	-	CHAR	1	一致レベル（電話番号）	照会条件に指定された電話番号での一致レベルが設定されます。 0：該当無し 1：一致 ※条件指定無し、住所での一致レベルが該当無し、エラー発生時は""固定となります
11	ErrInfo	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)
12	ErrCode	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：登録成功時：ShopID=xxx&InquiryID=20090814100000-1234567890-1&&Address1=東京都&Address2=テスト区 &Address3=テスト町&Address4=1-1-1&Address6=101号室&TelNo=03-1234-5678&LevelAddress=0&LevelTelNo=0

登録失敗時：ErrCode=F01&ErrInfo=F01001001

※2：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode= F01|F01|F01&ErrInfo=F01001001|F01002001|F01003002

32. PAYSLE決済（PAYSLEアプリ方式）インタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

PAYSLE アプリ方式では、お客様のスマートフォンにインストールされた PAYSLE アプリに決済用のバーコードを表示し決済を行います。

32.1. PAYSLE決済依頼をする

お客様が購入時に PAYSLE 決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。当サービスは非同期で PAYSLE センターに電子バーコード作成依頼を行います。電子バーコード作成依頼が成功すると、お客様の PAYSLE アプリに支払い用バーコードが表示されます。（加盟店様が決済実行を実施してから 30 分～60 分程度かかります。）

決済依頼を行う前に、お客様のスマートフォンに PAYSLE アプリがインストールされている必要があります。

32.1.1. PAYSLE決済の流れ

以下に、PAYSLE決済の流れを説明します。

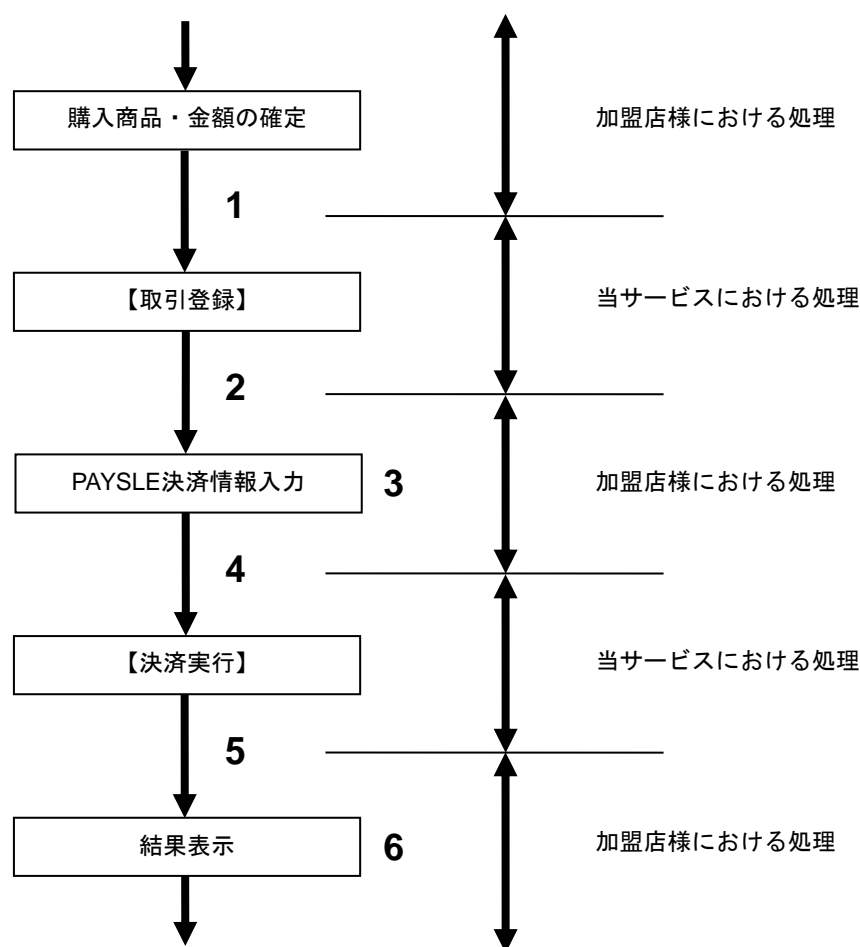


図 32.1.1-1 PAYSLE決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、お客様にPAYSLE決済に必要な情報を入力する画面を表示します。
4. 加盟店様は、入力されたPAYSLE決済情報をもって当サービスの**【決済実行】**を呼び出します。
5. 当サービスは、PAYSLE決済情報を受け付けた結果を返します。その後、非同期にて後続の決済センターと通信を行い電子バーコード作成依頼を実施します。
(電子バーコード作成依頼が成功すると、PAYSLEからお客様に認証URLが記載されたSMSが送信されます。お客様は認証URLを押下し認証操作をします。(認証の際にPAYSLEアプリのログインアカウントとパスワードが必要になります。)その後、PAYSLEアプリがインストールされたスマートフォンにバーコード発行の通知が表示(メッセージやアイコン上のバッジ等)されます。またお客様によるSMS認証は最初の1度のみとなります。)
6. 加盟店様は、決済の結果をお客様に表示します。

32.1.2. 各インタフェース仕様詳細

32.1.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranPaysle.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	10	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	Amount	◎	NUMBER	6	利用金額	利用金額+税送料が1円～300,000円である必要があります。
6	Tax		NUMBER	6	税送料	未指定の場合「0」となります。
7	PaymentType	◎	CHAR	1	決済タイプ	1: PAYSLEアプリ方式 ※ご契約内容により利用可能な決済タイプが異なります。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

32.1.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranPaysle.idPass

インタフェース概要

決済処理を受け付けます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	10	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
8	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
9	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
10	DisplayTermDay		CHAR	2	表示開始日数	PAYSLEアプリでのバーコード表示開始日数です。 0～170まで指定できます。 ・決済実行日が2018年1月1日の場合 表示開始日数に0を指定すると、表示日は2018年1月1日になります。 表示開始日数に60を指定すると、表示日は2018年3月2日になります。 省略時は、ショップ情報に設定された表示開始日数で処理されます。表示開始日数の初期値は「0」です。変更する際はショップ管理画面より変更してください。
11	PaymentTermDay		CHAR	3	支払期限日数	バーコードの支払期限日数です。 1～170まで指定できます。 表示開始日数と同値または大きい値を指定してください。 ・決済実行日が2018年1月1日の場合 支払期限日数に1を指定すると、支払期限日は2018年1月2日になります。 支払期限日数に170を指定すると、支払期限日は2018年6月20日になります。 省略時は、ショップ情報に設定された支払期限日数で処理されます。支払期限日数の初期値は「30」です。変更する際はショップ管理画面より変更してください。

12	NotifyTermDay		CHAR	2	購入者通知日数	<p>お客様のPAYSLEアプリに支払通知を行う日数です。この日付を元に、「期限まであと×日」というPUSH通知がされます。</p> <p>1～170まで指定できます。</p> <p>表示開始日数と同値または大きい値、かつ支払期限日数と同値または小さい値を指定してください。</p> <p>・決済実行日が2018年1月1日の場合 購入者通知日数に1を指定すると、通知日は2018年1月2日になります。 購入者通知日数に170を指定すると、通知日は2018年6月20日になります。</p> <p>省略時は、ショップ情報に設定された購入者通知日数で処理されます。購入者通知日数の初期値は「30」です。変更する際はショップ管理画面より変更してください。</p>
13	CustomerName	◎	CHAR	20	購入者氏名	<p>支払者の氏名です。</p> <p>PAYSLEアプリに表示されます。</p>
14	CustomerTel	◎	CHAR	13	購入者携帯電話番号	<p>支払者の携帯電話番号です。</p> <p>数字、ハイフンで指定してください。</p>
15	CustomerId	◎	CHAR	50	購入者管理ID	<p>支払者を一意に識別するIDです。</p> <p>認証が完了した購入者は、同一事業者からのPAYSLEアプリによる支払いであれば認証行為は最初の注文時の1回のみです。</p> <p>英数字で指定してください。</p>
16	InvoiceTitle		CHAR	30	請求書タイトル	<p>指定した場合PAYSLEアプリに表示されます。未指定の場合契約時に登録した内容が表示されます。</p> <p>※使用可能漢字はJIS 第二水準までです。</p>
17	ItemId		CHAR	9	商品番号（明細）	<p>指定した場合PAYSLEアプリに表示されます。</p> <p>数字で指定してください。</p>
18	ItemName		CHAR	20	商品名（明細）	<p>指定した場合PAYSLEアプリに表示されます。</p> <p>※使用可能漢字はJIS 第二水準までです。</p>
19	ItemNumbers		NUMBER	6	数量（明細）	<p>PAYSLEアプリに表示されます。</p> <p>未指定の場合「1」が設定されます。</p>
20	ItemFee		NUMBER	6	単価（明細）	<p>PAYSLEアプリに表示されます。</p> <p>数量を指定した場合、必須です。</p> <p>「数量×単価」と利用金額は一致するように指定してください。</p> <p>未指定の場合は「利用金額」が設定されます。</p>
21	Multitem		CHAR	30000	複数明細(※1)	<p>PAYSLEアプリに表示されます。</p> <p>明細（商品番号、商品名、数量、単価）を12個まで指定することができます。</p> <p>指定した場合は、個別に指定した明細（商品番号、商品名、数量、単価）は無視されます。</p> <p>UTF-8のXMLフォーマットで作成し、BASE64エンコーディングしてください。</p>

						複数明細中の「数量×単価の合計額」と利用金額は一致するように指定してください。
22	PaysleTax		NUMBER	6	消費税額	PAYSLEアプリに表示されます。 「消費税額+送料」と税送料は一致するように指定してください。 未指定の場合は「税送料」が設定されます。
23	PaysleShippingFee		NUMBER	6	送料	PAYSLEアプリに表示されます。 「消費税額+送料」と税送料は一致するように指定してください。 未指定の場合「0」が設定されます。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

※1：複数の商品を指定する場合のみ設定してください。

下のXMLフォーマットをUTF-8でBASE64エンコーディングした値を設定してください。

[XMLフォーマット]

Lv	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	itemsInfo	-	-	-	商品明細親属性	
2	Item	-	-	-	商品明細	複数指定することが可能です。
3	itemId		CHAR	9	商品番号	商品を特定する商品番号を設定します。 数字で指定してください。
3	itemName		CHAR	20	商品名	商品を特定する商品名を設定します。 ※使用可能漢字はJIS 第二水準までとなります。
3	itemNumbers	◎	NUMBER	6	数量	商品の数量を設定します。 XML中の「数量×単価の合計額」と利用金額は一致するように指定してください。
3	itemFee	◎	NUMBER	6	単価	商品単価を設定します。

XMLヘッダは不要です。

Base64エンコーディングする前のデータが30000バイト以内になるように設定してください。

[XML例]

<pre> <itemsInfo> <item> <itemId>001</itemId> <itemName>商品 0 0 1</itemName> <itemNumbers>1</itemNumbers> <itemFee>1000</itemFee> </item> <item> <itemId>002</itemId> <itemName>商品 0 0 2</itemName> <itemNumbers>2</itemNumbers> <itemFee>500</itemFee> </item> </itemsInfo> </pre>
--

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	処理成功時は以下のステータスが返却されます。 REQSUCCESS：要求成功
3	TranDate	-	CHAR	14	決済日付	決済依頼を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
4	PaysleDisplayTerm	-	CHAR	8	表示開始日	PAYSLE アプリでのバーコード表示開始日を返却します。 yyyyMMdd書式
5	PayslePaymentTerm	-	CHAR	8	支払期限日	バーコードの支払期限日を返却します。 yyyyMMdd書式
6	PaysleNotifyTerm	-	CHAR	8	購入者通知日	お客様のPAYSLE アプリへの支払通知日です。 yyyyMMdd書式
7	CheckString	-	CHAR	32	MD5ハッシュ	OrderID,AccessID,ShopID,ShopPassを連結しMD5ハッシュした値を返却します。
8	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
9	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

32.2. PAYSLE決済の支払停止を実行する

PAYSLE決済では、決済実行した取引の支払停止が可能です。

加盟店様が【支払停止】を呼び出すと、当サービスは非同期でPAYSLEセンターに電子バーコードの取消処理を行います。電子バーコード取消処理が成功すると、PAYSLEアプリの未支払一覧からバーコードが削除され、注文取消が発生した旨の「お知らせ」が通知されます。（加盟店様が支払停止を実施してから30分～60分程度かかります。）

32.2.1. PAYSLE決済の支払停止の流れ

以下に、PAYSLE決済の支払停止の流れを説明します。

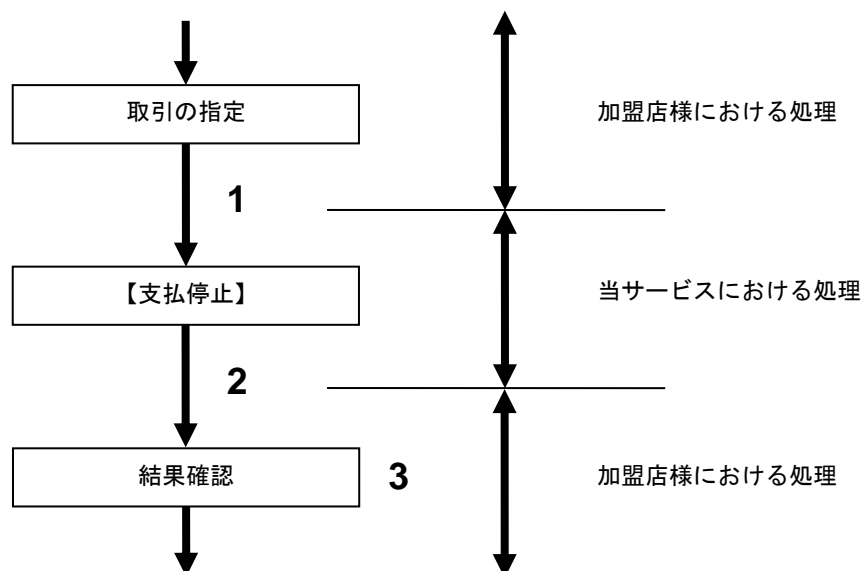


図 32.2.1-1 PAYSLE決済の支払停止の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、取引を指定し当サービスの**【支払停止】**を呼び出します。
2. 当サービスは、支払停止情報を受け付けた結果を返します。その後、非同期にて後続の決済センターとの通信を行い支払停止処理を実施します。
3. 加盟店様は、支払停止結果を確認します。

32.2.2. 各インタフェース仕様詳細

32.2.2.1. 支払停止

接続先URL

/payment/PaysleCancel.idPass

インタフェース概要

支払停止処理を受け付けます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	10	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	入力パラメータの値を返却します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	成功時は以下のステータスが返却されます。 REQCANCEL：支払停止受付
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

33. PAYSLE決済（事業者アプリ方式）インタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

事業者アプリ方式では、決済依頼時に返却されたバーコードデータを加盟店様にてお客様のスマートフォンに表示し決済を行います。その際、必ず加盟店様のスマートフォンアプリ上で表示してください。ブラウザ（Safari、Chrome等）で表示した場合、バーコード画像が正しく読み取れない場合があります。

また、バーコードデータの表示方法にはレギュレーションが定められています。詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。

33.1. PAYSLE決済依頼をする

決済依頼をすると当サービスはPAYSLEセンターに電子バーコード作成依頼を行います。電子バーコード作成依頼が成功すると、支払い用バーコードデータを返却します。

33.1.1. PAYSLE決済の流れ

以下に、PAYSLE決済の流れを説明します。

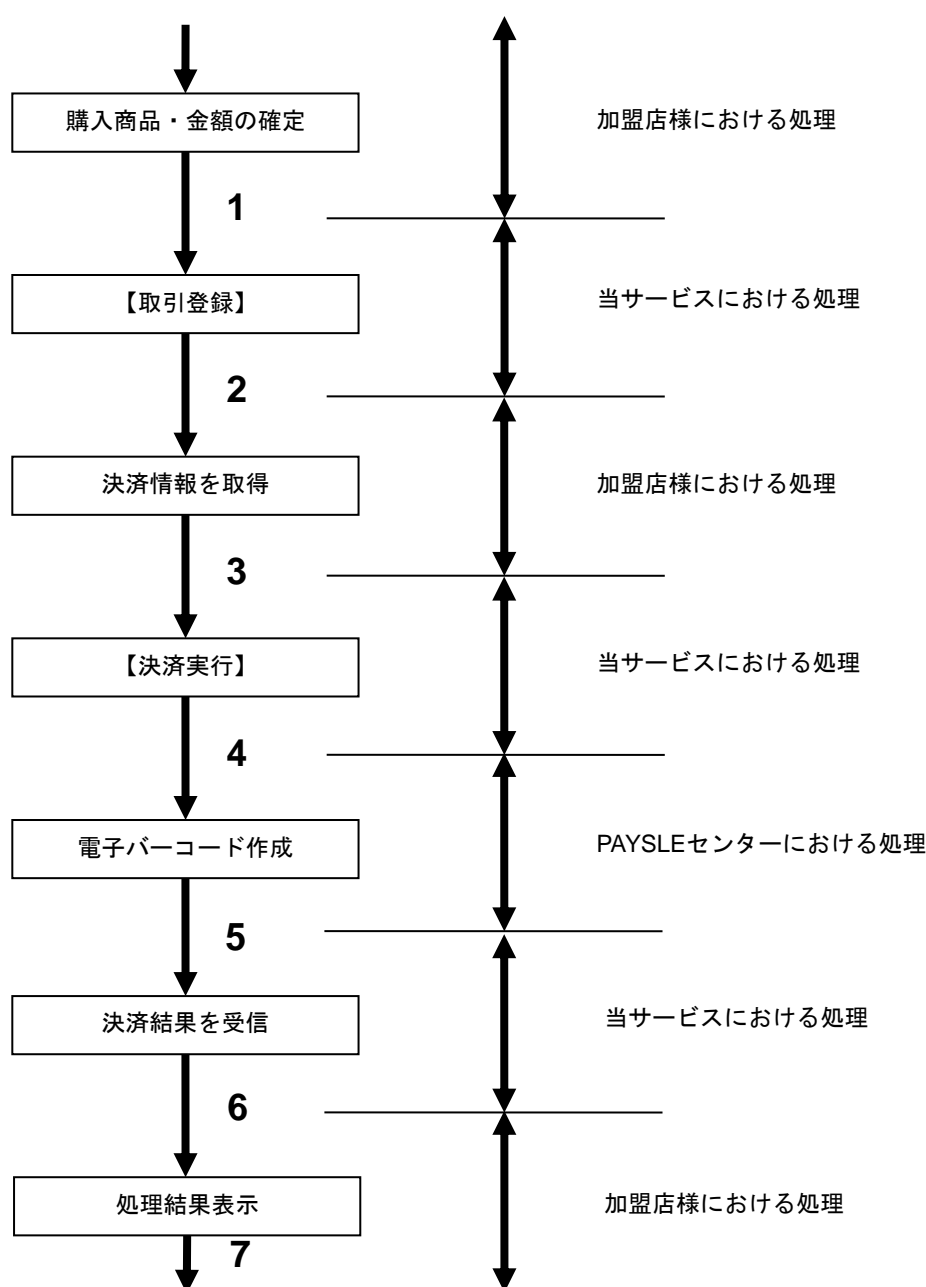


図 33.1.1-1 PAYSLE決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、PAYSLE 決済に必要な情報を取得し当サービスの**【決済実行】**を呼び出します。
4. 当サービスは、PAYSLE センターと通信を行い電子バーコード作成依頼を実施します。
5. PAYSLE センターは、電子バーコード作成結果を当サービスに送信します。
6. 当サービスは、決済依頼結果を返します。
7. 加盟店様は、決済依頼結果をお客様のスマートフォンに表示します。

33.1.2. 各インタフェース仕様詳細

33.1.2.1. 取引登録

接続先URL

/payment/EntryTranPaysle.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	10	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	Amount	◎	NUMBER	6	利用金額	利用金額+税送料が1円～300,000円である必要があります。
6	Tax		NUMBER	6	税送料	未指定の場合「0」となります。
7	PaymentType	◎	CHAR	1	決済タイプ	2: 事業者アプリ方式 ※ご契約内容により利用可能な決済タイプが異なります。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

33.1.2.2. 決済実行

接続先URL

/payment/ExecTranPaysle.idPass

インタフェース概要

お客様が入力した情報で後続の決済センターと通信を行い決済を実施し、結果を返します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	10	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
8	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
9	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
10	PaymentTermDay		CHAR	3	支払期限日数	<p>バーコードの支払期限日数です。 1～170まで指定できます。</p> <p>・決済実行日が2018年1月1日の場合 支払期限日数に1を指定すると、支払期限日は2018年1月2日になります。 支払期限日数に170を指定すると、支払期限日は2018年6月20日になります。</p> <p>省略時は、ショップ情報に設定された支払期限日数で処理されます。支払期限日数の初期値は「30」です。変更する際はショップ管理画面より変更してください。</p>
11	DeviceName	◎	CHAR	20	機種名	F-06E、iPhone12,1 の様に、設定してください。iPhone の場合、InternalName(iPhone 7 Plus の場合、iPhone9,2) を設定してください。
12	OsVersion	◎	CHAR	10	OSバージョン	Android の場合 “7.0”、iPhone の場合 “11.1.2” の様に、設定してください。
13	WinWidth	◎	NUMBER	5	画面横幅	1～99999 まで指定できます。
14	WinHeight	◎	NUMBER	5	画面縦幅	1～99999 まで指定できます。
15	Xdpi		NUMBER	6	画面横方向dpi	Android 端末の場合は必須ですが、iPhone の場合は設定不要です。 1～999999 まで指定できます。
16	Ydpi		NUMBER	6	画面縦方向dpi	Android 端末の場合は必須ですが、iPhone の場合は設定不要です。 1～999999 まで指定できます。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	処理成功時は以下のステータスが返却されます。 REQSUCCESS：要求成功
3	TranDate	-	CHAR	14	決済日付	決済依頼を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
4	PayslePaymentTerm	-	CHAR	8	支払期限日	バーコードの支払期限日を返却します。 yyyyMMdd書式
5	PaysleOrderSerial	-	CHAR	18	注文管理ID	PAYSLE事業者が発行する注文管理IDです。
6	PaysleBarcodeWidth	-	CHAR	5	バーコードイメージ横幅	単位はpxです。
7	PaysleBarcodeHeight	-	CHAR	5	バーコードイメージ縦幅	単位はpxです。
8	PaysleBarcodeFormat	-	CHAR	10	バーコードイメージ形式	jpg/png/bmp
9	PaysleBarcode	-	CHAR	-	バーコードデータ	BASE64でエンコードされた文字列を返却します。
10	CheckString	-	CHAR	32	MD5ハッシュ	OrderID,AccessID,ShopID,ShopPassを連結しMD5ハッシュした値を返却します。
11	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
12	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

33.2. PAYSLE決済の支払停止を実行する

PAYSLE決済では、決済実行した取引の支払停止が可能です。

お客様の誤入金を防止するため、支払停止を行った際は速やかにチェックマーク付きの支払い済みバーコードを表示するか非表示にしてください。チェックマーク付きの支払い済みバーコードはバーコード発行処理で取得できます。

33.2.1. PAYSLE決済の支払停止の流れ

以下に、PAYSLE決済の支払停止の流れを説明します。

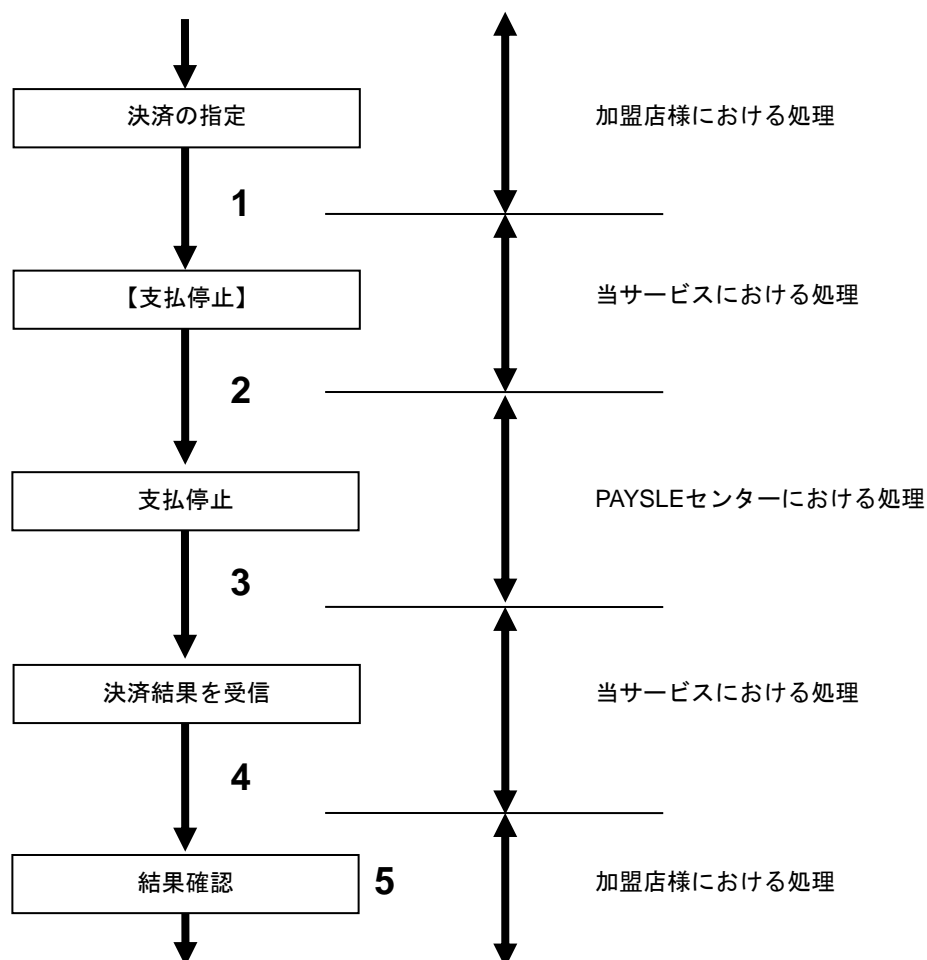


図 33.2.1-1 PAYSLE決済の支払停止の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、キャンセル・返品する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの **【支払停止】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された支払停止リクエストを PAYSLE センターに送信します。
3. PAYSLE センターは、支払停止結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、支払停止結果を返します。
5. 加盟店様は、支払停止の結果を確認します。

33.2.2. 各インタフェース仕様詳細

33.2.2.1. 支払停止

接続先URL

/payment/PaysleCancel.idPass

インタフェース概要

PAYSLE決済センターとの通信を行い、取引の支払停止処理を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	10	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	入力パラメータの値を返却します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	成功時は以下のステータスが返却されます。 CANCEL：支払停止
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

33.3. PAYSLE決済のバーコードを発行する

発行済みバーコードの画像を再取得することが可能です。

支払停止済み、支払期限切れ、及び支払い済みの取引に対してバーコード発行を行うと、チェックマーク付きの支払い済みバーコードが返却されます。お客様の誤入金を防止するため取引が支払停止済み、支払期限切れ、及び支払い済みになった際は速やかにチェックマーク付きの支払い済みバーコードを表示するか、すでに取得済みのバーコードを非表示にしてください。

※支払停止を行うと、即時にチェックマーク付きの支払い済みバーコードが取得できます。

※お客様がお支払手続きを行った後、1分～6分ほど経過するとチェックマーク付きの支払い済みバーコードが取得できます。

※支払停止済み、支払期限切れ、及び支払い済みになった取引は5日以内であればチェックマーク付きの支払い済みバーコードが取得することができます。

※チェックマーク付きの支払い済みバーコードを取得することができる期間は、取引が支払停止済み、支払期限切れ、及び支払い済みになってから5日以内です。

1月1日に支払停止した取引は1月5日中までチェックマーク付きの支払い済みバーコードが取得できます。

33.3.1. PAYSLE決済のバーコード発行の流れ

以下に、PAYSLE決済のバーコード発行の流れを説明します。

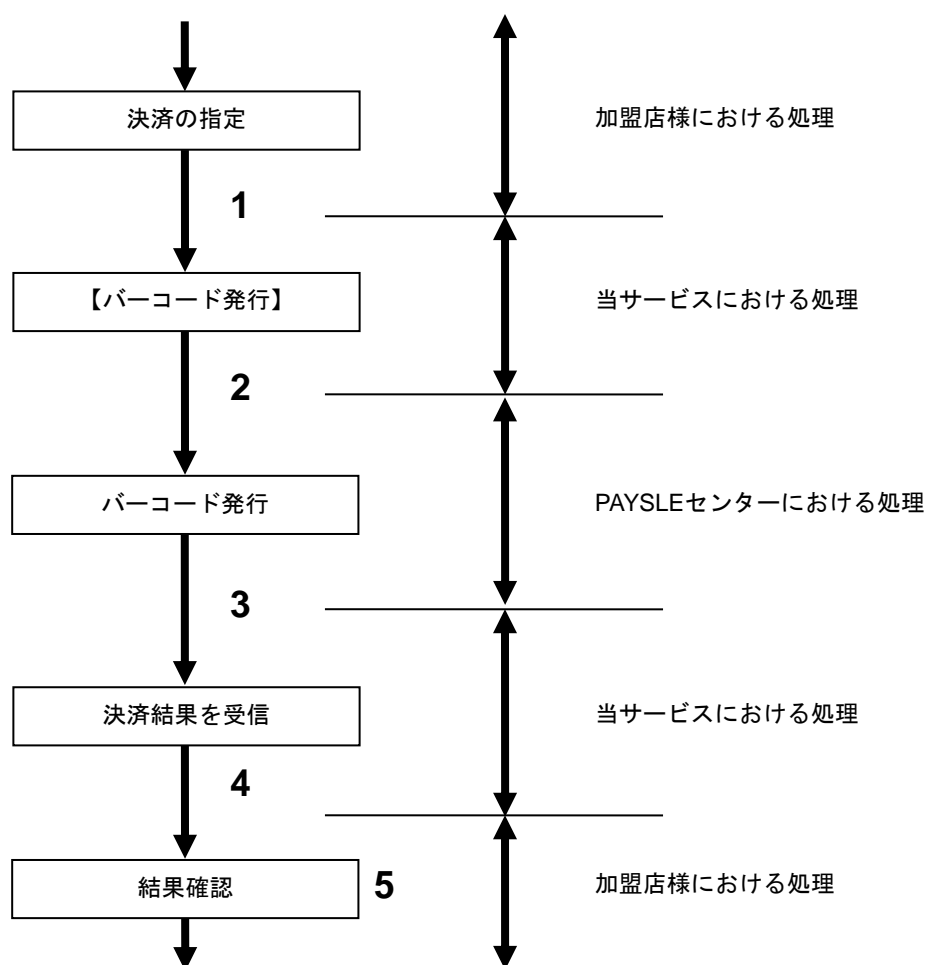


図 33.3.1-1 PAYSLE決済のバーコード発行の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、バーコード再発行する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの**【バーコード発行】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定されたバーコード発行リクエストを PAYSLE センターに送信します。
3. PAYSLE センターは、バーコード発行結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、バーコード発行結果を返します。
5. 加盟店様は、バーコード発行の結果を確認します。

33.3.2. 各インタフェース仕様詳細

33.3.2.1. バーコード発行

接続先URL

/payment/PaysleBarcode.idPass

インタフェース概要

PAYSLE決済センターとの通信を行い、バーコード発行処理を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	10	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	DeviceName	◎	CHAR	20	機種名	F-06E、iPhone12,1 の様に、設定してください。iPhone の場合、InternalName(iPhone 7 Plus の場合、iPhone9,2) を設定してください。
8	OsVersion	◎	CHAR	10	OSバージョン	Android の場合 “7.0”、iPhone の場合 “11.1.2” の様に、設定してください。
9	WinWidth	◎	NUMBER	5	画面横幅	1～99999まで指定できます。
10	WinHeight	◎	NUMBER	5	画面縦幅	1～99999まで指定できます。
11	Xdpi		NUMBER	6	画面横方向dpi	Android 端末の場合は必須ですが、iPhone の場合は設定不要です。 1～999999 まで指定できます。
12	Ydpi		NUMBER	6	画面縦方向dpi	Android 端末の場合は必須ですが、iPhone の場合は設定不要です。 1～999999 まで指定できます。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	入力パラメータの値を返却します。
2	PaysleBarcodeWidth	-	CHAR	5	バーコードイメージ横幅	単位はpxです。
3	PaysleBarcodeHeight	-	CHAR	5	バーコードイメージ縦幅	単位はpxです。
4	PaysleBarcodeFormat	-	CHAR	10	バーコードイメージ形式	jpg/png/bmp
5	PaysleBarcode	-	CHAR	-	バーコードデータ	BASE64でエンコードされた文字列を返却します。
6	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
7	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001